



《文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト》

日本版 General Social Surveys

基礎集計表・コードブック

JGSS-2005

編 集

大阪商業大学 比較地域研究所
東 京 大 学 社会科学研究所

発 行

大阪商業大学 比較地域研究所

2007 年 3 月

はじめに

日本版総合的社会調査(JGSS)第1期5ヶ年計画が終了したのが、2004年春。それまでの5年間は、まさに手さぐりでJGSSというシステムを立ち上げ、改革・整備した期間でありました。我々のやり方で「やっていける」という自信を持てたのは、第1期も終わりに近い頃だったと思います。幸い文部科学省をはじめ、多くの機関から高い評価をいただき、学術フロンティア推進事業の継続が認められました。こうして2004年4月からの第2期5ヶ年計画が無事スタートできたことは、この上ない喜びです。

第2期の始まりの年である2004年度は、これまでの店卸しを行う年と位置づけておりましたので、データ収集は行いませんでした。従いまして今回お届けする、この2005年版データ(JGSS-2005)が、JGSSプロジェクト第2期のスタートということになります。2005年という年は、国勢調査が予定されていた関係で、通常10月から11月にかけて行われていたデータ収集を、少々前倒しし、8月末に実施しました。その他は過去とほぼ同じ内容です。

調査環境の変化

第1期が終わる頃から、日本の調査環境には若干の変化が見られました。まず、新しい法律などにより、個人情報に対する人々の意識が変化したように思います。JGSSに限ったことではありませんが、回収率が年々低下する傾向にあります。特に20代や30代の人々は、面会するまでもひと苦労ですが、会えても協力を得られないことが多くなっています。JGSSでは、変数として「ウェイト」を用意していますが、回答拒否をする人々がランダムに発生するわけではない可能性は、頭の痛い問題のひとつです。

社会調査士の資格制度がスタートしたことは、調査環境の変化のポジティブな側面と言えるでしょう。JGSSでは第2期より、ポストドクトラル研究員の採用をスタートしました。現在は2名が活躍中ですが、(これは私の確信ですが)現場で実際にやってみること以上に重要な経験はないと思います。我々の持つ「現場」を積極的に教育に還元できるなら、それは大変嬉しいことです。

いくつかの新しい取り組み

日本だけでなく、世界の各地でアメリカのGSSをプロトタイプとする調査が進行しています。世界共通のモジュールで比較研究を行っている、ISSPプロジェクトは有名ですが、我々もアジア諸国、特に東アジア圏における共通課題をより深く比較研究できないだろうか、という目的でEASS(East Asian Social Surveys)プロジェクトをスタートさせました。

JGSSに加え、台湾のTSCS、韓国のKGSS、中国のCGSS、それに香港などがパートナーとなり、東アジアに共通の課題を同じ設問で、2年に1回の割合で調査することになりました。最初のモジュールは、2006年に行った「家族」に関する質問群ですが、皆様にデータを公開できるのは、もう少しあとになることを、ご了承下さい。ちなみに2008年度は2回目のモジュールとして、「東アジアにおける文化とグローバリゼーション」を予定しています。

もうひとつの取り組みとして、JGSS-2005では、新たに「公募設問」を採用しました。これまでも外

部研究者より、こんな質問を加えては、という意見（または、加えてほしいという依頼）がありました。多くの変数を含む JGSS に独自の質問を加えることは、多くの研究者や院生にとって、貴重な機会になりうると思います。JGSS メンバーも、より多くの研究者や院生に、その機会を提供したいと考え、応募されたトピックの中から今回は、5 名の設問を採択いたしました。本書を手にした皆様にも、今後更なる応募をお願いします。

JGSS プロジェクトは、多くの研究者、実務者、ボランティアの方々の助力がなければ今の姿にはな
りえていなかったと思います。関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。とくに、東京大学社会科学
研究所は、最高のパートナーとして、大阪商業大学だけでは困難な仕事にご協力下さいました。一例
として、JGSS データの一部は現在、ウェブ上での集計や分析も可能ですが、それは東京大学社会科学
研究所の「リモート集計システム」によるものです。

JGSS プロジェクトは、さらに発展する可能性があると思っておりますし、そうありたいと努力する所
存です。そのための必要条件として、このデータが使用され、そして社会科学の発展に寄与している
ことが証明されなくてはなりません。皆様がデータを活用し、成果を世に送り出して下さることが第
一步なのです。

まずここに、JGSS-2005 の基礎集計表・コード・ブックをお届け申し上げます。

JGSS 研究代表 谷岡 一郎



目 次

はじめに

I. JGSS-2005 調査概要

1. JGSS-2005 プロジェクト委員会メンバー	1
2. 調査の内容	3
3. 調査の方法	11
4. 回収率ならびに欠票の分析	17
5. データセットの重み付けについて	23
6. JGSS 関連の文献	33
7. データの公開状況と入手方法	53

II. JGSS-2005 集計と索引

1. 基礎集計・コード表：面接調査票	57
2. 基礎集計・コード表：留置調査票	103
3. 事項索引	153
4. 変数名索引	183

III. JGSS-2005 資料

1. 抽出地点リスト	193
2. 産業コード	197
3. 職業コード	199
4. GSS・世論調査と調査項目（面接調査票）の対応表	207
5. GSS・世論調査と調査項目（留置調査票）の対応表	213
6. フローチャート	233
7. 面接調査票 原票	
8. 面接調査票 回答票（サンプル）	
9. 留置調査票 原票	
10. 依頼状（調査へのご協力をお願い）	
11. 調査要領	

I . JGSS-2005 調査概要

I.1 JGSS-2005 プロジェクト委員会メンバー

研究代表	谷岡 一郎	大阪商業大学総合経営学部 教授・学長
	仁田 道夫	東京大学社会科学研究所 教授
代表幹事	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
幹事	佐藤 香	東京大学社会科学研究所 助教授
	保田 時男	大阪商業大学総合経営学部 講師
研究メンバー	池田 謙一	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部 教授
	稲葉 太一	神戸大学発達科学部 講師
	岩井 八郎	京都大学大学院教育学研究科 教授
	片山 隆男	大阪商業大学経済学部 教授
	木村 雅文	大阪商業大学総合経営学部 教授
	小磯 かをる	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	小島 宏	国立社会保障・人口問題研究所国際関係部 部長
	林 妙 音	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	前田 幸男	東京大学大学院情報学環 助教授（社会科学研究所と兼任）
	裕永 佳甫	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	三輪 哲	東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター 助教授
	中尾 啓子	首都大学東京 都市教養学部 教授
	大橋 正彦	大阪商業大学総合経営学部 教授
	岡本 政人	東京大学社会科学研究所教授（客員）総務省統計研修所 所長
	佐野 茂	大阪商業大学経済学部 助教授
	穴戸 邦章	大阪商業大学 JGSS ポスト・ドクトラル研究員
	篠崎 武久	早稲田大学理工学部複合領域 講師
	杉田 陽出	大阪商業大学経済学部 助教授
	孫 飛 舟	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	高橋 和子	敬愛大学国際学部 助教授
	田崎 公司	大阪商業大学経済学部 助教授
	安野 智子	中央大学文学部 助教授

研究メンバー（JGSS-2005 公募設問採択者）

松本 渉	統計数理研究所データ科学研究系調査解析グループ 助手
松沢 陽子	京都大学大学院文学研究科 大学院生
小川 雅司	羽衣国際大学産業社会学部 講師
田中 豊	大阪学院大学情報学部 助教授
保田 直美	大阪大学大学院人間科学研究科 大学院生

事務局長	大澤 美苗	大阪商業大学
事務局メンバー	中尾 理恵	大阪商業大学
	樋口 環	大阪商業大学
	幸野 友美	大阪商業大学
	西尾 ひとみ	大阪商業大学

（所属は 2007 年 3 月現在）

I.2 調査の内容

JGSS-2005 は、JGSS プロジェクトが最初に実施した第 1 回本調査（JGSS-2000）から数えると、第 5 回目の調査にあたる。JGSS の各年度の調査票は、時系列の変化を見るために継続的に組み込む設問と、社会の争点となっている問題について尋ねるいくつかの設問群から構成されている。そこで本稿では、JGSS-2005 の基礎である JGSS-2000 の調査票が確定されるまでの経緯と、その後の調査項目の変遷についてみた上で、JGSS-2005 に組み込んだ調査項目を紹介する。

1 JGSS の調査方法と調査票の確定まで ―2 回の予備調査による検討―

JGSS は、GSS に範を取り、国際比較を視野に入れているが、日本の社会と人々の意識や行動の実態を把握することに主眼をおいている。調査対象者の世帯構成、就業や生計の状況、両親や配偶者の職業、対象者の政治意識、家族観、人生観、死生観、宗教、余暇活動、犯罪被害など広範囲の調査事項を網羅し、さまざまな問題関心から分析ができる調査データの構築を目指している。GSS は平均 90 分を要する面接調査であるが、JGSS では、日本の調査環境を考慮して、面接法と留置法を併用し、所要時間はそれぞれ 20 分程度としている。

第 1 回本調査である JGSS-2000 に組み込む項目の選択にあたっては、GSS の 1996 年度の Cumulative Codebook を基に、過去に使用された全調査項目を検討した上で、1990 年以降の 5 回の調査における出現頻度や重要性から判断して、必要な項目を抽出した。さらに、日本における近年の各種の世論調査を参照し、関心が高い項目、あるいは時系列の観察が必要と思われる項目を加えている。JGSS の調査データは、社会科学の多くの問題について基礎的な資料を提供し、多岐にわたる変数の関連を分析することを可能にする。その反面、GSS と同様に、一つの問題関心について詳細な情報を提供することは出来ない。ただし、調査年によってトピックを設定して、その関連の設問を増やす場合もある。

JGSS プロジェクト委員会は、調査項目と調査方法論上の検討を行うために、第 1 回予備調査を 1999 年 3 月に首都圏と大阪府において、さらに同年 11 月に第 2 回予備調査を全国規模で実施した。第 1 回予備調査と第 2 回予備調査から得た結果の概要は以下のとおりである。

1.1 面接調査と留置調査の併用の可能性・実施順序

GSS は平均 90 分を要する面接調査で、途中 15 分ほど、自記式（対象者自身が調査票に記入する）の部分がある。これは、International Social Science Programme (ISSP) のための調査票を GSS に組み込んでいるからである。日本の調査環境を考えると、GSS のやり方をそのまま持ち込むことは難しい。そこで JGSS では、面接調査法と留置調査法を併用し、それぞれの所要時間を約 20 分とし、全体として 40 分ほどで調査が終了することを目指した。

日本では、面接と留置を組み合わせた全国調査は少なく、ほとんどの場合、どちらか一方が採用されている。JGSS では、GSS や NSFH(National Survey of Families and Households)を参照して、面接法と自記式を併用することにした。ただし、自記式を面接の途中に組み込むのではなく、面接調査の前あるいは後に、留め置いた調査票への記入を依頼する形をとった。就労状況、政党支持、婚姻歴、世帯構成など、設問が複雑であったり、枝分かれの多い調査項目は、面接調査票に入れている。一方、面接

で尋ねると、社会的望ましさの方向へ回答が振れやすい設問は、留置調査票に入れている。

第1回予備調査では、面接調査と留置調査のどちらを先に実施するのがよいかを検討した。split-ballotの方法を用いて、対象者の半数には面接→留置、残りの半数には留置→面接の順に依頼した。ただし、対象者の都合や希望で順序を変更してもよいこととし、調査員には実際に実施した順序を記録させた。この結果、58.7%のケースでは面接を先に、41.3%のケースでは留置を先に行っており、どちらかという、面接調査を先に実施する方が、調査がスムーズに運ぶようであった。調査終了後に調査員から聴き取りを行ったところ、対象者の都合や希望に任せる方が調査を実施しやすいという意見が少なかった。

そこで第2回予備調査からは、実施順序は、調査員の状況判断に任せている。どの年度においても、面接を先に行うケースがほぼ4分の3を占める。また、面接と留置のうちの片方しか実施できなかったケースは非常に少ない。結論として、面接法と留置法の併用は成功したといえよう。

1.2 測定尺度と選択肢の検討

GSSと共通する質問項目をJGSSに組み込むに際しては、GSSで採用されている測定尺度をそのまま採用するのか、あるいは日本の世論調査でなじみのある測定尺度に変更すべきなのかを検討する必要がある。また、尺度そのものの特性や分析方法との兼合いなどについても検討する必要がある。そこで、第1回予備調査と第2回予備調査では、選択肢やスケール、回答の方法などが一部異なるA票とB票の2種類の留置調査票を用意して、split-ballotの方法で調査を実施した。全体の半分ではA票を、残りの半分ではB票を使用した。面接調査票は1種類である。A票にはGSSと互換性がある選択肢とスケールを、B票には日本の調査でよく用いられる選択肢やスケールを組み込んだ。

第1回予備調査は都市部のサンプル、第2回予備調査は全国サンプルという違いはあるが、2つの調査はいずれも共通した傾向を示した。第2回予備調査では、第1回予備調査で検討した項目に加えて、選択肢における「中の中」(階層帰属意識)の有無と選択肢の呈示順序(昇順/降順、性別)についても検討している。

このふたつの予備調査で得た知見に基づいて、JGSS-2000の調査票の選択肢やスケールを確定した。すなわち、選択肢の用語については、「強く」という言葉を使わずに、日本の調査で使われることの多い「どちらかといえば」という表現を用いる。日本で選択率の高い「場合による」は用いない。「わからない」に関しては、法律の知識を必要とする設問についてはこのカテゴリーを設け、それ以外の設問では設けない。スケールの対称性の問題とスケールか用語かという問題については、両端にのみカテゴリーを記入する左右対称のスケールを採用する。選択肢の数については、3点尺度ではなく5点尺度を用いる。中間値の有無については、意見項目に関しては「どちらともいえない」を設けない4点尺度とし、階層帰属意識に関しては「中の中」を設けて5点尺度とする。選択肢の呈示順序については、支配的なカテゴリーを最後にもってくる。選択式か記述式かについては、具体的な情報を得られる記述式を用いる。家事の測定に関する絶対尺度と相対尺度については、頻度を尋ねる絶対尺度を用いる。このようにJGSSでは、GSSの選択肢やスケールをそのまま用いるのではなく、JGSS独自の選択肢やスケールを組み込むことにした。

予備調査の結果の詳細は、『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第1回予備調査 基礎集計表・コードブック』と『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第2回予備調査 基礎集計表・コードブック』に記

録している。

2 JGSS の調査項目の変遷

表 1 は、JGSS-2000 から JGSS-2005 までの設問の変遷を示している。JGSS の面接調査票は、調査対象者の属性に関する設問が中心であり、留置調査票は、調査対象者の意識や行動に関する設問が中心である。JGSS-2000 から JGSS-2005 までの調査項目の主な変更点は以下の通りである。

JGSS-2000 と JGSS-2001 の調査票は、ほぼ同一である。これは、JGSS-2000 のデータと JGSS-2001 のデータを合わせることによって、性別、年齢、地域、職業などについて、より詳細な分析が可能となるためである。JGSS-2001 での変更は、面接票に「初職に就いた時期」、「初職の求職方法」、「配偶者の兄弟姉妹の数」の設問を加え、留置票に「サッカーくじ」、本人と配偶者が「家族を介護した経験」の設問を加え、「少年法の改正」の設問を除いた点のみである。

一方、JGSS-2002 では、面接調査票の一部と留置調査票のかなりの部分を変えている。JGSS の中心的な設問を残し、争点となっている時事的な設問を組み込んだ。面接票では、「教育訓練や研修」についての設問を除き、新たに、「高校の学科」、「進学率」、「大学の専攻分野」、「教育費の支出」、「住宅関連の支出」の設問を加えた。留置票では、JGSS の基本設問を残し、その他は新規設問群—「英語教育」、「ボランティア活動」、「環境と消費行動」、「ギャンブル」、「カジノ」、「余暇活動」、「アレルギー疾患」、「購読新聞」、「学校教育から得たもの」—と入れ替えた。

JGSS-2003 では、面接調査票の設問数を大幅に減らし、留置調査票を 2 種類用いている。JGSS の基本形を踏襲した調査票（A 票）と、対象者のネットワークについての設問を中心とする調査票（B 票）である。後者は、悩み事、政治、仕事のそれぞれに関して相談する相手（最大 4 人）について詳しく尋ね、この 3 つのネットワークの重なりについても把握するという、大規模調査では、世界でも初めての試みである。JGSS-2003 の面接票は、JGSS-2002 までと比較して、設問数を思い切って削減している。これは、面接調査票を短くすることにより、対象者に対する負担を少しでも減らそうと考えたからである。ネットワークについて尋ねる留置 B 票は、冒頭部分を面接で行う必要があり、記入に関する説明にも時間を要し、対象者への負担が従来よりも大きくなるのではないかと思われたからである。一方、留置 A 票においても、一部の設問は「いじめ」、「代理母」、「女性知事による相撲の表彰」、「消費行動」、「英語を学習する意欲」などの新規設問群との入れ替えを行っている。

表1 JGSS の中心的な設問と時事的な設問

面接調査票

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005
現職	○	○	○	○	○
副業	○	○	○	○	○
初職	○	+時期/求職方法	+時期/求職方法	×	+時期
最終職	○	○	○	×	×
学歴	○	○	○	○	○
収入	○	○	○	○	○
婚姻上の地位	○	○	○	○	○
配偶者の職業/学歴/収入	○	○	○	○	○
父母の学歴	○	○	○	○	○
世帯構成/世帯収入	○	○	○	○	○
きょうだいの構成	○	+配偶者のきょうだい	+配偶者のきょうだい	×	+配偶者のきょうだい
政党支持	○	○	○	○(留置)	○(留置)
婚姻歴	○	○	○	×	×
子の出生年	○	○	○	×	×
15歳時の両親の職業	○	○	○	○	○
15歳時の居住地域	○	○	○	○	○
住居形態/面積	○	○	○	住居形態のみ	住居形態のみ(留置)
社会的地位	○	○	○	○	○
労働組合	○	○	加入の有無のみ	加入の有無のみ	○
居住地域の特徴(調査員記入)	×	×	×	○	○
時事的な設問群	職業訓練	職業訓練	学部/学科、教育費、住宅関連の支出	通勤手段/時間、休日	通勤手段/時間、休日、自動車の保有、働き方の意識

○:設問あり、◎:設問多い、+:○に加えて、×:設問なし

留置調査票

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003		JGSS-2005
				A票	B票	
幸福感/満足感	○	○	○	○	○	○
結婚幸福感/配偶関係満足度	○	○	○	○	○	○
健康状態	+配偶者の健康状態	+配偶者の健康状態	+配偶者の健康状態	○	○	○
トラウマの経験	○	○	○	○	×	○
家計の状態	○	○	○	○	○	○
社会階層	○	○	○	○	○	○
宗教	○	○	○	○	×	○
性別役割分業観	◎	◎	◎	◎	○	◎
理想の子ども数/性別	○	○	○	○	×	○
家事頻度	+配偶者の家事頻度	+配偶者の家事頻度	+配偶者の家事頻度	○	×	○
夫婦別姓	○	○	○	○	×	×
政治についての考え方	○	○	○	○	◎	○
所属集団	○	○	○	○	○	○
一般的信頼感/組織への信頼	○	○	○	○	×	○
余暇活動	○	○	◎	◎	×	○
犯罪被害	○	○	○	○	×	○
飲酒/喫煙	○	○	○	○	×	○
読書頻度(本、新聞)	○	○	+新聞名	+新聞名	×	+新聞名
情報機器の利用	○	○	○	○	×	○
安楽死	○	○	○	○	×	○
外国人	○	○	○	◎	×	増加の賛否のみ
環境問題	○	○	◎	◎	○	×
高齢化/社会保障	○	○	○	○	×	○
アレルギー性疾患	×	×	○	○	×	○
居住年数/永住意識	×	×	×	○	×	○
時事的な設問群	墓、ベットの援助交際、裁判所の判決、少年法の改正、死刑制度、女性知事、臓器提供意思表示カード、暴行被害、死後の世界、道徳/倫理観(ポルノ/婚外関係)	JGSS-2000に加えて、介護経験(本人/配偶者)、サッカーくじ[少年法の改正は除いた]、道徳/倫理観(ポルノ/婚外関係)	環境と消費行動、ボランティア活動、英語学習、学校教育から得たもの、ギャンブル、カジノ	消費行動、英語学習、いじめ、少年法、カジノ、代理母、女性知事と相撲	社会的ネットワーク(悩み事、政治、仕事について相談する相手とその属性)、政治についての考え	自動車利用、心のケア、遺伝子組換え食品、クレジットカード・消費者金融、ボランティア活動、寄付・募金、高齢期のライフスタイル

○:設問あり、◎:設問多い、+:○に加えて、×:設問なし

3 JGSS-2005 の調査

JGSS-2005 では、新たな取り組みとして、調査票に組み込む設問の公募を行った。〈募集の目的〉は、研究者が関心のある設問を組み込むことで、JGSS の調査票をさらに充実させ、活用しやすいものとする、また、全国調査の企画に参加する機会を少しでも広げることであった。応募資格、設問のテーマ・条件、選考方法などは、以下のとおりであった。

JGSS-2005 設問の公募

〈応募資格〉大学または研究機関の研究者、大学院生

〈設問のテーマ・条件〉

テーマは総合的社会調査にふさわしいもの。設問は質問文・選択肢ともに完成したもの。設問の量は1問から可。上限は、面接調査票ではJGSS 調査票の1/3 ページ、留置調査票で1/2 ページまで。

〈応募方法〉

指定の用紙をJGSS のHP からダウンロードし、氏名、所属、連絡先、分析課題、設問、設問を挿入する目的、想定する分析、分析に必要な他の変数、参照文献・調査を明記して、郵送またはメールに添付して提出。

〈選考方法と発表〉

選考にあたっては、主催者において選考委員会を設け、中立なる審査・選考を行う。選考では、設問の内容だけでなく、調査票全体のバランスや他の設問との関連性を考慮する。

〈採択者の義務〉

採択された設問に関連するデータのクリーニングを行い、JGSS 研究論文集に掲載する論文を提出する（論文集：2007 年 3 月 31 日刊行、原稿〆切：2007 年 1 月 10 日）。調査票全体のバランスや他の設問との関連から、質問文・選択肢の調整を行うことがあり、設問の調整・調査票の作成のために、指定された日時に大阪商業大学でのミーティングに参加することもある。日時は約1ヶ月前に連絡する（大学院生の場合は、往復の旅費を支給）。

〈留意事項〉

採択者は、JGSS-2005 データの特別利用が認められる（2006 年 7 月頃）。ただし、データが一般公開される 2007 年 3 月 31 日までは、学会での報告にとどめ、JGSS 論文集以外での論文発表はできない。採択された設問は、JGSS の調査票に帰属する（考案者の名前は明記しない）。

なお、JGSS 研究プロジェクト委員会のメンバーであっても、設問の組み込みを希望する場合には、上記の募集要項に沿って応募することを求めた。2004 年 9 月 30 日の締切までに、研究者 4 名、大学院生 8 名、JGSS 委員会メンバー 5 名からの応募があり、研究者 3 名、大学院生 2 名、JGSS メンバー 3 名（うち 2 名は過去の設問の復活）の設問を採択した。

JGSS-2005 で初めて加わった設問は、「自動車の保有・利用」「心のケア」「遺伝子組換え食品」「クレジットカード・消費者金融」「寄付・募金」「高齢期のライフスタイル」である。「裁判員制度」に関する設問も検討したが、少数の設問で捉えることが困難であることから断念した。「寄付・募金」の設問を組み込むに際して、JGSS-2002 に組み込んだ「ボランティア活動」の設問に変更を加えて復活させた。また、JGSS-2000 以来組み込んでいる「IT の利用」に関する設問は、現状に合うように変更した。

【面接調査票】

JGSS-2005 の面接調査票は、対象者の属性に関する設問が中心である（15 頁、77 問、201 変数）：対象者の学歴、収入、就労状況、過去の就労経験、婚姻上の地位、世帯構成、兄弟姉妹の数、子どもの性別・年齢、15 歳の頃の居住地、世帯収入などの設問がある。

就労に関しては、就労形態や事業所について詳細に尋ねているほか、勤務する曜日、4 日以上連続休暇の取得、通勤時間と通勤手段、初職に就いた時期・就労状況、現在の仕事への満足感、現在の勤め先での就労観、就業継続意向、失業・再雇用の可能性、労働組合加入の有無、副業状況について尋ねている。現在就労していない対象者には、過去の就労経験や仕事をやめた理由について尋ねている。また、現在就労していない人も含めて全員に、現在、仕事探しをしているかどうか尋ねている。

配偶者のいる対象者には、配偶者の兄弟姉妹の数、学歴、現在の就労状況について尋ねている。

対象者の両親に関しては、学歴や対象者が 15 歳の頃の職業を尋ねている。

JGSS-2005 では、自動車の保有の有無、保有する車の種類、車の購入・維持費用の負担感についても尋ねている。

面接票では、調査員に対して、対象者の住んでいる地域の特徴、対象者の調査への協力度、質問への理解度、調査の実施に際して気づいた点についての記入を求めている。

【留置調査票】

一方、留置調査票は、調査対象者の意識や行動に関する設問が中心である（15 頁、183 問、263 変数）。それぞれの分野に関連して以下のような項目がある。

- 生活習慣：喫煙、飲酒、テレビの視聴時間、新聞の購読、読書量、家庭で夕食をとる回数、炊事・洗濯・買い物・掃除・ゴミ出しなどの家事に従事する頻度。
- 団体への所属：政治団体、業界団体、ボランティアグループ、市民団体、宗教の団体、スポーツ・クラブ、趣味の会などへの所属の有無。
- 余暇活動：ドライブ、カラオケ、映画鑑賞、音楽鑑賞、テレビゲーム、園芸・庭いじり、将棋・囲碁、宝くじ、パチンコ・パチスロ、スポーツ、友人との会食、旅行、読書、テレビの視聴時間、余暇の過ごし方に対する満足感など。
- IT の利用：パソコン(職場・自宅)、携帯電話/PHS、ファックス、電子メール（パソコン・携帯）、インターネットによる情報検索、ショッピング、バンキング、HP の作成。
- 人間観・信頼観：人間の本性、他人への信頼観、官僚、学者などの職業集団に対する信頼観、ならびに学校、警察、医療機関、金融機関などの機関に対する信頼観など。
- 死生観、信仰、宗教活動：信仰している宗教、家の宗教、宗教の団体や会への所属の有無、信仰の程度、宗教団体への信頼観、安楽死を認める法案についての態度。
- 家族・ジェンダー：定位家族と生殖家族の家計の状況、性別役割分業観、結婚・離婚観、三世代同居観、家庭生活に対する満足感、理想的な子どもの数と性別、家事。配偶者のいる対象者には、配偶者との関係に対する満足感について尋ねている。
- 社会階層：階層帰属意識、世帯収入についての主観的水準、この 2～3 年に生じた経済状態の変化、家計に対する満足感、生活水準を向上させる機会への期待、対象者が 15 歳の頃の家族の生活水準など。

- 政治や政府に対する意識と評価：支持政党、政治的態度、購読している新聞名、高齢者問題（生活保障、医療・介護）や子どもの教育や保育・育児における政府の役割、所得税の負担感、所得格差の是正、年金の受給額の予測など。
- 医療関係：健康状態、心理的トラウマの経験、アレルギー性疾患（本人、同居家族）、健康状態に対する満足感、高齢者の医療・介護の責任の所在など。
- 法律関係：安楽死を認める法案についての意識。
- 地域環境：空き巣やひったくり・強盗の被害経験の有無、住居形態、地域での居住年数、将来にわたる居住希望、地域に外国人が増えることへの賛否、居住地域への満足感など。
- 幸福感・満足感：幸福感、居住地域への満足感、余暇の過ごし方への満足感、家庭生活への満足感、家計への満足感、友人関係への満足感、健康状態への満足感、配偶者との関係への満足感。
- 自動車の利用：自動車の用途と、車の保有や利用に関する意識。
- 心のケア：相談相手、カウンセリングの受診の有無(本人、同居家族)、受診の希望、カウンセリングや心理学についての知識、学力と心の教育、少年少女の凶悪犯罪の要因。
- 遺伝子組換え食品：遺伝子組み換え食品についての知識と意見(安全性、有益性、自然さ、普及への賛否など)。
- クレジットカード・消費者金融：クレジットカードの保有の有無と枚数、利用目的と頻度、利用する機能と頻度、借金することに対する意識、クレジットカードの保有・利用・広告に対する意見、消費者金融の利用の有無と回数、消費者金融の利用・広告に対する意見。
- ボランティア活動：定期的なボランティア活動への参加の有無と参加時間、不定期なボランティア活動への参加の有無と参加日数、ボランティア活動の内容、寄付の額。
- 高齢期のライフスタイル：高齢期に重視する活動、高齢期の生活の充実に欠かせない相手。

（岩井 紀子）

I.3 調査の方法

JGSS-2005 は、2005 年 8 月下旬から 11 月上旬にかけて、全国において実施した。JGSS では例年は、10 月半ばから 11 月末にかけて調査を実施しているが、2005 年度は国勢調査が 10 月 1 日に予定されていたので、調査の開始時期を早めた。個人情報保護法が 2005 年 4 月に施行されて間もないこともあり、国民が調査全般に対して非常に慎重になっていると予測されたので、調査が重なることを避けた。

<調査設計>

母集団：2005 年 9 月 1 日時点で全国に居住する満 20～89 歳の男女個人

(大正 4 年 9 月 2 日～昭和 60 年 9 月 1 日までに生まれた男女)

標本数：4,500

調査地点数：307 地点

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

抽出台帳：選挙人名簿

抽出間隔：抽出台帳の並び順が地番順の場合

有権者数が 4 万人以上の区と市では、21

有権者数が 4 万人未満の市郡では、11

抽出台帳の並び順が 50 音順の場合は、11

<層化の方法>

1. 全国の市町村を、以下のような 6 ブロックに分類した。

北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州

2. 各ブロック内において、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。計 18 層となる。

- 1) 15 大都市：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、
静岡市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市

- 2) その他の市

- 3) 郡部

<標本数の配分>

各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳以上人口の大きさにより 4,500 の標本を比例配分した。2004 年 3 月 31 日時点での男女・年齢階級（5 歳階級）別住民基本台帳登録者数を母集団とした。ただし、80 歳以上は一括表示となっているため、80～89 歳の人口は、2000 年 10 月 1 日時点での国勢調査の各市区町村男女各歳別（1 歳刻み）人口比率で補正した。

＜地点の抽出方法＞

1. 平成 12 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第 1 次抽出単位として使用した。
2. 調査地点数については、各層ごとに 1 調査地点の標本数が最大 15 になるように設定した。
3. 各層ごとに抽出間隔（層における基本単位区数の合計÷層で算出された調査地点数）を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番目の基本単位区を抽出した。
4. 抽出に際しての各層における区市町村の配列順序は、総務省（旧自治省）設定の市区町村コードの順序に従った。

以上の結果、ブロック・市郡規模別(18 層)の母集団数・標本数・調査地点数は、次のとおりである。

	15 大都市	その他の市	郡部	計
北海道・東北	2,291,974 102 (7)	6,826,090 303 (21)	3,200,566 142 (10)	12,318,630 547 (38)
関 東	12,352,335 548 (37)	17,564,510 780 (52)	3,051,729 135 (9)	32,968,574 1,463 (98)
中 部	2,280,105 101 (7)	13,311,946 591 (40)	2,983,473 132 (9)	18,575,524 824 (56)
近 畿	4,391,021 195 (13)	10,623,674 471 (32)	1,480,831 66 (5)	16,495,526 732 (50)
中国・四国	892,297 40 (3)	6,946,976 308 (21)	1,611,950 72 (5)	9,451,223 420 (29)
九 州	1,859,531 83 (6)	6,925,822 307 (21)	2,802,930 124 (9)	11,588,283 514 (36)
計 母集団数 標本数(地点数)	24,067,263 1,069 (73)	62,199,018 2,760 (187)	15,131,479 671 (47)	101,397,760 4,500 (307)

＜対象者の抽出方法＞

各地点において、等間隔抽出法により、対象者（13～15 名）を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。なお、予備対象は用いないので、抽出しない。

1. 調査する地域の人が続けて記載されている（地番順）場合
 - ・指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人（台帳の一番初めの人ではなく、指定地域内居住の最初の人）を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正 4 年 9 月 2 日～昭和 60 年 9 月 1 日生まれ）であれば、第 1 対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（21 または 11）番目にあたる人を第 1 対象者として抽出する。
 - ・第 1 対象者が決まれば、第 1 対象者の次の人から、年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出…を繰り返す。
 - ・指定の町・丁目・字の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。

- ・抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する町・丁目・字に移り、先と一連のものとして抽出を続ける。

2. 調査する地域の人とそれ以外の人が入り混じっている（50 音順）場合

- ・指定の町・丁目・字（番地範囲）が含まれている台帳を用いて、あらかじめランダムに決定した「スタートの文字（カタカナ）」と同じ音で始まる姓の先頭の人から、年齢条件と地番条件に関係なくすべての人を数えて、「スタート番号（数字）」番目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正 4 年 9 月 2 日～昭和 60 年 9 月 1 日生まれで、指定地域に居住する）であれば、第 1 対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（11）番目にあたる人を第 1 対象者として抽出する。
- ・第 1 対象者が決まれば、第 1 対象者の次の人から、年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出、不適格であれば、次の人から数えて…を繰り返す。
- ・指定の町・丁目・字（番地範囲）の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。
- ・抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する町・丁目・字（番地範囲）を設定し、先と一連のものとして抽出を続ける。

注 1) 同一世帯内で 2 人目が抽出されそうになった場合には、2 人目は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

2) 抽出台帳が男女別に記載されている場合

①スタート番号が偶数の場合

対象者が 15 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 7 名(対象番号 09～15)

対象者が 14 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 7 名(対象番号 08～14)

対象者が 13 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 6 名(対象番号 08～13)

②スタート番号が奇数の場合

対象者が 15 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 8 名(対象番号 08～15)

対象者が 14 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 7 名(対象番号 08～14)

対象者が 13 名の地点：男 6 名(対象番号 01～06)、女 7 名(対象番号 07～13)

③抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順または 50 音順の方法に従う。

④男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性の抽出は、以下を適用する。

地番順の場合：男性の最終対象の番地の次の番地以降で抽出間隔を数えて行う

50 音順の場合：男性の最終対象の姓の次の姓以降で抽出間隔を数えて行う

なお、307 地点のうち、選挙人名簿の閲覧が許可されなかった 26 地点では、住民基本台帳から抽出を行った（兵庫県では 13 のすべての地点で、住民基本台帳からの抽出となった）。

<留置調査と面接調査の実施順序>

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行なうが、留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せる。調査員には、面接調査票の末尾に、面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか（面接→留置）、留置を先に実施し面接を後から実施したか（留置→面接）を記録させる。

<謝礼を渡すタイミング>

JGSS-2005 では、謝礼を 2 つ用意した。図書券（500 円×2 枚）とペンセット（3 本組）である。図書券は面接調査と留置調査が共に終了した時点で、ペンセットは調査の過程で調査員が適切と判断した時に渡した。

まず、すべての対象者に対して、調査の実施前に、「『生活と意識についての国際比較調査』へのご協力をお願い」の依頼状（封書）を郵送する。後日、調査員が訪問し、調査を実施するが、依頼状が届く日と調査員の訪問日の間が空き過ぎないように、依頼状は、調査員が実施時期の頃合いを見計らって投函する。依頼状には、「ご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが図書券 1,000 円分をご用意しております。」と記載している。

ペンセットは、調査の過程で調査員が適切と判断した時に、対象者に手渡しした。ペンセットについては、対象者に事前に送付する依頼状では触れていない。ペンセットを渡すのは、回収率を高めるためというよりは、調査に協力してくれた対象者に対して、調査の途中においても謝意を表して、調査全体をスムーズに終えるためである。

<調査員の訪問回数・訪問日・訪問記録>

JGSS のこれまでの調査では、「一時不在」などの理由で調査対象者に会えない場合でも、最低 4 回は対象者宅を訪問して、対象者に会えるように努力することを調査員に求めてきた。調査員の多くは、4 回以上に亘って対象者宅を訪問している。しかし、同じ日の午前中と午後に訪問する、あるいは平日ばかり 4 回訪問しても、対象者に会える確率は高まらないかもしれない。そこで、JGSS-2005 では、1) 対象者と会えるまで 4 日以上訪問する、2) 平日と休日（土日祝）の両方に訪問する、というルールを加えた。1 日に 2 回訪問してもかまわないが、この場合は 1 日としか数えないことにした。

JGSS ではこれまで、欠票となったすべてのケースについて「欠票調査票」を作成することを調査員に依頼してきたが、JGSS-2005 ではこれを取りやめた。その代わりに、調査員に、回収の有無に関係なくすべてのケースについて、面接調査票の表紙に、回収状況と訪問記録を記入することを求めた。訪問記録には、対象者に会えるまでのすべての訪問について、訪問日、訪問時間、話をした人（本人、家族のみ、不在）の記録を求めた。ただし、訪問が 10 回を超えた場合は、11 回以上の記録は残さなくてよいことにした。

さらに、面接調査票と留置調査票のどちらか一方でも回収できなかったケース（調査不能のケース）については、面接調査票の表紙の裏の頁（2 頁目）に、調査不能と決定した日時、調査不能の理由、そ

の具体的な状況、対象者の家の種類（一戸建て、集合住宅など）を記載することを調査員に求めた。対象者の家の種類を記録するのは、オートロックマンションの増加によって、集合住宅での調査不能件数が、一戸建て以上に増えているかどうかを確認するためである。

<実査>

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、社団法人中央調査社に委託した。なお、307 地点のうち、首都圏 11 地点と近畿圏 21 地点では、JGSS プロジェクト委員会メンバーを中心とする研究者が抽出を行った。これは、住民基本台帳ならびに選挙人名簿の閲覧制度をめぐる自治体の動きを把握し、名簿が特殊な配列の場合にも適切に抽出する方法を検討するためであった*。

実査は、中央調査社の調査員により、2005 年の 8 月下旬から 11 月上旬にかけて実施された。

* 「閲覧と抽出に関する調査」については、『JGSS 研究論文集』[5]「住民基本台帳の閲覧制度と社会調査—JGSS-2005 での抽出からみた問題点と対応—」（岩井紀子・稲葉太一）に詳しい。

(http://jgss.daishodai.ac.jp/japanese/5research/jgssm5pdf/jgssm5_13.pdf)

（岩井 紀子・保田 時男）

I.4 回収率ならびに欠票の分析

<回収率>

1) 回収率の定義

JGSS では、回収率を次の式で算出している。

$$\text{回収率 (\%)} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{抽出標本数} - \text{調査対象者として不適格であった標本数}} \times 100$$

算出にあたっては正規対象のみを用い、予備対象は含めていない。「不適格であった標本」の定義は、住所不明・転居・死亡・長期不在・病気・入院・その他の理由（抽出間違いによる年齢範囲外を含む）による欠票である。なお、JGSS-2001 以前は、住所不明・転居・死亡・年齢範囲外のみを不適格としている。

2) JGSS-2005 の回収率

JGSS-2005 の回収率は、以下のように算出される。

アタック数（計画標本サイズ）：4,500 ケース

有効回収数：2,023 ケース

回収率：50.5%

2,023/(4,500-住所不明 79-転居 190-長期不在 53-病気 96-入院 54-死亡 11

-その他 15)=2,023/4,002=50.5%

JGSS-2005 では、予備対象を用いない調査方法に変更された。欠票の理由が何であれ予備対象は全く使用していない。したがって、正規対象についての回収率と全体についての回収率はまったく同じである。

3) 抽出標本の年齢層分布

JGSS では、抽出標本および回答者の年齢層分布が母集団から偏っていないかどうかを、国勢調査データをもとにした母集団人口の年齢層分布と比較することで確認している。総務省統計局が平成 17 年国勢調査の結果をもとに発表している、2005 年 10 月 1 日現在の人口分布を、母集団人口の分布と考え、期待標本サイズや期待回答者数を算出している。

抽出標本の偏りについては、年齢層ごとに以下の計算式で残差を算出し、その目安としている。

$$\text{残差} = \frac{\text{抽出標本サイズ} - \text{期待標本サイズ}}{\sqrt{\text{期待標本サイズ}}}$$

表1が抽出標本の偏りを示す集計結果である。なお、標本サイズが4,498と4,500よりも2少ないのは、抽出間違いによる年齢対象外（1ケース）と年齢不詳者（1ケース）を除いたためである。残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する3シグマルール（参考：日本規格協会,1998「シェーハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J)）を準用するならば、20代の若年層が少ない傾向および、60代の壮年層が多い傾向が見られる。これらの偏りの傾向は、これまでのJGSSの傾向と同じものである。

表1 母集団と標本数の年齢階級別分布

年齢	人口比率 (2005.10)	抽出標本 サイズ	期待標本 サイズ	残差
20-29	0.1531	607	688.48	-3.11
30-39	0.1811	769	814.45	-1.59
40-49	0.1548	708	696.22	0.45
50-59	0.1866	895	839.17	1.93
60-69	0.1565	804	703.75	3.78
70-79	0.1165	528	524.17	0.17
80-89	0.0515	187	231.76	-2.94
合計	1.0000	4498	4498.00	

表2 回答者の年齢階級別分布

年齢	回答者数	期待 回答者数	残差
20-29	222	309.65	-4.98
30-39	292	366.31	-3.88
40-49	304	313.13	-0.52
50-59	401	377.42	1.21
60-69	430	316.51	6.38
70-79	283	235.75	3.08
80-89	91	104.23	-1.30
合計	2023	2023.00	

4) 回答者の年齢層分布

回答者の偏りについては、年齢層ごとに以下の計算式で残差を算出している。期待回答者数は、期待標本サイズと同様の方法で、全回答者を各年齢層に比例配分して算出している。

$$\text{残差} = \frac{\text{回答者数} - \text{期待回答者数}}{\sqrt{\text{期待回答者数}}}$$

表2が回答者の偏りを表す集計結果である。3シグマルールに従うならば、20～30代の若年層の回答者が少なく、60～70代の回答者が多い。これらの偏りの傾向は、これまでのJGSSの傾向と同じものであるが、前回調査（JGSS-2003）に比べると、偏りは緩和されている。

<欠票の分析>

1) 欠票の性・年齢層分布

JGSS-2005では、面接調査票か留置調査票のいずれか一方でも回収できなかった場合を欠票とし、面接調査票の2頁目に回収不能と決定した日時やその理由などを記録している。回収不能状況を記録した欠票のケース数は、2,477である（計画標本サイズ4,500－回収票数2,023）。

欠票の性別・年齢層別の分布は表3のとおりである。全体的な傾向は、これまでのJGSSと同様である。なお、ここで示しているのは欠票の発生率ではなく絶対数なので、標本の人口構造に依存している。参考のために、回答者の性別・年齢層別の分布を表4に示しておく。

表3 欠票の性別・年齢層別分布

単位：ケース数（%）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	207 (16.2)	261 (20.5)	221 (17.3)	257 (20.1)	188 (14.7)	106 (8.3)	36 (2.8)	1276
女性	178 (14.8)	216 (18.0)	183 (15.3)	237 (19.8)	186 (15.5)	139 (11.6)	60 (5.0)	1199
合計	385 (15.6)	477 (19.3)	404 (16.3)	494 (20.0)	374 (15.1)	245 (9.9)	96 (3.9)	2475

表4 回答者の性別・年齢層別分布

単位：ケース数（%）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	90 (9.8)	125 (13.6)	136 (14.8)	187 (20.3)	206 (22.4)	137 (14.9)	39 (4.2)	920
女性	132 (12.0)	167 (15.1)	168 (15.2)	214 (19.4)	224 (20.3)	146 (13.2)	52 (4.7)	1103
合計	222 (11.0)	292 (14.4)	304 (15.0)	401 (19.8)	430 (21.3)	283 (14.0)	91 (4.5)	2023

2) 欠票理由の分布

性別、年齢層別の欠票理由の分布は表5、6のとおりである。拒否を理由とする欠票が6割を超え、一時不在を理由とする欠票がこれに続く。細かく見ると、若年層に転居や一時不在による欠票が多く、高齢層に健康面での理由による欠票が多い。全体的な傾向は、これまでのJGSSの傾向と同じであるが、前回調査（JGSS-2003）と比べると、一時不在の割合が減り拒否の割合が増えている。

表5 年齢層別欠票理由比率（男性）

単位：ケース数（年代別%）

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
20-29	43 (20.8)	10 (4.8)		4 (1.9)	54 (26.1)	92 (44.4)		2 (1.0)	2 (1.0)	207
30-39	24 (9.2)	11 (4.2)		9 (3.4)	76 (29.1)	137 (52.5)	1 (0.4)	1 (0.4)	2 (0.8)	261
40-49	13 (5.9)	3 (1.4)		8 (3.6)	42 (19)	148 (67.0)	2 (0.9)	5 (2.3)		221
50-59	13 (5.1)	10 (3.9)		10 (3.9)	47 (18.3)	170 (66.1)	6 (2.3)		1 (0.4)	257
60-69	12 (6.4)	6 (3.2)			11 (5.9)	146 (77.7)	3 (1.6)	9 (4.8)	1 (0.5)	188
70-79	1 (0.9)	2 (1.9)	4 (3.8)	1 (0.9)	4 (3.8)	72 (67.9)	6 (5.7)	16 (15.1)		106
80-89	1 (2.8)		2 (5.6)		4 (11.1)	13 (36.1)	8 (22.2)	8 (22.2)		36
合計	107 (8.4)	42 (3.3)	6 (0.5)	32 (2.5)	238 (18.7)	778 (61.0)	26 (2.0)	41 (3.2)	6 (0.5)	1276

表6 年齢層別欠票理由比率（女性）

単位：ケース数（年代別％）

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
20-29	28 (15.7)	8 (4.5)		4 (2.2)	43 (24.2)	90 (50.6)	1 (0.6)	3 (1.7)	1 (0.6)	178
30-39	20 (9.3)	8 (3.7)		4 (1.9)	45 (20.8)	137 (63.4)			2 (0.9)	216
40-49	12 (6.6)	4 (2.2)		3 (1.6)	25 (13.7)	131 (71.6)	3 (1.6)	4 (2.2)	1 (0.5)	183
50-59	6 (2.5)	3 (1.3)	1 (0.4)	3 (1.3)	30 (12.7)	182 (76.8)	3 (1.3)	7 (3.0)	2 (0.8)	237
60-69	8 (4.3)	7 (3.8)		3 (1.6)	18 (9.7)	138 (74.2)	3 (1.6)	8 (4.3)	1 (0.5)	186
70-79	6 (4.3)	6 (4.3)	2 (1.4)	1 (0.7)	8 (5.8)	94 (67.6)	8 (5.8)	14 (10.1)		139
80-89	3 (5.0)	1 (1.7)	2 (3.3)	3 (5.0)	1 (1.7)	20 (33.3)	10 (16.7)	19 (31.7)	1 (1.7)	60
合計	83 (6.9)	37 (3.1)	5 (0.4)	21 (1.8)	170 (14.2)	792 (66.1)	28 (2.3)	55 (4.6)	8 (0.7)	1199

<補足>

1) 面接調査と留置調査の実施順序

面接調査票の裏表紙には、面接調査票と留置調査票の実施順序や、面接調査の所要時間などが記録されている。面接調査票と留置調査票の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮した調査員の状況判断に任されている。回収票に占める実施順序の内訳は表7の通りである。面接を先に行ったケースが8割以上の大多数を占めている。前回調査（JGSS-2003）に比べると、若干、留置が先の割合が増えている。

表7 調査票の順序の分布

単位：ケース数（％）

面接が先	留置が先	無回答	合計
1688 (83.4)	284 (14.0)	51 (2.5)	2023

2) 面接調査の調査時間

面接調査の所要時間の平均値および標準偏差は、表8のとおりである（時間が不明のケースを除く）。全体的に20分強が平均的な所要時間であるが、高齢者ほど時間が長くなる傾向がある。また、男性よりも女性の方が、若年者よりも高齢者の方が時間のばらつきが大きい傾向がある。

表8 性別・年齢層別の面接調査の平均所要時間

単位：分

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	20.2 (5.98)	19.9 (5.72)	21.1 (6.57)	22.9 (7.91)	23.8 (8.85)	25.1 (9.45)	27.4 (8.72)	22.7 (8.06)
女性	20.0 (6.61)	20.7 (6.35)	21.5 (6.52)	24.3 (8.75)	24.2 (8.61)	28.5 (14.04)	28.8 (15.09)	23.5 (9.58)
合計	20.2 (5.98)	19.9 (5.72)	21.1 (6.57)	22.9 (7.91)	23.8 (8.85)	25.1 (9.45)	27.4 (8.72)	22.7 (8.06)

注：カッコ内は標準偏差

3) 訪問回数

JGSS-2005 では、回収票についても欠票についても面接調査票の表紙で訪問回数や日時などを記録している。表 9 は、回収票について、回答者本人に会える（または欠票が決定する）までの訪問回数の平均値および標準偏差の分布をまとめたものである。男女差はほとんど見られず、若年者に対する訪問回数が多い（なかなか会えない）ことが分かる。

また、表 10 は欠票について、同様に訪問回数の平均値と標準偏差をまとめたものである。当然ながら全体的に回収票よりも訪問回数が多い。性別、年齢層別の傾向は回収票とほぼ同様であるが、中年男性に対する訪問回数が中年女性よりも多い傾向がある。なお、集計からは、訪問回数が不明なケースおよび事前に断られたケースは除いている。

表 9 性別・年齢層別の平均訪問回数（回収票）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	3.0 (1.94)	3.1 (1.82)	2.8 (1.73)	2.7 (1.57)	2.4 (1.44)	2.0 (1.34)	1.8 (1.00)	2.6 (1.63)
女性	3.3 (1.90)	2.4 (1.57)	2.7 (1.73)	2.6 (1.83)	2.0 (1.32)	1.8 (1.15)	1.7 (0.97)	2.4 (1.64)
合計	3.2 (1.92)	2.7 (1.71)	2.8 (1.73)	2.7 (1.71)	2.2 (1.39)	1.9 (1.25)	1.7 (0.98)	2.5 (1.64)

注：カッコ内は標準偏差

表 10 性別・年齢層別の平均訪問回数（欠票）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	3.6 (2.32)	4.1 (2.46)	3.6 (2.30)	3.4 (2.34)	2.5 (1.74)	2.2 (1.69)	2.5 (1.77)	3.4 (2.29)
女性	3.7 (2.39)	3.7 (2.48)	3.0 (2.01)	3.0 (2.27)	2.8 (2.21)	2.3 (1.76)	2.1 (1.25)	3.1 (2.25)
合計	3.6 (2.35)	3.9 (2.48)	3.4 (2.19)	3.3 (2.31)	2.6 (1.99)	2.3 (1.73)	2.3 (1.48)	3.2 (2.28)

注：カッコ内は標準偏差

（保田 時男・稲葉 太一）

I.5 データセットの重み付けについて（WEIGHT・家族を単位とする項目の推定）

この節では、JGSS-2005 データセットに付属する変数【WEIGHT】の作成方法、線形推定・比推定による推定結果の違いを概観し、データセット利用者が【WEIGHT】を使用するか否かを判断するための情報を提供する。また、家族、住宅を単位とする項目について集計する際に配慮すべき「家族の大きさ」の扱いについても説明する。

文中、アルファベットを【】で括った文字は、データセットにおける変数名を意味する。

1 線形推定と比推定

JGSS の標本設計では、全国の市町村を地域のブロック及び市郡規模により 18 の層に分け、その層の人口規模に応じて国勢調査（総務省）の調査区¹⁾を抽出、調査区からそれぞれ約 15 人の調査対象を無作為に抽出している²⁾（I.3 調査の方法 参照）。このため、抽出率の逆数を乗じて足し上げる線形推定の過程が単純化され、原理的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで属性（回答の選択肢）別構成比を推定することができる。

ところで、官公庁が標本調査により実施する指定統計調査などでは、結果の推定方法として、直近の全数調査などから得られた人口、従業者数等を補助情報として活用する比推定がよく用いられている。現実の標本調査である以上、偶然又は実務上の制約（不在や拒否）のため推定に偏りが生じることがあるので、少しでも精度を高めるために既存の情報を利用しようという試みである。

比推定には、線形推定と比較して（1）調査結果を単に構成比として比較するだけでなく、絶対量として意味を持たせることができる、（2）調査対象抽出に伴う偶然の偏りと未回収による情報の損失を補うことができる、（3）既存情報と基盤を合わせることで、調査独自の結果を分析することに集中できる、などのメリットがある。

諸外国の社会調査や類似の調査の結果を見ても、カナダやイタリアなどのいくつかの国では国勢調査や労働力調査を基にした比推定が行われている。また、米国の GSS については、比推定は行われていないものの、結果の分布は全数調査などと大差がないことが確認されており、これらの調査と分布を比較・分析する視点は重視されている（清水誠、2001）。

なお、比推定で用いる乗率＝「ウエイト」の作成方法は必ずしも一つに定まるものではなく、また、属性によっては補助情報に依存しないものもあるので、場合によっては比推定によりかえって推定値が現状から離れてしまうこともある。したがって、比推定やそのためのウエイトの選択はデータセット利用者が目的に応じて判断すべきものである。

注 1) 国勢調査の調査区は基本単位区を 2 つ程度結合して作成されている。基本単位区とは、住居表示実施地域においては街区を、住居表示実施地域以外の地域においては、街区に準じた区画を単位として設定されており、そこに含まれる世帯数はおおむね 25～30 世帯である。

注 2) 実際には、調査区の抽出は当該地点の最初の調査対象者を決めるために行われ、当該地点の他の調査対象者は当該地点を含む投票区（又はそれに周辺投票区を加えた地域）の中から選挙人名簿に沿って一定の間隔ごとに抽出される。

2 変数【WEIGHT】の作成方法

JGSS-2005 データセットには比推定用ウエイトとして変数【WEIGHT】が付属する。これは、調査票 1 枚が代表する人数「基準人口」／「JGSS-2005 回答者数」を、次のように母集団を 144 の区分に分割（そのうち回答者がいない郡部の 4 区分を各々対応する市部の区分に統合）して計算することにより作成されたものである。

地域別（6 区分）×市郡別（2 区分）×男女別（2 区分）×年齢 10 歳階級別（6 区分）
--

（年齢 10 歳階級別のうち、70～79 歳と 80～89 歳は、統合して 1 区分とする）。

この方法は、前回 JGSS-2003 の【WEIGHT】を踏襲している（佐藤朋彦、2005）。

(1) 基準人口

【WEIGHT】の分子となる基準人口を上記の区分ごとに得るために、以下のように計算した。

ア 地域別×男女×年齢 10 歳階級別 2005 年人口

「2005 年国勢調査確定人口」（都道府県、男女、年齢各歳別）（総務省）を元に、区分ごとに人口を算出する。

なお、年齢不詳人口は各年齢階級に按分を行い、人口の合計が総数と一致するようにした。

イ 地域別×市郡部×男女×年齢 10 歳階級別 2005 年人口

2005 年は、多くの市町村再編が行われたため、JGSS-2005 の市部・郡部の区分と 2005 年国勢調査の市部・郡部の区分には乖離が生じており、2005 年国勢調査の市部・郡部人口を直接使うことができない。そこで 2000 年国勢調査人口を 2005 年 3 月 31 日現在の市郡別に組み替えることにより、地域別×男女×年齢 10 歳階級別の市郡別人口割合を求め、上記アで算出した 2005 年人口に区分ごとに乗じる方法で推計した。

(2) 回答者数

【WEIGHT】の分母は、全国の回答者数 2,023 を上記の 144 の区分に分割することで求めた。

区分別回答者数の度数分布を見ると、回答者が存在しないところが 4 区分、1 枚の調査票だけで当該区分の人口を代表させるところが 4 区分発生している。前者 4 区分については、各々市部の対応する区分に統合してウエイトを作成している。後者 4 区分についても便宜的に近隣の区分と統合することもできるが、ここでは行っていない。

回答者数	度数	区分
0	4	近畿郡部（男）30～39、近畿郡部（男）70～89 近畿郡部（女）30～39 中国・四国郡部（男）20～29
1	4	関東郡部（男）40～49 中国・四国郡部（女）20～29 中国・四国郡部（女）40～49 九州郡部（男）30～39
2	9	北海道・東北郡部（女）20～29 など郡部
3	7	略
4	8	〃
5 ～	36	〃
10 ～	40	〃
20 ～	19	〃
30 ～	7	〃
40 ～	7	〃
50 ～	3	関東市部（女）30～39、関東市部（女）50～59 関東市部（女）60～69
計	144	

(3) 【WEIGHT】

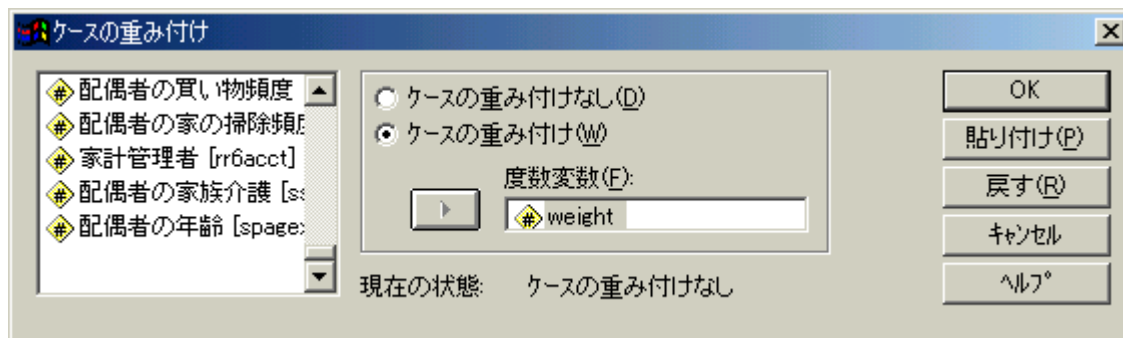
(1) を (2) で除することにより得られる【WEIGHT】は、表 1-1 及び表 1-2 のとおりである。なお、回答者がゼロとなった郡部の 4 区分を各々対応する市部の 4 区分に統合してから【WEIGHT】を算出している。線形推計では調査票 1 枚 1 枚の回答は同じ重みで集計されるが、この【WEIGHT】を用いる比推計では、調査票が属する区分のウェイトにより回答の軽重が異なってくる。すなわち、推計人口に対して回答者数の少ない層の回答を重めにするように推計が補正される。【WEIGHT】の度数分布を見ると、もっとも大きい【WEIGHT】を持つ区分は関東郡部(男)40～49 歳であり、以降郡部を中心に続いている。

【WEIGHT】	度数	区分
300,000～	1	関東郡部(男)40～49(=323,336)
200,000～	1	九州郡部(男)30～39
150,000～	3	関東郡部(女)60～69 中国・四国市部(女)20～29、中国・四国郡部(女)40～49
100,000～	8	略
90,000～	3	〃
80,000～	10	〃
70,000～	10	〃
60,000～	18	(【WEIGHT】の平均 62,374) 〃
50,000～	28	〃
40,000～	18	〃
30,000～	29	〃
20,000～	11	最小は、北海道・東北市部(女)60～69(=21,041)
計	140	

3 SPSS において【WEIGHT】により重み付けをする方法

JGSS のデータセットは、SSJ データアーカイブから SPSS 形式ファイルで提供されている。SPSS の以下の操作により各ケースが【WEIGHT】で重み付けされる。

- (1) メニューバーから「データ (D)」→「ケースの重み付け (W)」
- (2) 「ケースの重み付け」ダイアログから「ケースの重み付け (W)」を選択、「度数変数 (F)」として変数【WEIGHT】を指定したのちに「OK」



重み付けがされると、SPSS ウィンドウのステータスバーに「重み付きオン」と表示される。重み付けを解除するには、ダイアログの「ケースの重み付けなし (D)」を選択する。



4 家族を単位とする項目の推定に必要な重み付け

JGSS では、個人を単位とした標本抽出により調査対象を決めており、家族、住宅などを抽出単位としてはいない。そのため、JGSS データセットを使って家族を単位とする集計、分析を行うのであれば、2人以上の家族の「標本」は1人暮らしの「標本」よりも扱いを小さくするよう、単位を整える必要がある。

JGSS-2005 データセットには、変数「家族人数（本人含む）」【SZFFTTL】が用意されているので、この逆数（ $1 \div \text{【SZFFTTL】}$ ）によりケースを重み付けすることで、家族を単位とする事項の推定を適切に行うことができる。

家族を単位として分析をする場合、この重み付けは、【WEIGHT】を使用するしないにかかわらず留意すべきことである（個人又は世帯員単位で分析をする際には、家族人数の逆数による重み付けは不要である。）。

なお、【WEIGHT】を使用しつつ家族を単位とする項目の推定をする場合には、利用者は【WEIGHT】 $\div$ 【SZFFTTL】を計算して、この値を持つ変数によりケースを重み付けすればよい。

家族、住宅などの単位で分析が想定される変数として、以下のものを挙げることができる。

面接票

- 問 25-1 子どもの人数【CCNUMTTL】
- 問 27 家族人数（本人含む）【SZFFTTL】
- 問 28-1 別居家族人数（本人除く）【SZFFOUT】
- 問 30 世帯年収【SZHSINCM】

留置票

- Q8 家族そろった夕食：頻度【FQ7FFDNR】
- Q28-1 住居の所有関係【OWNHOUSE】
- Q28-2 住居の建て方【TPHOUSE】
- Q32 世帯収入のレベル【OP5FFINX】
- Q33 15歳の頃の世帯収入レベル【OPFFIX15】
- Q34 生活水準向上機会の有無【OP5CHNCA】
- Q44 自宅周辺の危険場所の有無【FEARWALK】
- Q45 空き巣被害経験【XSTOLN1Y】

5 線形推定と比推定による推定結果の比較

3で作成した【WEIGHT】を使用して、線形推定と比推定による JGSS-2005 の推定結果を属性別構成比にして比較してみる（表 2-1、表 2-2）。

参考として、JGSS-2005 調査の前後に実施された回答者数の大きな他の調査の結果も、データの妥当性を見るために対比させている。

なお、ここでの構成比は、無回答を欠損値として集計しており、基本的には構成要素をすべて合計すると 100.0 になる。

- (1) 地域、男女、年齢の 3 項目は、【WEIGHT】作成の際の補助情報として用いているので、【WEIGHT】を用いたこれらの項目の集計結果（比推定による結果）は、必然的に参考値と一致する。例えば、年齢「20～29 歳」の占める割合は、線形推定によると 11.0%しかなく、これは参考値(15.3%)と比べて 4.3%ポイント低くなっているが、比推定では 15.3%に膨らみ、参考値と一致する。

なお、市町村の規模別については、調査設計段階では「大都市」、「その他の市」、「郡部」と 3 区分であったのを、【WEIGHT】作成においては、前 2 区分を統合して「市部」と「郡部」にしたことと、市町村再編の影響によって、参考値とは一致しない。

- (2) 配偶関係の「未婚」の割合は、線形推定では 15.4%と参考値（23.1%）に比べてかなり低くなっているが、比推定による結果では 19.9%となり、参考値に近くなる。これは、線形推定（原データ）では割合が小さかった未婚率の高い若年層が、比推定では参考値（現状）に近い割合に調整されるからである。家族を単位とする項目でも、比推定の方が参考値に近くなる場合が多い。このように比推定は、線形推定に対して、補助情報として参照した属性に基づく補正を行った分析を可能とする。比推定により参考値との差が縮小する属性は、補助情報として用いた地域、男女、年齢の属性のいずれかと関係があるものと考えられる。

- (3) 一方、比推定によりむしろ現状から離れてしまうこともある。例えば、職業の中の「販売」と「運輸・通信」の構成比を見ると、線形推定は参考値よりも高いが、比推定ではさらに高くなっている。このように比推定により参考値との差が拡大する属性は、補助情報として用いた属性のいずれとも関係が弱いものと見られる。

表 2-2 構成比の推定値(家族単位)

●各個人の値を当該個人の「家族の大きさ」の逆数(1÷【SZFFTTTL】)で加重する場合

	JGSS-2005		参考値		
	線形推定	比推定			
家族人数(本人含む)【SZFFTTTL】					
単身	22.2	22.5	23.4	2004年7月国民生活基礎調査 (厚生労働省)	注8
2人	34.0	30.7	28.0		
3人	20.4	21.7	19.5		
4人	14.0	15.4	17.8		
5人以上	9.4	9.6	11.3		
住宅の種類【OWNHOUSE, TPHOUSE】					
持ち家・戸建て	70.9	67.8	53.3	2005年10月国勢調査(総務省)	注8 注9
持ち家・集合住宅	5.8	6.4	9.5		
借家・戸建て	4.5	4.4	3.8		
借家・集合住宅	18.7	21.2	33.3		
その他	0.1	0.2	0.2		
世帯の年間収入【SZHSINCM】					
250万円未満	32.1	30.0	24.7	2005年7月国民生活基礎調査 (厚生労働省)	注8 注10
250万円以上450万円未満	26.9	26.7	23.6		
450万円以上1000万円未満	30.6	32.5	36.6		
1000万円以上	10.4	10.8	15.1		

注8 JGSSでは、家族人数は一時的に自宅を出ている者も含んで数えるが、参考値では除いている。また、参考値では、20歳未満又は90歳以上のみから構成される世帯を含む。

なお、JGSS2002・2003の「基礎集計表・コードブック」のこの集計では、変数「家族人数(本人含む)」

【SZFFTTTL】には、回答者の「同居の有無(本人)」【FFRESIDE】が「本人のみ(ひとり暮らし)」の場合、888(非該当)が代入されるため、事前に【SZFFTTTL】の 888 を 1 に置換する必要がある。JGSS2000・JGSS2001では、「同居家族人数」【SZFFHERE】の逆数を使用して、家族を単位とする項目の推計の重み付けをしている。

注9 留置票による集計。「建て方」【TPHOUSE】のその他を「その他」に区分している。参考値では、一戸建を「戸建て」に、長屋建及び共同住宅を「集合住宅」に、その他を「その他」に区分。

なお、JGSS2003以前の「基礎集計表・コードブック」のこの集計では、「住居形態」【TP8DWEL】を使用して集計している。

注10 参考値の調査結果の階級の刻みは 100～200万円、200～300万円、…となっており、JGSSのそれとは異なる。

そのため、参考値では、100～200万円に属する割合の半分を100～150万円に、もう半分を150～200万円に便宜的に配分することで擬似的に刻みを合わせた。

[参考文献]

佐藤朋彦, 2005, 「日本版 General Social Surveys JGSS-2003 基礎集計表・コードブック」東京大学社会科学研究所

清水誠, 2001, 「JGSS 第 2 回予備調査 データセットのウエイトについて」SSJ Data Archive Research Paper Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター

槇田直木, 2003, 「日本版 General Social Surveys JGSS-2001 基礎集計表・コードブック」東京大学社会科学研究所

槇田直木, 2004, 「日本版 General Social Surveys JGSS-2002 基礎集計表・コードブック」東京大学社会科学研究所

総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/> 「国勢調査」「労働力調査」「就業構造基本調査」

内閣府政府広報室 <http://www8.cao.go.jp/survey/index.html> 「国民生活に関する世論調査」

厚生労働省大臣官房統計情報部 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html> 「国民生活基礎調査」

(岡本 政人)

表 1-1 市部の推計人口、回答者数及び【WEIGHT】

		全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
市 部 男	基準人口							
	20～89歳	39,802,269	4,002,571	14,985,101	6,942,096	6,969,601	3,182,648	3,720,252
	20～29	6,705,317	655,611	2,647,165	1,113,527	1,154,676	499,268	635,070
	30～39	7,837,534	700,411	3,188,257	1,353,447	1,370,445	571,961	653,013
	40～49	6,338,759	650,597	2,423,115	1,108,500	1,062,019	490,448	604,080
	50～59	7,547,274	813,115	2,705,955	1,319,658	1,311,554	645,698	751,294
	60～69	6,101,931	586,098	2,269,155	1,075,123	1,154,914	485,945	530,696
	70～89	5,271,454	596,739	1,751,454	971,841	915,993	489,328	546,099
	回答者数							
	20～89歳	746	91	210	173	116	80	76
	20～29	73	6	21	13	18	7	8
	30～39	109	14	34	23	18	9	11
	40～49	112	17	42	20	12	9	12
	50～59	153	17	36	45	18	18	19
	60～69	163	21	40	43	29	16	14
	70～89	136	16	37	29	21	21	12
	【WEIGHT】							
	20～89歳							
	20～29		109,268	126,055	85,656	64,149	91,747	79,384
	30～39		50,029	93,772	58,846	85,284	63,551	59,365
	40～49		38,270	57,693	55,425	88,502	54,494	50,340
	50～59		47,830	75,165	29,326	72,864	35,872	39,542
	60～69		27,909	56,729	25,003	39,825	30,372	37,907
	70～89		37,296	47,337	33,512	52,424	23,301	45,508
市 部 女	基準人口							
	20～89歳	42,050,956	4,460,261	14,954,739	7,233,301	7,600,486	3,536,934	4,265,235
	20～29	6,452,565	652,109	2,411,480	1,050,054	1,177,925	501,562	659,435
	30～39	7,648,131	718,548	2,952,652	1,281,954	1,408,267	585,007	701,703
	40～49	6,286,036	684,301	2,255,006	1,080,898	1,102,308	509,892	653,631
	50～59	7,693,785	857,732	2,674,476	1,324,892	1,384,033	661,137	791,515
	60～69	6,524,045	673,308	2,325,660	1,128,441	1,234,199	542,364	620,073
	70～89	7,446,394	874,263	2,335,465	1,367,062	1,293,754	736,972	838,878
	回答者数							
	20～89歳	902	118	270	200	129	91	94
	20～29	114	16	38	24	21	3	12
	30～39	146	21	51	27	15	21	11
	40～49	138	15	43	28	23	8	21
	50～59	172	17	50	48	27	17	13
	60～69	186	32	50	42	24	19	19
	70～89	146	17	38	31	19	23	18
	【WEIGHT】							
	20～89歳							
	20～29		40,757	63,460	43,752	56,092	167,187	54,953
	30～39		34,217	57,895	47,480	105,330	27,857	63,791
	40～49		45,620	52,442	38,604	47,926	63,736	31,125
	50～59		50,455	53,490	27,602	51,260	38,890	60,886
	60～69		21,041	46,513	26,868	51,425	28,545	32,635
	70～89		51,427	61,460	44,099	68,092	32,042	46,604

表 1-2 群部の推計人口、回答者数及び【WEIGHT】

		全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
郡部男	基準人口							
	20～89歳	9,889,568	1,806,305	1,870,757	2,253,661	1,021,677	1,262,236	1,674,932
	20～29	1,288,512	217,400	264,490	309,979	137,490	142,962	216,191
	30～39	1,545,937	259,665	314,506	387,367	164,669	175,491	244,239
	40～49	1,631,916	304,022	323,336	364,966	166,038	191,142	282,412
	50～59	1,956,304	359,115	374,133	433,266	195,635	253,273	340,882
	60～69	1,633,715	300,689	304,596	366,587	172,937	221,124	267,782
	70～89	1,833,184	365,414	289,696	391,496	184,908	278,244	323,426
	回答者数							
	20～89歳	174	40	26	47	14	16	31
	20～29	17	3	5	5	2	—	2
	30～39	16	3	4	5	—	3	1
	40～49	24	5	1	6	2	2	8
	50～59	34	6	5	10	5	3	5
	60～69	43	9	5	11	5	3	10
	70～89	40	14	6	10	—	5	5
	【WEIGHT】							
	20～89歳							
	20～29		72,467	52,898	61,996	68,745	—	108,096
	30～39		86,555	78,626	77,473	—	58,497	244,239
	40～49		60,804	323,336	60,828	83,019	95,571	35,302
	50～59		59,852	74,827	43,327	39,127	84,424	68,176
	60～69		33,410	60,919	33,326	34,587	73,708	26,778
	70～89		26,101	48,283	39,150	—	55,649	64,685
郡部女	基準人口							
	20～89歳	10,766,841	1,992,661	1,920,765	2,389,253	1,129,010	1,426,965	1,908,187
	20～29	1,249,140	203,831	248,586	294,996	137,461	141,737	222,529
	30～39	1,535,605	256,201	301,010	373,195	171,686	178,574	254,939
	40～49	1,610,589	298,779	303,319	354,691	171,803	194,222	287,775
	50～59	1,924,526	353,569	355,597	425,009	199,400	252,503	338,448
	60～69	1,778,018	343,886	307,091	386,854	185,284	247,336	307,567
	70～89	2,668,963	536,395	405,162	554,508	263,376	412,593	496,929
	回答者数							
	20～89歳	201	38	38	47	20	19	39
	20～29	18	2	7	2	2	1	4
	30～39	21	5	3	7	—	2	4
	40～49	30	4	10	7	4	1	4
	50～59	42	9	11	8	5	5	4
	60～69	38	7	2	9	5	5	10
	70～89	52	11	5	14	4	5	13
	【WEIGHT】							
	20～89歳							
	20～29		101,916	35,512	147,498	68,730	141,737	55,632
	30～39		51,240	100,337	53,314	—	89,287	63,735
	40～49		74,695	30,332	50,670	42,951	194,222	71,944
	50～59		39,285	32,327	53,126	39,880	50,501	84,612
	60～69		49,127	153,546	42,984	37,057	49,467	30,757
	70～89		48,763	81,032	39,608	65,844	82,519	38,225

表 2-1 構成比の推定値（個人単位）

回答者数 n= 2023

(%)

	JGSS-2005		参考値			
	線形推定	比推定				
地域【BLOCK】						
北海道・東北	14.2	12.0	12.0	2005年10月国勢調査(総務省)		
関東	26.9	32.9	32.9			
中部	23.1	18.4	18.4			
近畿	13.8	16.3	16.3			
中国・四国	10.2	9.2	9.2			
九州	11.9	11.3	11.3			
市町村の規模【SIZE】						
政令市等	18.3	19.7	23.8	2005年10月国勢調査(総務省)		注1
その他の市	63.1	60.8	62.6			
町村(郡部)	18.5	19.5	13.6			
男女【SEXA】						
男	45.5	48.5	48.5	2005年10月国勢調査(総務省)		
女	54.5	51.5	51.5			
年齢【AGEB】						
20～29	11.0	15.3	15.3	2005年10月国勢調査(総務省)		
30～39	14.4	18.1	18.1			
40～49	15.0	15.5	15.5			
50～59	19.8	18.7	18.7			
60～69	21.3	15.6	15.6			
70～89	18.5	16.8	16.8			
配偶関係【DOMARRY】						
有配偶	72.8	69.3	64.0	2005年10月国勢調査(総務省)		
離死別	11.8	10.9	12.9			
未婚	15.4	19.9	23.1			
最終学校(本人)【XXLSTSCH, DOLSTSCH】						
小学・中学	23.0	20.3	23.2	23.8	左:2000年10月国勢調査 (総務庁) 右:2002年10月就業構造基本 調査(総務省)	注2
高校・旧中	45.3	44.8	46.3	43.6		
短大・高専	13.9	14.1	12.5	13.7		
大学・大学院	17.8	20.7	18.0	18.9		
世帯属性【FFHEAD】						
世帯主	47.1	46.4	49.1	2005年6月国民生活に関する世論調査 (内閣府)		注3 注4
就業状態【XJOB1WK, TP5UNEMP】						
従業①	60.6	63.7	60.2	2005年9月労働力調査(総務省)		注3 注5
休業②	1.0	1.1	1.0			
失業	1.4	1.9	2.6			
家事	22.6	20.6	16.3			
学生	0.7	1.1	2.0			
その他 注5	13.6	11.7	17.9			
従業上の地位【TP12JOB】①+②						
経営者・役員③	7.7	7.4	6.3	2005年9月労働力調査(総務省)		注3
常雇④	48.3	53.3	67.0			
臨時雇・パート・アルバイト⑤	21.4	19.4	11.6			
派遣社員⑥	1.4	1.5	-			
自営業主・内職	14.3	12.5	10.5			
家族従業者	6.9	5.9	4.7			

表 2-1 構成比の推定値（個人単位）（続き）

回答者数 n= 2023

(%)

	JGSS-2005		参考値		
	線形推定	比推定			
企業の従業者数【SZTTLSTA】③～⑥					
1～29人	37.4	36.4	31.0	2005年9月労働力調査(総務省)	注6 注7
30～99人	13.4	12.8	16.2		
100～499人	14.7	14.9	18.4		
500～999人	6.3	6.4	6.1		
1000人以上	14.8	16.2	18.1		
官公庁	13.4	13.2	10.3		
産業【XXWPL】①＋②					
第1次産業	6.1	5.3	4.9	2005年9月労働力調査(総務省)	注3
第2次産業	26.2	26.5	27.0		
第3次産業	67.8	68.2	68.1		
職業【XXJOB】①＋②					
専門的・技術的	15.2	16.1	15.2	2005年9月労働力調査(総務省)	注7
管理的	2.6	2.4	2.9		
事務	22.2	22.2	19.7		
販売	15.6	15.7	14.2		
サービス	10.0	9.5	10.1		
保安	0.7	0.9	1.8		
農林漁業	6.1	5.3	4.7		
運輸・通信	4.3	4.6	3.2		
生産工程・労務作業	23.3	23.3	28.3		
労働時間【XJOBHWK】①					
1～14時間	6.5	5.9	5.2	2005年9月労働力調査(総務省)	注3
15～34時間	20.4	18.3	18.7		
35～42時間	31.2	30.8	29.6		
43～48時間	18.3	19.3	17.1		
49～59時間	12.7	13.5	16.8		
60時間以上	10.9	12.2	12.8		
生活の程度【OP5LEVK】					
上	0.5	0.5	0.8	2005年6月国民生活に関する世論調査 (内閣府)	注3
中の上	9.6	10.0	9.1		
中の中	43.9	42.8	56.3		
中の下	36.8	38.1	26.1		
下	9.2	8.6	7.6		

注1 参考値は、2005年10月1日までの市町村再編が全て反映されている。

注2 在学中の者は、すべて「大学・大学院」に含めた。参考値(左)は、85～89歳を除き、参考値(右)は、90歳以上を含む。

注3 参考値では、90歳以上を含む。

注4 参考値では、「主として世帯を支えている」について尋ねている。

なお、JGSS2002・JGSS2003の「基礎集計表・コードブック」でのこの世帯主の集計では、変数「世帯主」【FFHEAD】には、回答者の「同居の有無(本人)」【FFRESIDE】が「本人のみ(ひとり暮らし)」の場合、88(非該当)が代入されているため、事前に【SZFFTTL】の88を0(本人)に置換する必要がある。JGSS2000・JGSS2001では、「家族1:世帯主」【FF01HEAD】を使用して、世帯主の集計をしている。

注5 JGSSでは、先週「仕事をしていない」と答えて先週の状況について回答しなかった者は「その他」に含めた。

注6 JGSSでは、【TP4WPLA】を使って官公庁を区分。

注7 参考値では、15～19歳及び90歳以上を含む。

I.6 JGSS 関連の文献

白書・政府刊行物

中小企業庁編, 2005, 『中小企業白書 2005 年版』ぎょうせい.

内閣府編, 2006, 『平成 18 年版経済財政白書』pp.276-278.

ホームページ

Wikipedia 日本語版「社会調査」

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A4%BE%E4%BC%9A%E8%AA%BF%E6%9F%BB>

図書

阿部正大・新雅史・石田浩・佐藤雅浩・高橋康二・立石祐二・中澤篤史・三輪哲・渡辺彰規, 2006, 『JGSS から読む日本人の行動と意識』SSJ Data Archive Research Paper Series 33 (SSJDA-33), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, 88p.

赤川学, 2004, 『子どもが減って何が悪い!』(ちくま新書 511) 筑摩書房.

橋本健二, 2006, 『階級社会 現代日本の格差を問う』講談社, 226p.

本田由紀, 2005, 「子どもというリスク」橋本俊詔編『現代女性の労働・結婚・子育て』ミネルヴァ書房, pp.65-93.

石田浩, 2003, 「社会階層と階層意識の国際比較」樋口美雄・財務省財務総合政策研究所編『日本の所得格差と社会階層』日本評論社, pp.105-126.

ISHIDA, Hiroshi, 2005, “Class Mobility and Subjective Social Status in Japan,” 尾嶋史章編『現代日本におけるジェンダーと社会階層に関する総合的研究』同志社大学文学部, pp.141-159.

石田浩, 2006, 「学校から職場への移行」労働政策研究・研修機構編『現代日本人の視点別キャリア分析—日本社会の劇的な変化と労働者の生き方』pp.9-38.

岩井紀子・佐藤博樹編, 2002, 『日本人の姿 JGSS にみる意識と行動』有斐閣.

岩井紀子・保田時男, 2007, 『調査データ分析の基礎—JGSS データとオンライン集計の活用—』有斐閣, 296p.

川上淳之・玄田有史, 2006, 『就業二極化と性行動—出生現象のミクロ的背景—』DISCUSSION PAPER SERIES J-147, 東京大学社会科学研究所, 25p.

木村雅文, 2005, 「若者のところを探る」永井広克編著『若者と現代社会』学文社, pp.163-180.

前田幸男, 2007, 「性別役割分業と政治参加」永井暁子・松田茂樹編『対等な夫婦は幸せか』勁草書房, pp.97-118.

松田茂樹, 2005, 「現代日本における母親の就労の子どもへの影響に関する規範意識」渡辺秀樹編, 叢書 21COE-CCC 多文化世界における市民意識の動態 6『現代日本の社会意識 家族・子ども・ジェンダー』慶應義塾大学出版会, pp.85-105.

- 西村幸満・石田浩, 2001, 『JGSS-2000 調査（2000 年 11 月）職業・産業コーディングインストラクション』 SSJ Data Archive Research Paper Series 18 (SSJDA-18), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, 22p.
- 大橋正彦, 2005, 「循環型社会におけるエコ価格政策とその診断—2002 年 JGSS データの解析結果より—」 日本経営診断学会編 『経営診断学の基礎理論と未来展望』 同友館.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2000, 『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 1 回予備調査基礎集計表・コードブック』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2001, 『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査基礎集計表・コードブック』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2002, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2000 基礎集計表・コードブック』 東京大学社会科学研究所資料第 19 集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2003, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2001 基礎集計表・コードブック』 東京大学社会科学研究所資料第 21 集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2004, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2002 基礎集計表・コードブック』 東京大学社会科学研究所資料第 23 集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2005, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2003』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2006, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS 累積データ 2000-2003』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2002, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS でみた日本人の意識と行動』 東京大学社会科学研究所資料 第 20 集, 東京大学社会科学研究所, 204p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2003, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS でみた日本人の意識と行動』 東京大学社会科学研究所資料 第 22 集, 東京大学社会科学研究所, 249p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2004, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS でみた日本人の意識と行動』 東京大学社会科学研究所資料 第 24 集, 東京大学社会科学研究所, 289p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2005, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS でみた日本人の意識と行動』 大阪商業大学比較地域研究所, 317p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2006, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS でみた日本人の意識と行動』 大阪商業大学比較地域研究所, 202p.
- 大阪商業大学比較地域研究所編, 2004, 『JGSS 国際シンポジウム 2003 報告書』.
- 大阪商業大学比較地域研究所編, 2006, 『JGSS Colloquium 2005 報告書』.

- 佐藤博樹・石田浩・池田謙一編著, 2000, 『社会調査の公開データ：2 次分析への招待』東京大学出版会, 260p.
- 清水誠, 2001, 『JGSS 第2回予備調査データセットのウエイトについて』SSJ Data Archive Research Paper Series 14 (SSJDA-14), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, 17p.
- 橘木俊詔・浦川邦夫, 2006, 『日本の貧困研究』東京大学出版会, 358p.
- 谷岡一郎, 2000, 『「社会調査」のウソーリサーチ・リテラシーのすすめ』文藝春秋, 222p.
- 安野智子, 2006, 『重層的な世論形成過程 メディア・ネットワーク・公共性』東京大学出版会 210p.

論文

- 安藏伸治, 2001, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) と人口学研究への応用」人口学研究会編『人口学研究会紀要』No.43, p.8.
- 安藏伸治, 2002, 「離婚の推移とその要因—アメリカと日本の離婚について—」『統計』10 月号, pp.16-22.
- 安藏伸治, 2003, 「離婚とその要因—わが国における離婚に関する要因分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.25-45.
- 安藏伸治, 2004, 「少子社会の結婚—JGSS-2000, JGSS-2001, および JGSS-2002 を用いて—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.13-28.
- 安藏伸治, 2004, 「未婚化、晩婚化、非婚化の実証分析—なぜ『いい人』がいないのか—」『ESTRALA』2005.5 月 (No.134), pp.3-11.
- 朝倉真粧美, 2006, 「無回答の発生要因」『社会学研究科年報』2006 No.13, pp.41-54.
- HARA, Hitomi and KAWAGUCHI, Daiji, 2006, “What Do Unions Do in Japan?,” COE/RES Discussion Paper Series, No.171, pp.1-46.
- 橋本健二, 2006, 「アンダークラス化する若年層—近代的階級構造の変貌—」『社会学年報』No.35, pp.19-46.
- 林拓也, 2004, 「職業志向の多元的構造を捉える枠組み—プロファイル法によるコンジョイント分析モデルの適用に向けて—」『人文学報』349 号, 東京都立大学, pp.67-88.
- 本田由紀, 2002, 「継続教育訓練経験の国際比較—JGSS-2000 と国際成人識字調査結果より—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.69-80.
- 本田由紀, 2003, 「若年労働市場における非典型雇用の拡大とその背景—JGSS-2000 と JGSS-2001 の統合データを用いて—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.47-59.
- 本田由紀, 2004, 「高校教育・大学教育のレリバンス」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.29-44.
- 星野崇宏・前田忠彦, 2006, 「傾向スコアを用いた補正法の優位抽出による標本調査への応用と共変量の選択法の提案」『数理統計』Vol.54, No.1, pp.191-206.

- 池田謙一, 2005, 「政治的・非政治的ネットワークは社会関係資本を育み、政治のリアリティを規定するか—JGSS-2003 ソーシャルネットワーク項目群の分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.169-203.
- 稲葉太一, 2002, 「全国調査での層化 2 段抽出法における最適な地点数割り当て法—JGSS-2000 の地点数割り当ての評価—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.185-191.
- 稲葉太一, 2005, 「JGSS でみる層化 2 段抽出法の地点数割当数の精度評価—JGSS-2000 での割り当てを例にとって—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.219-224.
- 石田章・會田陽久, 2005, 「消費者の有機農産物購買行動に関する一考察—JGSS・2002 データを用いて—」日本農業市場学会編『農業市場研究』第 14 巻第 2 号（通巻 62 号）, pp.45-54.
- 石田浩, 2002, 「世代間移動からみた社会的不平等の趨勢—JGSS-2000 にみる最近の傾向—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.17-31.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, “Inequality in Access to Higher Education in Post-war Japan,” ISS Discussion Paper Series No. F-111, Institute of Social Science, University of Tokyo, pp.1-35.
- 石田浩, 2004, 「社会的不平等と階層意識の国際比較」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.149-161.
- 石田浩, 2005, 「後期青年期と階層・労働市場」『教育社会学研究』第 76 集（2005 年）, pp. 41-57.
- 石井将智, 2004, 「人間観と厳罰観について」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.215-226.
- 岩井八郎, 2002, 「加齢と生活保障—JGSS-2000 による高齢者の分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.45-54.
- 岩井八郎, 2003, 「経験の連鎖—JGSS-2000/2001 による「体罰」に対する意識の分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.113-125.
- 岩井紀子, 2000, 「日本の総合社会調査 Japanese General Social Surveys」佐藤博樹・石田浩・池田謙一編『社会調査の公開データ: 2 次分析への招待』東京大学出版会, pp.83-87.
- 岩井紀子, 2000, 「＜プロジェクト概要＞日本版 GSS の構想と経過報告—1999～2003 年度共同研究」『Milepost』第 3 号, pp.1-2.
- 岩井紀子, 2000, 「アメリカにおける公開データを利用した研究と教育の現状と JGSS データのもたらす可能性」, SSJ データ・アーカイブ第 4 回公開セミナー『公開データを利用した研究と教育のあり方: データ・アーカイブと 2 次分析』(11 月 20 日; 東京大学社会科学研究所) SSJ Data Archive Research Paper Series 13 (SSJDA-13), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.30-34.

- 岩井紀子, 2001, 「<JGSS 発>第 1 回本調査 (JGSS2000) の実施」『Milepost』第 6 号, 大阪商業大学比較地域研究所, pp.5-6.
- 岩井紀子, 2001, 「JGSS プロジェクトの紹介と予備調査の結果から」『中央調査報』No.528, pp.1-4.
- 岩井紀子, 2001, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) と家族測定項目—第 1 回予備調査データの検討」『家族社会学研究』第 12 号, pp.261-270.
- 岩井紀子, 2001, 「家族意識についての実証的研究—JGSS-2000 の結果から—」大阪商業大学商経学会第 224 回研究発表会『大阪商業大学論集』第 124 号, p.165.
- 岩井紀子, 2002, 「<墓>意識の多様化の背景—JGSS-2000 データ分析を通して—」『大阪商業大学論集』第 124 号, pp.57-72.
- 岩井紀子, 2002, 「生涯学習と余暇」『東大阪市生涯学習情報ニュース』No.8, p.1.
- 岩井紀子, 2003, 「<墓>意識の多様化の背景—JGSS-2000/2001 のデータ分析を通して—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.163-178.
- 岩井紀子, 2003, 「JGSS プロジェクト (2) 調査方法と調査項目」『統計』11 月号, pp.48-55.
- 岩井紀子, 2004, 「Japanese General Social Surveys: Beginning and Development, 4th edition」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.241-271.
- 岩井紀子, 2004, 「JGSS プロジェクト (7) JGSS データの活用と展望」『統計』4 月号, pp.53-56.
- IWAI, Noriko, 2004, “Japanese General Social Survey: Beginning and Development,” ZA (Zentralarchiv für Empirische Sozialforschung an der Universität zu Köln) -Information No.55, pp.99-113.
- IWAI, Noriko, 2005, “Japanese General Social Surveys (2) Methodological Experiments in Administering the Questionnaire, Incentives, Scales and Wording,” ZA (Zentralarchiv für Empirische Sozialforschung an der Universität zu Köln) -Information, No.57, pp.83-102.
- 岩井紀子・稲葉太一, 2006, 「住民基本台帳の閲覧制度と社会調査—JGSS-2005 での抽出からみた問題点と対応—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.161-177.
- 岩井紀子・穴戸邦章, 2006, 「JGSS 累積データ 2000-2003 にみる日本人の意識と行動の変化」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-17.
- 川上淳之, 2006, 「就業の多様化と性行動—JGSS を用いた性頻度の日米比較試論—」
- 木村雅文, 2002, 「現代日本人の宗教意識—JGSS-2000 からのデータを中心として—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.125-134.
- 木村雅文, 2003, 「現代日本人と“家の宗教”—JGSS-2000/2001 からのデータを中心として—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.145-162.

- 木村雅文, 2004, 「現代日本の新聞読者層—JGSS-2002 からのデータをもとにして—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.59-75.
- 小磯かをる, 2005, 「成人教育としての英語教育に関する一考察—JGSS 等の世論調査から見える特性と問題点」『大阪商業大学論集』第 138 号 pp.13-23.
- 小磯かをる, 2005, 「日本人英語学習者の動機付け—JGSS-2003 のデータ分析を通して—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.79-91.
- KOISO, Kaoru, 2006, “The Characteristics of Motivation of Japanese Adult English Learners from JGSS-2003 Data,” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.95-104.
- 小磯かをる, 2006, 「英語学習経験と英語使用が日本人の英語力に及ぼす影響—JGSS のデータ分析を基に」『日本英語コミュニケーション学会紀要』第 15 巻 第 1 号, pp.141-149.
- 小島宏, 2002, 「選択肢提示順による性別選好規定要因の相違」『よろん・日本世論調査協会報』89 号, pp.13-16.
- 小島宏, 2003, 「子どもに関する意識の規定要因—人口問題意識調査（1990/1995）と JGSS-2000/2001 の比較分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-24.
- 小島宏, 2004, 「子どもに関する意識の規定要因—JGSS-2000/2001/2002 と台湾社会変遷基本調査 2001 の比較分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-11.
- 小島宏, 2004, 「中立的回答選択の規定要因—JGSS 予備調査 Split Ballot の分析—」『よろん・日本世論調査協会報』第 93 号, pp.11-15.
- 小島宏, 2005, 「アレルギー疾患の規定要因—JGSS-2002 の予備的分析と探索的コンテクスチュアル分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.47-77.
- KOJIMA, Hiroshi, 2006, “A Comparative Analysis of Fertility-Related Attitudes in Japan, Korea and Taiwan,” F-GENS Journal, No.5, pp.324-336.
- KONDO, Ayako, 2006, “Does the First Job Really Matter? State Dependency in Employment Status in Japan,” 大阪大学社会経済研究所森口賞入選論文.
- 前田幸男, 2006, 「就業と家庭における性役割分業が政治参加に与える影響について」『共働社会の到来とそれをめぐる葛藤—人間関係—』SSJ Data Archive Research Paper Series 35 (SSJDA-35), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.32-57.
- 松本渉, 2004, 「NPO の組織化原理と環境状況」東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻学位論文.
- 松本渉, 2004, 「NPO に参加する人々の背景要因の解明」東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター『多様な働き方の構造分析』SSJ Data Archive Research Paper Series 30, pp.71-110.

- 松本渉, 2006, 「組織に対する信頼の安定性—JGSS 累積データ 2000-2003 を用いた多母集団同時分析—」
大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論
文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.59-69.
- 松谷満, 2002, 「宗教性と社会意識—キリスト教信者アンケート調査を事例に—」『ソシオロジ』第 47
巻 1 号, pp.91-108.
- 松谷満, 2004, 「社会意識の規定因としての宗教—「信者」層・「家の宗教」層・「無宗教」層の比較—」
大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論
文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.187-198.
- MIWA, Satoshi, 2005, “Educational Homogamy in Contemporary Japan,” Social Science Japan 33, Institute of
Social Science, The University of Tokyo, pp.9-11.
- 三輪哲, 2006, 「JGSS 累積データ 2000-2003 にみる現代日本の世代間社会移動パターン」大阪商業大学
比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS
で見た日本人の意識と行動』pp.47-58.
- 三輪哲, 2006, 「離婚と社会階層の関連にかんする試論的考察」『共働社会の到来とそれをめぐる葛藤—
夫婦関係—』SSJ Data Archive Research Paper Series 34 (SSJDA-34), 東京大学社会科学研究所附
属日本社会研究情報センター, pp.45-30.
- 宮田尚子, 2006, 「職場への帰属意識と相談ネットワーク」2005 年度修士論文 同志社大学大学院文学
研究科社会学専攻, 73p.
- 水落正明, 2006, 「学卒直後の雇用状態が結婚タイミングに与える影響」『生活経済学研究』第 22・23
巻合併号, pp.167-176.
- 水落正明, 2006, 「保育サービスの量的・質的充実が女性の就業と出産に与える影響」『東北経済学会誌』
2005 年度版, pp.45-49.
- 中尾啓子, 2002, 「地位達成過程における転職—JGSS-2000 調査データを用いての検討—」大阪商業大学
比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000
で見た日本人の意識と行動』pp.1-16.
- 中尾啓子, 2002, 「階層帰属意識と生活意識」『理論と方法』Vol.17, No.2, pp.135-149.
- 中尾啓子・池田謙一・安野智子, 2003, 「JGSS-2003 ネットワークモジュールに向けて—予備調査の結
果報告—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys
研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.193-232.
- 中尾啓子, 2005, 「複合ネットワークの概要—3 種類の社会ネットワークの複合と重複—」大阪商業大学
比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS
で見た日本人の意識と行動』pp.131-152.
- 西川真規子, 2002, 「夫婦の労働供給に関する一考察—JGSS-2000 データによる検討—」大阪商業大学比
較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000
で見た日本人の意識と行動』pp.33-44.
- 西村幸満, 2001, 「書評『社会調査の公開データ：2 次分析への招待』」『ESTRELA』(4 月), pp.58-59.

- 西村幸満, 2002, 「就業者における所得関数の計測—JGSS-2000 からみた日本の雇用システムの一側面—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.55-68.
- 西村幸満, 2003, 「自営業：就業選択と所得関数の推計—JGSS-2000 と JGSS-2001 を利用して—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.61-74.
- 西村幸満, 2004, 「収入決定における教育、職業、役職の効果—JGSS データにみる長期雇用存続の検証—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.135-147.
- 西村幸満, 2004, 「2 世代内初大学入学者に生じる格差（1）—個票データを用いた因果モデルの時点間比較—」関西国際大学高等教育研究所『高等教育研究叢書』No.5, pp.1-17.
- 西村幸満, 2005, 「老後の不安—不安要因のトレンドと規定要因の変遷」『季刊社会保障』第 41 巻 1 号, pp.4-11.
- 野崎祐子, 2006, 「男女間賃金格差の要因分解—学歴別検証—」『生活経済学研究』第 22・23 巻合併号, pp.151-166.
- NUKAGA, Misako, 2006, “Xenophobia and the Effects of Education: Determinants of Japanese Attitudes toward Acceptance of Foreigners,” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.191-202.
- 大橋正彦, 2004, 「JGSS-2002 データにみるわが国消費者のエコ諸行動とその規定因」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.93-107.
- 大橋正彦, 2004, 「JGSS-2002 年データによる持続可能な価格政策に関する実証研究」大阪商業大学商経学会『大阪商業大学論集』第 133 号, pp.25-47.
- 大橋正彦, 2005, 「わが国消費者の情報探索行動とその規定因—JGSS-2003 データによる検証結果—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.17-32.
- 大橋正彦, 2006, 「わが国消費者における環境行動の規定因と持続可能マーケティング—JGSS-2002 のデータより—」, 『大阪商業大学論集』第 141 号, pp.123-139.
- 大槻茂実, 2006, 「外国人接触と外国人意識—JGSS-2003 データによる接触仮説の再検討—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.149-159.
- 大澤美苗, 2004, 「JGSS プロジェクト（5）海外の社会調査：米国とオーストラリア」『統計』2 月号, pp.52-59.
- 大澤美苗, 2004, 「JGSS プロジェクト（6）海外の社会調査：韓国・中国・台湾」『統計』3 月号, pp.55-61.
- 大澤美苗, 2004, 「JGSS 国際シンポジウム 2003 〈報告〉」『Milepost』第 11 号, pp.9-11.
- 大澤美苗, 2004, 「JGSS の表彰 〈報告〉」『Milepost』第 11 号, p.12.
- 大澤美苗, 2005, 「第 2 期 JGSS プロジェクトの構想」『Milepost』第 13 号, pp.1-2.

- 尾崎裕子, 2004, 「飼育動物の選択には何が影響を与えるか—日本版総合社会調査を用いて—」『Animal Nursing』 Vol.8, No.2, pp.12-24.
- 尾崎裕子, 2004, 「ペット飼育の規定要因—日本版総合社会調査マイクロデータを用いて—」『生活経済学研究』 第 19 巻, pp.21-34.
- 佐野茂, 2005, 「地域への愛着と子どもへの関わりに関する一考察—JGSS-2003 データより—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.33-46.
- 佐野茂, 2006, 「家庭教育の変容に関する一考察 —戦前と戦後の比較考察論から—」『大阪商業大学論集』 第 142 号, pp.51-62.
- SATO, Hiroki, 2000, “The Japanese General Social Survey: Aims and Rational,” Social Science Japan, No.19, pp.27-29.
- 佐藤博樹, 2000, 「データアーカイブと『実証的』な社会科学研究」『ESTRELA』 (6 月) , pp.2-6.
- 佐藤博樹, 2001, 「日本版 GSS と社会科学研究」『よろん・日本世論調査協会報』 87 号, pp.5-9.
- 佐藤博樹, 2003, 「JGSS の授業への利用：日本社会学会での報告・議論を参考に」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.233-236.
- 佐藤香, 2004, 「JGSS-2002 にみる働きかたの多様化・雇用条件・職業観」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.109-120.
- 佐藤香, 2005, 「多様化する働きかたとライフスタイル—2003 年 JGSS 調査データより—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.1-15.
- 佐藤香, 2006, 「働きかたの多様化とライフスタイル—JGSS 累積データ 2000-2003 による分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.19-31.
- 佐藤朋彦・佐藤博樹, 2006, 「データアーカイブの役割と S S J データアーカイブの現状：実証研究における再現性を担保するために」『日本労働研究雑誌』 pp.42-54.
- 佐藤智子, 2006, 「市民社会における学級・講座の意義—社会教育と地方行政の計量分析—」『東京大学大学院教育学研究科紀要』 第 45 巻, pp.317-324.
- 重松洋司・谷岡一郎, 2001, 「男性的文化（マッチョ・カルチャー）と麻雀—特に囲碁および宝くじとの比較研究を中心として—」『Gambling & Gaming』 pp.15-35.
- 島田貴仁, 2004, 「JGSS による犯罪リスク知覚と犯罪被害の測定—他の犯罪被害調査との比較—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.227-240.
- 嶋崎尚子, 2006, 「社会調査教育におけるデータアーカイブの活用—JGSS 2 次分析演習の事例—」『ESTRELA』 2006 年 6 月 (No.147) , pp.10-13.

- 清水誠, 2002, 「所得が出生に及ぼす影響—JGSS-2000 への Butz and Ward Model の適用—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.149-158.
- 清水洋平, 2005, 「労働時間はいかにして決まるか? 個人の意識を規定要因とした分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.257-271.
- 篠崎武久, 2004, 「非就業・非在学・非求職中の若年無業者 (NEET) に関する一考察—日本版総合社会調査 (JGSS) から見る NEET、失業者、就業者の比較—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.121-134.
- 篠崎武久, 2005, 「再分配政策への支持を決定する要因—先行研究の結果と JGSS データを用いた分析結果の比較—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.205-218.
- 篠崎武久, 2006, 「JGSS から見た主観的階層の経年変化」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.33-45.
- 穴戸邦章, 2006, 「高齢期における社会的ネットワークの「多様性」—JGSS-2003 データを用いた「相談」ネットワークの分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.119-134.
- 杉田陽出, 2002, 「日本人のペットの存在感に関する一考察: 日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査のデータを基に」『大阪商業大学論集』第 124 号, pp.73-86.
- 杉田陽出, 2002, 「JGSS-2000 のデータにみる同居世帯人数がペットの評価に及ぼす影響: 同居している子どもの有無の観点から」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.135-147.
- 杉田陽出, 2002, 「日本人のペットの飼育時間に影響を及ぼす要因について: 飼育者の属性を中心として」『大阪商業大学論集』第 126 号, pp.51-64.
- 杉田陽出, 2003, 「犬の飼育と犬に対する愛着度が飼い主の身体的健康と精神的健康に及ぼす効果: JGSS-2001 のデータから」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.127-143.
- 杉田陽出・岩井紀子, 2003, 「JGSS プロジェクト (3) 測定尺度と選択肢」『統計』12 月号, pp.49-56.
- 杉田陽出, 2004, 「JGSS-2000 と JGSS-2001 のデータに見る犬の飼い主の健康状態」『大阪商業大学論集』第 132 号, pp.101-122.
- 杉田陽出, 2004, 「英語の学習経験が日本人の英会話力に及ぼす効果: JGSS-2002 のデータから」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.45-57.
- 杉田陽出, 2005, 「子どもの代替としての犬の役割に関する一考察: JGSS のデータから」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.111-129.

- 杉田陽出, 2005, 「子どもの代替としての猫の役割に関する一考察：犬に関する分析結果との比較を含めて」『大阪商業大学論集』第 138 号, pp.25-40.
- SUGITA, Hizuru, 2006, “The relationship between the presence of children and the degree of attachment to dogs in Japanese households: Using JGSS data,” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.105-118.
- 田鹿鈴子, 2005, 「イデオロギーの果たす役割—保革イデオロギーは支持政党・政策態度の決定に影響しているか? 日本版 General Social Surveys (JGSS) の分析から—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.273-284.
- 高橋和子, 2002, 「JGSS-2000 における職業・産業コーディング自動化システムの適用」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.171-183.
- 高橋和子, 2003, 「JGSS-2001 における職業・産業コーディング自動化システムの適用」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.179-191.
- 高橋和子, 2004, 「職業コーディングにおける ROCCO システムと SVM の組み合わせ」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.163-174.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2004, 「ルールベース手法と機械学習による自由回答の分類—職業コーディング自動化の方法—」『理論と方法』Vol.19 No.2, pp.177-196.
- 高橋和子・須山敦・村山紀文・高村大也・奥村学, 2005, 「職業コーディング支援システム (NANACO) の開発と JGSS-2003 における適用」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.225-241.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2005, 「機械学習とルールベースの組み合わせによる自動職業コーディング」『言語処理学会論文誌 自然言語処理』Vol.12 No.2, pp.4-23.
- 高橋和子, 2006, 「統計処理に向けたテキスト型データのコーディング方法—カテゴリーに自動分類する場合—」原純輔編『学術資源学の構想—平成 15~17 年度科学研究費補助金 (萌芽) 論文集—』pp.57-70.
- 高山育子, 2002, 「就学前教育の制度化と「三歳児神話」—JGSS-2000 データによる規定要因分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.159-169.
- 田辺俊介, 2001, 「外国人への排他性と接触経験」『社会学論考』第 22 号, pp.1-14.
- 田辺俊介, 2004, 「国別好感度から見る「日本人」の世界認知—JGSS 第一次予備調査を用いて—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.199-213.
- 谷岡一郎, 2002, 「将棋を好む人、囲碁を好む人—どう違うのか、なぜ違うのか—」『余暇活動における代替行動選択』仮説の検証—大阪商業大学アミューズメント産業研究所『Gambling & Gaming』vol.4, pp.1-14.

- 谷岡一郎, 2002, 「宝くじは社会的弱者への税金か?—JGSS-2000 データによるナンバーズ・ミニロトとの比較研究: 「Friedman=Savage モデル」の日本における検証を兼ねて—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.107-124.
- 谷岡一郎, 2003, 「マッちょ・カルチャーと犯罪被害経験—JGSS-2001 データによるルーティーン・アクティビティ・セオリーの検証: 暴行、空き巣、強盗の比較を兼ねて—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.93-112.
- 谷岡一郎・岩井紀子, 2003, 「JGSS プロジェクト (1) 誕生とその背景」『統計』10月号, pp.47-54.
- 谷岡一郎, 2004, 「カジノ合法化に対する日本人の意識—JGSS-2002 データによる地域差、都市化レベル、そして社会的属性の研究—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.77-92.
- 谷岡一郎・大澤美苗, 2004, 「JGSS プロジェクト (4) 調査方法の国際比較」『統計』1月号, pp.47-54.
- 谷岡一郎・梁亨恩, 2004, 「カジノ合法化に対する日本人の意識—JGSS-2002 データより—」『ギャンブリング・ゲーミング学研究』創刊号, pp.40-47.
- 谷岡一郎, 2005, 「パチンコ・パチスロをする人々—JGSS-2002 によるプレイ比率、頻度、そして使用金額に関する研究—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.93-109.
- 谷岡一郎・岩井紀子, 2005, 「国際比較可能なマイクロデータの提供を目指して—JGSS プロジェクトの意義と課題—」『ESP (Economy Society Policy)』3月号, pp.68-74.
- 谷岡一郎, 2006, 「力の誇示・英雄願望 (マッちょ・カルチャー) の発露としてのカラオケ—JGSS-2001 データによるカラオケ選択とプレイ頻度に関する仮説実証研究—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.83-94.
- 戸口愛泰, 2003, 「結婚観における因子的不変性の検討—JGSS2000 データを用いて—」『人間科学』第59号, pp.191-203.
- 都村聞人, 2006, 「教育費負担に影響を及ぼす諸要因—JGSS-2002 データによる分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.135-148.
- TSUTSUI, Jun'ya, 2005, "Factors of Late Marriage; A Survival Analysis of Life Courses for Marriage in Japan," NUCB Journal of Economics and Information Science Vol.49 No.2, pp.223-234.
- 渡辺朝子, 2006, 「母親の就業が子どもに与える影響—その意識を規定する要因の分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.179-189.
- 保田時男, 2004, 「大規模サンプルに対する一般化 χ^2 適合度検定—JGSS データへの適用例—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.175-186.

- 保田時男, 2005, 「JGSS データによる父学歴の欠損メカニズムの分析—〈わからない〉と〈無回答〉の違い—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp. 243-256.
- 保田時男, 2006, 「反復横断調査としての JGSS の意義—調査間隔の短さがもつ利点」早稲田社会学会編『社会学年誌』47 号, pp.19-33.
- 保田時男, 2006, 「社会調査のデータ解析テキストをめぐる問題—学生インタビューの結果から—」『大阪商業大学論集』第 142 号, pp.87-98.
- 安野智子・池田謙一, 2002, 「JGSS-2000 にみる有権者の政治意識」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.81-105.
- 安野智子, 2003, 「JGSS-2001 にみる有権者の政治意識」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.75-91.
- 安野智子, 2005, 「JGSS-2003 にみるパーソナル・ネットワークと政治意識」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.153-167.
- 安野智子, 2006, 「JGSS 累積データ 2000-2003 にみる政党支持および政党評価の規定要因」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.71-82.

報告書

- 青森大学社会学部吉村治正研究室編, 2001, 『青森生活意識調査第一回調査報告』.
- 青森大学社会学部吉村治正研究室編, 2002, 『青森生活意識調査第二回調査報告』.
- 青森大学社会学部吉村治正研究室編, 2003, 『青森生活意識調査第三回調査報告』.
- 青森大学社会学部吉村治正研究室編, 2003, 『青森生活意識調査第四回調査報告』.
- 同志社大学文学部社会学科社会学専攻, 2002, 「社会現象を読み解く—JGSS データの二次分析を中心に—」(2001 年度社会調査実習報告書, 指導担当: 藤本昌代).
- 小島宏, 2004, 「日本・韓国・台湾における子どもに関する意識の規定要因—JGSS-2000/2001/2002、KNFS-2000、TSCS-2001 の比較分析—」『韓国・台湾・シンガポール等における少子化と少子化対策に関する比較研究平成 15 年度総括研究報告書』pp.26-54.
- 近藤克則(研究代表者), 2005, 『社会経済的因子による「健康における不平等」の研究』平成 14 年度～平成 16 年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究成果報告書.
- 三輪哲, 2005, 「父不在・無職層の帰結—将来の地位達成格差とその意味—」平成 15 年度～平成 16 年度 科学研究費補助金 基盤研究(B)(1) 研究成果報告書(尾嶋史章代表)『現代日本におけるジェンダーと社会階層に関する総合的研究』pp.223-234.
- 西村幸満, 2006, 「2 世代内初大学入学者に生じる格差(1)—個票データを用いた因果モデルの時点間比較—」『ユニバーサル段階における“大学第一世代”への学習支援に関する基礎的研究』平成 15～17 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2) 研究成果報告書, pp.5-19.

- 東洋大学社会学部社会調査室, 2002, 『2001 年度社会調査および実習 21 調査報告書 家族・ジェンダー関係についての社会学的考察』（担当教員：西村純子）。
- 東洋大学社会学部社会調査室, 2002, 『2001 年度社会調査及び実習 31 調査報告書 社会階層と社会的ネットワーク』（担当教員：竹之下弘久）。
- 東洋大学社会学部朝靄校舎社会調査室編, 2004, 『2003 年度社会調査及び実習 19 「職業生活と家族生活に関する計量社会学」 調査報告書』（担当教員：竹之下弘久）。

報告

- 安藏伸治, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (5) GSS と JGSS を用いた分析例と課題」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』 p.23.
- 安藏伸治, 2000, 「共通論題 A 情報化時代の人口統計：人口研究発展のための個票レベルのデータの公開」『第 52 回日本人口学会大会』 pp.40-42.
- 安藏伸治, 2001, 「離婚に関する要因分析：日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査を用いて」『第 53 回日本人口学会大会』 p.128.
- 安藏伸治, 2002, 「離婚の要因と背景」『日本人口学会第 54 回大会要旨集』 pp.17-19.
- 朝倉真粧美, 2004, 「社会調査における「不明回答」」『第 77 回日本社会学会大会報告要旨』 p.132.
- 朝倉真粧美, 2005, 「面接調査と留置調査の無回答」『日本社会心理学会第 46 回大会論文集』 pp.222-223.
- 古谷嘉一郎・浦光博, 2006, 「犯罪防止に役立つ地域内活動・地域間活動・インターネットのチカラー地域内・地域間活動・インターネット利用は犯罪防止に役立つのか？」『日本グループダイナミックス学会 第 53 回大会論文集』 pp.82-85 (日本グループダイナミックス学会 優秀発表賞)
- 稲葉太一・岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (2) JGSS 第 2 回予備調査の回収率と欠票の分析」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.26.
- ISHIDA, Hiroshi, 1999, “Social Science Japan Data Archive and Japanese General Social Surveys,” Japan Sociologists Network Panel, 94th Annual Meeting of the American Sociological Association, Chicago.
- ISHIDA, Hiroshi, 2000, “Doing Social Science Research in Japan: Data Archives and Japanese General Social Surveys,” 4th Annual Asian Studies Conference Japan.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, “Educational Expansion and Inequality in Access to Higher Education in Japan,” 98th Annual Meeting of the American Sociological Association August 16-19 2003, Atlanta, USA.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, “Educational Expansion and Inequality in Access to Higher Education in Japan,” Research Committee 28 on Social Stratification, International Sociological Association, New York, USA.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, “Class Structure, Intergenerational Mobility and Status Consciousness in Japan and Industrial Nations,” Thematic Lecture Series on East Asia [Theme 3]: Social Inequality, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- ISHIDA, Hiroshi, 2004, “Does Class Matter in Japan? Demographics of Class Structure and Class Mobility in Comparative Perspective,” Conference on Researching Social Class in Japan, Center for Japanese Studies, University of Michigan, March 20-21, Michigan, USA.
- 岩井紀子, 1999, 「日本版 GSS の第 1 回予備調査を用いた家族測定項目の検討」『第 9 回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.82-83.

- 岩井紀子, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (3) Split -Ballot による質問項目の検討」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』 p.21.
- 岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (1) JGSS 第 2 回予備調査の目的と方法」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.25.
- 岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備データによる調査方法論上の検討—謝礼のタイミングの影響および Split-Ballot による質問項目の検討」『日本社会心理学会第 41 回大会発表論文集』 pp.118-119.
- 岩井紀子, 2001, 「＜墓＞意識の多様化の背景—JGSS 第 1 回本調査 (JGSS-2000) のデータ分析を通して—」『第 74 回日本社会学会大会報告要旨』 p.218.
- 岩井紀子, 2003, 「配偶関係と幸福感の関係から」日本健康心理学会第 16 回大会会員企画シンポジウム I 心と体の健康を創る: QOL の視点から『第 16 回大会発表論文集』 p.55.
- IWAI, Noriko, 2003, “Research Designs for the JGSS,” Thematic Lecture Series on East Asia [Theme 1] Social Surveys in East Asia, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- IWAI, Noriko, 2003, “Japanese General Social Surveys: Beginning and Development,” 『JGSS 国際シンポジウム 2003 報告書』 (2004) 大阪商業大学比較地域研究所, pp.161-184.
- IWAI, Noriko, 2003, “Research Designs for the JGSS,” Thematic Lecture on Japanese and Korean Social Surveys, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taiwan.
- IWAI, Noriko, 2004, “Japanese General Social Surveys: Beginning and Development,” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences (ed.), 36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts (Papers Presented in Sessions), pp.82-83.
- IWAI, Noriko, 2004, “The Diversification of Attitudes toward Graves: Based on Japanese General Social Surveys (JGSS-2000/2001),” Proceedings for EASS Conference 2004, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea, p.20.
- IWAI, Noriko, 2005, “Gender Differences in Attitudes toward Graves: Based on Japanese General Social Surveys (JGSS-2000/2001),” Abstract Book for Women’s Worlds 2005: 9th International Interdisciplinary Congress on Women, Ewha Womens University, Seoul, Korea.
- IWAI, Noriko, 2006, “On East Asian Social Surveys,” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2005 報告書』 pp.25-29.
- 岩井紀子, 2006, 「Japanese General Social Surveys (JGSS) の取り組みと最近の成果の紹介」, 第 326 回関西社会心理学研究会 (2006.5.20 大阪商業大学)
- 岩井紀子・穴戸邦章, 2006, 「日本人の意識と行動の変化—JGSS 累積データ 2000-2003 にみるトレンド—」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨』 p.48.
- IWAI, Noriko and SHISHIDO, Kuniaki, 2006, “Trends of Japanese Values and Behavioral Patterns based on JGSS Cumulative Data 2000-2003,” EASS Conference 2006, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.
- 木村雅文, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (2) JGSS 予備調査の目的と方法」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』 p.20.

- 小磯かをる, 2005, 「世論調査にみる日本人英語学習者と動機付け」 日本英語コミュニケーション学会 第 31 回関西支部フォーラム.
- 小磯かをる, 2005, 「日本人の英語能力とその規定要因—JGSS のデータ分析を基に」 日本英語コミュニケーション学会第 14 回年次大会.
- KOJIMA, Hiroshi, 2001, “The Development of the Japanese General Social Surveys and Its Relevance to Korea,” The Academy of Korean Studies Colloquium, Seoul, Korea.
- 小島宏, 2001, 「選択肢提示順による性別選好規定要因の相違」 日本世論調査協会 2001 年度研究大会.
- KOJIMA, Hiroshi, 2001, “Determinants of Japanese Attitudes toward Fertility and Policy Interventions: A Comparative Analysis of the IPP 1990/1995 Surveys and the JGSS-2000,” 2001 Second Annual Meeting of the Population Association of Korea, Yonsei University, Seoul, Korea.
- KOJIMA, Hiroshi, 2002, “Who Are More Likely to Make a Neutral Choice in Japan? : The Case of Opinion about Non-Obligation to Have Children After Marriage,” International Conference on Improving Surveys (ICIS 2002) , 25-28 August 2002, University of Copenhagen, Denmark.
- 小島宏, 2002, 「一般的理想子ども数の規定要因—人口問題意識調査（1990/1995）と JGSS-2000 の比較分析—」『第 75 回日本社会学会大会報告要旨』 p.231.
- KOJIMA, Hiroshi, 2003, “Determinants of Attitudes toward Children in Japan: An Analysis of Split-Ballots in the JGSS,” Paper presented at the 54th Session of the International Statistical Institute, 13-20 August 2003, Berlin, Germany.
- 小島宏, 2003, 「中立的回答選択の規定要因—JGSS 予備調査 Split Ballot の分析—」 2003 年度日本世論調査協会研究大会, p. 9.
- KOJIMA, Hiroshi, 2003, “Determinants of Japanese Attitudes toward Children,” Seminar on Japanese Marriage and Fertility and Japanese Attitude towards Children, Institute of Policy Studies, Singapore.
- KOJIMA, Hiroshi, 2003, “Determinants of Attitudes toward Children: A Comparative Analysis of the JGSS-2000/2001 and the Taiwan Social Change Survey 2001,” Max Planck Institute for Demographic Research Seminar, Rostock, Germany.
- KOJIMA, Hiroshi, 2004, “Determinants of Gender Preference for Children in Japan: A Comparison with Korea,” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences (ed.) , 36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts (Papers Presented in Sessions) , pp.82-83.
- KOJIMA, Hiroshi, 2004, “Determinants of Attitudes toward Children in Japan and Taiwan: A Comparative Analysis of JGSS-2000/2001/2002 and TSCS-2001,” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences (ed.) , 36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts (Papers Presented in Sessions) , pp.101-102.
- 小島宏, 2004, 「社会調査による疫学的研究の可能性—JGSS-2002 を用いたアレルギー性疾患要因分析」『2004 年度統計関連学会連合大会講演報告集』 pp.255-256.
- 小島宏, 2005, 「日本・台湾・韓国における子どもに対する意識の規定要因」『第 14 回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.38-39.
- 小島宏, 2005, 「東アジアにおける宗教と出生意識」『日本人口学会 第 57 回大会報告要旨集』 2005 年 6 月 4 日・5 日, 神戸大学, pp.45-46.

- KOJIMA, Hiroshi, 2005, “Gender Preference for Children in Japan, Korea and Taiwan: A Comparative Analysis of JGSS, KNFS and TSCS,” Abstracts of Women’s Worlds 2005, 9th International Interdisciplinary Congress on Women, Ewha Womens University, Seoul, Korea, June 19–24, 2005, p.56.
- KOJIMA, Hiroshi, 2005, “Determinants of Attitudes toward Children in Japan, Korea and Taiwan: A Comparative Analysis of JGSS, KNFS and TSCS,” Proceedings of the IUSSP XXV International Population Conference, Tours, France, pp.1–10.
- 小島宏, 2005, 「JGSS-2002 によるアレルギー疾患要因のコンテクスチュアル分析」『環境経済・政策学会 2005 年大会報告要旨集』(CD-ROM), pp.116–117.
- KOJIMA, Hiroshi, 2005, “A Comparative Analysis of Fertility-Related Attitudes in Japan, Korea and Taiwan,” Proceedings of the International Conference on Low Fertility and Rapid Aging in East and South East Asian Societies, Dong-A University, Pusan, Korea, pp.1–25.
- KOJIMA, Hiroshi, 2006, “A Contextual Analysis of Allergies in Japan, Drawing on the JGSS-2002 Micro-Data and the PRTR Macro-Data”, Proceedings of the International Workshop on Spatio-Temporal Modelling (METMA3), Pamplona, Spain, 27–29 September 2006, pp.197–201.
- 小島宏, 2006, 「外国人に関する意識の規定要因—ESS と JGSS の比較分析—」『日本社会学会第 79 回大会報告要旨集』 p.344.
- KONDO, Ayako, 2005, “State Dependency in Employment Status in Japan – Does the First Step Matter?,” 日本経済学会 2005 年度春季大会.
- 松本渉, 2004, 「NPO 参加者の背景分析」『2004 年度組織学会研究発表大会報告要旨集』 pp.49–52.
- MATSUNAGA, Yoshiho, 2006, “Is time more variable than money?,” The 35th Annual ARNOVA Conference Association for Research on Nonprofit Organizations and Voluntary Action (ARNOVA) .
- 中尾啓子, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (4) 国際比較上の問題点 (GSS との比較)」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』 p.22.
- 中尾啓子, 2001, 「階層帰属意識と生活意識」『日本行動計量学会第 29 回発表論文抄録集』 pp.38–39.
- 中尾啓子, 2002, 「選択肢の選択：日米調査データにおける職業価値観の比較から得られた知見」『日本行動計量学会第 30 回大会発表論文抄録集』 pp.352–353.
- 仁平典宏, 2003, 「＜市民＞と「ボランティア」の間 参加とネオリベリズムの共振に関する一考察」『日本教育社会学会第 55 回大会発表要旨集録』 pp.70–71.
- 西村幸満, 2002, 「JGSS-2000 を利用した講義分析—3 大学（学部）間の比較—」『第 75 回日本社会学会大会報告要旨』 p.196.
- 野崎祐子, 2006, 「晩婚化・未婚化に関する一考察」生活経済学会 第 22 回研究大会（小樽商科大学）.
- 大橋正彦, 2006, 「日米消費者の環境行動と持続可能マーケティング—JGSS-2002 より—」, 日本経営診断学会第 135 回関西西部会（久留米大学）.
- 大井方子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (5) 情報化と所得格差と学校教育：JGSS データを用いて」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.29.
- ONO, Hiroshi and LEE, Kristen Schultz, “Specialization and Happiness:A U.S.-Japan Comparison,” 日本経済学会 2006 年度秋季大会, 大阪市立大学.

- 大澤美苗, 2001, 「データの信頼性に関する実務的留意点と使いやすいデータへの配慮」『第 74 回日本社会学会大会報告要旨』 p.192.
- 佐藤博樹, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (1) JGSS の目的と意義」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』 p.19.
- 重松洋司・谷岡一郎, 2000, 「男性的文化とギャンブリング／ゲーミング行動—麻雀、囲碁、宝くじの比較研究を中心として—」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.192.
- 嶋崎尚子, 2004, 「女性のキャリアを取り巻く情勢を知ろう」J-CAREER WASEDA PROJECT SESSION 2 (於早稲田大学) .
- 清水誠, 2001, 「JGSS 第 1 回本調査における比推定の試み」『第 74 回日本社会学会大会報告要旨』 p.193.
- 篠崎武久, 2004, 「非就業・非在学・非求職中の若年無業者 (NEET) に関する一考察」日本経済学会 2004 年度秋季大会報告論文.
- 穴戸邦章, 2005, 「高齢期における社会的ネットワークの「多様性」に関する研究—JGSS-2003 データを用いた「相談」ネットワークの分析—」『第 78 回日本社会学会大会報告要旨』 p.79.
- 穴戸邦章, 2006, 「国際比較調査における選択肢の検討—韓国・台湾・中国との比較に関する JGSS プロジェクトの経験—」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨』 p.106.
- 穴戸邦章, 2006, 「中高年齢者の余暇生活満足度を規定する要因—JGSS データを用いた分析—」『第 16 回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.40-41.
- 杉田陽出・岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (3) Split-Ballot による質問項目の検討」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.27.
- 杉田陽出, 2001, 「日本人のペットに対する意識とその傾向：日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査をもとに」『ヒトと動物の関係学会第 7 回学術大会予稿集』 p.24.
- 杉田陽出, 2001, 「コミュニケーション相手としてのペットの存在感に関する一調査：日本人のペットに対する意識とその傾向」『日本コミュニケーション学会第 31 回年次大会プログラム』 p.22.
- 杉田陽出, 2002, 「同居世帯人数にみるペットの存在感：同居している子どもの有無を中心として」『ヒトと動物の関係学会第 8 回学術大会予稿集』 p.45.
- 杉田陽出, 2002, 「『子ども』としてのペットの存在感に関する一考察：同居している子どもの有無と年齢の観点から」『日本コミュニケーション学会第 32 回年次大会プログラム』 p.30.
- 杉田陽出, 2005, 「飼主の子どもの有無と愛着度に見る犬の役割」『日本社会心理学会第 46 回大会論文集』 pp.196-197.
- SUGITA, Hizuru, 2006, “The effects of children on attachment to dogs in Japanese households: Using JGSS data,”大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2005 報告書』 pp.31-45.
- 高橋和子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (4) 産業・職業コーディング自動化支援システム」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.28.
- 高橋和子, 2002, 「職業・産業コーディング自動化システムの活用」『言語処理学会第 8 回年次大会発表論文集』 pp.491-494.
- 高橋和子, 2002, 「職業・産業コーディング自動化システムの活用」『情報処理学会自然言語処理研究会報告』 2002-NL-147 (8) , pp.47-53.

- 高橋和子, 2003, 「機械学習による職業コーディングルールによる自動コーディングシステムとの比較—」『第 36 回数理社会学会大会研究報告要旨集』 pp.68-71.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2004, 「機械学習とルールベースによる職業コーディング」『情報処理学会自然言語処理研究会報告』 2004-NL-159 (9) , pp.53-60.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2004, 「機械学習とルールベースの組み合わせによる職業コーディング」『言語処理学会第 10 回年次大会発表論文集』 pp.737-740.
- 高橋和子・須山敦・村山紀文・高村大也・奥村学, 2004, 「職業コーディング支援システム (NANACO) の開発」『第 37 回数理社会学会大会研究報告要旨集』 pp.20-23.
- TAKAHASHI, K., TAKAMURA, H., and OKUMURA, M., 2005, “Automatic Occupation Coding with Combination of Machine Learning and Hand-Crafted Rules,” Proceedings : the 9th International Conference on Pacific-Asia Knowledge Discovery and Data Mining (PAKDD-05), Springer-Verlag Berlin Heidelberg, Lecture Notes in Artificial Intelligence Vol. 3518, pp.269-279.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2005, 「分類スコアに基づいたクラス事後確率の推定」『情報処理学会自然言語処理研究会報告』 2005-NL-170 (16) , pp.97-104.
- 谷岡一郎, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) 計画の進捗状況報告と今後の発展可能性について」『日本犯罪社会学会第 27 回大会報告要旨集』 pp.59-61.
- TANIOKA, Ichiro, 2004, “The Reason People Buy a Lottery Ticket: A test of 'Friedman-Savage model' of Gambling Behavior in Japan through JGSS-2000 Data,” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences (ed.), 36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts (Papers Presented in Sessions) , pp.82-83.
- TANIOKA, Ichiro, 2004, “Attitude Toward the Legalization of Casino Gaming in Japan: The Difference in Regions, Urbanization Levels, and by Socio-Economic Background,” EASS Conference 2004, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- 都村聞人, 2003, 「女性の社会的地位の変化と子どもの教育達成」日本教育社会学会第 55 回大会『発表要旨集録』 pp.90-91.
- 都村聞人, 2006, 「家計の教育費に影響を及ぼす諸要因—JGSS-2002 データを用いた分析」日本教育社会学会第 58 回大会『発表要旨集録』 pp.47-48.
- TSUTSUI, Jun'ya, 2005, “Factors Affecting Life Courses of Young Adults in Japan: Possible Causes for Late Marriage in Recent Years,” paper presented at the American Sociological Association 100th Annual Meeting.
- 保田時男, 2004, 「一般化 χ^2 適合度検定の可能性—大規模サンプルの共有公開データが引き起こす問題への対処—」『第 37 回数理社会学会大会研究報告要旨集』 pp.14-17.
- 保田時男, 2006, 「測定理念の実現を妨げる被調査者との乖離」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.105.

I.7 データの公開状況と入手方法

＜データセットの公開方針＞

JGSS の調査データは、基本的に調査実施の約 1 年半後に公開しています。現在公開されているデータセットは、2 回の予備調査と 5 回の本調査（JGSS-2000, 2001, 2002, 2003, 2005）および JGSS-2000～2003 のデータをひとまとまりにした JGSS 累積データ 2000-2003 です。今後、新しいデータを追加した累積データを公開するかは未定です。

データセットを寄託しているデータ・アーカイブは、国内では、東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センターの SSJ データ・アーカイブです。海外では、アメリカの ICPSR（Inter-university Consortium for Political and Social Research）およびドイツの ZA（Zentralarchiv für Empirische Sozialforschung, Universität zu Köln）に寄託しています。1999 年に実施した予備調査のデータセットだけは、SSJ データ・アーカイブにしか寄託していません。他は全てのアーカイブに同じデータセットを寄託しています。

＜データセットの内容＞

寄託しているデータセットには、SPSS 形式のデータ・ファイル（OS に依存しない portable file）および ASCII（テキスト）形式のデータ・ファイルが含まれています。分析に必要な関連資料（『基礎集計表・コードブック』の PDF ファイルなど）も含まれています。データセットの本質的な内容は、どのデータ・アーカイブでも同じですが、アーカイブによっては寄託したファイルを一部加工した上で公開しています。例えば、ICPSR で公開されているものには、STATA と SAS のデータ読み取りフォーマットが含まれています。

それぞれのデータセットは、日本語版と英語版が一組になっています。国内、海外いずれのデータ・アーカイブでも、日本語版・英語版両方のデータが 1 つのデータセットに含まれています。当初は日本語のみのデータセットを作成していましたが、現在は同時に英語版のデータを作成しています。英語版の作成は、全ての調査について遡及して行いましたので、現在公開されているデータセットには、全て日本語版と英語版が含まれています（予備調査を除く）。

＜データセット利用者の留意事項＞

JGSS では、データセットの利用者について以下のような制限・義務を設けています。ただし、データ・アーカイブによって若干方針に違いがあります。基本的に、詳細は各アーカイブの指示に従ってください。

学術研究目的の利用である限り、大学などの研究機関の研究者、大学院生、および教員の指導を受けている大学生は、データセットを利用することができます。また、教員は授業などの教育目的でデータセットを利用することも可能です。

研究目的の利用の場合、使用期間の期限はありませんので、一度入手したデータセットはそのまま使い続けることができます。一方、教育目的でデータセットを入手した場合、その使用期限は 1 年間です。つまり、同じ授業を毎年行う場合、毎年利用の申請を行ってください。これは、データに触れ

る学生にも誓約が必要なことと、教育目的の利用の程度を把握するためです。

利用者は、データ・アーカイブの定める誓約事項（目的外の利用の禁止、個別データの秘密保護、第三者への提供の禁止、利用期限終了後の対処など）を厳守しなければなりません。特に、データセットを利用して研究成果を論文などで発表する際には、acknowledgement（謝辞）を明記する必要がありますことに注意してください。

また、論文などを発表した場合は、データ・アーカイブの定める所に従い、その成果をアーカイブに報告する必要があります。SSJDA でデータを入手した場合は、アーカイブ宛に論文などのコピーを2部送付してください。ICPSR や ZA でデータを入手した場合は、その利用の成果が JGSS 事務局まで届きません。お手数ですが、別途、発表された論文などのコピー（1部）を、郵送かメールの添付ファイルで、下記宛に送付ください。

〒577-8505 東大阪市御厨栄町4丁目1-10

大阪商業大学比較地域研究所 JGSS 事務局

E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

また、データ内容などに修正が発生した場合、JGSS のホームページから随時情報を発信しています。2005 年 4 月以降に発生した修正は、データ・アーカイブで公開中のデータセットには反映されていません。分析の前に必ず修正の有無を各自でご確認下さい。修正が必要な場合は、JGSS のホームページから SPSS の修正用シンタックスをダウンロードし、お持ちのデータに適用していただくことで修正が反映されます。

<データセットの入手方法>

データセットの具体的な入手方法は、データ・アーカイブによって異なります。利用の制限や義務についても、若干の違いがありますので、それぞれのアーカイブでご確認ください。

SSJ データ・アーカイブ <http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/>

ICPSR* <http://www.icpsr.umich.edu/>

ZA <http://www.geis.org/en/za/>

* ICPSR 国内利用協議会の会員機関に所属する研究者は、各所属機関の定める手順に従ってください。詳細については、所属機関の担当部署にお問い合わせください。

以下に、参考のために SSJ データ・アーカイブから JGSS のデータセットを入手する手順の概要を記します。詳細な手続きは、SSJ データ・アーカイブのホームページの「個票データの利用」のページに記されています。そちらに従ってください。

JGSS のデータセットを入手するためには「収録調査の検索」のページで、調査名に「JGSS」と入力し、検索をします。表示される一覧から利用するデータセットを探し、調査番号等を控えて下さい。

「利用申請書」のページから申請書をダウンロードし、必要な事項を記入します。誓約事項が特殊なため、JGSS 専用の申請書が用意されています。間違えないように注意してください。データセットを共同利用する場合は、共同利用者全員の自署・押印が必要となります。教育目的で利用する場合、教員が代表で申請しますが、受講者全員の自署・押印も必要となります。記入・押印漏れがある場合

は、再提出となります。

記録用の生 CD-R と返信用封筒を同封した封書を SSJ データ・アーカイブまで郵送すると、追ってデータセットが記録された CD-R が返信されます。『基礎集計表・コードブック』の残部がある場合には、冊子が 1 部同封されます。申請書の受領から返信までには、1 ヶ月程度を要しますので、早めに申請をする必要があります。

データを利用して論文などを発表する場合は、acknowledgement（謝辞）を明記します。JGSS の acknowledgement は、下のように定められています（SSJ データ・アーカイブから入手した場合）ので、このまま記載してください。また、研究成果はそのつどアーカイブに報告します。論文などのコピー 2 部に利用報告書を添え、アーカイブに提出してください。SSJ データ・アーカイブからデータを入手した場合は、JGSS 事務局への送付は必要ありません。

JGSS の acknowledgement（日本語・英語のいずれかを明記）

JGSS-2003 以前のデータセットのみを利用した場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学比較地域研究所が、文部科学省から学術フロンティア推進拠点としての指定を受けて（1999-2003 年度）、東京大学社会科学研究所と共同で実施している研究プロジェクトである（研究代表：谷岡一郎・仁田道夫、代表幹事：佐藤博樹・岩井紀子、事務局長：大澤美苗）。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out at the Institute of Regional Studies at Osaka University of Commerce in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo under the direction of Ichiro TANIOKA, Michio NITTA, Hiroki SATO and Noriko IWAI with Project Manager, Minae OSAWA. The project is financially assisted by Gakujutsu Frontier Grant from the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology for 1999-2003 academic years.

JGSS-2005 以降を含むデータセットを利用した場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学比較地域研究所が、文部科学省から学術フロンティア推進拠点としての指定を受けて（1999-2008 年度）、東京大学社会科学研究所と共同で実施している研究プロジェクトである（研究代表：谷岡一郎・仁田道夫、代表幹事：岩井紀子、幹事：保田時男）。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out at the Institute of Regional Studies at Osaka University of Commerce in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo under the direction of Ichiro TANIOKA, Michio NITTA, Noriko IWAI and Tokio YASUDA. The project is financially assisted by Gakujutsu Frontier Grant from the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology for 1999-2008 academic years.

（保田 時男）

II. JGSS-2005 集計と索引

Ⅱ. 1 基礎集計・コード表：面接調査票

BLOCK 地域ブロック

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	北海道・東北	287	14.2
2	関東	544	26.9
3	中部	467	23.1
4	近畿	279	13.8
5	中国・四国	206	10.2
6	九州	240	11.9
計		2023	100.0

PREF 都道府県名

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	北海道	110	5.4
2	青森	23	1.1
3	岩手	24	1.2
4	宮城	36	1.8
5	秋田	42	2.1
6	山形	32	1.6
7	福島	20	1.0
8	茨城	49	2.4
9	栃木	54	2.7
10	群馬	29	1.4
11	埼玉	74	3.7
12	千葉	101	5.0
13	東京	143	7.1
14	神奈川	94	4.6
15	新潟	49	2.4
16	富山	25	1.2
17	石川	28	1.4
18	福井	35	1.7
19	山梨	39	1.9
20	長野	33	1.6
21	岐阜	52	2.6
22	静岡	69	3.4
23	愛知	97	4.8
24	三重	40	2.0
25	滋賀	38	1.9
26	京都	43	2.1
27	大阪	92	4.5
28	兵庫	66	3.3
29	奈良	23	1.1
30	和歌山	17	0.8
31	鳥取	9	0.4
32	島根	11	0.5
33	岡山	36	1.8
34	広島	44	2.2
35	山口	29	1.4

36	徳島	18	0.9
37	香川	28	1.4
38	愛媛	21	1.0
39	高知	10	0.5
40	福岡	66	3.3
41	佐賀	19	0.9
42	長崎	27	1.3
43	熊本	21	1.0
44	大分	31	1.5
45	宮崎	30	1.5
46	鹿児島	24	1.2
47	沖縄	22	1.1
計		2023	100.0

SIZE 市郡規模

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	大都市	371	18.3
2	その他の市	1277	63.1
3	町村	375	18.5
計		2023	100.0

SEXA 性別

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	男	920	45.5
2	女	1103	54.5
計		2023	100.0

DOBYEAR 生年

この変数の単純集計は記載していません。

AGEB 年齢

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	20～29 歳	222	11.0
	30～39 歳	292	14.4
	40～49 歳	304	15.0
	50～59 歳	401	19.8
	60～69 歳	430	21.3
	70～79 歳	283	14.0
	80～89 歳	91	4.5
計		2023	100.0

MARC 配偶者 (DOMARRY の転記)

D 欄：婚姻状態（面接調査票 問 21 に対する回答を転記）

この変数の単純集計は記載していません。

問 21 DOMARRY の集計をご覧ください。

まずはじめに、あなたのお仕事について、おうかがいします。

問 1-1〔回答票 1〕先週、あなたは収入をともなう仕事をしましたか、または仕事をする事になっていましたか。この中からあげてください。

XJOB1WK 先週の就労経験

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事をした	1226	60.6
2	(イ) 仕事をもっているが、病気、休暇などで 先週は仕事を休んだ	21	1.0
3	(ウ) 仕事をしていない	776	38.4
計		2023	100.0

「3 仕事をしていない」の場合

問 1-2〔回答票 2〕先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP 不就労の理由

コード		ケース数	%
1	(ア) 失業中	28	3.6
2	(イ) 定年などで仕事をやめた	208	26.8
3	(ウ) 学生	14	1.8
4	(エ) 主に家事をしている	458	59.0
5	(オ) その他	52	6.7
6	わからない	3	0.4
9	無回答	13	1.7
計		776	100.0
8	非該当	1247	
計		2023	

問 1-3 あなたは、これまでに収入をともなう仕事をすることがあります。

XWORK 就労経験

コード		ケース数	%
1	はい	714	92.0
2	いいえ	55	7.1
9	無回答	7	0.9
計		776	100.0
8	非該当	1247	
計		2023	

問 1-4〔回答票 3〕あなたが最後の主な仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。

XXSTPJB 離職理由

コード		ケース数	%
1	(ア) 定年など退職（引退）する年齢になった	252	35.3
2	(イ) 早期退職（引退）を選んだ	23	3.2
3	(ウ) 早期退職（引退）をさせられた	1	0.1
4	(エ) 健康上の理由で働けなくなった	75	10.5
5	(オ) 会社が倒産したり、職場が閉鎖された	18	2.5
6	(カ) 解雇された	8	1.1
7	(キ) 雇用期間や契約期間が終了した	12	1.7
8	(ク) 仕事や労働条件等が不満だったので	16	2.2
9	(ケ) 開業や転職のため	5	0.7
10	(コ) 家族の介護のため	26	3.6

11	(サ) 結婚したため	117	16.4
12	(シ) 出産・育児のため	53	7.4
13	(ス) その他	45	6.3
14	わからない	4	0.6
99	無回答	59	8.3
		計	714
88	非該当	1309	100.0
		計	2023

問 1-1 で「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

お仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 2-1 あなたは主な収入を得る仕事を先週何日しましたか。また、週合計何時間しましたか。そのうち、残業は何時間しましたか。

XJOBWDWK 週／日

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	1 日	8	0.6
	2 日	32	2.6
	3 日	73	5.9
	4 日	90	7.2
	5 日	576	46.2
	6 日	357	28.6
	7 日	95	7.6
99	無回答	16	1.3
		計	1247
88	非該当	776	100.0
		計	2023

XJOBHWK 就労日数／週合計

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	1～9 時間	45	3.6
	10～19 時間	76	6.1
	20～29 時間	128	10.3
	30～39 時間	162	13.0
	40～49 時間	532	42.7
	50～59 時間	152	12.2
	60～69 時間	82	6.6
	70～79 時間	38	3.0
	80 時間以上	12	1.0
999	無回答	20	1.6
		計	1247
888	非該当	776	100.0
		計	2023

XOTHWK 残業時間数／週

コード [*]		ケース数	%
(実数記入)	0 時間	761	61.0
	1～9 時間	214	17.2
	10～19 時間	114	9.1
	20～29 時間	18	1.4
	30～39 時間	8	0.6
	40 時間以上	2	0.2
999	無回答	130	10.4
		計	1247
888	非該当	776	100.0
		計	2023

問 2-2 あなたは通常、何曜日に仕事をしますか。働く時間が短い曜日も入れてください。

(多重回答) DOWKMON～DOWKVAR 就労曜日 共通 (変数名は下記参照)

コード [*]		該当者数	1247
0	非選択		
1	選択		
8	非該当		
		選択者数	%
DOWKMON	1 月曜日	915	73.4
DOWKTUE	2 火曜日	911	73.1
DOWKWED	3 水曜日	901	72.3
DOWKTHU	4 木曜日	918	73.6
DOWKFRI	5 金曜日	932	74.7
DOWKSAT	6 土曜日	476	38.2
DOWKSUN	7 日曜日	172	13.8
DOWKVAR	8 週によって働く曜日はまちまち	235	18.8

問 2-3 [回答票 4] この 1 年間に、連続して 4 日以上休んだことが何回ありましたか。

FQWKOFF 連休の回数／年

コード [*]		ケース数	%
1	(ア) 1 回	177	14.2
2	(イ) 2 回	237	19.0
3	(ウ) 3 回	208	16.7
4	(エ) 4 回以上	261	20.9
5	(オ) なし	360	28.9
9	無回答	4	0.3
		計	1247
8	非該当	776	100.0
		計	2023

問 3-1〔回答票 5〕 現在、あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

DOCMT 通勤の有無

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) およそ ____ 時間 ____ 分	1009	80.9
2	(イ) 住まいと職場は同じ	192	15.4
3	(ウ) 日によって行き先が違ふ	45	3.6
9	無回答	1	0.1
		計	1247
8	非該当	776	100.0
		計	2023

通勤時間:「1 (ア) およそ ____ 時間 ____ 分」の場合

SZCMTHR 通勤時間(時間)

この変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
(実数記入)	
88	非該当
99	無回答

SZCMTMIN 通勤時間(分)

この変数の単純集計は記載していません。

<u>コード</u>	
(実数記入)	
888	非該当
999	無回答

SZCMTTL 通勤時間(合計)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(計算による実数)	1～9 分	163	16.2
	10～19 分	290	28.7
	20～29 分	150	14.9
	30～39 分	142	14.1
	40～49 分	77	7.6
	50～59 分	23	2.3
	1 時間～1 時間半未満	116	11.5
	1 時間半～2 時間未満	33	3.3
	2 時間以上	14	1.4
9999	無回答	1	0.1
		計	1009
8888	非該当	1014	100.0
		計	2023

問 3-2〔回答票 6〕 通勤手段は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(多重回答) CMTWALK～CMTETC 通勤手段 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数	1009	
0	非選択			
1	選択			
8	非該当			
		選択者数	%	
CMTWALK	1 (ア) 徒歩のみ	82	8.1	
CMTBCYL	2 (イ) 自転車	136	13.5	
CMTMCYL	3 (ウ) バイク	48	4.8	
CMTBUS	4 (エ) バス	66	6.5	
CMTTRAIN	5 (オ) 電車	184	18.2	
CMTCAR	6 (カ) 自動車	594	58.9	
CMTBOAT	7 (キ) 船	2	0.2	
CMTETC	8 (ク) その他	1	0.1	

問 4〔回答票 7〕 あなたが働く事業所はこの中のどれにあたりますか。

TP4WPLA 事業所形態

コード		ケース数	%	
1	(ア) 官公庁	123	9.9	
2	(イ) 単独事業所 (他に事業所などはない)	615	49.3	
3	(ウ) 支店・支所 (本社・本店は他にある)	313	25.1	
4	(エ) 本社・本店 (他に支店・支所などがある)	173	13.9	
5	わからない	17	1.4	
9	無回答	6	0.5	
		計	1247	100.0
8	非該当	776		
		計	2023	

問 5-1〔回答票 8〕 あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

TP12JOB 就労地位

コード		ケース数	%	
1	(ア) 経営者・役員	94	7.5	
2	(イ) 常時雇用の一般従事者：役職なし	389	31.2	
3	(ウ) 常時雇用の一般従事者：職長・班長・組長	52	4.2	
4	(エ) 常時雇用の一般従事者：係長・係長相当職	67	5.4	
5	(オ) 常時雇用の一般従事者：課長・課長相当職	51	4.1	
6	(カ) 常時雇用の一般従事者：部長・部長相当職	26	2.1	
7	(キ) 常時雇用の一般従事者：その他の役職	3	0.2	
8	(ク) 常時雇用の一般従事者：役職はわからない	16	1.3	
9	(ケ) 臨時雇用・パート・アルバイト	266	21.3	
10	(コ) 派遣社員	17	1.4	
11	(サ) 自営業主・自由業者	177	14.2	
12	(シ) 家族従業者	79	6.3	
13	(ス) 内職	7	0.6	
14	わからない	3	0.2	
		計	1247	100.0
88	非該当	776		
		計	2023	

問 5-2 あなたが働いている場所（工場、事務所、商店、病院などの事業所）はどのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

XXWPL 業種

コード		ケース数	%
10	農業	66	5.3
20	林業	3	0.2
30	漁業	6	0.5
40	鉱業	3	0.2
50	建設業	95	7.6
60	製造業	226	18.1
70	電気・ガス・熱供給・水道業	5	0.4
80	運輸業	55	4.4
91	卸売業	40	3.2
92	小売業	183	14.7
93	飲食店	52	4.2
100	金融・保険業	29	2.3
110	不動産業	9	0.7
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	14	1.1
130	情報・通信サービス業	30	2.4
140	医療・福祉サービス業	112	9.0
150	教育・研究サービス業	51	4.1
160	法律・会計サービス業	17	1.4
170	その他のサービス業	204	16.4
180	公務	38	3.0
190	分類不能の産業	2	0.2
999	無回答	7	0.6
		計	1247
			100.0
998	非該当	776	
		計	2023

問 5-3 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように）

XXJOB 職種

コード		ケース数	%
501	自然科学系研究者	1	0.1
503	機械・電気・化学技術者	15	1.2
504	建築・土木技術者	9	0.7
505	農林技術者	1	0.1
506	情報処理技術者	19	1.5
507	その他の技師・技術者	1	0.1
508	医師	3	0.2
509	歯科医師	2	0.2
510	薬剤師	3	0.2
511	助産師（助産婦）	1	0.1
513	栄養士	1	0.1
514	看護師（看護婦・看護師）	18	1.4
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	3	0.2
516	その他の保健医療従事者	19	1.5
518	その他の法務従事者	4	0.3
519	公認会計士、税理士	3	0.2

520	幼稚園教員	2	0.2
521	小学校教員	11	0.9
522	中学校教員	6	0.5
523	高等学校教員	3	0.2
524	大学教員	6	0.5
525	盲・ろう・養護学校教員	3	0.2
526	その他の教員	1	0.1
527	宗教家	3	0.2
528	文芸家、著述家	1	0.1
529	記者、編集者	3	0.2
530	彫刻家、画家、工芸美術家	3	0.2
531	デザイナー	4	0.3
532	写真家、カメラマン	3	0.2
534	俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）	1	0.1
537	保育士（保母、保父）	13	1.0
538	社会福祉事業専門職員	7	0.6
539	個人教師	9	0.7
541	経営コンサルタント	1	0.1
543	図書館司書	1	0.1
544	その他の専門的・技術的職業従事者	1	0.1
547	地方議員	2	0.2
548	会社役員	17	1.4
549	その他の法人・団体の役員	1	0.1
550	会社・団体等の管理職員	12	1.0
554	総務・企画事務員	139	11.1
555	受付・案内事務員	20	1.6
556	出荷・受荷事務員	11	0.9
557	営業・販売事務員	32	2.6
558	その他の一般事務員	11	0.9
559	会計事務員	41	3.3
560	郵便・通信事務員	1	0.1
561	集金人	1	0.1
563	運輸事務員	3	0.2
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	6	0.5
565	電子計算機等操作員	2	0.2
566	小売店主	32	2.6
567	卸売店主	5	0.4
568	飲食店主	8	0.6
569	販売店員	72	5.8
570	行商人、呼売人、露天商	4	0.3
573	外交員(保険、不動産を除く)	49	3.9
574	保険代理人・外交員	9	0.7
575	不動産仲買人・売買人	7	0.6
577	その他の販売類似職業従事者	7	0.6
578	家政婦、家事サービス職業従事者	15	1.2
579	理容師、美容師	29	2.3
580	クリーニング職、洗張職	2	0.2
581	料理人	33	2.6
583	給仕係	25	2.0
585	接客社交係	1	0.1
586	娯楽場等の接客員	3	0.2
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	6	0.5

592	その他のサービス職業従事者	10	0.8
593	自衛官	2	0.2
595	消防員	3	0.2
596	看守、守衛、監視員	4	0.3
599	農耕・養蚕作業	59	4.7
600	植木職、造園師	7	0.6
601	畜産作業	4	0.3
602	林業作業	1	0.1
603	その他の農林業作業	1	0.1
604	漁業作業	4	0.3
607	自動車運転者	42	3.4
611	車掌	1	0.1
614	その他の運輸従事者	1	0.1
617	電話交換手	7	0.6
618	郵便・電報外務員	2	0.2
623	陶磁器工、絵付作業	1	0.1
624	石工	1	0.1
626	その他の窯業・土石製品製造作業	1	0.1
627	製鉄工、製鋼工、精錬工	1	0.1
629	化学製品製造作業	6	0.5
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業	6	0.5
631	鉄工、板金工	5	0.4
633	一般機械組立工・修理工	28	2.2
634	電気機械器具組立工・修理工	13	1.0
635	自動車組立工・整備工	19	1.5
637	船舶ぎ装工(他に分類されない)	1	0.1
639	自転車組立工・修理工	1	0.1
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	4	0.3
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	2	0.2
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業	17	1.4
648	製糸作業	1	0.1
649	織布工、紡織作業	5	0.4
651	洋服・和服仕立職	3	0.2
652	縫製工、裁断工	9	0.7
653	製材工、木工	5	0.4
654	指物職、家具職、建具職	4	0.3
655	船大工	1	0.1
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業	2	0.2
658	印刷・製本作業	6	0.5
659	ゴム・プラスチック製品製造作業	2	0.2
661	塗装工、画工、看板工	5	0.4
662	漆塗師、まき絵師	1	0.1
663	表具師、内張工	1	0.1
670	製図工、現図工	2	0.2
672	その他の技能工・生産工程作業	15	1.2
674	起重機・建設機械運転作業	1	0.1
675	その他の定置機関運転作業	4	0.3
677	電気工事・電話工事作業	11	0.9
678	土木・建築請負師	6	0.5
679	左官、とび職	5	0.4
680	れんが積工、配管工	8	0.6
682	土工、道路工夫	11	0.9

683	鉄道線路工夫	1	0.1	
684	現場監督、その他の建設作業	20	1.6	
685	倉庫夫、仲仕	7	0.6	
686	運搬労務者	8	0.6	
687	清掃員	20	1.6	
688	その他の労務作業	3	0.2	
689	分類不能の職業	3	0.2	
701	スーパーなどのレジスター係員・キャッシャー	8	0.6	
702	大工	10	0.8	
703	教員	4	0.3	
704	製品製造作業	6	0.5	
999	不明、無回答	4	0.3	
		計	1247	100.0
998	非該当	776		
		計	2023	

問6〔回答票9〕従業員（働いている人）は、会社・組織全体で何人くらいですか。あなた自身、家族従業員、パートタイムの方も含めてお答えください。

SZTTLSTA 企業規模

コード		ケース数	%	
1	(ア) 1 人	70	5.6	
2	(イ) 2～4 人	235	18.8	
3	(ウ) 5～9 人	128	10.3	
4	(エ) 10～29 人	168	13.5	
5	(オ) 30～99 人	130	10.4	
6	(カ) 100～299 人	106	8.5	
7	(キ) 300～499 人	34	2.7	
8	(ク) 500～999 人	59	4.7	
9	(ケ) 1,000～1,999 人	46	3.7	
10	(コ) 2,000～9,999 人	51	4.1	
11	(サ) 1 万人以上	51	4.1	
12	(シ) 官公庁	123	9.9	
13	わからない	42	3.4	
99	無回答	4	0.3	
		計	1247	100.0
88	非該当	776		
		計	2023	

問7 あなたは現在の会社・組織に通算何年働いていますか。（自営業者は自営業を行なっている期間）

XJOBYSR 就労年数

コード		ケース数	%
(実数記入)	0～4 年	369	29.6
	5～9 年	191	15.3
	10～19 年	262	21.0
	20～29 年	177	14.2
	30 年以上	232	18.6
999	無回答	16	1.3
		計	1247
888	非該当	776	100.0
		計	2023

問 8〔回答票 10〕昨年 1 年間のあなたの主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料、その他が引かれる前の額をお答えください。

SZINCOMX 本人年収

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	22	1.8
2	(イ) 70 万円未満	106	8.5
3	(ウ) 70～100 万円未満	107	8.6
4	(エ) 100～130 万円未満	74	5.9
5	(オ) 130～150 万円未満	33	2.6
6	(カ) 150～250 万円未満	121	9.7
7	(キ) 250～350 万円未満	126	10.1
8	(ク) 350～450 万円未満	107	8.6
9	(ケ) 450～550 万円未満	93	7.5
10	(コ) 550～650 万円未満	62	5.0
11	(サ) 650～750 万円未満	53	4.3
12	(シ) 750～850 万円未満	41	3.3
13	(ス) 850～1,000 万円未満	41	3.3
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	16	1.3
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	7	0.6
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	3	0.2
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	2	0.2
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	1	0.1
19	(テ) 2,300 万円以上	7	0.6
20	回答したくない	162	13.0
21	わからない	61	4.9
99	無回答	2	0.2
		計	1247
			100.0
88	非該当	776	
		計	2023

問 9 仕事の上であなたが管理・監督する人（部下など）がいますか。

DOSTAFF 部下の有無

コード		ケース数	%
1	いる	461	37.0
2	いない	771	61.8
3	わからない	11	0.9
9	無回答	4	0.3
		計	1247
			100.0
8	非該当	776	
		計	2023

問 10-1 あなたが働く職場には、労働組合が組織されていますか。

DOUNION 労働組合の有無

コード		ケース数	%
1	はい	349	28.0
2	いいえ	827	66.3
3	わからない	65	5.2
9	無回答	6	0.5
		計	1247
			100.0
8	非該当	776	
		計	2023

問 10-2〔回答票 11〕あなたは労働組合に入っていますか。

JOINUNI 労働組合加入の有無

コード		ケース数	%
1	(ア) 職場の労働組合に入っている	204	16.4
2	(イ) 職場以外の労働組合に入っている	18	1.4
3	(ウ) 入っていない	964	77.3
9	無回答	61	4.9
計		1247	100.0
8	非該当	776	
計		2023	

問 11〔回答票 12〕現在の主な仕事にどのくらい満足していますか。

ST5JOB 現在の仕事の満足度

コード		ケース数	%
1	(ア) 満足している	333	26.7
2	(イ) どちらかといえば満足している	487	39.1
3	(ウ) どちらともいえない	289	23.2
4	(エ) どちらかといえば不満である	99	7.9
5	(オ) 不満である	34	2.7
6	わからない	2	0.2
9	無回答	3	0.2
計		1247	100.0
8	非該当	776	
計		2023	

問 12-1〔回答票 13〕賃金や時間などの自分の労働条件について不満を感じた場合、あなたは次の A・B のどちらの行動をとると思いますか。

- | |
|--|
| A 現在の会社・団体の中でぎりぎりまで改善する努力をする
B 現在の会社・団体に見切りをつけて、より良い条件の仕事や事業を探す |
|--|

WLWKCND 働き方の意向:労働条件に不満

コード		ケース数	%
1	(ア) A	507	40.7
2	(イ) どちらかといえば A	308	24.7
3	(ウ) どちらかといえば B	204	16.4
4	(エ) B	117	9.4
9	無回答	111	8.9
計		1247	100.0
8	非該当	776	
計		2023	

問 12-2〔回答票 14〕 会社や団体の今後の経営に不安を覚えた場合、あなたは次の A・Bのどちらの行動をとると思いますか。

- A 現在の会社・団体の中でぎりぎりまで改善する努力をする
 B 現在の会社・団体に見切りをつけて、より安定した仕事や事業を探す

WLWKMNG 働き方の意向：経営に不安

コード		ケース数	%
1	(ア) A	438	35.1
2	(イ) どちらかといえば A	294	23.6
3	(ウ) どちらかといえば B	241	19.3
4	(エ) B	157	12.6
9	無回答	117	9.4
計		1247	100.0
8	非該当	776	
計		2023	

問 13〔回答票 15〕 今働いている会社をやめるつもりがありますか。(または) 今の事業をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA 現在の会社・組織での就労継続意向

コード		ケース数	%
1	(ア) 近いうちにやめるつもり	88	7.1
2	(イ) 当分やめるつもりはない	536	43.0
3	(ウ) まったくやめるつもりはない	570	45.7
4	わからない	47	3.8
9	無回答	6	0.5
計		1247	100.0
8	非該当	776	
計		2023	

問 14〔回答票 16〕 今後1年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

OP4UNEMP 失業の可能性

コード		ケース数	%
1	(ア) かなりある	21	1.7
2	(イ) ある程度ある	140	11.2
3	(ウ) あまりない	357	28.6
4	(エ) まったくない	626	50.2
5	わからない	100	8.0
9	無回答	3	0.2
計		1247	100.0
8	非該当	776	
計		2023	

問 15〔回答票 17〕もし今の仕事や事業をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

OP3NEWJB 再就労の容易さ

コード		ケース数	%
1	(ア) 非常に容易である	56	4.5
2	(イ) ある程度容易である	257	20.6
3	(ウ) 容易ではない	829	66.5
4	わからない	100	8.0
9	無回答	5	0.4
計		1247	100.0
8	非該当	776	
計		2023	

問 16-1 これまでお答えいただいた仕事以外に、あなたは先週、別の仕事をしましたか。またはすることになっていましたか。収入をとまなう仕事についてのみお答えください。

XSJB1WK 副業の有無

コード		ケース数	%
1	はい	45	3.6
2	いいえ	1200	96.2
9	無回答	2	0.2
計		1247	100.0
8	非該当	776	
計		2023	

問 16-2 その他の収入の仕事を、先週合計何時間しましたか。またはすることになっていましたか。

SZSJJBHWK 副業就業時間数/週

コード		ケース数	%
(実数記入)	0 時間	1	2.2
	1～9 時間	20	44.4
	10～19 時間	13	28.9
	20～29 時間	10	22.2
	30～39 時間	0	0.0
	40～49 時間	1	2.2
	50 時間以上	0	0.0
999	無回答	0	0.0
計		45	100.0
888	非該当	1978	
計		2023	

(全員に)

問 17 あなたは現在、仕事を探していますか。

DOLOOKJB 求職の有無(全員)

コード		ケース数	%
1	はい	120	5.9
2	いいえ	1861	92.0
9	無回答	42	2.1
計		2023	100.0

問 18-1〔回答票 18〕現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(多重回答) INCSELF～INCNOKN 現在の収入源:(全員) 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数		2023	
0	非選択				
1	選択				
		選択者数	%		
INCSELF	1 (ア) 自分の収入	1237	61.1		
INCSP	2 (イ) 配偶者の収入	855	42.3		
INCPAR	3 (ウ) 親の収入	209	10.3		
INCFAM	4 (エ) 配偶者・親以外の家族の収入	167	8.3		
INCPEN	5 (オ) 年金	753	37.2		
INCUEB	6 (カ) 失業保険	11	0.5		
INCSAVE	7 (キ) 貯蓄	213	10.5		
INCSOC	8 (ク) 社会福祉 (生活保護、福祉手当等)	19	0.9		
INCIRR	9 (ケ) 不定期的な仕事	23	1.1		
INCOTHER	10 (コ) その他()	58	2.9		
INCNOKN	11 わからない	1	0.0		

問 18-2〔回答票 18〕そのうち、一番中心となる収入源を1つだけ答えてください。

INCMAIN 現在の収入源: 中心となるもの(全員)

コード	ケース数	%	
1 (ア) 自分の収入	747	36.9	
2 (イ) 配偶者の収入	552	27.3	
3 (ウ) 親の収入	122	6.0	
4 (エ) 配偶者・親以外の家族の収入	70	3.5	
5 (オ) 年金	454	22.4	
6 (カ) 失業保険	5	0.2	
7 (キ) 貯蓄	23	1.1	
8 (ク) 社会福祉 (生活保護、福祉手当等)	10	0.5	
9 (ケ) 不定期的な仕事	0	0.0	
10 (コ) その他()	19	0.9	
11 わからない	2	0.1	
99 無回答	19	0.9	
計		2023	100.0

問 19〔回答票 19〕働き方に関する次のA・Bの意見のうち、あなたの意見はどちらに近いですか。

- A さまざまな勤め先を経験する方がよい

B 一つの勤め先に長く勤める方がよい

OPCNGJB 転職・勤続への意見

コード	ケース数	%	
1 (ア) A	320	15.8	
2 (イ) どちらかといえばA	305	15.1	
3 (ウ) どちらかといえばB	712	35.2	
4 (エ) B	614	30.4	
9 無回答	72	3.6	
計		2023	100.0

問 20〔回答票 20〕 かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入りますか。

OP10LVL 自分の位置する階層

コード		ケース数	%
1	一番上	9	0.4
2	・	20	1.0
3	・	107	5.3
4	・	201	9.9
5	・	816	40.3
6	・	278	13.7
7	・	242	12.0
8	・	187	9.2
9	・	66	3.3
10	一番下	65	3.2
99	無回答	32	1.6
計		2023	100.0

ここからはあなたのご家族のことについておうかがいします。

問 21 あなたは結婚していますか。

DOMARRY 結婚状況

コード		ケース数	%
1	既婚・有配偶	1473	72.8
2	既婚・離別	70	3.5
3	既婚・死別	169	8.4
4	未婚	311	15.4
計		2023	100.0

問 22-1〔回答票 21〕 配偶者の方は先週、収入をともなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

SSJB1WK 先週の就労経験(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事をした	904	61.4
2	(イ) 仕事をもっているが、病気・休暇などで先週は仕事を休んだ	18	1.2
3	(ウ) 仕事をしていない	551	37.4
計		1473	100.0
8	非該当	550	
計		2023	

問 22-2 配偶者の方のお仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。配偶者の方は先週何日仕事をしましたか。また、残業を含めて合計何時間仕事をしましたか。

SSJBDWK 就労日数/週(配偶者)

コード		ケース数	%
(実数記入)	1 日	9	1.0
	2 日	18	2.0
	3 日	54	5.9
	4 日	51	5.5
	5 日	404	43.8

	6 日		286	31.0
	7 日		88	9.5
99	無回答		12	1.3
			計	922
88	非該当		1101	100.0
			計	2023

SSJBHRWK 就労時間数/週(配偶者)

コード [*]		ケース数	%
(実数記入)	1～9 時間	26	2.8
	10～19 時間	63	6.8
	20～29 時間	72	7.8
	30～39 時間	76	8.2
	40～49 時間	389	42.2
	50～59 時間	140	15.2
	60～69 時間	77	8.4
	70～79 時間	37	4.0
	80 時間以上	18	2.0
999	無回答	24	2.6
		計	922
888	非該当	1101	100.0
		計	2023

問 22-3 [回答票 22] 配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

SSTP12JB 就労地位(配偶者)

コード [*]		ケース数	%
1	(ア) 経営者・役員	72	7.8
2	(イ) 常時雇用の一般従事者：役職なし	233	25.3
3	(ウ) 常時雇用の一般従事者：職長・班長・組長	37	4.0
4	(エ) 常時雇用の一般従事者：係長・係長相当職	42	4.6
5	(オ) 常時雇用の一般従事者：課長・課長相当職	73	7.9
6	(カ) 常時雇用の一般従事者：部長・部長相当職	35	3.8
7	(キ) 常時雇用の一般従事者：その他の役職	4	0.4
8	(ク) 常時雇用の一般従事者：役職はわからない	23	2.5
9	(ケ) 臨時雇用・パート・アルバイト	159	17.2
10	(コ) 派遣社員	8	0.9
11	(サ) 自営業主・自由業者	138	15.0
12	(シ) 家族従業者	84	9.1
13	(ス) 内職	9	1.0
14	わからない	4	0.4
99	無回答	1	0.1
		計	922
88	非該当	1101	100.0
		計	2023

問 22-4 配偶者の方が働いている場所（工場、事務所、商店などの事業所）は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

SSXXHQX 業種(配偶者)

コード		ケース数	%
10	農業	63	6.8
20	林業	1	0.1
30	漁業	5	0.5
40	鉱業	1	0.1
50	建設業	92	10.0
60	製造業	191	20.7
70	電気・ガス・熱供給・水道業	6	0.7
80	運輸業	40	4.3
91	卸売業	30	3.3
92	小売業	107	11.6
93	飲食店	40	4.3
100	金融・保険業	21	2.3
110	不動産業	4	0.4
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	9	1.0
130	情報・通信サービス業	18	2.0
140	医療・福祉サービス業	83	9.0
150	教育・研究サービス業	28	3.0
160	法律・会計サービス業	8	0.9
170	その他のサービス業	118	12.8
180	公務	37	4.0
190	分類不能の産業	9	1.0
999	無回答	11	1.2
		計	922
998	非該当	1101	100.0
		計	2023

問 22-5 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。主な収入の仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように）

SSXXJOB 職種(配偶者)

コード		ケース数	%
502	人文科学系研究者	1	0.1
503	機械・電気・化学技術者	12	1.3
504	建築・土木技術者	8	0.9
505	農林技術者	1	0.1
506	情報処理技術者	13	1.4
508	医師	5	0.5
510	薬剤師	3	0.3
511	助産師（助産婦）	1	0.1
512	保健師（保健婦）	1	0.1
514	看護師（看護婦・看護師）	18	2.0
516	その他の保健医療従事者	8	0.9
517	裁判官、検察官、弁護士	2	0.2
518	その他の法務従事者	1	0.1
521	小学校教員	8	0.9
522	中学校教員	6	0.7
523	高等学校教員	1	0.1

525	盲・ろう・養護学校教員	1	0.1
527	宗教家	1	0.1
528	文芸家、著述家	1	0.1
529	記者、編集者	3	0.3
530	彫刻家、画家、工芸美術家	1	0.1
531	デザイナー	1	0.1
532	写真家、カメラマン	5	0.5
533	音楽家（個人に教授するものを除く）	2	0.2
534	俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）	1	0.1
537	保育士（保母、保父）	2	0.2
538	社会福祉事業専門職員	3	0.3
539	個人教師	8	0.9
545	管理的公務員	2	0.2
547	地方議員	1	0.1
548	会社役員	7	0.8
550	会社・団体等の管理職員	17	1.8
552	郵便局長、電報・電話局長	1	0.1
554	総務・企画事務員	118	12.8
555	受付・案内事務員	5	0.5
556	出荷・受荷事務員	3	0.3
557	営業・販売事務員	21	2.3
558	その他の一般事務員	7	0.8
559	会計事務員	27	2.9
560	郵便・通信事務員	1	0.1
561	集金人	1	0.1
563	運輸事務員	4	0.4
566	小売店主	17	1.8
567	卸売店主	9	1.0
568	飲食店主	5	0.5
569	販売店員	33	3.6
570	行商人、呼売人、露天商	1	0.1
571	再生資源卸売人・回収人	1	0.1
573	外交員(保険、不動産を除く)	46	5.0
574	保険代理人・外交員	6	0.7
575	不動産仲買人・売買人	2	0.2
577	その他の販売類似職業従事者	3	0.3
578	家政婦、家事サービス職業従事者	19	2.1
579	理容師、美容師	12	1.3
580	クリーニング職、洗張職	4	0.4
581	料理人	30	3.3
583	給仕係	17	1.8
584	スチュワーデス、スチュワード	1	0.1
586	娯楽場等の接客員	4	0.4
587	旅行・観光案内人	2	0.2
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	1	0.1
592	その他のサービス職業従事者	6	0.7
593	自衛官	4	0.4
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	1	0.1
595	消防員	2	0.2
596	看守、守衛、監視員	7	0.8
599	農耕・養蚕作業	59	6.4
600	植木職、造園師	4	0.4

602	林業作業	1	0.1
604	漁業作業	3	0.3
606	電車・機関車運転士	1	0.1
607	自動車運転者	21	2.3
612	鉄道員	1	0.1
617	電話交換手	1	0.1
618	郵便・電報外務員	1	0.1
624	石工	2	0.2
627	製鉄工、製鋼工、精錬工	2	0.2
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造業者	4	0.4
629	化学製品製造業者	5	0.5
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	8	0.9
631	鉄工、板金工	7	0.8
632	金属溶接工	5	0.5
633	一般機械組立工・修理工	17	1.8
634	電気機械器具組立工・修理工	15	1.6
635	自動車組立工・整備工	8	0.9
638	航空機組立工・整備工	1	0.1
640	その他の輸送機械組立・修理業者	1	0.1
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	2	0.2
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	10	1.1
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲料品製造業者	15	1.6
647	酒類製造工	1	0.1
648	製糸業者	2	0.2
649	織布工、紡織業者	3	0.3
651	洋服・和服仕立職	1	0.1
652	縫製工、裁断工	4	0.4
654	指物職、家具職、建具職	2	0.2
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造業者	3	0.3
658	印刷・製本業者	2	0.2
659	ゴム・プラスチック製品製造業者	3	0.3
661	塗装工、画工、看板工	10	1.1
665	貴金属・宝石・甲・角等細工工	1	0.1
670	製図工、現図工	2	0.2
672	その他の技能工・生産工程業者	6	0.7
674	起重機・建設機械運転業者	4	0.4
675	その他の定置機関運転業者	2	0.2
676	発電員、変電員	1	0.1
677	電気工事・電話工事業者	13	1.4
678	土木・建築請負師	12	1.3
679	左官、とび職	5	0.5
680	れんが積工、配管工	4	0.4
681	畳職	1	0.1
682	土工、道路工夫	8	0.9
684	現場監督、その他の建設業者	14	1.5
685	倉庫夫、仲仕	4	0.4
686	運搬労務者	2	0.2
687	清掃員	11	1.2
688	その他の労務業者	8	0.9
689	分類不能の職業	2	0.2
701	スーパーなどのレジスター係員・キャッシャー	6	0.7
702	大工	8	0.9

703	教員	2	0.2
704	製品製造作業	1	0.1
999	不明、無回答	14	1.5
		計	922
998	非該当	1101	100.0
		計	2023

問 22-6〔回答票 23〕配偶者の方が働いている会社・組織全体で、従業員（働いている人）は何人くらいですか。配偶者自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

SSSZSTFA 企業規模(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 1 人	53	5.7
2	(イ) 2～4 人	189	20.5
3	(ウ) 5～9 人	88	9.5
4	(エ) 10～29 人	91	9.9
5	(オ) 30～99 人	102	11.1
6	(カ) 100～299 人	80	8.7
7	(キ) 300～499 人	28	3.0
8	(ク) 500～999 人	30	3.3
9	(ケ) 1,000～1,999 人	25	2.7
10	(コ) 2,000～9,999 人	30	3.3
11	(サ) 1 万人以上	39	4.2
12	(シ) 官公庁	63	6.8
13	わからない	98	10.6
99	無回答	6	0.7
		計	922
88	非該当	1101	100.0
		計	2023

問 22-7〔回答票 24〕昨年 1 年間の配偶者の方の主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料、その他が引かれる前の額をお答えください。

SSSZINCM 年収(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	15	1.6
2	(イ) 70 万円未満	54	5.9
3	(ウ) 70～100 万円未満	74	8.0
4	(エ) 100～130 万円未満	36	3.9
5	(オ) 130～150 万円未満	19	2.1
6	(カ) 150～250 万円未満	62	6.7
7	(キ) 250～350 万円未満	65	7.0
8	(ク) 350～450 万円未満	65	7.0
9	(ケ) 450～550 万円未満	69	7.5
10	(コ) 550～650 万円未満	41	4.4
11	(サ) 650～750 万円未満	41	4.4
12	(シ) 750～850 万円未満	30	3.3
13	(ス) 850～1,000 万円未満	27	2.9
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	17	1.8
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	4	0.4
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	4	0.4
17	(チ) 1,600～1,850 円未満	0	0.0

18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	2	0.2
19	(テ) 2,300 万円以上	2	0.2
20	回答したくない	157	17.0
21	わからない	133	14.4
99	無回答	5	0.5
		計	922
88	非該当	1101	100.0
		計	2023

問 23-1 配偶者の方の 9 月 1 日現在の年齢を教えてください。

SPAGEX 配偶者の年齢

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	20～29 歳	58	3.9
	30～39 歳	206	14.0
	40～49 歳	258	17.5
	50～59 歳	356	24.2
	60～69 歳	323	21.9
	70～79 歳	222	15.1
	80～89 歳	38	2.6
	90 歳以上	1	0.1
999	無回答	11	0.7
		計	1473
888	非該当	550	100.0
		計	2023

問 23-2 配偶者の方とは一緒に暮らしていますか。

SPLVTG 配偶者との同居

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	同居	1447	98.2
2	別居（単身赴任中）	16	1.1
3	別居（その他の理由）	10	0.7
		計	1473
8	非該当	550	100.0
		計	2023

問 24-1 あなたは、あなた自身のお父様、お母様と一緒に暮らしていますか。それぞれについてお答えください。

問 24-2 お父様、お母様の 9 月 1 日現在の年齢を教えてください。

PPLVTG 父親：同居・生死

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	同居	257	12.7
2	別居	507	25.1
3	死亡	1248	61.7
9	無回答	11	0.5
		計	2023
			100.0

PPAGE 父親:年齢

<u>コード</u> (実数記入)		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
	40～49 歳	17	2.2
	50～59 歳	185	23.9
	60～69 歳	216	27.9
	70～79 歳	202	26.1
	80～89 歳	85	11.0
	90 歳以上	15	1.9
999	無回答	55	7.1
		計	775
888	非該当	1248	100.0
		計	2023

MMLVTG 母親:同居・生死

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	同居	378	18.7
2	別居	701	34.7
3	死亡	933	46.1
9	無回答	11	0.5
		計	2023
			100.0

MMAGE 母親:年齢

<u>コード</u> (実数記入)		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
	40～49 歳	47	4.3
	50～59 歳	228	20.9
	60～69 歳	268	24.6
	70～79 歳	252	23.1
	80～89 歳	183	16.8
	90 歳以上	63	5.8
999	無回答	49	4.5
		計	1090
888	非該当	933	100.0
		計	2023

問 25-1 これまでにお持ちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。

CCNUMTTL 子どもの人数

<u>コード</u> (実数記入)		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
	0 人	427	21.1
	1 人	285	14.1
	2 人	863	42.7
	3 人	363	17.9
	4 人	63	3.1
	5 人以上	19	0.9
999	無回答	3	0.1
		計	2023
			100.0

CC[01-08]LVTG 子ども[1-8]:同居・生死

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	同居
2	別居
3	死亡
8	非該当
9	無回答

CC[01-08]SEX 子ども[1-8]:性別

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	男
2	女
8	非該当
9	無回答

CC[01-08]AGE 子ども[1-8]:年齢

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
888	非該当
999	無回答

問 26-1 ここまでに、あなたの配偶者、あなた自身のご両親、お子様についてうかがいました。それ以外の方で、あなたと一緒に暮らしている方はいますか。いれば、その人数を教えてください。

SZFFOTHR その他の家族の人数

コード		ケース数	%
(実数記入)	0 人	1554	76.8
	1 人	194	9.6
	2 人	119	5.9
	3 人	103	5.1
	4 人	45	2.2
	5 人以上	7	0.3
999	無回答	1	0.0
計		2023	100.0

問 26-2 その全員について、あなたからみた続柄、性別、9 月 1 日現在の年齢を教えてください。

FFH[01-05]REL その他の家族[1-5]:続柄

「83 ページの続柄コード表参照」

この変数の単純集計は記載していません。

FFH[01-05]SEX その他の家族[1-5]:性別

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	男
2	女
8	非該当
9	無回答

FFH[01-05]AGE その他の家族[1-5]:年齢

この変数の単純集計は記載していません。

コード

888	非該当
999	無回答

問 27 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

SZFFONLY 家族人数(本人除く)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	0 人	171	8.5
	1 人	527	26.1
	2 人	474	23.4
	3 人	434	21.5
	4 人	185	9.1
	5 人以上	231	11.4
999	無回答	1	0.0
計		2023	100.0

SZFFTTL 家族人数(本人含む)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	1 人	171	8.5
	2 人	527	26.1
	3 人	474	23.4
	4 人	434	21.5
	5 人以上	416	20.6
999	無回答	1	0.0
計		2023	100.0

問 28-1 あなたには、ここにあげるような理由で〔回答票 25〕一時的に離れて暮らしているご家族がいますか。いらっしゃる場合、何人ですか。

SZFFOUT 一時的な別居家族の人数

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	0 人	1739	86.0
	1 人	198	9.8
	2 人	52	2.6
	3 人	14	0.7
	4 人	9	0.4
	5 人以上	3	0.1
999	無回答	8	0.4
計		2023	100.0

FFO[01-06]REL 一時的な別居家族[1-6]:続柄

「83 ページの続柄コード表参照」

この変数の単純集計は記載していません。

FFO[01-06]WHY その他の家族[1-6]:別居理由

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	(ア) あなたの仕事の都合
2	(イ) あなたの学業
3	(ウ) 家族の仕事の都合
4	(エ) 家族の学業
5	(オ) 長期入院
6	(カ) 老人・福祉施設に入所
7	(キ) その他 ()
8	非該当
9	無回答

問 29 あなたの家の世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「夫の母」など、続柄でお答えください。

FFHEAD 世帯主

コード		ケース数	%
00	本人	950	47.0
01	夫	690	34.1
02	妻	2	0.1
11	長男	69	3.4
12	次男	5	0.2
13	三男	1	0.0
14	長男の妻	2	0.1
21	長女	5	0.2
24	長女の夫	10	0.5
26	三女の夫	1	0.0
30	孫(男)	2	0.1
40	父	200	9.9
41	母	41	2.0
42	義父(配偶者の父)	34	1.7
43	義母(配偶者の母)	1	0.0
50	兄	1	0.0
52	姉	1	0.0
60	祖父	3	0.1
61	祖母	1	0.0
99	無回答	4	0.2
計		2023	100.0

続柄コード表

コード		コード		コード	
00	本人	22	次女	50	兄
01	夫	23	三女	51	弟
02	妻	24	長女の夫	52	姉
11	長男	25	次女の夫	53	妹
12	次男	26	三女の夫	60	本人の祖父
13	三男	30	孫(男)	61	本人の祖母
14	長男の妻	31	孫(女)	62	配偶者の祖父
15	次男の妻	40	本人の父	63	配偶者の祖母
16	三男の妻	41	本人の母		
21	長女	42	配偶者の父	97	その他・不明
		43	配偶者の母	99	無回答

問 30〔回答票 26〕昨年 1 年間のあなたの世帯収入はどのくらいですか。税金を差し引く前の収入でお答えください。株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。この中のどれにあてはまりますか。

SZHSINCM 世帯収入

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) なし	19	0.9
2	(イ) 70 万円未満	33	1.6
3	(ウ) 70～100 万円未満	41	2.0
4	(エ) 100～130 万円未満	44	2.2
5	(オ) 130～150 万円未満	25	1.2
6	(カ) 150～250 万円未満	114	5.6
7	(キ) 250～350 万円未満	152	7.5
8	(ク) 350～450 万円未満	152	7.5
9	(ケ) 450～550 万円未満	123	6.1
10	(コ) 550～650 万円未満	92	4.5
11	(サ) 650～750 万円未満	89	4.4
12	(シ) 750～850 万円未満	70	3.5
13	(ス) 850～1,000 万円未満	97	4.8
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	63	3.1
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	39	1.9
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	29	1.4
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	14	0.7
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	12	0.6
19	(テ) 2,300 万円以上	13	0.6
20	回答したくない	309	15.3
21	わからない	478	23.6
99	無回答	15	0.7
計		2023	100.0

問 31-1 あなたの家には、自動車はありますか。ご自分の車でない場合も含めてお答えください。

DOCAR 自動車の所持

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ある	1743	86.2
2	ない	280	13.8
計		2023	100.0

問 31-2〔回答票 27〕次の中からあなたの家にある車をすべて選んでください。

(多重回答) TPCARSTD~TPCAROTH 自動車の種類 共通 (変数名は下記参照)

<u>コード</u>		<u>該当者数</u> 1743	
0	非選択		
1	選択		
8	非該当		
		<u>選択者数</u>	<u>%</u>
TPCARSTD	1 (ア) 普通乗用車 (ナンバープレートが白で、5・7から始まる車)	1382	79.3
TPCARLG	2 (イ) 大型乗用車 (ナンバープレートが白で、3から始まる車)	306	17.6
TPCARSM	3 (ウ) 軽自動車・軽トラック (ナンバープレートが黄色で、4・5から始まる車)	755	43.3
TPCARTK	4 (エ) 普通トラック (ナンバープレートが白で、1・4・6から始まる車)	122	7.0
TPCAROTH	5 (オ) その他の車 (具体的に)	8	0.5

問 31-3〔回答票 28〕車に関わる次のような費用は、あなたの家の家計にとってどの程度負担になっていますか。それぞれについてお答えください。

A ガソリン代

EXCARGAS 自動車の負担感:ガソリン代

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) とても負担になっている	306	17.6
2	(イ) やや負担になっている	670	38.4
3	(ウ) あまり負担になっていない	564	32.4
4	(エ) 全く負担になっていない	163	9.4
9	無回答	40	2.3
計		1743	100.0
8	非該当	280	
計		2023	

B 保険料・税金

EXCARINS 自動車の負担感:保険料・税金

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) とても負担になっている	416	23.9
2	(イ) やや負担になっている	737	42.3
3	(ウ) あまり負担になっていない	408	23.4
4	(エ) 全く負担になっていない	140	8.0
9	無回答	42	2.4
計		1743	100.0
8	非該当	280	
計		2023	

C 車の購入代金・ローンの返済

EXCARBUY 自動車の負担感:購入代金・ローン

コード		ケース数	%
1	(ア) とても負担になっている	244	14.0
2	(イ) やや負担になっている	426	24.4
3	(ウ) あまり負担になっていない	374	21.5
4	(エ) 全く負担になっていない	646	37.1
9	無回答	53	3.0
計		1743	100.0
8	非該当	280	
計		2023	

D 修理・車検の代金

EXCARFIX 自動車の負担感:修理・車検

コード		ケース数	%
1	(ア) とても負担になっている	349	20.0
2	(イ) やや負担になっている	708	40.6
3	(ウ) あまり負担になっていない	417	23.9
4	(エ) 全く負担になっていない	218	12.5
9	無回答	51	2.9
計		1743	100.0
8	非該当	280	
計		2023	

E 駐車場の賃貸料

EXCARPRK 自動車の負担感:駐車場の賃貸料

コード		ケース数	%
1	(ア) とても負担になっている	62	3.6
2	(イ) やや負担になっている	158	9.1
3	(ウ) あまり負担になっていない	172	9.9
4	(エ) 全く負担になっていない	296	17.0
5	駐車場は借りていない	1028	59.0
9	無回答	27	1.5
計		1743	100.0
8	非該当	280	
計		2023	

問 32-1 あなたが 15 歳の頃、どちらにお住まいでしたか。都道府県名をお答えください。

PREF15 15 歳の頃の居住地(本人):都道府県名

コード		ケース数	%
1	北海道	117	5.8
2	青森	27	1.3
3	岩手	29	1.4
4	宮城	42	2.1
5	秋田	45	2.2
6	山形	39	1.9
7	福島	22	1.1
8	茨城	51	2.5
9	栃木	56	2.8

10	群馬	30	1.5
11	埼玉	48	2.4
12	千葉	63	3.1
13	東京	123	6.1
14	神奈川	59	2.9
15	新潟	58	2.9
16	富山	28	1.4
17	石川	28	1.4
18	福井	38	1.9
19	山梨	44	2.2
20	長野	39	1.9
21	岐阜	52	2.6
22	静岡	74	3.7
23	愛知	88	4.3
24	三重	50	2.5
25	滋賀	35	1.7
26	京都	45	2.2
27	大阪	82	4.1
28	兵庫	57	2.8
29	奈良	16	0.8
30	和歌山	23	1.1
31	鳥取	9	0.4
32	島根	18	0.9
33	岡山	30	1.5
34	広島	44	2.2
35	山口	38	1.9
36	徳島	20	1.0
37	香川	31	1.5
38	愛媛	31	1.5
39	高知	10	0.5
40	福岡	73	3.6
41	佐賀	27	1.3
42	長崎	31	1.5
43	熊本	22	1.1
44	大分	38	1.9
45	宮崎	29	1.4
46	鹿児島	31	1.5
47	沖縄	21	1.0
48	外国	9	0.4
99	無回答	3	0.1
計		2023	100.0

問 32-2 〔回答票 29〕 その地域は、当時、この中のどれにあたったと思いますか。

TP5LOC15 15歳の頃の居住地(本人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 大都市	243	12.0
2	(イ) 中小都市	851	42.1
3	(ウ) 町・村	925	45.7
9	無回答	4	0.2
計		2023	100.0

問 32-3 そこは農山漁村地域でしたか。

REMOTE15 15歳の頃の居住地(本人):農山村地域

コード		ケース数	%
1	はい	909	44.9
2	いいえ	1110	54.9
9	無回答	4	0.2
計		2023	100.0

問 33-1 [回答票 30] あなたが 15 歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

PPJBTP15 15歳の頃の父:就労地位

コード		ケース数	%
1	(ア) 経営者・役員	88	4.3
2	(イ) 常時雇用の一般従事者: 役職なし	362	17.9
3	(ウ) 常時雇用の一般従事者: 職長、班長、組長	60	3.0
4	(エ) 常時雇用の一般従事者: 係長、係長相当職	79	3.9
5	(オ) 常時雇用の一般従事者: 課長、課長相当職	105	5.2
6	(カ) 常時雇用の一般従事者: 部長、部長相当職	56	2.8
7	(キ) 常時雇用の一般従事者: その他の役職	4	0.2
8	(ク) 常時雇用の一般従事者: 役職はわからない	147	7.3
9	(ケ) 臨時雇用・パート・アルバイト	11	0.5
10	(コ) 自営業主・自由業者	827	40.9
11	(サ) 家族従業者	15	0.7
12	(シ) 内職	0	0.0
13	(ス) 働いていなかった	35	1.7
14	(セ) 父はいなかった	161	8.0
15	わからない	69	3.4
99	無回答	4	0.2
計		2023	100.0

問 33-2 お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

PPJBXX15 15歳の頃の父:職種

コード		ケース数	%
503	機械・電気・化学技術者	6	0.3
504	建築・土木技術者	7	0.4
505	農林技術者	2	0.1
506	情報処理技術者	3	0.2
508	医師	5	0.3
509	歯科医師	2	0.1
510	薬剤師	3	0.2
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	3	0.2
516	その他の保健医療従事者	2	0.1
518	その他の法務従事者	2	0.1
519	公認会計士、税理士	2	0.1
521	小学校教員	13	0.7
522	中学校教員	7	0.4
523	高等学校教員	7	0.4

524	大学教員	4	0.2
527	宗教家	4	0.2
528	文芸家、著述家	1	0.1
529	記者、編集者	2	0.1
530	彫刻家、画家、工芸美術家	3	0.2
531	デザイナー	2	0.1
536	獣医師	2	0.1
539	個人教師	1	0.1
545	管理的公務員	21	1.1
547	地方議員	3	0.2
548	会社役員	8	0.4
549	その他の法人・団体の役員	2	0.1
550	会社・団体等の管理職員	12	0.7
551	駅長、区長	1	0.1
552	郵便局長、電報・電話局長	1	0.1
553	その他の管理的職業従事者	3	0.2
554	総務・企画事務員	127	7.0
557	営業・販売事務員	21	1.1
558	その他の一般事務員	5	0.3
559	会計事務員	28	1.5
560	郵便・通信事務員	6	0.3
563	運輸事務員	18	1.0
566	小売店主	105	5.7
567	卸売店主	18	1.0
568	飲食店主	21	1.1
569	販売店員	17	0.9
571	再生資源卸売人・回収人	3	0.2
572	商品仲立人	2	0.1
573	外交員(保険、不動産を除く)	40	2.2
574	保険代理人・外交員	4	0.2
575	不動産仲買人・売買人	6	0.3
576	質屋店主・店員	1	0.1
577	その他の販売類似職業従事者	4	0.2
578	家政婦、家事サービス職業従事者	1	0.1
579	理容師、美容師	12	0.7
580	クリーニング職、洗張職	5	0.3
581	料理人	6	0.3
586	娯楽場等の接客員	2	0.1
589	旅館主人・番頭、ホテル支配人	5	0.3
592	その他のサービス職業従事者	5	0.3
593	自衛官	8	0.4
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	12	0.7
595	消防員	2	0.1
596	看守、守衛、監視員	3	0.2
598	旧職業軍人	2	0.1
599	農耕・養蚕作業者	405	22.2
600	植木職、造園師	5	0.3
601	畜産作業者	7	0.4
602	林業作業者	21	1.1
603	その他の農林業作業者	1	0.1
604	漁業作業者	22	1.2
606	電車・機関車運転士	3	0.2

607	自動車運転者	46	2.5
609	船舶機関長・機関士（漁船を除く）	1	0.1
612	鉄道員	2	0.1
613	船員	2	0.1
614	その他の運輸従事者	2	0.1
617	電話交換手	1	0.1
618	郵便・電報外務員	2	0.1
620	採鉱員、採炭員	12	0.7
622	その他の採掘作業者	1	0.1
623	陶磁器工、絵付作業者	5	0.3
624	石工	5	0.3
625	ガラス・セメント製品製造作業者	4	0.2
626	その他の窯業・土石製品製造作業者	1	0.1
627	製鉄工、製鋼工、精錬工	12	0.7
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業者	7	0.4
629	化学製品製造作業者	11	0.6
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	12	0.7
631	鉄工、板金工	30	1.6
632	金属溶接工	2	0.1
633	一般機械組立工・修理工	29	1.6
634	電気機械器具組立工・修理工	13	0.7
635	自動車組立工・整備工	25	1.4
636	鉄道車両組立工・修理工	3	0.2
637	船舶ぎ装工(他に分類されない)	6	0.3
639	自転車組立工・修理工	2	0.1
640	その他の輸送機械組立・修理作業者	1	0.1
641	時計組立工・修理工	2	0.1
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	3	0.2
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	12	0.7
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者	15	0.8
646	たばこ製造工	1	0.1
647	酒類製造工	1	0.1
648	製糸作業者	2	0.1
649	織布工、紡織作業者	16	0.9
650	漂白工、染色工	3	0.2
651	洋服・和服仕立職	7	0.4
652	縫製工、裁断工	3	0.2
653	製材工、木工	14	0.8
654	指物職、家具職、建具職	11	0.6
655	船大工	4	0.2
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業者	10	0.5
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業者	9	0.5
658	印刷・製本作業者	7	0.4
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者	5	0.3
660	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業者	2	0.1
661	塗装工、画工、看板工	7	0.4
665	貴金属・宝石・甲・角等細工工	3	0.2
666	印判師	1	0.1
670	製図工、現図工	1	0.1
672	その他の技能工・生産工程作業者	1	0.1
673	汽かん士、汽かん火夫	1	0.1
674	起重機・建設機械運転作業者	2	0.1

676	発電員、変電員	2	0.1	
677	電気工事・電話工事作業者	21	1.1	
678	土木・建築請負師	32	1.8	
679	左官、とび職	16	0.9	
680	れんが積工、配管工	8	0.4	
681	畳職	1	0.1	
682	土工、道路工夫	37	2.0	
683	鉄道線路工夫	8	0.4	
684	現場監督、その他の建設作業者	9	0.5	
685	倉庫夫、仲仕	9	0.5	
686	運搬労務者	6	0.3	
687	清掃員	3	0.2	
688	その他の労務作業者	5	0.3	
689	分類不能の職業	4	0.2	
702	大工	65	3.6	
703	教員	11	0.6	
704	製品製造作業者	14	0.8	
705	会社員	40	2.2	
707	特に父職で記入が「自営業」とあった場合	4	0.2	
999	不明、無回答	65	3.6	
		計	1827	100.0
998	非該当		196	
		計	2023	

問 33-3〔回答票 31〕お父さんが働いていた会社・組織全体で従業員（働いていた人）は何人くらいでしたか。

PPJBSZ15 15 歳の頃の父:企業規模

コード		ケース数	%	
1	(ア) 1 人	252	13.8	
2	(イ) 小企業（2～29 人）	751	41.1	
3	(ウ) 中企業（30～299 人）	173	9.5	
4	(エ) 大企業（300 人以上）	214	11.7	
5	(オ) 官公庁	195	10.7	
6	わからない	192	10.5	
9	無回答	50	2.7	
		計	1827	100.0
8	非該当	196		
		計	2023	

問 34 [回答票 32] あなたが 15 歳の頃、お母さんは仕事をもって働いていましたか。働いていた場合には、この中のどれにあたりますか。

MMJBTP15 15 歳の頃の母:就労地位

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事はもっていなかった	601	29.7
2	(イ) 臨時雇用・パート・アルバイト	250	12.4
3	(ウ) 常時雇用：一般職・役職なし	160	7.9
4	(エ) 常時雇用：管理職	5	0.2
5	(オ) 常時雇用：専門的な仕事（看護婦、教師など）	36	1.8
6	(カ) 常時雇用：仕事内容はわからない	22	1.1
7	(キ) 自営業・家族従業者：農林漁業	700	34.6
8	(ク) 自営業・家族従業者：農林漁業以外	86	4.3
9	(ケ) 内職	58	2.9
10	(コ) 経営者・役員	7	0.3
11	(サ) 母はいなかった	47	2.3
12	わからない	37	1.8
99	無回答	14	0.7
計		2023	100.0

問 35-1 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

XNUMBROE 兄弟姉妹人数(兄)

コード		ケース数	%
(実数記入) 0 人		1070	52.9
1 人		596	29.5
2 人		213	10.5
3 人		88	4.3
4 人		36	1.8
5 人以上		15	0.7
999	無回答	5	0.2
計		2023	100.0

XNUMSISE 兄弟姉妹人数(姉)

コード		ケース数	%
(実数記入) 0 人		1070	52.9
1 人		592	29.3
2 人		216	10.7
3 人		78	3.9
4 人		42	2.1
5 人以上		20	1.0
999	無回答	5	0.2
計		2023	100.0

XNUMBROY 兄弟姉妹人数(弟)

コード (実数記入)		ケース数	%
0 人		1143	56.5
1 人		595	29.4
2 人		197	9.7
3 人		56	2.8
4 人		17	0.8
5 人以上		10	0.5
999	無回答	5	0.2
計		2023	100.0

XNUMSISY 兄弟姉妹人数(妹)

コード (実数記入)		ケース数	%
0 人		1155	57.1
1 人		595	29.4
2 人		182	9.0
3 人		47	2.3
4 人		28	1.4
5 人以上		11	0.5
999	無回答	5	0.2
計		2023	100.0

問 35-2 あなたの配偶者の兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

XSSNBROE 配偶者の兄弟姉妹人数(兄)

コード (実数記入)		ケース数	%
0 人		878	53.5
1 人		446	27.2
2 人		189	11.5
3 人		59	3.6
4 人		30	1.8
5 人以上		13	0.8
999	無回答	27	1.6
計		1642	100.0
888	非該当	381	
計		2023	

XSSNSISE 配偶者の兄弟姉妹人数(姉)

コード (実数記入)		ケース数	%
0 人		866	52.7
1 人		457	27.8
2 人		165	10.0
3 人		82	5.0
4 人		25	1.5
5 人以上		20	1.2
999	無回答	27	1.6
計		1642	100.0
888	非該当	381	
計		2023	

XSSNBROY 配偶者の兄弟姉妹人数(弟)

コード (実数記入)		ケース数	%
0 人		905	55.1
1 人		485	29.5
2 人		148	9.0
3 人		52	3.2
4 人		18	1.1
5 人以上		7	0.4
999	無回答	27	1.6
		計	1642
888	非該当	381	100.0
		計	2023

XSSNSISY 配偶者の兄弟姉妹人数(妹)

コード (実数記入)		ケース数	%
0 人		883	53.8
1 人		474	28.9
2 人		182	11.1
3 人		45	2.7
4 人		23	1.4
5 人以上		8	0.5
999	無回答	27	1.6
		計	1642
888	非該当	381	100.0
		計	2023

問 36 [回答票 33] あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は次のどれにあたりますか。あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

XXLSTSCH 最終学校(本人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校（国民学校を含む）	84	4.2
2	(イ) 旧制高等小学校	81	4.0
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	79	3.9
4	(エ) 旧制実業・商業学校	12	0.6
5	(オ) 旧制師範学校	0	0.0
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	17	0.8
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	7	0.3
8	(ク) 新制中学校	280	13.8
9	(ケ) 新制高校	818	40.4
10	(コ) 新制短大・高専	268	13.2
11	(サ) 新制大学	330	16.3
12	(シ) 新制大学院	33	1.6
13	わからない	5	0.2
99	無回答	9	0.4
		計	2023
			100.0

SSLSTSCH 最終学校(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校(国民学校を含む)	72	3.6
2	(イ) 旧制高等小学校	84	4.2
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	64	3.2
4	(エ) 旧制実業・商業学校	6	0.3
5	(オ) 旧制師範学校	3	0.1
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	14	0.7
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	11	0.5
8	(ク) 新制中学校	207	10.2
9	(ケ) 新制高校	671	33.2
10	(コ) 新制短大・高専	170	8.4
11	(サ) 新制大学	274	13.5
12	(シ) 新制大学院	19	0.9
13	わからない	26	1.3
14	結婚したことはない・離別した	381	18.8
99	無回答	21	1.0
計		2023	100.0

PPLSTSCH 最終学校(父親)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校(国民学校を含む)	453	22.4
2	(イ) 旧制高等小学校	241	11.9
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	163	8.1
4	(エ) 旧制実業・商業学校	30	1.5
5	(オ) 旧制師範学校	21	1.0
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	52	2.6
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	43	2.1
8	(ク) 新制中学校	120	5.9
9	(ケ) 新制高校	272	13.4
10	(コ) 新制短大・高専	16	0.8
11	(サ) 新制大学	94	4.6
12	(シ) 新制大学院	10	0.5
13	わからない	469	23.2
99	無回答	39	1.9
計		2023	100.0

MMLSTSCH 最終学校(母親)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校 (国民学校を含む)	471	23.3
2	(イ) 旧制高等小学校	250	12.4
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	233	11.5
4	(エ) 旧制実業・商業学校	9	0.4
5	(オ) 旧制師範学校	11	0.5
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	34	1.7
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	6	0.3
8	(ク) 新制中学校	124	6.1
9	(ケ) 新制高校	315	15.6
10	(コ) 新制短大・高専	47	2.3
11	(サ) 新制大学	41	2.0
12	(シ) 新制大学院	3	0.1
13	わからない	440	21.7
99	無回答	39	1.9
計		2023	100.0

問 37 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

DOLSTSCH 最終学校の卒業・中退(本人)

コード		ケース数	%
1	卒業	1915	94.7
2	中退	54	2.7
3	在学中	24	1.2
9	無回答	30	1.5
計		2023	100.0

あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

問 38-1 [回答票 34] あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

XGETJOB 初職の就労時期

コード		ケース数	%
1	(ア) すぐついた (3ヶ月たたないうちについた)	1655	81.8
2	(イ) 3ヶ月以上たってからついた	253	12.5
3	(ウ) 仕事についたことはない	63	3.1
99	無回答	52	2.6
計		2023	100.0

問 38-2 〔回答票 35〕 その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

TP12FSTJ 初職の就労地位

コード		ケース数	%
1	(ア) 経営者・役員	7	0.4
2	(イ) 常時雇用の一般従事者：役職なし	1473	77.2
3	(ウ) 常時雇用の一般従事者：職長、班長、組長	5	0.3
4	(エ) 常時雇用の一般従事者：係長、係長相当職	5	0.3
5	(オ) 常時雇用の一般従事者：課長、課長相当職	5	0.3
6	(カ) 常時雇用の一般従事者：部長、部長相当職	3	0.2
7	(キ) 常時雇用の一般従事者：その他の役職（具体的に ）	4	0.2
8	(ク) 常時雇用の一般従事者：役職はわからない	43	2.3
9	(ケ) 臨時雇用・パート・アルバイト	134	7.0
10	(コ) 派遣社員	6	0.3
11	(サ) 自営業主・自由業者	64	3.4
12	(シ) 家族従業者	134	7.0
13	(ス) 内 職	4	0.2
14	わからない	18	0.9
99	無回答	3	0.2
計		1908	100.0
88	非該当	115	
計		2023	

問 38-3 あなたが最初に働いていた場所（工場、事務所、商店、病院などの事業所）は、どのような事業をしていましたか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

XXFSTWP 初職の業種

コード		ケース数	%
10	農業	97	5.1
20	林業	3	0.2
30	漁業	9	0.5
40	鉱業	8	0.4
50	建設業	122	6.4
60	製造業	548	28.7
70	電気・ガス・熱供給・水道業	10	0.5
80	運輸業	72	3.8
91	卸売業	80	4.2
92	小売業	247	12.9
93	飲食店	41	2.1
100	金融・保険業	87	4.6
110	不動産業	5	0.3
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	18	0.9
130	情報・通信サービス業	42	2.2
140	医療・福祉サービス業	120	6.3
150	教育・研究サービス業	78	4.1
160	法律・会計サービス業	16	0.8
170	その他のサービス業	173	9.1
180	公務	92	4.8
190	分類不能の産業	16	0.8
999	無回答	24	1.3
計		1908	100.0
998	非該当	115	
計		2023	

問 38-4 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業……というように)

XXFSTJB 初職の職種

コード		ケース数	%
501	自然科学系研究者	2	0.1
503	機械・電気・化学技術者	22	1.2
504	建築・土木技術者	12	0.6
505	農林技術者	4	0.2
506	情報処理技術者	22	1.2
507	その他の技師・技術者	2	0.1
508	医師	2	0.1
509	歯科医師	2	0.1
511	助産師（助産婦）	1	0.1
513	栄養士	11	0.6
514	看護師（看護婦・看護師）	30	1.6
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	2	0.1
516	その他の保健医療従事者	27	1.4
517	裁判官、検察官、弁護士	2	0.1
519	公認会計士、税理士	2	0.1
520	幼稚園教員	7	0.4
521	小学校教員	24	1.3
522	中学校教員	8	0.4
523	高等学校教員	5	0.3
524	大学教員	2	0.1
525	盲・ろう・養護学校教員	3	0.2
526	その他の教員	3	0.2
529	記者、編集者	4	0.2
530	彫刻家、画家、工芸美術家	3	0.2
531	デザイナー	3	0.2
532	写真家、カメラマン	2	0.1
533	音楽家（個人に教授するものを除く）	2	0.1
534	俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）	2	0.1
537	保育士（保母、保父）	23	1.2
538	社会福祉事業専門職員	3	0.2
539	個人教師	9	0.5
540	不動産鑑定士	1	0.1
541	経営コンサルタント	1	0.1
545	管理的公務員	1	0.1
550	会社・団体等の管理職員	1	0.1
554	総務・企画事務員	329	17.2
555	受付・案内事務員	28	1.5
556	出荷・受荷事務員	13	0.7
557	営業・販売事務員	31	1.6
558	その他の一般事務員	22	1.2
559	会計事務員	96	5.0
560	郵便・通信事務員	2	0.1
561	集金人	1	0.1
563	運輸事務員	7	0.4
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	8	0.4
565	電子計算機等操作員	2	0.1
566	小売店主	9	0.5

568	飲食店主	1	0.1
569	販売店員	157	8.2
570	行商人、呼売人、露天商	1	0.1
573	外交員(保険、不動産を除く)	93	4.9
574	保険代理人・外交員	4	0.2
575	不動産仲買人・売買人	3	0.2
578	家政婦、家事サービス職業従事者	15	0.8
579	理容師、美容師	34	1.8
580	クリーニング職、洗張職	1	0.1
581	料理人	19	1.0
583	給仕係	30	1.6
585	接客社交係	1	0.1
586	娯楽場等の接客員	5	0.3
587	旅行・観光案内人	1	0.1
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	1	0.1
592	その他のサービス職業従事者	4	0.2
593	自衛官	3	0.2
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	2	0.1
595	消防員	2	0.1
599	農耕・養蚕作業者	94	4.9
600	植木職、造園師	1	0.1
601	畜産作業者	3	0.2
602	林業作業者	6	0.3
603	その他の農林業作業者	1	0.1
604	漁業作業者	8	0.4
606	電車・機関車運転士	1	0.1
607	自動車運転者	18	0.9
611	車掌	10	0.5
612	鉄道員	1	0.1
613	船員	1	0.1
615	無線通信士、無線技術士	2	0.1
616	有線通信士	2	0.1
617	電話交換手	7	0.4
618	郵便・電報外務員	5	0.3
620	採鉱員、採炭員	1	0.1
622	その他の採掘作業者	1	0.1
623	陶磁器工、絵付作業者	7	0.4
624	石工	2	0.1
625	ガラス・セメント製品製造作業者	1	0.1
627	製鉄工、製鋼工、精錬工	5	0.3
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業者	2	0.1
629	化学製品製造作業者	12	0.6
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	18	0.9
631	鉄工、板金工	11	0.6
632	金属溶接工	2	0.1
633	一般機械組立工・修理工	36	1.9
634	電気機械器具組立工・修理工	37	1.9
635	自動車組立工・整備工	28	1.5
636	鉄道車両組立工・修理工	2	0.1
637	船舶ぎ装工(他に分類されない)	2	0.1
638	航空機組立工・整備工	2	0.1
639	自転車組立工・修理工	1	0.1

640	その他の輸送機械組立・修理作業者	2	0.1	
641	時計組立工・修理工	4	0.2	
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	11	0.6	
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	7	0.4	
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者	14	0.7	
646	たばこ製造工	1	0.1	
647	酒類製造工	2	0.1	
648	製糸作業者	36	1.9	
649	織布工、紡織作業者	29	1.5	
650	漂白工、染色工	4	0.2	
651	洋服・和服仕立職	19	1.0	
652	縫製工、裁断工	19	1.0	
653	製材工、木工	7	0.4	
654	指物職、家具職、建具職	7	0.4	
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業者	1	0.1	
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業者	5	0.3	
658	印刷・製本作業者	16	0.8	
659	ゴム・プラスチック製品製造作業者	6	0.3	
660	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業者	2	0.1	
661	塗装工、画工、看板工	2	0.1	
663	表具師、内張工	1	0.1	
665	貴金属・宝石・甲・角等細工工	1	0.1	
669	がん具製造工	1	0.1	
670	製図工、現図工	8	0.4	
672	その他の技能工・生産工程作業者	11	0.6	
675	その他の定置機関運転作業者	4	0.2	
677	電気工事・電話工事作業者	21	1.1	
678	土木・建築請負師	2	0.1	
679	左官、とび職	16	0.8	
680	れんが積工、配管工	5	0.3	
682	土工、道路工夫	20	1.0	
683	鉄道線路工夫	5	0.3	
684	現場監督、その他の建設作業者	13	0.7	
685	倉庫夫、仲仕	6	0.3	
686	運搬労務者	6	0.3	
687	清掃員	1	0.1	
688	その他の労務作業者	4	0.2	
689	分類不能の職業	2	0.1	
701	スーパーなどのレジスター係員・キャッシャー	14	0.7	
702	大工	26	1.4	
703	教員	10	0.5	
704	製品製造作業者	12	0.6	
705	会社員	2	0.1	
999	不明、無回答	18	0.9	
		計	1908	100.0
998	非該当		115	
		計	2023	

問 38-5〔回答票 36〕あなたが最初についた仕事では、会社・組織全体で従業員（働いていた人）は何人くらいでしたか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

SZSTFFST 初職の企業規模

コード		ケース数	%
1	(ア) 1 人	16	0.8
2	(イ) 2～4 人	260	13.6
3	(ウ) 5～9 人	165	8.6
4	(エ) 10～29 人	212	11.1
5	(オ) 30～99 人	240	12.6
6	(カ) 100～299 人	208	10.9
7	(キ) 300～499 人	75	3.9
8	(ク) 500～999 人	91	4.8
9	(ケ) 1,000～1,999 人	91	4.8
10	(コ) 2,000～9,999 人	128	6.7
11	(サ) 1 万人以上	103	5.4
12	(シ) 官公庁	172	9.0
13	わからない	131	6.9
99	無回答	16	0.8
		計	1908
88	非該当	115	
		計	2023

〔調査員記入〕

F1 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

COOP 調査員への質問: 回答者の協力度

コード		ケース数	%
1	とても協力的	1134	56.1
2	どちらかといえば協力的	684	33.8
3	それほど協力的ではなかった	176	8.7
4	まったく協力的ではなかった	10	0.5
9	無回答	19	0.9
		計	2023
			100.0

F2 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

USTAND 調査員への質問: 回答者の理解度

コード		ケース数	%
1	非常に良い	1191	58.9
2	どちらかといえば良い	725	35.8
3	あまり良くない	75	3.7
4	まったく良くない	9	0.4
9	無回答	23	1.1
		計	2023
			100.0

F5 回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

AREA 調査員への質問: 回答者の居住地域

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	工場の多い地域	15	0.7
2	商店・事業所の多い地域	237	11.7
3	主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）	490	24.2
4	主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）	743	36.7
5	農山漁村	464	22.9
6	その他（ ）	39	1.9
9	無回答	35	1.7
計		2023	100.0

F6 面接票と留置票のどちらを先に実施しましたか。

PROC 調査手順(留置/面接の順序)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	面接が先	1688	83.4
2	留置が先	284	14.0
9	無回答	51	2.5
計		2023	100.0

F7 この面接調査票の調査時刻、所要時間を必ず記録して下さい

DURATION 調査所要時間(分)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	10 分以内	5	0.2
	10～19 分	556	27.5
	20～29 分	950	47.0
	30～39 分	356	17.6
	40～49 分	80	4.0
	50～59 分	23	1.1
	60 分以上	23	1.1
999	無回答	30	1.5
計		2023	100.0

II.2 基礎集計・コード表：留置調査票

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。全く見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV テレビ視聴時間

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	0 時間くらい	42	2.1
	1 時間くらい	226	11.2
	2 時間くらい	442	21.8
	3 時間くらい	476	23.5
	4 時間くらい	288	14.2
	5 時間くらい	274	13.5
	6 時間くらい	111	5.5
	7 時間くらい	27	1.3
	8 時間くらい	48	2.4
	9 時間くらい	6	0.3
	10 時間くらい	51	2.5
	11 時間以上	17	0.8
999	無回答	15	0.7
計		2023	100.0

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ 1ヶ月の読書冊数

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
0	ほとんど読まない	1006	49.7
1	1 冊程度	566	28.0
2	2 冊程度	230	11.4
3	3 冊程度	79	3.9
4	4 冊以上	130	6.4
9	無回答	12	0.6
計		2023	100.0

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP 新聞を読む頻度

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ほぼ毎日	1490	73.7
2	週数回	224	11.1
3	週1回程度	64	3.2
4	それ以下	107	5.3
5	まったく読まない	128	6.3
9	無回答	10	0.5
計		2023	100.0

Q4 あなたがよく読む新聞すべてに○をつけてください。

(多重回答) NPASAH~NPNONE 購読新聞 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数		2023
0	非選択			
1	選択			
		選択者数	%	
NPASAH	1 朝日新聞	422	20.9	
NPSANKEI	2 産経新聞	61	3.0	
NPNIKKEI	3 日本経済新聞	172	8.5	
NPMAINI	4 毎日新聞	145	7.2	
NPYOMIUR	5 読売新聞	421	20.8	
NPSANSP	6 サンケイスポーツ	36	1.8	
NPSPNIP	7 スポーツニッポン	75	3.7	
NPDAYSP	8 デイリースポーツ	13	0.6	
NPNIKSP	9 日刊スポーツ	77	3.8	
NPHOUCHI	10 報知新聞	22	1.1	
NPHOKKAI	11 北海道新聞	88	4.3	
NPTOKYO	12 東京新聞	17	0.8	
NPCHUNI	13 中日新聞	166	8.2	
NPWESTJP	14 西日本新聞	33	1.6	
NPJAPAN	15 Japan Times	3	0.1	
NPGENDAI	16 日刊ゲンダイ	2	0.1	
NPFUJI	17 夕刊フジ	2	0.1	
NPAKAHAT	18 赤旗	28	1.4	
NPSEIKYO	19 聖教新聞	79	3.9	
NPETC	20 その他 (具体的に)	649	32.1	
NPNONE	21 よく読む新聞はない	166	8.2	

「20 その他」の1番目の具体的記述

NPETCX1 購読新聞:その他:具体的記述(1番目)

コード	ケース数	%
21 静岡新聞	38	5.9
22 中国新聞	26	4.0
23 新潟日報	23	3.5
24 神戸新聞	12	1.8
25 信濃毎日新聞	10	1.5
26 河北新報	31	4.8
27 山陽新聞	14	2.2
28 京都新聞	26	4.0
29 下野新聞	26	4.0
30 南日本新聞	11	1.7
31 北日本新聞	18	2.8
32 熊本日日新聞	14	2.2
33 宮崎日日新聞	11	1.7
34 愛媛新聞	13	2.0
35 東奥日報	11	1.7
36 秋田魁新報	27	4.2
37 福島民報	5	0.8
38 山梨日日新聞	16	2.5
39 福井新聞	26	4.0
40 上毛新聞	9	1.4

41	茨城新聞	4	0.6
42	日本海新聞	8	1.2
43	徳島新聞	15	2.3
44	長崎新聞	10	1.5
45	北国新聞	17	2.6
46	佐賀新聞	8	1.2
47	山形新聞	18	2.8
48	山陰中央新報	7	1.1
49	四国新聞	17	2.6
50	大分合同新聞	20	3.1
51	高知新聞	8	1.2
52	十勝毎日新聞	5	0.8
53	岩手日報	11	1.7
54	神奈川新聞	5	0.8
55	室蘭民報	4	0.6
56	琉球新報	11	1.7
57	沖縄タイムズ	6	0.9
58	岐阜新聞	16	2.5
59	福島民友	5	0.8
61	千葉日報	2	0.3
64	公明新聞	1	0.2
65	日経流通新聞	4	0.6
66	市民タイムス	4	0.6
67	デーリー東北	6	0.9
68	夕刊デイリー	4	0.6
70	日本農業新聞	5	0.8
80	その他のスポーツ新聞	10	1.5
81	中日スポーツ	7	1.1
97	その他・不明	41	6.3
99	無回答	3	0.5
		計	649
88	非該当		1374
		計	2023

「20 その他」の2番目の具体的記述

NPETCX2 購読新聞:その他:具体的記述(2番目)

コード		ケース数	%
23	新潟日報	1	5.3
30	南日本新聞	1	5.3
37	福島民報	1	5.3
38	山梨日日新聞	1	5.3
54	神奈川新聞	1	5.3
56	琉球新報	1	5.3
64	公明新聞	1	5.3
65	日経流通新聞	1	5.3
70	日本農業新聞	1	5.3
80	その他のスポーツ新聞	1	5.3
81	中日スポーツ	1	5.3
97	その他・不明	8	42.1
		計	19
88	非該当		2004
		計	2023

Q5 次の項目で、あなたが利用しているものすべてに○をつけてください。

(多重回答) DOCOMPJ~DONONEX 利用通信媒体 共通 (変数名は下記参照)

<u>コード</u>			<u>該当者数</u>	2023
	0	非選択		
	1	選択		
			<u>選択者数</u>	<u>%</u>
DOCOMPJ	1	パソコン（職場・学校で）	583	28.8
DOCOMPP	2	パソコン（自宅で）	744	36.8
DOPHS	3	携帯電話（PHS を含む）	1389	68.7
DOFAX	4	ファックス	767	37.9
DONONEX	5	いずれも利用していない	508	25.1

Q6 あなたはパソコンや携帯電話 (PHS を含む) で、電子メールのやり取りをしていますか。

DOEMAIL 電子メールの利用

コード		ケース数	%
1	パソコンのみ	105	5.2
2	携帯のみ	581	28.7
3	両方でしている	428	21.2
4	していない	896	44.3
9	無回答	13	0.6
計		2023	100.0

Q7 あなたは、パソコンまたは携帯電話で次のことを行なっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(多重回答) DOINBRS~DOINNONE インターネットの利用 共通 (変数名は下記参照)

コード			該当者数	2023
0	非選択			
1	選択			
			選択者数	%
DOINBRS	1	情報検索	848	41.9
DOINSHOP	2	インターネットショッピング	326	16.1
DOINBANK	3	インターネットバンキング	94	4.6
DOINHP	4	ホームページの作成	70	3.5
DOINNONE	5	いずれも行っていない	1124	55.6

Q8 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

A 家族と一緒の夕食

FQ7FFDNR 家族と一緒の夕食:頻度

コード		ケース数	%
1	ほとんど毎日	1381	68.3
2	週に数回	291	14.4
3	週に1回程度	117	5.8
4	月に1回程度	35	1.7
5	年に数回	51	2.5
6	年に1回程度	15	0.7
7	全くなし	120	5.9
9	無回答	13	0.6
計		2023	100.0

B 友人との会食や集まり

FQ7FRSEE 友人との会食:頻度

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ほとんど毎日	20	1.0
2	週に数回	120	5.9
3	週に1回程度	241	11.9
4	月に1回程度	618	30.5
5	年に数回	615	30.4
6	年に1回程度	143	7.1
7	全くなし	221	10.9
9	無回答	45	2.2
計		2023	100.0

C 夕食の用意

FQ7CKDNR 夕食の用意:頻度(本人)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ほとんど毎日	940	46.5
2	週に数回	184	9.1
3	週に1回程度	102	5.0
4	月に1回程度	83	4.1
5	年に数回	147	7.3
6	年に1回程度	51	2.5
7	全くなし	482	23.8
9	無回答	34	1.7
計		2023	100.0

D 洗濯

FQ7WASH 洗濯:頻度(本人)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ほとんど毎日	875	43.3
2	週に数回	280	13.8
3	週に1回程度	134	6.6
4	月に1回程度	72	3.6
5	年に数回	113	5.6
6	年に1回程度	35	1.7
7	全くなし	477	23.6
9	無回答	37	1.8
計		2023	100.0

E 買い物（日用品や食料品の買い物）

FQ7SHOP 買い物:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほとんど毎日	426	21.1
2	週に数回	706	34.9
3	週に1回程度	408	20.2
4	月に1回程度	164	8.1
5	年に数回	109	5.4
6	年に1回程度	15	0.7
7	全くなし	163	8.1
9	無回答	32	1.6
計		2023	100.0

F 家の掃除

FQ7CLEAN 家の掃除:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほとんど毎日	541	26.7
2	週に数回	463	22.9
3	週に1回程度	331	16.4
4	月に1回程度	212	10.5
5	年に数回	160	7.9
6	年に1回程度	41	2.0
7	全くなし	252	12.5
9	無回答	23	1.1
計		2023	100.0

G ゴミ出し

FQ7GARB ゴミ出し:頻度(本人)

コード		ケース数	%
1	ほとんど毎日	259	12.8
2	週に数回	899	44.4
3	週に1回程度	233	11.5
4	月に1回程度	118	5.8
5	年に数回	130	6.4
6	年に1回程度	31	1.5
7	全くなし	332	16.4
9	無回答	21	1.0
計		2023	100.0

Q9 あなたは、以下のことをどのくらい行ないますか。

A ドライブ

FQ4DRIVE 娯楽の頻度:ドライブ

コード		ケース数	%
1	よくする	210	10.4
2	時々する	652	32.2
3	あまりしない	699	34.6
4	全くしない／知らない	431	21.3
9	無回答	31	1.5
計		2023	100.0

B カラオケ

FQ4KARA 娯楽の頻度:カラオケ

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	よくする	56	2.8
2	時々する	328	16.2
3	あまりしない	707	34.9
4	全くしない／知らない	901	44.5
9	無回答	31	1.5
計		2023	100.0

C 映画鑑賞（ビデオを含む）

FQ4MOVIE 娯楽の頻度:映画鑑賞

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	よくする	199	9.8
2	時々する	709	35.0
3	あまりしない	545	26.9
4	全くしない／知らない	536	26.5
9	無回答	34	1.7
計		2023	100.0

D 音楽鑑賞（CD・ラジオ・コンサートなど）

FQ4MUSIC 娯楽の頻度:音楽鑑賞

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	よくする	411	20.3
2	時々する	612	30.3
3	あまりしない	430	21.3
4	全くしない／知らない	536	26.5
9	無回答	34	1.7
計		2023	100.0

E テレビゲーム（PC ゲーム・携帯用を含む）

FQ4GAME 娯楽の頻度:テレビゲーム

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	よくする	101	5.0
2	時々する	194	9.6
3	あまりしない	316	15.6
4	全くしない／知らない	1355	67.0
9	無回答	57	2.8
計		2023	100.0

F 園芸・庭いじり

FQ4GREEN 娯楽の頻度:園芸・庭いじり

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	よくする	400	19.8
2	時々する	548	27.1
3	あまりしない	374	18.5
4	全くしない／知らない	671	33.2
9	無回答	30	1.5
計		2023	100.0

G 将棋・囲碁

FQ4SHGIG 娯楽の頻度:将棋・囲碁

コード		ケース数	%
1	よくする	31	1.5
2	時々する	62	3.1
3	あまりしない	208	10.3
4	全くしない／知らない	1680	83.0
9	無回答	42	2.1
計		2023	100.0

H 宝くじ

FQ4LOTTO 娯楽の頻度:宝くじ

コード		ケース数	%
1	よくする	94	4.6
2	時々する	486	24.0
3	あまりしない	397	19.6
4	全くしない／知らない	1018	50.3
9	無回答	28	1.4
計		2023	100.0

I パチンコ・パチスロ

FQ4PACHI 娯楽の頻度:パチンコ・パチスロ

コード		ケース数	%
1	よくする	57	2.8
2	時々する	158	7.8
3	あまりしない	147	7.3
4	全くしない／知らない	1636	80.9
9	無回答	25	1.2
計		2023	100.0

Q10-1 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ（ウォーキング、水泳、野球など）を行なっていますか。

FQSPORT 定期的に行なうスポーツ:頻度

コード		ケース数	%
1	週に数回以上	384	19.0
2	週に1回程度	270	13.3
3	月に1回程度	119	5.9
4	年に数回程度	119	5.9
5	ほとんどしない	1124	55.6
9	無回答	7	0.3
計		2023	100.0

「1 週に数回以上」「2 週に1回程度」「3 月に1回程度」「4 年に数回程度」の場合

Q10-2 どのようなスポーツをしていますか。

XXSPORT スポーツの種類(具体的記述)

コード		ケース数	%
7	歩く	17	1.9
8	インディアカ	1	0.1
10	ウォーキング	322	36.1
11	エアロビクス	21	2.4

13	踊り	1	0.1	
14	合気道	3	0.3	
105	弓道	2	0.2	
108	ゲートボール	3	0.3	
110	ゴルフ	54	6.0	
111	グランドゴルフ	12	1.3	
112	その他ゴルフ（マレットゴルフ・パークゴルフなど）	12	1.3	
113	筋力トレーニング	7	0.8	
200	サーフィン	4	0.4	
201	サイクリング	4	0.4	
202	サッカー	12	1.3	
203	散策・散歩	27	3.0	
205	自転車	5	0.6	
206	社交ダンス	3	0.3	
207	ジャズダンス	1	0.1	
208	柔道	3	0.3	
211	ジョギング	24	2.7	
212	水泳	55	6.2	
213	スキー	6	0.7	
214	スケートボード	1	0.1	
215	スノーボード	2	0.2	
219	ソフトバレー	7	0.8	
220	ソフトボール	16	1.8	
221	ジム・スポーツクラブ	26	2.9	
222	水中ウォーキング・アクアビクス	6	0.7	
300	太極拳	2	0.2	
301	体操・ストレッチ	33	3.7	
303	卓球	11	1.2	
304	その他のダンス	5	0.6	
306	釣り	1	0.1	
307	テニス	24	2.7	
308	登山	11	1.2	
501	バスケットボール	9	1.0	
502	バドミントン	7	0.8	
504	バレーボール	21	2.4	
505	ビーチバレー	5	0.6	
508	プール	3	0.3	
511	舞踊	1	0.1	
513	ボウリング	13	1.5	
519	マラソン	3	0.3	
520	ミニバレー	2	0.2	
521	フォークダンス	1	0.1	
522	ハイキング	2	0.2	
523	フットサル	7	0.8	
600	野球	23	2.6	
601	山歩き	5	0.6	
603	ヨガ	15	1.7	
700	その他	14	1.6	
999	無回答	18	2.0	
		計	893	100.0
888	非該当		1130	
		計	2023	

Q11-1 あなたは、何か趣味の会（コーラス・写真・山歩きなど）に入っていますか。

MEMHOBBY 組織への所属:趣味の会

コード		ケース数	%
1	はい	303	15.0
2	いいえ	1705	84.3
9	無回答	15	0.7
計		2023	100.0

「1 はい」の場合

Q11-2 どのような会に入っていますか。

XXMEMHOB 組織への所属:趣味の会(具体的記述)

コード		ケース数	%
1	ハイキング／山歩き（山岳部・登山）	20	6.6
2	散策（文学散歩・歴史探訪・ウォーキング）	3	1.0
3	自然観賞（自然観察・ナチュラリスト・山野草会）	4	1.3
6	華道（フラワーアレンジメント）	10	3.3
7	茶道	4	1.3
8	詩歌（短歌・俳句・詩吟・万葉集・長唄）	4	1.3
9	歌／コーラス	25	8.3
10	民謡／謡曲	5	1.7
11	カラオケ	18	5.9
12	音楽／楽器（オーケストラ・吹奏楽団・銭太鼓・大正琴）	22	7.3
13	ダンス／踊り（社交ダンス・フォークダンス・舞踏）	21	6.9
14	演劇	1	0.3
15	英語関係	2	0.7
18	仲間／グループ（老人会・町内会・同窓会・友人の会）	9	3.0
19	手芸／工芸（粘土・木彫・陶芸）	20	6.6
20	絵画（和紙絵）	24	7.9
21	写真	10	3.3
23	釣り	4	1.3
24	ゴルフ	8	2.6
25	ボウリング	2	0.7
26	テニス	6	2.0
27	バレーボール	6	2.0
29	動物（動物の集い・熱帯魚）	1	0.3
30	アマチュア無線	1	0.3
31	コンピュータ	1	0.3
32	ゲーム（囲碁・将棋・テレビゲーム含む）	7	2.3
33	書道／習字（かな習字）	14	4.6
35	レクリエーション	1	0.3
37	その他の外国語関係	1	0.3
38	料理関係・グルメ	6	2.0
40	水泳	3	1.0
42	卓球	2	0.7
47	ゲートボール	1	0.3
48	エアロビクス	2	0.7
70	その他の文化活動	9	3.0
71	その他のスポーツ活動	11	3.6
72	その他・不明	11	3.6
99	無回答	4	1.3
計		303	100.0
88	非該当	1720	
計		2023	

Q12 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行（仕事以外）をしますか。

FQ5TRIP 1泊以上の旅行頻度

コード		ケース数	%
1	月に数回	8	0.4
2	月に1回程度	48	2.4
3	年に数回	717	35.4
4	年に1回程度	703	34.8
5	まったくなし	533	26.3
9	無回答	14	0.7
計		2023	100.0

Q13-1 あなたは自動車の運転免許を持っていますか。（二輪車の免許は含みません）

DOCLCNS 自動車免許の所持

コード		ケース数	%
1	免許を持っている	1495	73.9
2	免許を持っていない	524	25.9
9	無回答	4	0.2
計		2023	100.0

「1 免許を持っている」の場合

Q13-2 あなたは次のような目的で車を運転することがありますか。それぞれについてお答えください。

A 自分の通勤・通学

USCARCMT 自動車の用途:通勤・通学

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	598	40.0
2	週に3、4日程度	58	3.9
3	週に1、2日程度	38	2.5
4	月に1、2日程度	23	1.5
5	年に数回	22	1.5
6	その目的では運転していない	693	46.4
9	無回答	63	4.2
計		1495	100.0
8	非該当	528	
計		2023	

B 家族の送り迎え

USCARTFF 自動車の用途:送り迎え

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	125	8.4
2	週に3、4日程度	113	7.6
3	週に1、2日程度	171	11.4
4	月に1、2日程度	244	16.3
5	年に数回	280	18.7
6	その目的では運転していない	501	33.5
9	無回答	61	4.1
計		1495	100.0
8	非該当	528	
計		2023	

C 日常の買物・用事

USCARSHP 自動車の用途:買物・用事

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	338	22.6
2	週に 3、4 日程度	282	18.9
3	週に 1、2 日程度	443	29.6
4	月に 1、2 日程度	166	11.1
5	年に数回	67	4.5
6	その目的では運転していない	178	11.9
9	無回答	21	1.4
計		1495	100.0
8	非該当	528	
計		2023	

D 工作中的移動・運搬

USCARWK 自動車の用途:仕事

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	346	23.1
2	週に 3、4 日程度	72	4.8
3	週に 1、2 日程度	78	5.2
4	月に 1、2 日程度	95	6.4
5	年に数回	56	3.7
6	その目的では運転していない	790	52.8
9	無回答	58	3.9
計		1495	100.0
8	非該当	528	
計		2023	

E レジャー

USCARLSR 自動車の用途:レジャー

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	23	1.5
2	週に 3、4 日程度	31	2.1
3	週に 1、2 日程度	209	14.0
4	月に 1、2 日程度	389	26.0
5	年に数回	471	31.5
6	その目的では運転していない	327	21.9
9	無回答	45	3.0
計		1495	100.0
8	非該当	528	
計		2023	

Q14 あなたは自家用車に関する次の A～F の意見についてどう思いますか。それぞれについてお答えください。

A 車がないと日常生活に支障がある

OPCARDLF 自動車への意見:日常生活に支障

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	そう思う	1232	60.9
2	どちらかといえばそう思う	295	14.6
3	どちらともいえない	146	7.2
4	どちらかといえばそう思わない	92	4.5
5	そう思わない	220	10.9
9	無回答	38	1.9
計		2023	100.0

B 車がないと行動範囲が狭くなる

OPCARDLD 自動車への意見:行動範囲が狭くなる

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	そう思う	1294	64.0
2	どちらかといえばそう思う	348	17.2
3	どちらともいえない	109	5.4
4	どちらかといえばそう思わない	70	3.5
5	そう思わない	166	8.2
9	無回答	36	1.8
計		2023	100.0

C 車があるとドライブの楽しみが持てる

OPCARDRV 自動車への意見:ドライブの楽しみ

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	そう思う	952	47.1
2	どちらかといえばそう思う	532	26.3
3	どちらともいえない	249	12.3
4	どちらかといえばそう思わない	76	3.8
5	そう思わない	160	7.9
9	無回答	54	2.7
計		2023	100.0

D 車にかかる費用は高すぎる

OPCARCST 自動車への意見:費用が高すぎる

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	そう思う	865	42.8
2	どちらかといえばそう思う	639	31.6
3	どちらともいえない	302	14.9
4	どちらかといえばそう思わない	77	3.8
5	そう思わない	86	4.3
9	無回答	54	2.7
計		2023	100.0

E 車は事故を起こしやすい乗り物だ

OPCARACC 自動車への意見:事故を起こしやすい

コード		ケース数	%
1	そう思う	564	27.9
2	どちらかといえばそう思う	605	29.9
3	どちらともいえない	504	24.9
4	どちらかといえばそう思わない	160	7.9
5	そう思わない	148	7.3
9	無回答	42	2.1
計		2023	100.0

F 車による環境汚染が心配だ

OPCARECO 自動車への意見:環境汚染が心配

コード		ケース数	%
1	そう思う	572	28.3
2	どちらかといえばそう思う	814	40.2
3	どちらともいえない	391	19.3
4	どちらかといえばそう思わない	109	5.4
5	そう思わない	98	4.8
9	無回答	39	1.9
計		2023	100.0

Q15 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。

A 住んでいる地域

ST5AREAY 生活満足度:居住地域

コード		ケース数	%
1	満足	620	30.6
2	・	623	30.8
3	・	549	27.1
4	・	154	7.6
5	不満	61	3.0
9	無回答	16	0.8
計		2023	100.0

B 余暇の過ごし方

ST5LEISY 生活満足度:余暇利用

コード		ケース数	%
1	満足	333	16.5
2	・	564	27.9
3	・	768	38.0
4	・	253	12.5
5	不満	67	3.3
9	無回答	38	1.9
計		2023	100.0

C 家庭生活

ST5LIFEY 生活満足度:家庭生活

コード		ケース数	%
1	満足	540	26.7
2	・	603	29.8
3	・	675	33.4
4	・	134	6.6
5	不満	46	2.3
9	無回答	25	1.2
計		2023	100.0

D 現在の家計の状態

ST5ECNY 生活満足度:家計状態

コード		ケース数	%
1	満足	287	14.2
2	・	408	20.2
3	・	753	37.2
4	・	372	18.4
5	不満	181	8.9
9	無回答	22	1.1
計		2023	100.0

E 友人関係

ST5FRIY 生活満足度:友人関係

コード		ケース数	%
1	満足	484	23.9
2	・	614	30.4
3	・	744	36.8
4	・	102	5.0
5	不満	51	2.5
9	無回答	28	1.4
計		2023	100.0

F 健康状態

ST5HLTHY 生活満足度:健康状態

コード		ケース数	%
1	満足	367	18.1
2	・	555	27.4
3	・	668	33.0
4	・	292	14.4
5	不満	121	6.0
9	無回答	20	1.0
計		2023	100.0

G 配偶者との関係

ST5SSREL 生活満足度:配偶者との関係

コード		ケース数	%
1	満足	553	27.3
2	・	417	20.6
3	・	381	18.8
4	・	69	3.4
5	不満	33	1.6
6	配偶者はいない	550	27.2
9	無回答	20	1.0
計		2023	100.0

Q16 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ 健康状態(本人)

コード		ケース数	%
1	良い	541	26.7
2	・	542	26.8
3	・	556	27.5
4	・	265	13.1
5	悪い	114	5.6
9	無回答	5	0.2
計		2023	100.0

Q17-1 現在、あなたには次の症状がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(多重回答) HAATOPI~HANONE 症状の有無(本人) 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数	2023
0	非選択		
1	選択		
		選択者数	%
HAATOPI	1 アトピー性皮膚炎	96	4.7
HAKAFUN	2 花粉症	391	19.3
HAZENSOK	3 ぜんそく	77	3.8
HAFOOD	4 食物アレルギー	62	3.1
HANONE	5 いずれもない	1471	72.7

Q17-2 あなたが同居しているご家族の中に、現在、次の症状のある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(多重回答) FAATOPI~FANOFF 症状の有無(同居家族) 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数	2023
0	非選択		
1	選択		
		選択者数	%
FAATOPI	1 アトピー性皮膚炎	190	9.4
FAKAFUN	2 花粉症	505	25.0
FAZENSOK	3 ぜんそく	118	5.8
FAFOOD	4 食物アレルギー	76	3.8
FANONE	5 いずれもない	1160	57.3
FANOFF	6 誰とも同居していない	164	8.1

Q18-1 あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。

DOSMOKEX 喫煙経験

コード		ケース数	%
1	現在吸っている	534	26.4
2	以前は吸っていたがやめた	381	18.8
3	ほとんど／全く吸ったことはない	1106	54.7
9	無回答	2	0.1
計		2023	100.0

「1 現在吸っている」の場合

Q18-2 禁煙しようと努力したことがありますか。

XQTSMOKE 禁煙努力

コード		ケース数	%
1	はい	280	52.4
2	いいえ	251	47.0
9	無回答	3	0.6
計		534	100.0
8	非該当	1489	
計		2023	

Q19 あなたは、普段お酒を飲みますか。

DO7DRINK 飲酒頻度

コード		ケース数	%
1	ほとんど毎日	441	21.8
2	週に数回	281	13.9
3	週に1回程度	202	10.0
4	月に1回程度	221	10.9
5	年に数回	242	12.0
6	年に1回程度	74	3.7
7	まったくなし	556	27.5
9	無回答	6	0.3
計		2023	100.0

Q20 過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと（例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死）を何回経験しましたか。

XTRAUM5Y ト라우マの回数

コード		ケース数	%
0	なし	805	39.8
1	1回	540	26.7
2	2回	342	16.9
3	3回	185	9.1
4	4回以上	146	7.2
9	無回答	5	0.2
計		2023	100.0

Q21 社会が激しく変化する中で、心の健康が重大な問題になっています。もし、あなたが個人的な悩みやストレスを多く抱え、「ノイローゼかもしれない」と不安になったとしたら、誰に相談したいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(多重回答) WLADFF~WLADNONE 心の健康の相談相手 共通 (変数名は下記参照)

<u>コード</u>		<u>該当者数</u> 2023	
0	非選択		
1	選択		
		<u>選択者数</u>	<u>%</u>
WLADFF	1 家族	1437	71.0
WLADFRI	2 友人・知人・恋人	779	38.5
WLADDDSP	3 精神科・心療内科の医師	653	32.3
WLADDD	4 その他の医師	162	8.0
WLADPSY	5 臨床心理士・カウンセラーなど心理学の専門家	279	13.8
WLADRLGN	6 僧侶・牧師などの宗教家	47	2.3
WLADOTHR	7 その他（具体的に ）	12	0.6
WLADNONE	8 誰にも相談しない	143	7.1

Q22-1 あなたは、過去5年間に、精神科医やカウンセラーなどが行なうカウンセリング（心理相談）を受けたことがありますか。

XCOUNSLR カウンセリングの受療経験(本人)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ある	86	4.3
2	ない	1926	95.2
9	無回答	11	0.5
計		2023	100.0

「2 ない」の場合

Q22-2 「カウンセリング（心理相談）を受けてみたい」ということはありますか。

WLCOUNSL カウンセリングの受療意欲

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	よくある	10	0.5
2	時々ある	178	9.2
3	あまりない	437	22.7
4	まったくない	1107	57.5
9	無回答	194	10.1
計		1926	100.0
8	非該当	97	
計		2023	

Q23 あなたが一緒に暮らしているご家族の中で、過去5年間に、カウンセリング（心理相談）を受けたことがある方はいますか。

XCOUNSLF カウンセリングの受療経験(家族)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	いる	112	5.5
2	いない	1590	78.6
3	誰とも同居していない	162	8.0
9	無回答	159	7.9
計		2023	100.0

Q24 あなたは、一般の人に比べて、カウンセリングや心理学についての知識がある方だと思いますか。
KWOUNSL カウンセリングの知識

コード		ケース数	%
1	ある程度ある	104	5.1
2	少しはある	387	19.1
3	あまりない	737	36.4
4	まったくない	776	38.4
9	無回答	19	0.9
計		2023	100.0

Q25 「これからの学校教育は、学力をつけることよりも心を育てることを、特に重視するべきだ」という意見があります。あなたはこの意見についてどう思いますか。

OPEDMND 心の教育への意見

コード		ケース数	%
1	そう思う	645	31.9
2	どちらかといえばそう思う	995	49.2
3	どちらかといえばそう思わない	243	12.0
4	そう思わない	107	5.3
9	無回答	33	1.6
計		2023	100.0

Q26 少年少女が殺人などの凶悪犯罪をおかす場合、次にあげる A～E は、その原因としてどの程度関係していると思いますか。

A 加害少年少女の心理状態

OPJVMNTL 少年犯罪の原因への意見:心理状態

コード		ケース数	%
1	ほとんどの事件で関係している	980	48.4
2	多くの事件で関係している	680	33.6
3	一部の事件で関係している	212	10.5
4	ほとんどの事件で関係していない	58	2.9
9	無回答	93	4.6
計		2023	100.0

B 加害少年少女の家庭環境

OPJVFF 少年犯罪の原因への意見:家庭環境

コード		ケース数	%
1	ほとんどの事件で関係している	1000	49.4
2	多くの事件で関係している	650	32.1
3	一部の事件で関係している	251	12.4
4	ほとんどの事件で関係していない	49	2.4
9	無回答	73	3.6
計		2023	100.0

C 加害少年少女の学校での生活環境

OPJVSCHL 少年犯罪の原因への意見:学校での生活環境

コード		ケース数	%
1	ほとんどの事件で関係している	502	24.8
2	多くの事件で関係している	687	34.0
3	一部の事件で関係している	646	31.9
4	ほとんどの事件で関係していない	96	4.7
9	無回答	92	4.5
計		2023	100.0

D 少年法などの現行の法律制度

OPJVLAW 少年犯罪の原因への意見:法律制度

コード		ケース数	%
1	ほとんどの事件で関係している	351	17.4
2	多くの事件で関係している	523	25.9
3	一部の事件で関係している	730	36.1
4	ほとんどの事件で関係していない	299	14.8
9	無回答	120	5.9
計		2023	100.0

E 社会における経済的な格差

OPJVECN 少年犯罪の原因への意見:経済的な格差

コード		ケース数	%
1	ほとんどの事件で関係している	265	13.1
2	多くの事件で関係している	421	20.8
3	一部の事件で関係している	924	45.7
4	ほとんどの事件で関係していない	321	15.9
9	無回答	92	4.5
計		2023	100.0

Q27-1 あなたは、遺伝子組換え食品という言葉を知っていますか。

KNOWGMO 遺伝子組換え食品の知識

コード		ケース数	%
1	聞いたことがある	1723	85.2
2	聞いたことがない	294	14.5
9	無回答	6	0.3
計		2023	100.0

「1 聞いたことがある」の場合

Q27-2 遺伝子組換え食品に関する、次のそれぞれの質問にお答えください

A 遺伝子組換え食品は、安全だと思いますか

OPGMSAFE 遺伝子組換え食品への意見:安全

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	そう思う	43	2.5
2	どちらかといえばそう思う	112	6.5
3	どちらともいえない	580	33.7
4	どちらかといえばそう思わない	292	16.9
5	そう思わない	416	24.1
6	わからない	277	16.1
9	無回答	3	0.2
		計	1723
8	非該当	300	100.0
		計	2023

B 遺伝子組換え食品は、あなた自身にとって有益だと思いますか

OPGMUSER 遺伝子組換え食品への意見:自分にとって有益

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	そう思う	33	1.9
2	どちらかといえばそう思う	96	5.6
3	どちらともいえない	511	29.7
4	どちらかといえばそう思わない	249	14.5
5	そう思わない	542	31.5
6	わからない	287	16.7
9	無回答	5	0.3
		計	1723
8	非該当	300	100.0
		計	2023

C 遺伝子組換え食品は、社会にとって有益だと思いますか

OPGMUSES 遺伝子組換え食品への意見:社会にとって有益

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	そう思う	52	3.0
2	どちらかといえばそう思う	195	11.3
3	どちらともいえない	520	30.2
4	どちらかといえばそう思わない	229	13.3
5	そう思わない	402	23.3
6	わからない	317	18.4
9	無回答	8	0.5
		計	1723
8	非該当	300	100.0
		計	2023

D 遺伝子組換え食品は、自然なものだと感じますか

OPGMNTRL 遺伝子組換え食品への意見: 自然なもの

コード		ケース数	%
1	そう思う	19	1.1
2	どちらかといえばそう思う	43	2.5
3	どちらともいえない	221	12.8
4	どちらかといえばそう思わない	298	17.3
5	そう思わない	966	56.1
6	わからない	169	9.8
9	無回答	7	0.4
計		1723	100.0
8	非該当	300	
計		2023	

E あなた自身は、遺伝子組換え食品を、食べてもよいと思いますか

OPGMEAT 遺伝子組換え食品への意見: 食べてもよい

コード		ケース数	%
1	そう思う	57	3.3
2	どちらかといえばそう思う	140	8.1
3	どちらともいえない	370	21.5
4	どちらかといえばそう思わない	296	17.2
5	そう思わない	664	38.5
6	わからない	189	11.0
9	無回答	7	0.4
計		1723	100.0
8	非該当	300	
計		2023	

F 遺伝子組換え食品が、社会に普及することに賛成ですか

OPGMSPRD 遺伝子組換え食品への意見: 社会への普及

コード		ケース数	%
1	そう思う	32	1.9
2	どちらかといえばそう思う	85	4.9
3	どちらともいえない	423	24.6
4	どちらかといえばそう思わない	271	15.7
5	そう思わない	656	38.1
6	わからない	249	14.5
9	無回答	7	0.4
計		1723	100.0
8	非該当	300	
計		2023	

G あなたは遺伝子組換え食品として、どのようなものがあるか、理解していると思いますか
OPGMWHAT 遺伝子組換え食品への意見:どのようなものがあるか

コード		ケース数	%
1	そう思う	73	4.2
2	どちらかといえばそう思う	302	17.5
3	どちらともいえない	410	23.8
4	どちらかといえばそう思わない	256	14.9
5	そう思わない	307	17.8
6	わからない	361	21.0
9	無回答	14	0.8
計		1723	100.0
8	非該当	300	
計		2023	

H あなたは遺伝子組換え食品が、どのようにしてできるか、理解していると思いますか
OPGMHOW 遺伝子組換え食品への意見:どのようにしてできるか

コード		ケース数	%
1	そう思う	71	4.1
2	どちらかといえばそう思う	245	14.2
3	どちらともいえない	315	18.3
4	どちらかといえばそう思わない	254	14.7
5	そう思わない	380	22.1
6	わからない	449	26.1
9	無回答	9	0.5
計		1723	100.0
8	非該当	300	
計		2023	

Q27-3 遺伝子組換え食品と聞いて、何か思い浮かべる農作物や食品はありますか。

KWGMCONC 思い浮かぶ遺伝子組換え食品の有無

コード		ケース数	%
1	ある	1137	66.0
2	特にない	581	33.7
9	無回答	5	0.3
計		1723	100.0
8	非該当	300	
計		2023	

「1 ある」の場合

Q27-4 どのような農作物や食品を思い浮かべますか、いくつでも記入してください。

NGMCONC 思い浮かぶ遺伝子組換え食品の個数

コード		ケース数	%
(実数記入)	0 個	3	0.3
	1 個	523	46.0
	2 個	368	32.4
	3 個	133	11.7
	4 個	58	5.1
	5 個	24	2.1
	6 個	13	1.1

	7 個		5	0.4
	8 個		6	0.5
	9 個		0	0.0
	10 個以上		4	0.4
		計	1137	100.0
88	非該当		886	
		計	2023	

記入した遺伝子組換え食品

(多重回答) GMCONC1～GMCONC9 遺伝子組換え食品 共通 (変数名は下記参照)

<u>コード</u>		<u>該当者数</u> 1137	
0	記入あり		
1	記入なし		
8	非該当		
		<u>選択者数</u>	<u>%</u>
GMCONC1	1 大豆 (大豆加工食品)	816	71.8
GMCONC2	2 とうもろこし	381	33.5
GMCONC3	3 じゃがいも	105	9.2
GMCONC4	4 米	81	7.1
GMCONC5	5 麦	59	5.2
GMCONC6	6 トマト	42	3.7
GMCONC7	7 豆全般・穀類全般	105	9.2
GMCONC8	8 野菜全般・その他の青果	96	8.4
GMCONC9	9 青果以外	109	9.6

Q28-1 あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

OWNHOUSE 居住形態:持ち家

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	持ち家 (親などが持ち主の場合も含む)	1658	82.0
2	民間の賃貸住宅	236	11.7
3	社宅・公務員住宅等の給与住宅	35	1.7
4	公社・公団等の公営の賃貸住宅	81	4.0
5	その他	7	0.3
9	無回答	6	0.3
	計	2023	100.0

Q28-2 あなたの現在のお住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。

TPHOUSE 居住形態:一戸建て

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	一戸建て	1632	80.7
2	集合住宅 (アパート・マンションなど)	384	19.0
9	無回答	7	0.3
	計	2023	100.0

Q29 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

XLIVEYR 現在の居住地への居住年数

コード		ケース数	%
1	生まれてからずっと	339	16.8
2	1 年未満	35	1.7
3	1 年～3 年未満	111	5.5
4	3 年～5 年未満	99	4.9
5	5 年～10 年未満	219	10.8
6	10 年～20 年未満	320	15.8
7	20 年～30 年未満	329	16.3
8	30 年以上	571	28.2
計		2023	100.0

Q30 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

WLLIVE 現在の居住地に住み続けたいか

コード		ケース数	%
1	ずっと住みたい	1115	55.1
2	当分の間は住みたい	653	32.3
3	できれば他の地域に引越したい	232	11.5
4	すぐにも他の地域に引越したい	19	0.9
9	無回答	4	0.2
計		2023	100.0

Q31 この 2～3 年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

OP3ECN3A 家計状態の変化

コード		ケース数	%
1	良くなった	156	7.7
2	悪くなった	909	44.9
3	変わらない	952	47.1
9	無回答	6	0.3
計		2023	100.0

Q32 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

OP5FFINX 世帯収入のレベル

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	228	11.3
2	平均より少ない	674	33.3
3	ほぼ平均	868	42.9
4	平均より多い	207	10.2
5	平均よりかなり多い	23	1.1
9	無回答	23	1.1
計		2023	100.0

Q33 あなたが 15 歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

OPFFIX15 15 歳の頃の世帯収入レベル

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	222	11.0
2	平均より少ない	567	28.0
3	ほぼ平均	875	43.3
4	平均より多い	281	13.9
5	平均よりかなり多い	38	1.9
9	無回答	40	2.0
計		2023	100.0

Q34 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

OP5CHNCA 生活水準向上機会の有無

コード		ケース数	%
1	充分にある	53	2.6
2	少しはある	287	14.2
3	どちらともいえない	709	35.0
4	あまりない	749	37.0
5	まったくない	199	9.8
9	無回答	26	1.3
計		2023	100.0

Q35 現在、年金を受け取っている人達に比べて、あなたが老後に受け取る年金の額は、どうなっていると思いますか。

OP5PENSN 自分の年金額予想

コード		ケース数	%
1	かなり良くなっている	6	0.3
2	少し良くなっている	7	0.3
3	だいたい同じ	55	2.7
4	少し悪くなっている	316	15.6
5	かなり悪くなっている	1039	51.4
6	わからない	138	6.8
7	現在年金を受けている	446	22.0
9	無回答	16	0.8
計		2023	100.0

Q36 かりに現在の日本の社会全体を、以下の 5 つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると考えますか。

OP5LEVK 階層帰属意識

コード		ケース数	%
1	上	11	0.5
2	中の上	192	9.5
3	中の中	879	43.5
4	中の下	736	36.4
5	下	184	9.1
9	無回答	21	1.0
計		2023	100.0

Q37 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

QFNRINCR 外国人増加の賛否

コード		ケース数	%
1	賛成	620	30.6
2	反対	1276	63.1
9	無回答	127	6.3
計		2023	100.0

Q38 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。

A 高齢者の生活保障（生活費）

OP5SRWFY 国か個人か：高齢者の生活保障

コード		ケース数	%
1	個人や家族の責任	129	6.4
2	・	182	9.0
3	・	562	27.8
4	・	538	26.6
5	国や自治体の責任	582	28.8
9	無回答	30	1.5
計		2023	100.0

B 高齢者の医療・介護

OP5SRMDY 国か個人か：高齢者の医療・介護

コード		ケース数	%
1	個人や家族の責任	61	3.0
2	・	110	5.4
3	・	479	23.7
4	・	666	32.9
5	国や自治体の責任	675	33.4
9	無回答	32	1.6
計		2023	100.0

C 子どもの教育

OP5CCED 国か個人か：子どもの教育

コード		ケース数	%
1	個人や家族の責任	450	22.2
2	・	433	21.4
3	・	587	29.0
4	・	253	12.5
5	国や自治体の責任	262	13.0
9	無回答	38	1.9
計		2023	100.0

D 保育・育児

OP5CCARE 国か個人か:保育・育児

コード		ケース数	%
1	個人や家族の責任	447	22.1
2	・	430	21.3
3	・	595	29.4
4	・	286	14.1
5	国や自治体の責任	222	11.0
9	無回答	43	2.1
計		2023	100.0

Q39 政治的な考え方を、保守的から革新的までの5段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

OP5RADCA 政治意識(保革5段階)

コード		ケース数	%
1	保守的	156	7.7
2	・	403	19.9
3	・	994	49.1
4	・	323	16.0
5	革新的	91	4.5
9	無回答	56	2.8
計		2023	100.0

Q40 あなたに課せられている所得税は、高いと思いますか。

OP6TAXHI 所得税の負担感

コード		ケース数	%
1	低い	9	0.4
2	やや低い	12	0.6
3	適切	252	12.5
4	やや高い	557	27.5
5	高い	646	31.9
6	わからない	241	11.9
7	課せられていない	296	14.6
9	無回答	10	0.5
計		2023	100.0

Q41 不治の病におかされた患者が、痛みを伴わない安楽死を望んでいるとします。その家族も同意している場合に、医者が安楽死を行なえる法律をつくるべきだと思いますか。

QDDKILLA 安楽死の賛否

コード		ケース数	%
1	はい	1239	61.2
2	いいえ	156	7.7
3	わからない	621	30.7
9	無回答	7	0.3
計		2023	100.0

Q42 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

Q5GVEQAA 貧富解消政策への賛否

コード		ケース数	%
1	賛成	537	26.5
2	どちらかといえば賛成	575	28.4
3	どちらともいえない	719	35.5
4	どちらかといえば反対	126	6.2
5	反対	43	2.1
9	無回答	23	1.1
計		2023	100.0

Q43-1 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

XX8PLPTY 支持政党

コード		ケース数	%
1	自民党	606	30.0
2	民主党	247	12.2
3	公明党	89	4.4
4	共産党	39	1.9
5	社民党	38	1.9
6	その他の政党（ ）	1	0.0
7	特に支持する政党はない	808	39.9
8	わからない	179	8.8
9	無回答	16	0.8
計		2023	100.0

「7 特に支持する政党はない」の場合

Q43-2 ふだん好ましいと思っている政党はありますか。1つだけ選んでください。

XX9PLPFV 好ましい政党

コード		ケース数	%
1	自民党	109	13.5
2	民主党	74	9.2
3	公明党	15	1.9
4	共産党	20	2.5
5	社民党	16	2.0
6	その他の政党（ ）	4	0.5
7	特に好ましく感じる政党はない	425	52.6
8	わからない	121	15.0
99	無回答	24	3.0
計		808	100.0
88	非該当	1215	
計		2023	

Q44 あなたの家から1キロ（徒歩15分程度）以内に、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

FEARWALK 自宅周辺の危険な場所の有無

コード		ケース数	%
1	はい	1149	56.8
2	いいえ	845	41.8
9	無回答	29	1.4
計		2023	100.0

Q45 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

XSTOLN1Y 空き巣被害経験

コード		ケース数	%
1	はい	55	2.7
2	いいえ	1959	96.8
9	無回答	9	0.4
計		2023	100.0

Q46 過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと（例えば、強盗、恐喝やひったくり）がありますか。

XROBBD1Y 強盗等の被害経験

コード		ケース数	%
1	はい	11	0.5
2	いいえ	2002	99.0
9	無回答	10	0.5
計		2023	100.0

Q47 「暮らしを豊かにするためには、ある程度の借金をしてもかまわない」という意見についてどう思いますか。

Q4DEBT 借金への賛否

コード		ケース数	%
1	賛成	35	1.7
2	どちらかといえば賛成	312	15.4
3	どちらかといえば反対	843	41.7
4	反対	811	40.1
9	無回答	22	1.1
計		2023	100.0

Q48 クレジット・カードに対する次のA～Dの意見について、あなたはどのように思いますか。

A 持っている则便利だ

OPCDUSFL クレジットカードへの意見:便利

コード		ケース数	%
1	そう思う	659	32.6
2	どちらかといえばそう思う	654	32.3
3	どちらかといえばそう思わない	244	12.1
4	そう思わない	436	21.6
9	無回答	30	1.5
計		2023	100.0

B 使いすぎる恐れがある

OPCDOVER クレジットカードへの意見:使いすぎる

コード		ケース数	%
1	そう思う	972	48.0
2	どちらかといえばそう思う	597	29.5
3	どちらかといえばそう思わない	200	9.9
4	そう思わない	219	10.8
9	無回答	35	1.7
計		2023	100.0

C 犯罪に利用される恐れがある

OPCDCRM 消費者金融への意見:犯罪に利用される

コード		ケース数	%
1	そう思う	1216	60.1
2	どちらかといえばそう思う	597	29.5
3	どちらかといえばそう思わない	85	4.2
4	そう思わない	90	4.4
9	無回答	35	1.7
計		2023	100.0

D 宣伝を法律で制限すべきだ

OPCDCM クレジットカードへの意見:宣伝を制限

コード		ケース数	%
1	そう思う	630	31.1
2	どちらかといえばそう思う	652	32.2
3	どちらかといえばそう思わない	384	19.0
4	そう思わない	304	15.0
9	無回答	53	2.6
計		2023	100.0

Q49-1 あなたは、クレジット・カードを何枚持っていますか。使っていないものも含めてお答えください。

NUMCARD クレジットカードの所有枚数

コード		ケース数	%
0	持っていない	818	40.4
1	1枚	354	17.5
2	2枚	353	17.4
3	3枚	265	13.1
4	4枚	106	5.2
5	5枚	65	3.2
6	6枚以上	52	2.6
9	無回答	10	0.5
計		2023	100.0

クレジットカードを持っている場合

Q49-2 次の支払いに、あなたはクレジット・カードをどのくらい利用していますか。

A 日常の買い物

USCDDAY クレジットカードの用途:日常の買い物

コード		ケース数	%
1	よく利用する	116	9.7
2	たまに利用する	276	23.0
3	あまり利用しない	228	19.0
4	まったく利用しない	562	46.9
9	無回答	17	1.4
計		1199	100.0
8	非該当	824	
計		2023	

B 高額な買い物

USCDHIGH クレジットカードの用途:高額な買い物

コード		ケース数	%
1	よく利用する	185	15.4
2	たまに利用する	367	30.6
3	あまり利用しない	195	16.3
4	まったく利用しない	437	36.4
9	無回答	15	1.3
計		1199	100.0
8	非該当	824	
計		2023	

C 外食の代金

USCDEAT クレジットカードの用途:外食の代金

コード		ケース数	%
1	よく利用する	52	4.3
2	たまに利用する	106	8.8
3	あまり利用しない	155	12.9
4	まったく利用しない	857	71.5
9	無回答	29	2.4
計		1199	100.0
8	非該当	824	
計		2023	

D 公共料金・通信費

USCDCHRG クレジットカードの用途:公共料金・通信費

コード		ケース数	%
1	よく利用する	122	10.2
2	たまに利用する	99	8.3
3	あまり利用しない	103	8.6
4	まったく利用しない	851	71.0
9	無回答	24	2.0
計		1199	100.0
8	非該当	824	
計		2023	

Q49-3 クレジット・カードの次の機能を、あなたはどのくらい利用していますか。

A 1回払いの買い物

FNCDONE クレジットカードの機能の利用:1回払い

コード		ケース数	%
1	よく利用する	376	31.4
2	たまに利用する	302	25.2
3	あまり利用しない	124	10.3
4	まったく利用しない	374	31.2
9	無回答	23	1.9
計		1199	100.0
8	非該当	824	
計		2023	

B 分割払いの買い物

FNCDINST クレジットカードの機能の利用: 分割払い

コード		ケース数	%
1	よく利用する	42	3.5
2	たまに利用する	208	17.3
3	あまり利用しない	158	13.2
4	まったく利用しない	764	63.7
9	無回答	27	2.3
計		1199	100.0
8	非該当	824	
計		2023	

C 毎月定額を支払うリボ払い

FNCDREVO クレジットカードの機能の利用: リボ払い

コード		ケース数	%
1	よく利用する	60	5.0
2	たまに利用する	91	7.6
3	あまり利用しない	98	8.2
4	まったく利用しない	915	76.3
9	無回答	35	2.9
計		1199	100.0
8	非該当	824	
計		2023	

D 現金を引き出すキャッシング

FNCDCASH クレジットカードの機能の利用: キャッシング

コード		ケース数	%
1	よく利用する	104	8.7
2	たまに利用する	114	9.5
3	あまり利用しない	96	8.0
4	まったく利用しない	858	71.6
9	無回答	27	2.3
計		1199	100.0
8	非該当	824	
計		2023	

Q50 このところ、無人契約機などで手軽にお金を借りられる消費者金融が普及しています。消費者金融に対する次の A～D の意見について、あなたはどのように思いますか。

A あると便利だ

OPCSUSFL 消費者金融への意見: 便利

コード		ケース数	%
1	そう思う	172	8.5
2	どちらかといえばそう思う	350	17.3
3	どちらかといえばそう思わない	326	16.1
4	そう思わない	1091	53.9
9	無回答	84	4.2
計		2023	100.0

B 使いすぎる恐れがある

OPCSOVER 消費者金融への意見:使いすぎる

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	そう思う	1295	64.0
2	どちらかといえばそう思う	328	16.2
3	どちらかといえばそう思わない	87	4.3
4	そう思わない	230	11.4
9	無回答	83	4.1
計		2023	100.0

C 犯罪に利用される恐れがある

OPCSCRM 消費者金融への意見:犯罪に利用される

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	そう思う	1265	62.5
2	どちらかといえばそう思う	412	20.4
3	どちらかといえばそう思わない	96	4.7
4	そう思わない	169	8.4
9	無回答	81	4.0
計		2023	100.0

D 宣伝を法律で制限すべきだ

OPCSCM 消費者金融への意見:宣伝を制限

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	そう思う	989	48.9
2	どちらかといえばそう思う	486	24.0
3	どちらかといえばそう思わない	207	10.2
4	そう思わない	246	12.2
9	無回答	95	4.7
計		2023	100.0

Q51-1 あなたは、過去3年の間に消費者金融でお金を借りたことがありますか。

NUMCONS 消費者金融の利用回数

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
0	まったくない	1901	94.0
1	1回ある	40	2.0
2	2～5回ある	57	2.8
3	6～9回ある	6	0.3
4	10回以上ある	11	0.5
9	無回答	8	0.4
計		2023	100.0

過去3年の間に消費者金融でお金を借りたことがある場合

Q51-2 どのような支払いに消費者金融を利用したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(多重回答) USCSDAY~USCSOTHR 消費者金融の利用理由 共通 (変数名は下記参照)

<u>コード</u>		<u>該当者数</u> 114	
0	非選択		
1	選択		
8	非該当		
		<u>選択者数</u>	<u>%</u>
USCSDAY	1 日常生活費	55	48.2
USCSMD	2 医療費	9	7.9
USCSEDU	3 教育費	9	7.9
USCSBUS	4 事業資金	10	8.8
USCSSOC	5 友人・知人との交際費	17	14.9
USCSHOB	6 趣味の費用	27	23.7
USCSCLTH	7 服飾品の費用	12	10.5
USCSBANK	8 他の金融機関への支払い	22	19.3
USCSOTHR	9 その他(具体的に)	5	4.4

Q52 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思いますか。

APPCCNUM 理想的な子どもの人数(一般論)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
0	0人	10	0.5
1	1人	16	0.8
2	2人	823	40.7
3	3人	1063	52.5
4	4人	68	3.4
5	5人以上	17	0.8
9	無回答	26	1.3
計		2023	100.0

「5 5人以上の場合」

APPCCNMX 理想的な子どもの人数:5人以上の場合(具体的記述)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	5人	8	47.1
	6人	4	23.5
	8人	1	5.9
999	無回答	4	23.5
計		17	100.0
888	非該当	2006	
計		2023	

Q53 もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

APPCCSXB 希望する子どもの性別

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	男の子	883	43.6
2	女の子	1030	50.9
9	無回答	110	5.4
計		2023	100.0

Q54 次のA～Iの意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 結婚しても、相手に満足できないときは、いつでも離婚すればよい

Q4DIVOK 意見についての賛否:離婚

コード		ケース数	%
1	賛成	193	9.5
2	どちらかといえば賛成	562	27.8
3	どちらかといえば反対	865	42.8
4	反対	360	17.8
9	無回答	43	2.1
計		2023	100.0

B 夫に十分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい

Q4WWJBIA 意見についての賛否:妻の仕事

コード		ケース数	%
1	賛成	365	18.0
2	どちらかといえば賛成	654	32.3
3	どちらかといえば反対	710	35.1
4	反対	255	12.6
9	無回答	39	1.9
計		2023	100.0

C なんとんでも女性の幸福は結婚にある

Q4WNMGA 意見についての賛否:女性の幸福

コード		ケース数	%
1	賛成	293	14.5
2	どちらかといえば賛成	822	40.6
3	どちらかといえば反対	566	28.0
4	反対	289	14.3
9	無回答	53	2.6
計		2023	100.0

D 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ

Q4MNCOOK 意見についての賛否:男性の家事

コード		ケース数	%
1	賛成	646	31.9
2	どちらかといえば賛成	1052	52.0
3	どちらかといえば反対	234	11.6
4	反対	59	2.9
9	無回答	32	1.6
計		2023	100.0

E 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

Q4WWHHX 意見についての賛否:性役割分担

コード		ケース数	%
1	賛成	288	14.2
2	どちらかといえば賛成	745	36.8
3	どちらかといえば反対	646	31.9
4	反対	307	15.2
9	無回答	37	1.8
計		2023	100.0

F なんといっても男性の幸福は結婚にある
Q4MNMGA 意見についての賛否:男性の幸福

コード		ケース数	%
1	賛成	298	14.7
2	どちらかといえば賛成	837	41.4
3	どちらかといえば反対	568	28.1
4	反対	256	12.7
9	無回答	64	3.2
計		2023	100.0

G 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによくない影響を与える
Q4JBMMCC 意見についての賛否:子どもへの影響

コード		ケース数	%
1	賛成	331	16.4
2	どちらかといえば賛成	744	36.8
3	どちらかといえば反対	640	31.6
4	反対	253	12.5
9	無回答	55	2.7
計		2023	100.0

H 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない
Q4NOCCMG 意見についての賛否:子どもをもつ必要

コード		ケース数	%
1	賛成	239	11.8
2	どちらかといえば賛成	442	21.8
3	どちらかといえば反対	774	38.3
4	反対	522	25.8
9	無回答	46	2.3
計		2023	100.0

I 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である
Q4WWHPHH 意見についての賛否:妻は夫の手助け

コード		ケース数	%
1	賛成	269	13.3
2	どちらかといえば賛成	677	33.5
3	どちらかといえば反対	745	36.8
4	反対	269	13.3
9	無回答	63	3.1
計		2023	100.0

Q55 あなたは一般に、三世同居（親・子・孫の同居）は望ましいことだと考えますか。
OP2GNR 三世同居観

コード		ケース数	%
1	望ましい	1270	62.8
2	望ましくない	698	34.5
9	無回答	55	2.7
計		2023	100.0

Q56 一般的に、人は信用できると思いますか。

OP3TRUST 人間観(一般):人は信用できる

コード		ケース数	%
1	はい	425	21.0
2	いいえ	225	11.1
3	場合による	1360	67.2
9	無回答	13	0.6
計		2023	100.0

Q57 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号(1～7)を1つ選んでください。

OP7GDEVO 人間観(一般):人間の本性

コード		ケース数	%
1	人間の本性は本来「悪」である	44	2.2
2	・	64	3.2
3	・	208	10.3
4	・	707	34.9
5	・	449	22.2
6	・	321	15.9
7	人間の本性は本来「善」である	199	9.8
9	無回答	31	1.5
計		2023	100.0

Q58-1 あなたは過去1年間に、定期的にボランティア活動を行なったことがありますか。

XVLREG 定期的ボランティア:経験の有無

コード		ケース数	%
1	ある	257	12.7
2	ない	1756	86.8
9	無回答	10	0.5
計		2023	100.0

「1 ある」の場合

Q58-2 平均して、1ヶ月にどのくらいの時間を使いましたか。

SZVLREG 定期的ボランティア:活動量(時間/月)

コード		ケース数	%
(実数記入)	0～4時間	157	61.1
	5～9時間	30	11.7
	10～19時間	21	8.2
	20時間以上	24	9.3
9999	無回答	25	9.7
計		257	100.0
8888	非該当	1766	
計		2023	

Q58-3 どのような活動をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(多重回答) XVLRENV～XVLROTHR 定期的ボランティアの内容 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数		257	
0	非選択				
1	選択				
8	非該当				
		選択者数	%		
XVLRENV	1 環境保護・清掃に関する活動	141	54.9		
XVLRWF	2 介護・福祉に関する活動	65	25.3		
XVLRUL	3 文化・芸術に関する活動	28	10.9		
XVLRTH	4 教育・技術指導に関する活動	56	21.8		
XVLRNT	5 寄付金を集める活動 (募金集め、バザーの手伝いなど)	57	22.2		
XVLROTHR	6 その他 (具体的に)	12	4.7		

Q59-1 あなたは過去1年間に、不定期にボランティア活動を行なったことがありますか (突発的な事件や災害への支援を含む)。

XVLIRREG 不定期なボランティア: 経験の有無

コード		ケース数	%	
1	ある	315	15.6	
2	ない	1690	83.5	
9	無回答	18	0.9	
計		2023	100.0	

「1 ある」の場合

Q59-2 過去1年間に、合計何日くらい行ないましたか。(1日30分でも1日と数える)

SZVLIRRG 不定期なボランティア: 活動量 (合計日数/年)

コード		ケース数	%	
(実数記入)	1～4日	149	47.3	
	5～9日	54	17.1	
	10～19日	55	17.5	
	20～29日	19	6.0	
	30日以上	24	7.6	
9999	無回答	14	4.4	
計		315	100.0	
8888	非該当	1708		
計		2023		

Q59-3 どのような活動をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(多重回答) XVLTENV～XVLTOTHR 不定期的なボランティアの内容 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数		315	
0	非選択				
1	選択				
8	非該当				
		選択者数	%		
XVLTENV	1 環境保護・清掃に関する活動	201	63.8		
XVLTWF	2 介護・福祉に関する活動	75	23.8		
XVLTUL	3 文化・芸術に関する活動	39	12.4		
XVLTTH	4 教育・技術指導に関する活動	45	14.3		
XVLTNT	5 寄付金を集める活動 (募金集め、バザーの手伝いなど)	78	24.8		
XVLTOTHR	6 その他 (具体的に)	14	4.4		

Q60 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。A～F それぞれについて、お答えください。

A 政治関係の団体や会

MEMPLTGP 組織への所属:政治団体

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	65	3.2
2	いいえ	1913	94.6
9	無回答	45	2.2
計		2023	100.0

B 業界団体・同業者団体

MEMIND 組織への所属:業界団体

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	182	9.0
2	いいえ	1801	89.0
9	無回答	40	2.0
計		2023	100.0

C ボランティアのグループ

MEMVLNTR 組織への所属:ボランティアのグループ

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	118	5.8
2	いいえ	1863	92.1
9	無回答	42	2.1
計		2023	100.0

D 市民運動・消費者運動のグループ

MEMCIVIL 組織への所属:市民運動のグループ

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	40	2.0
2	いいえ	1935	95.7
9	無回答	48	2.4
計		2023	100.0

E 宗教の団体や会

MEMRL 組織への所属:宗教の団体や会

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	163	8.1
2	いいえ	1812	89.6
9	無回答	48	2.4
計		2023	100.0

F スポーツ関係のグループやクラブ

MEMSPORT 組織への所属:スポーツ関係のグループやクラブ

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	310	15.3
2	いいえ	1668	82.5
9	無回答	45	2.2
計		2023	100.0

Q61-1 あなたは過去1年間に、以下の寄付をしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(多重回答) XDNTREG~XDNTNONE 寄付の経験 共通 (変数名は下記参照)

<u>コード</u>		<u>該当者数</u> 2023	
0	非選択		
1	選択		
		<u>選択者数</u>	<u>%</u>
XDNTREG	1 定期的に寄付をした	161	8.0
XDNTBOX	2 街かどやコンビニなどで募金箱に寄付した	620	30.6
XDNTSCH	3 学校や地域を募金活動を通して寄付した	790	39.1
XDNTMASS	4 マスコミなどの呼びかけに応じて寄付した (銀行振込み・インターネット・電話など)	153	7.6
XDNTOTHR	5 その他 (具体的に)	65	3.2
XDNTNONE	6 寄付はしていない	665	32.9

寄付をした場合

Q61-2 過去1年間に、合計いくらぐらい寄付しましたか。

SZDNT 寄付の金額

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	500 円まで	368	27.4
2	~1,000 円	456	34.0
3	~5,000 円	294	21.9
4	~10,000 円	109	8.1
5	~50,000 円	66	4.9
6	~100,000 円	16	1.2
7	100,000 円以上	13	1.0
9	無回答	20	1.5
計		1342	100.0
8	非該当	681	
計		2023	

Q62-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

DORL 信仰する宗教の有無(本人)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ある	249	12.3
2	特に信仰していないが、家の宗教はある	507	25.1
3	ない	1251	61.8
9	無回答	16	0.8
計		2023	100.0

「1 ある」「2 特に信仰していないが、家の宗教はある」の場合

Q62-2 それは何ですか。(具体的に_____)

XXRL 信仰する宗教(本人)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
10	仏教	223	29.3
11	禅宗 (曹洞宗・臨済宗)	36	4.7
12	天台宗	5	0.7
13	浄土宗	41	5.4
14	浄土真宗 (本願寺・門徒宗・南無阿弥陀仏)	154	20.2
15	真言宗	49	6.4
16	日蓮宗	27	3.5

18	法華経・法華宗	1	0.1
19	本門佛立宗	2	0.3
20	神道	12	1.6
22	大山ねずの命神示教会	2	0.3
29	仏教+神道（仏様・神様）	7	0.9
30	キリスト教	16	2.1
31	カトリック	7	0.9
32	プロテスタント	1	0.1
35	エホバの証人	1	0.1
36	世界救世教	1	0.1
37	統一教会（世界基督教統一神霊協会）	1	0.1
41	創価学会	44	5.8
42	立正佼成会	2	0.3
43	霊友会	1	0.1
44	仏所護念会	1	0.1
52	天理教	11	1.4
53	真如苑	1	0.1
55	PL 教団	1	0.1
58	生長の家	2	0.3
59	金光教	5	0.7
80	先祖供養	4	0.5
82	日蓮正宗	10	1.3
85	その他	10	1.3
87	わからない	5	0.7
99	無回答	78	10.2
計		761	100.0
88	非該当	1262	
計		2023	

Q62-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

DO3PIOUS 信仰の度合い(本人)

コード		ケース数	%
1	熱心である	65	8.5
2	まあまあ熱心である	201	26.4
3	そんなに熱心ではない	456	59.9
9	無回答	39	5.1
計		761	100.0
8	非該当	1262	
計		2023	

Q63 あなたの高齢期の過ごし方で、次の A～I の活動は、どの程度重要だと思いますか。

A 仕事

IMOAWORK 高齢期に重要な活動:仕事

コード		ケース数	%
1	非常に重要	204	10.1
2	重要	844	41.7
3	どちらともいえない	661	32.7
4	重要ではない	200	9.9
5	まったく重要ではない	71	3.5
9	無回答	43	2.1
計		2023	100.0

B 町内会・老人会等での地域活動

IMOACOM 高齢期に重要な活動:地域活動

コード		ケース数	%
1	非常に重要	109	5.4
2	重要	833	41.2
3	どちらともいえない	812	40.1
4	重要ではない	166	8.2
5	まったく重要ではない	62	3.1
9	無回答	41	2.0
計		2023	100.0

C 文化・スポーツサークルへの参加

IMOACRCL 高齢期に重要な活動:文化・スポーツサークル

コード		ケース数	%
1	非常に重要	101	5.0
2	重要	757	37.4
3	どちらともいえない	859	42.5
4	重要ではない	191	9.4
5	まったく重要ではない	76	3.8
9	無回答	39	1.9
計		2023	100.0

D ボランティア・社会貢献活動

IMOAVLTR 高齢期に重要な活動:ボランティア

コード		ケース数	%
1	非常に重要	58	2.9
2	重要	677	33.5
3	どちらともいえない	1029	50.9
4	重要ではない	157	7.8
5	まったく重要ではない	62	3.1
9	無回答	40	2.0
計		2023	100.0

E 娯楽・レジャー活動

IMOALSR 高齢期に重要な活動:娯楽・レジャー

コード		ケース数	%
1	非常に重要	241	11.9
2	重要	988	48.8
3	どちらともいえない	601	29.7
4	重要ではない	104	5.1
5	まったく重要ではない	40	2.0
9	無回答	49	2.4
計		2023	100.0

F 読書・学習・研究活動

IMOALRN 高齢期に重要な活動:読書・学習・研究

コード		ケース数	%
1	非常に重要	178	8.8
2	重要	915	45.2
3	どちらともいえない	722	35.7
4	重要ではない	114	5.6
5	まったく重要ではない	51	2.5
9	無回答	43	2.1
計		2023	100.0

G 家族や親族と過ごす時間

IMOAFN 高齢期に重要な活動:家族・親族との時間

コード		ケース数	%
1	非常に重要	627	31.0
2	重要	1113	55.0
3	どちらともいえない	227	11.2
4	重要ではない	15	0.7
5	まったく重要ではない	10	0.5
9	無回答	31	1.5
計		2023	100.0

H 友人と過ごす時間

IMOAFRI 高齢期に重要な活動:友人との時間

コード		ケース数	%
1	非常に重要	399	19.7
2	重要	1155	57.1
3	どちらともいえない	390	19.3
4	重要ではない	37	1.8
5	まったく重要ではない	10	0.5
9	無回答	32	1.6
計		2023	100.0

I 自分一人の時間

IMOALON 高齢期に重要な活動:一人の時間

コード		ケース数	%
1	非常に重要	366	18.1
2	重要	1133	56.0
3	どちらともいえない	425	21.0
4	重要ではない	52	2.6
5	まったく重要ではない	13	0.6
9	無回答	34	1.7
計		2023	100.0

Q64 あなたの高齢期の生活を充実させるうえで、次の A～J との関係は、どの程度重要だと思いますか。

A 配偶者

IMORSS 高齢期に重要な関係:配偶者

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	非常に重要	1046	51.7
2	重要	694	34.3
3	どちらともいえない	199	9.8
4	重要ではない	14	0.7
5	まったく重要ではない	31	1.5
9	無回答	39	1.9
計		2023	100.0

B 子ども

IMORCC 高齢期に重要な関係:子ども

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	非常に重要	770	38.1
2	重要	892	44.1
3	どちらともいえない	282	13.9
4	重要ではない	24	1.2
5	まったく重要ではない	22	1.1
9	無回答	33	1.6
計		2023	100.0

C きょうだい

IMORSIB 高齢期に重要な関係:きょうだい

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	非常に重要	380	18.8
2	重要	944	46.7
3	どちらともいえない	550	27.2
4	重要ではない	93	4.6
5	まったく重要ではない	26	1.3
9	無回答	30	1.5
計		2023	100.0

D 孫

IMORCCG 高齢期に重要な関係:孫

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	非常に重要	467	23.1
2	重要	898	44.4
3	どちらともいえない	510	25.2
4	重要ではない	63	3.1
5	まったく重要ではない	32	1.6
9	無回答	53	2.6
計		2023	100.0

E 親

IMORPAR 高齢期に重要な関係:親

コード		ケース数	%
1	非常に重要	417	20.6
2	重要	816	40.3
3	どちらともいえない	533	26.3
4	重要ではない	87	4.3
5	まったく重要ではない	77	3.8
9	無回答	93	4.6
計		2023	100.0

F 仕事関係の友人・昔の同僚

IMORFRWK 高齢期に重要な関係:仕事関係の友人

コード		ケース数	%
1	非常に重要	175	8.7
2	重要	827	40.9
3	どちらともいえない	800	39.5
4	重要ではない	129	6.4
5	まったく重要ではない	58	2.9
9	無回答	34	1.7
計		2023	100.0

G 学校時代の友人

IMORFRSC 高齢期に重要な関係:学校時代の友人

コード		ケース数	%
1	非常に重要	208	10.3
2	重要	785	38.8
3	どちらともいえない	794	39.2
4	重要ではない	140	6.9
5	まったく重要ではない	65	3.2
9	無回答	31	1.5
計		2023	100.0

H 参加団体・サークルの友人

IMORFRCC 高齢期に重要な関係:団体・サークルの友人

コード		ケース数	%
1	非常に重要	118	5.8
2	重要	677	33.5
3	どちらともいえない	910	45.0
4	重要ではない	184	9.1
5	まったく重要ではない	82	4.1
9	無回答	52	2.6
計		2023	100.0

I 近所の人

IMORCOM 高齢期に重要な関係:近所の人

コード		ケース数	%
1	非常に重要	293	14.5
2	重要	1075	53.1
3	どちらともいえない	554	27.4
4	重要ではない	62	3.1
5	まったく重要ではない	20	1.0
9	無回答	19	0.9
計		2023	100.0

J ペット

IMORPET 高齢期に重要な関係:ペット

コード		ケース数	%
1	非常に重要	184	9.1
2	重要	495	24.5
3	どちらともいえない	790	39.1
4	重要ではない	270	13.3
5	まったく重要ではない	240	11.9
9	無回答	44	2.2
計		2023	100.0

Q65 次にあげる A～O について、あなたはどれくらい信頼していますか。

A 大企業

TR3CORPZ 組織への信頼:大企業

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	92	4.5
2	少しは信頼している	967	47.8
3	ほとんど信頼していない	491	24.3
4	わからない	437	21.6
9	無回答	36	1.8
計		2023	100.0

B 宗教団体

TR3RLGPZ 組織への信頼:宗教団体

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	80	4.0
2	少しは信頼している	228	11.3
3	ほとんど信頼していない	1190	58.8
4	わからない	493	24.4
9	無回答	32	1.6
計		2023	100.0

C 学校

TR3SCHLZ 組織への信頼:学校

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	242	12.0
2	少しは信頼している	1199	59.3
3	ほとんど信頼していない	287	14.2
4	わからない	259	12.8
9	無回答	36	1.8
計		2023	100.0

D 中央官庁

TR3BCRAZ 組織への信頼:中央官庁

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	74	3.7
2	少しは信頼している	718	35.5
3	ほとんど信頼していない	695	34.4
4	わからない	492	24.3
9	無回答	44	2.2
計		2023	100.0

E 労働組合

TR3UNNZ 組織への信頼:労働組合

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	49	2.4
2	少しは信頼している	603	29.8
3	ほとんど信頼していない	614	30.4
4	わからない	703	34.8
9	無回答	54	2.7
計		2023	100.0

F 新聞

TR3NWSPZ 組織への信頼:新聞

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	371	18.3
2	少しは信頼している	1373	67.9
3	ほとんど信頼していない	131	6.5
4	わからない	121	6.0
9	無回答	27	1.3
計		2023	100.0

G 病院

TR3HSPLZ 組織への信頼:病院

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	470	23.2
2	少しは信頼している	1326	65.5
3	ほとんど信頼していない	87	4.3
4	わからない	106	5.2
9	無回答	34	1.7
計		2023	100.0

H テレビ

TR3TVZ 組織への信頼:テレビ

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	229	11.3
2	少しは信頼している	1300	64.3
3	ほとんど信頼していない	314	15.5
4	わからない	149	7.4
9	無回答	31	1.5
計		2023	100.0

I 裁判所

TR3SPCAZ 組織への信頼:裁判所

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	344	17.0
2	少しは信頼している	1039	51.4
3	ほとんど信頼していない	163	8.1
4	わからない	436	21.6
9	無回答	41	2.0
計		2023	100.0

J 学者・研究者

TR3ACDAZ 組織への信頼:学者・研究者

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	191	9.4
2	少しは信頼している	1011	50.0
3	ほとんど信頼していない	249	12.3
4	わからない	525	26.0
9	無回答	47	2.3
計		2023	100.0

K 国会議員

TR3CGMNZ 組織への信頼:国会議員

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	43	2.1
2	少しは信頼している	590	29.2
3	ほとんど信頼していない	944	46.7
4	わからない	409	20.2
9	無回答	37	1.8
計		2023	100.0

L 市区町村議会議員

TR3CITYZ 組織への信頼:市区町村議会議員

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	66	3.3
2	少しは信頼している	682	33.7
3	ほとんど信頼していない	836	41.3
4	わからない	405	20.0
9	無回答	34	1.7
計		2023	100.0

M 自衛隊

TR3DEFZ 組織への信頼: 自衛隊

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	217	10.7
2	少しは信頼している	966	47.8
3	ほとんど信頼していない	360	17.8
4	わからない	438	21.7
9	無回答	42	2.1
計		2023	100.0

N 警察

TR3COPZ 組織への信頼: 警察

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	275	13.6
2	少しは信頼している	1153	57.0
3	ほとんど信頼していない	324	16.0
4	わからない	239	11.8
9	無回答	32	1.6
計		2023	100.0

O 金融機関

TR3FINZ 組織への信頼: 金融機関

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	138	6.8
2	少しは信頼している	997	49.3
3	ほとんど信頼していない	519	25.7
4	わからない	333	16.5
9	無回答	36	1.8
計		2023	100.0

Q66 あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ 幸福度

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	幸せ	545	26.9
2	・	734	36.3
3	・	592	29.3
4	・	110	5.4
5	不幸せ	27	1.3
9	無回答	15	0.7
計		2023	100.0

II.3 事項索引

注) 事項索引には、JGSS-2000～2005 の全ての変数を掲載している。

うち JGSS-2005 変数にはアンダーラインをつけている。それ以外の変数については、『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック累積データ 2000-2003』または、JGSS ホームページを参照のこと。

事 項	変 数 名
アレルギー → 健康	
安楽死 → 医療	
育児 → 親, 子ども	
いじめ → 教育, 心の健康, 子ども, 暴力 …の責任 いじめた生徒 いじめた生徒の保護者 学校 クラスの担任 クラスメート 本人 本人の保護者 身近な…の有無	SUBULLY SUFFBUL SUSCHL SUTCHER SUCMATE SUSELF SUFFSLF XSBULLY
逸脱 → 規範, 道徳, 犯罪	
遺伝子組換え食品 → 科学, 健康	
医療 → 科学, 健康 …費に消費者金融を利用 安楽死法への賛否 医師が心の健康の相談相手 医師と知り合い カウンセリング …の受療意欲 …の受療経験 家族による… 対象者による… …の知識 献血の経験の有無 高齢者の医療・介護の責任 代理母出産への賛否 ドナーカード …の所持 …への署名 病院への信頼	<u>USCSMD</u> <u>QDDKILLA</u> <u>WLADDD</u> , <u>WLADDDSP</u> ZKDOCF, ZKDOCM, ZKDOCN, ZKDOCX <u>WLCOUNSL</u> <u>XCOUNSLF</u> <u>XCOUNSLR</u> <u>KWCOUNSL</u> XVLBLOOD <u>OP5SRMDY</u> OSUBMOM DOCARD DO3SIGN <u>TR3HSPLZ</u>
飲酒 → 喫煙, 健康 …の頻度	<u>DO7DRINK</u>
インターネット → 情報技術 …で政治のニュースを見る頻度 …のために英語を学習 …の利用 買い物 株取引 情報検索 バンキング ホームページの作成 電子メールの利用	FQ4PLWEB ELINET <u>DOINNONE</u> <u>DOINSHOP</u> , DONETSB, SFQINET DONETSTK <u>DOINBRS</u> , FQ4PLWEB, SFQINET <u>DOINBANK</u> , DONETSB <u>DOINHP</u> <u>DOEMAIL</u> , DOEMAILJ, DOEMAILP
英語 → 国際	
エスニシティ → 国際	

夫 → 結婚, 男性, 配偶者	
親 → 父親, 母親 …が仕事の相談相手 …が政治的な話題の相手 …が悩みの相談相手 …との関係が高齢期に重要 …にいじめの責任 いじめた生徒の… 本人の… …による体罰への賛否 …の教育方針が子の学歴を決める …の収入・資産が子の学歴を決める …の収入で生計をまかなう者 三世代同居への賛否 保育・育児の責任	ZKIN1[I-L] ZKIN1[E-H] ZKIN1[A-D] <u>IMORPAR</u> SUFFBUL SUFFSLF Q5PMSPNK OP4EDPAR OP4EDECN <u>INCPAR</u> , <u>INPARENT</u> <u>OP2GNR</u> <u>OP5CCARE</u>
親子関係 → 親, 家族, 子ども, 青少年, 父親, 母親	
介護 → 医療, 健康, 高齢者, 社会保障	
外国人 → 国際	
階層 → 学歴, 収入, 就労, 不平等 …帰属意識	<u>OP10LVL</u> , <u>OP5LEVK</u>
カウンセリング → 心の健康	
科学 → 医療, 学校, 教育, 情報技術 医師が心の健康の相談相手 遺伝子組換え食品 …の知識 …への意見 安全 自然なもの 自分にとって有益 社会にとって有益 社会への普及 食べてもよい どのようなものがあるか どのようにしてできるか 思い浮かぶ… …の有無 …の個数 …の種類 心理学・カウンセリングの知識 心理学の専門家が心の健康の相談相手	<u>WLADDD</u> , <u>WLADDDSP</u> <u>KNOWGMO</u> <u>OPGMSAFE</u> <u>OPGMNTRL</u> <u>OPGMUSER</u> <u>OPGMUSES</u> <u>OPGMSPRD</u> <u>OPGMEAT</u> <u>OPGMWHAT</u> <u>OPGMHOW</u> <u>KWGMCONC</u> <u>NGMCONC</u> <u>GMCONC1</u> , <u>GMCONC2</u> , <u>GMCONC3</u> , <u>GMCONC4</u> , <u>GMCONC5</u> , <u>GMCONC6</u> , <u>GMCONC7</u> , <u>GMCONC8</u> , <u>GMCONC9</u> <u>KWCOUNSL</u> <u>WLADPSY</u>
学習 → 学校, 教育, 訓練	
学歴 → 学校, 教育 …の取得に学校の意義があった …への意見 学歴は親の教育方針による 学歴は経済的状況による 学歴は本人の実力による 子どもにはできるだけ高い学歴を 高い学歴は収入面に恵まれる どの大学かで人生が左右 仕事の相談相手の… 職業学校の経験の有無 政治的な話題の相手の… 対象者の… 高校	MSQUALF OP4EDPAR OP4EDECN OP4EDABI OP4EDHI OP4EDINC OP4EDUNI ZLSTSCH[I-L] XKAKUSHU, XNOKNOW, XNOMARK, XNOSCH, XOCCUP, XSENSHU ZLSTSCH[E-H] <u>XXLSTSCH</u>

…での学科 …の進学率 卒業／中退／在学中 大学 …での専攻分野 …の国・公・私立の区別 父親の… 悩みの相談相手の… 配偶者の… 母親の…	XHSSUB XHSRATE <u>DOLSTSCH</u> XUSUB XUPUBLIC <u>PPLSTSCH</u> ZLSTSCH[A-D] <u>SSLSTSCH</u> <u>MMLSTSCH</u>
家計 → 資産、収入、消費行動 …が子の学歴を決める …について世間との比較 …の管理方法 …の最近の変化 …への満足度 15 歳の頃の…レベル ギャンブルへの支出 クレジットカード …の機能の利用 …の所有枚数 …の用途 …への意見 経済的な格差が少年犯罪の原因 自動車の費用が高すぎる 自動車の負担感 借金への賛否 消費者金融 …の用途 …の利用回数 …への意見 所得税の負担感 生活水準向上の機会 世帯支出 教育費 住宅費 世帯収入 福祉と税負担のバランスについての意見	OP4EDECN <u>OP5FFINX</u> RR6ACCT <u>OP3ECN3A</u> <u>ST5ECNY</u> <u>OPFFIX15</u> NUMRACE, SZLOT, SZPACHI, SZRACE, SZTOTO <u>FNCDCASH</u>, <u>FNCDINST</u>, <u>FNCDONE</u>, <u>FNCDREVO</u> <u>NUMCARD</u> <u>USCDCHRG</u>, <u>USCDDAY</u>, <u>USCDEAT</u>, <u>USCDHIGH</u> <u>OPCDCM</u>, <u>OPCDCRM</u>, <u>OPCDOVER</u>, <u>OPCDUSFL</u> <u>OPJVECN</u> <u>OPCARCST</u> <u>EXCARBUY</u>, <u>EXCARFIX</u>, <u>EXCARGAS</u>, <u>EXCARINS</u>, <u>EXCARPRK</u> <u>Q4DEBT</u> <u>USCSBANK</u>, <u>USCSBUS</u>, <u>USCSCLTH</u>, <u>USCSDAY</u>, <u>USCSEDU</u>, <u>USCSHOB</u>, <u>USCSMD</u>, <u>USCSOTHR</u>, <u>USCSSOC</u> <u>NUMCONSF</u> <u>OPCSCM</u>, <u>OPCSCRM</u>, <u>OPCSOVER</u>, <u>OPCSUSFL</u> <u>OP6TAXHI</u> <u>OP5CHNCA</u> SZEXED, SZEXHIED SZEXHIHS, SZEXHOUS SZHSHINC, <u>SZHSINCM</u> OWELFTAX
賭け事 → ギャンブル、余暇活動	
家事 → 家族、家庭 …を仕事とすることへの満足度 対象者による…の頻度 家の掃除 買い物 ゴミ出し 洗濯 夕食の用意 男性による…への賛否 配偶者との…分担 配偶者による…の頻度 家の掃除 買い物 ゴミ出し 洗濯 夕食の用意	ST5HSWK <u>FQ7CLEAN</u> <u>FQ7SHOP</u> <u>FQ7GARB</u> <u>FQ7WASH</u> <u>FQ7CKDNR</u> <u>Q4MNCKY</u>, <u>Q4MNCOOK</u> WH3HSWK SSFQ7CLN SSFQ7SHP SSFQ7GRB SSFQ7WSH SSFQ7CK

カジノ → ギャンブル	
家族 → 親, 家計, 家事, 家庭, きょうだい, 結婚, 子ども, 父親, 孫 …意識 希望する子どもの性別 三世同居への賛否 墓への希望 夫婦別姓への意見 離婚への賛否 理想的な子どもの人数 …が心の健康の相談相手 …が仕事の相談相手 …が政治的な話題の相手 …が悩みの相談相手 …揃っての夕食の頻度 …で政治について話す頻度 …との会話のための英語の使用機会 …のアレルギーの有無 …の介護経験の有無 対象者による… 配偶者による… …の収入で生計をまかなう者 …の人数 一時的な別居者 同居者 配偶者・親・子以外の… 家の宗教の有無 対象者の… 配偶者の… 外国人と結婚した親族の有無 高齢期の活動として…との時間が重要 世帯 …員 …との一時的な別居の理由 …との同居／一時的な別居 …の性別 …の続柄 …の年齢 世帯主 …支出 教育費 住宅費 …収入 …について世間との比較 …の最近の変化 15歳の頃の…レベル …主 …の種別 ペットが…関係に役立つという意見 万引きをした子どもは…に通知	<u>APPCCSXB</u> <u>OP2GNR</u> OP7CMTRA, XCMCARE, XCMETC, XCMNATR, XCMNOMK, XCMNONE, XCMSSENS OP4NAME Q4CCDVY, <u>Q4DIVOK</u> , Q4HHDVY, Q4WWDVY <u>APPCCNMX</u> , <u>APPCCNUM</u> <u>WLADFF</u> ZKIN2[I-L] ZKIN2[E-H] ZKIN2[A-D] <u>FQ7FFDNR</u> FQ4PLFAM EUFAMLY <u>FAATOPI</u> , <u>FAFOOD</u> , <u>FAKAFUN</u> , <u>FANOFF</u> , <u>FANOMARK</u> , <u>FANONE</u> , <u>FAZENSOK</u> XCARE SSCARE <u>INCFAM</u> , INFAMILY FF[01-10]MARK, <u>SZFFONLY</u> , <u>SZFFTTL</u> <u>SZFFAWAY</u> , <u>SZFFOUT</u> SZFFHERE <u>SZFFOTHR</u> <u>DORL</u> SSDORL FFXFNMG, XFNMGX <u>IMOAFF</u> FF[01-10]OUT, FF[01-10]WHY, <u>FFO[01-06]WHY</u> , FFSEPWHY FF[01-10]HERE, FF[01-10]HOME, <u>FFO[01-06]REL</u> , FFRESIDE FF[01-10]SEX, <u>FFH[01-05]SEX</u> FF[01-10]REL, <u>FFH[01-05]REL</u> , <u>FFO[01-06]REL</u> FF[01-10]AGE, <u>FFH[01-05]AGE</u> FF[01-10]HEAD, <u>FFHEAD</u> SZEXED, SZEXHIED SZEXHIHS, SZEXHOUS SZHSHINC, <u>SZHSINCM</u> <u>OP5FFINX</u> <u>OP3ECN3A</u> <u>OPFFIX15</u> FF[01-10]HEAD, <u>FFHEAD</u> FFRESIDE PT4FFCOA SLFAMILY
学校 → 科学, 教育, 子ども …外学習の経験 …が少年犯罪の原因 …時代の友人との関係が高齢期に重要	XSCORR, XSJUKU, XSNOMARK, XSNONE, XSTUTOR <u>OPJVSCHL</u> <u>IMORFRSC</u>

…にいじめの責任 …の意義の経験 学歴や資格 基礎的な知識 仕事に必要な技能 自分の才能をのばす 就職が有利 自由な時間の利用 スポーツ・部活動 精神的成長 先生から生き方を学ぶ 専門的な知識 友達づくり 人間関係・社会性 配偶者との出会い …の募金を通して寄付した経験 …への信頼 いじめ …の責任 身近な…の有無 学者・研究者への信頼 通った高校 …での学科 …の進学率 通った大学 …での専攻分野 …の国・公・私立の区別 最後に卒業した… 仕事の相談相手の… 政治的な話題の相手の… 対象者の… 卒業／中退／在学中 父親の… 悩みの相談相手の… 配偶者の… 母親の… 職業…の経験の有無 各種学校 公共職業訓練校 専修・専門学校 万引きをした子どもは…に通知	SUSCHL MSETC, MSNOMARK, MSNONE MSQUALF MSBASIC MSJSKILL MSTALENT MSFINDJB MSFRTIME MSSPORT MSMENTAL MSTEACHR MSSPEC MSFRIEND MSHUMAN MSSPOUSE <u>XDNTSCH</u> <u>TR3SCHLZ</u> SUBULLY, SUCMATE, SUFFBUL, SUFFSLF, SUSCHL, SUSELF, SUTCHER XSULLY <u>TR3ACDAZ</u> XHSSUB XHSRATE XUSUB XUPUBLIC ZLSTSCH[I-L] ZLSTSCH[E-H] <u>XXLSTSCH</u> <u>DOLSTSCH</u> <u>PPLSTSCH</u> ZLSTSCH[A-D] <u>SSLSTSCH</u> <u>MMLSTSCH</u> XKAKUSHU XOCCUP XSENSHU SLSCHL
家庭 → 家計, 家事, 家族 …が少年犯罪の原因 …生活への満足度 …との両立を就労条件として重視 …内暴力の経験 高齢期の活動として…での時間が重要 住居 …の形態 …の広さ	<u>OPJVFF</u> <u>ST5LIFEY</u> IM5FAMIL WHENBEAT, WHOMBEAT, XBEATEN <u>IMOAFF</u> <u>OWNHOUSE</u>, TP8DWEL, <u>TPHOUSE</u> SZDWEL
加入 → 所属	
環境 …に配慮した行動 …の変化 買い物には袋などを持参 公共交通機関の利用 故障物は修理して使用	XSAGCHEM, XSRECYC, XSREFIL, XSRESHOP FQ4BAG FQ4BUS FQ4MEND

ゴミは分別して捨てる 再生商品の購入 節水の心がけ 詰め替え商品の購入 電化製品の購入時 …に再生利用が可能なことを重視 …に省エネ・省資源を重視 電気はこまめに消す 生ゴミを堆肥に 包装を簡単にしてもらう 無農薬や有機栽培の野菜の購入 リサイクルショップの利用 …保護のボランティア活動を経験 …問題への政府の支出に対する意見 …問題への取り組みへの満足度 企業による… 国による… 自治体による… 自動車による…汚染が心配	FQ4SORT FQ4RECYC, XSRECYC FQ4WATER FQ4REFIL, XSREFIL IM5RECYC IM5SAVE FQ4DENKI FQ4TAIHI FQ4PACK FQ4NOYAK, XSAGCHEM FQ4USED, XSRESHOP <u>XVLTENV</u>, <u>XVLTENV</u> BD3ENVA STECOCO STECONAT STECOLOC <u>OPCARECO</u>
官公庁 → 政治, 政府 県庁の役職者と知り合い 市区町村 …の首長と知り合い …役所の役職者と知り合い 自治体による環境問題への取り組みへの満足度 政治家や官僚と接触した経験 対象者の勤めている事業所の組織形態 中央官庁 …の役職者と知り合い …への信頼	ZKPREFF, ZKPREFM, ZKPREFN, ZKPREFX ZKMAYRF, ZKMAYRM, ZKMAYRN, ZKMAYRX ZKTOWNF, ZKTOWNM, ZKTOWNN, ZKTOWNX STECOLOC X5YCNTC2 <u>TP4WPLA</u> ZKGVMTF, ZKGVMTM, ZKGVMTN, ZKGVMTX <u>TR3BCRAZ</u>
企業 → 経済, 就労	
喫煙 → 飲酒, 健康 …経験の有無 …習慣の有無 禁煙を努力した経験の有無	<u>DOSMOKEX</u> DOSMOKE <u>XQTSMOKE</u>
規範 → 道徳 10代の売春への意見 子どもを持つ必要性への意見 コミュニティの子どもへの注意の仕方 三世代同居への賛否 借金への賛否 女性の就労への意見 体罰の必要性への意見 男性による家事への賛否 同性による性交渉への意見 配偶者以外との性交渉への意見 夫婦別姓への意見 離婚への賛否	Q4PROS19 <u>Q4NOCCMG</u> SLCLERK, SLETC, SLFAMILY, SLNODO, SLNOMK, SLSCHL, SLSELF <u>OP2GNR</u> <u>Q4DEBT</u> <u>Q4JBMMCC</u>, Q4JBMMFM, Q4WNJB2L, <u>Q4WWHHX</u>, <u>Q4WWHPHH</u> Q5PMSPNK, Q5TTSPNK Q4MNCKY, <u>Q4MNCOOK</u> Q4HOMSEA Q4ADLTRY OP4NAME Q4CCDVY, <u>Q4DIVOK</u>, Q4HHDVY, Q4WWDVY
寄付 → ボランティア	
虐待 → いじめ, 家庭, 教育, 心の健康, 暴力	
ギャンブル → 余暇活動 …の頻度 競馬 公営ギャンブル一般 サッカーくじ 宝くじ	FQ4HORSE FQ4PGAM, FQRACE, NUMRACE FQ4TOTO, FQTOTO <u>FQ4LOTTO</u>, FQLOT

ナンバーズ・ミニロト パチンコ・パチスロ …への支出 公営ギャンブル一般 サッカーくじ 宝くじ パチンコ・パチスロ カジノ …が日本にできたら行くか …の合法化への意見	FQ4NBS <u>FQ4PACHI</u> , FQPACHI NUMRACE, SZRACE SZTOTO SZLOT SZPACHI WLCASINO OPCASINO
給料 → 家計, 収入	
教育 → 科学, 学歴, 学校, 訓練 …の機会を就労条件として重視 …のボランティア活動を経験 …費に消費者金融を利用 …への政府の支出に対する意見 いじめ …の責任 身近な…の有無 英語 …の学習意欲 …の学習経験の有無 …の学習理由 …の使用機会 …の能力 外国人と一緒に勉強した経験の有無 外国人の増加で外国語を学ぶ機会が増える 学歴への意見 学校外学習の経験 家庭教師 塾 通信教育 学校の意義の経験 学歴や資格 基礎的な知識 仕事に必要な技能 自分の才能をのばす 就職が有利 自由な時間の利用 スポーツ・部活動 精神的成長 先生から生き方を学ぶ 専門的な知識 友達づくり 人間関係・社会性 配偶者との出会い 教養講座の受講経験 クラブ活動への教員の立会いへの意見 高齢期の活動として学習活動が重要 心の…への意見 子どもの…の責任	IM5TRG <u>XVLR</u> TCH, <u>XVLT</u> TCH <u>USCSEDU</u> BD3EDUC SUBULLY, SUCMATE, SUFFBUL, SUFFSLF, SUSCHL, SUSELF, SUTCHER XSBULLY WLRNENG XECIRCLE, XECLASS, XEMEDIA, XENOMARK, XENONE, XEOSSTDY, XESELF, XESHANAI, XLRNENG ELCHILD, ELENJOY, ELETCH, ELGETJOB, ELGRADE, ELINET, ELMOVIE, ELNEW, ELNOMK, ELPROMO, ELQUALF, ELTASK, ELTRAVL, ELVISION, ELWEST EUCLASS, EUETC, EUFAMILY, EUFRIEND, EUHOBBY, EUKIDS, EUNO, EUNOMARK, EUTOKI, EUYOKU ENGREAD, ENGTALK XFNSTDY, XFNSTDYX FNLANG OP4EDABI, OP4EDECN, OP4EDHI, OP4EDINC, OP4EDPAR, OP4EDUNI XSNOMARK, XSNONE XSTUTOR XSJUKU XSCORR MSETC, MSNOMARK, MSNONE MSQUALF MSBASIC MSJSKILL MSTALENT MSFINDJB MSFRTIME MSSPORT MSMENTAL MSTEACHR MSSPEC MSFRIEND MSHUMAN MSSPOUSE XECLASS, XLRNCLTR, XLRNENG, XSCLED OPCLUBT <u>IMOALRN</u> <u>OPEDMND</u> <u>OP5CCED</u>

コミュニティの子どもへの注意の仕方 実務講座の受講経験 職業学校の経験の有無 体罰への賛否 親による… 教師による… 中学3年生の頃の成績 読書冊数	SLCLERK, SLETC, SLFAMILY, SLNODO, SLNOMK, SLSCHL, SLSELF XLRNJB, XSLRNQL XKAKUSHU, XNOKNOW, XNOMARK, XNOSCH, XOCCUP, XSENSHU Q5PMSPNK Q5TTSPNK OP5SCHPF <u>FQ5READ</u>
教師 → 学校, 教育	
きょうだい …が仕事の相談相手 …が政治的な話題の相手 …が悩みの相談相手 …との関係が高齢期に重要 …の人数 対象者の… 兄 姉 妹 弟 配偶者の… 兄 姉 妹 弟	ZKIN2[I-L] ZKIN2[E-H] ZKIN2[A-D] <u>IMORSIB</u> XNUMSBLG, XNUMSELF <u>XNUMBROE</u> <u>XNUMSISE</u> <u>XNUMSISY</u> <u>XNUMBROY</u> XSSNSBLG, XSSNSELF <u>XSSNBROE</u> <u>XSSNSISE</u> <u>XSSNSISY</u> <u>XSSNBROY</u>
兄弟姉妹 → きょうだい	
居住地 → コミュニティ, 住居 …で外国人と出会う頻度 …でのコンビニエンスストアの利用頻度 …に外国人居住者が増えること …の影響への意見 …への賛否 …の市郡規模 …の人口比修正ウェイト …の地域ブロック …の都道府県 …の夜の治安 …への愛着 …への満足度 15歳の頃の… 海外での居住の経験 居住年数 近所の人が仕事の相談相手 近所の人が政治的な話題の相手 近所の人が悩みの相談相手 現在の…に住み続けたいか 調査員による地区の種別の評定	FQ4FNR FQCONVI FNCULT, FNETC, FNINTNL, FNJCUL, FNLANG, FNLOCAL, FNLOPOP, FNNOKNOW, FNNOMK, FNNONE, FNPEACE, FNPREDN, FNPREUP, FNSAFE, FNTAXUP, FNUNIQ, FNVARTY, FNWKCHN, FNWORK <u>QFNRINCR</u> <u>SIZE</u> WEIGHT <u>BLOCK</u> <u>PREF</u> <u>FEARWALK</u> LKLOCAL <u>ST5AREAY</u> <u>PREF15</u>, <u>REMOTE15</u>, <u>TP5LOC15</u> XEOSJOB <u>XLIVEYR</u> ZNEIB[I-L] ZNEIB[E-H] ZNEIB[A-D] <u>WLLIVE</u> <u>AREA</u>
金融 → 経済	
訓練 → 学校, 教育, 就労 …の機会を就労条件として重視 海外留学や海外研修の経験 仕事に必要な技能の取得に学校の意義があった 実務講座の受講経験	IM5TRG XEOSSTDY MSJSKILL XLRNJB, XSLRNQL

職業学校の経験の有無	XKAKUSHU, XNOKNOW, XNOMARK, XNOSCH, XOCCUP, XSENSHU
職場研修	
…で英語を学習した経験	XESHANAI
…の有無	XTRG1YR
…の期間	SZTRGA
…の費用負担者	WHPAYTRG
景気 → 経済	
経済 → 家計, 社会保障, 収入, 消費行動, 政治, 年金	
…的な格差が少年犯罪の原因	<u>OPJVECN</u>
インターネットによる株取引	DONETSTK
インターネットによるショッピング・バンキング	DONETSB
外国人の増加で税負担が増す	FNTAXUP
企業による環境問題への取り組みへの満足度	STECOCO
業界団体への所属	<u>MEMIND</u>
銀行員と知り合い	ZKBANKF, ZKBANKM, ZKBANKN, ZKBANKX
金融機関への信頼	<u>TR3FINZ</u>
現在の日本の景気の判断	OBUSINS
借金への賛否	<u>Q4DEBT</u>
政治献金をした経験	X5YDONAT
政府の支出に対する意見	BD3CNSTR, BD3CRIME, BD3EDUC, BD3EMPTY, BD3ENVA, BD3ODA, BD3SAFTY, BD3WFR
大企業への信頼	<u>TR3CORPZ</u>
中小企業経営者と知り合い	ZKSMALLF, ZKSMALLM, ZKSMALLN, ZKSMALLX
同業組合の役員と知り合い	ZKTRDEF, ZKTRDEM, ZKTRDEN, ZKTRDEX
警察 → 犯罪, 法制度	
…への信頼	<u>TR3COPZ</u>
居住地の夜の治安	<u>FEARWALK</u>
芸術 → 余暇活動	
映画鑑賞の頻度	<u>FQ4MOVIE</u>
音楽鑑賞の頻度	<u>FQ4MUSIC</u>
文化・芸術のボランティア活動を経験	<u>XVLRUCUL</u> , <u>XVLTUCUL</u>
携帯電話 → 情報技術	
結婚 → 家族, 再婚, 死別, 性, 配偶者, 離婚	
…意識	
結婚と幸福との関係への意見	<u>Q4MGHAPP</u> , <u>Q4MNMGA</u> , <u>Q4WNMGA</u>
子どもを持つ必要性への意見	<u>Q4NOCCMG</u>
配偶者以外との性交渉への意見	Q4ADLTRY
夫婦別姓への意見	OP4NAME
離婚への賛否	Q4CCDVY, <u>Q4DIVOK</u> , Q4HHDVY, Q4WWDVY
…経験の有無	<u>DOMARRY</u> , <u>XMARRY</u>
…生活の幸福の程度	FF5HAPPZ
…の年齢	AGE1MG
現在の…状況	<u>DOMARRY</u> , <u>MARC</u>
親族が外国人と…	FFXFNMG, XFNMGX
配偶者との関係への満足度	<u>ST5SSREL</u>
健康 → 医療, 心の健康	
…に気をつけた食事の頻度の変化	XSMEAL
…のための運動の頻度の変化	XSEXER
…の程度	
対象者の…	<u>OP5HLTHZ</u>
配偶者の…	SS5HLTHZ
…への満足度	<u>ST5HLTHY</u>
アレルギーの有無	
家族の…	<u>FANOFF</u> , <u>FANOMARK</u> , <u>FANONE</u>
アトピー性皮膚炎	<u>FAATOPI</u>
花粉症	<u>FAKAFUN</u>
食物アレルギー	<u>FAFOOD</u>

ぜんそく 対象者の… アトピー性皮膚炎 花粉症 食物アレルギー ぜんそく 医師と知り合い 遺伝子組換え食品への意見 飲酒の頻度 介護・福祉のボランティア活動を経験 外食の頻度 家族の介護経験の有無 対象者による… 配偶者による… 喫煙 …経験の有無 …習慣の有無 禁煙を努力した経験の有無 無農薬・有機野菜の購入	<u>FAZENSOK</u> <u>HANOMARK</u>, <u>HANONE</u> <u>HAATOPI</u> <u>HAKAFUN</u> <u>HAFOOD</u> <u>HAZENSOK</u> ZKDOCF, ZKDOCM, ZKDOCN, ZKDOCX <u>OPGMEAT</u>, <u>OPGMHOW</u>, <u>OPGMNTRL</u>, <u>OPGMSAFE</u>, <u>OPGMSPRD</u>, <u>OPGMUSER</u>, <u>OPGMUSES</u>, <u>OPGMWHAT</u> <u>DO7DRINK</u> <u>XVLRWF</u>, <u>XVLTWF</u> XSEATOUT XCARE SSCARE <u>DOSMOKEX</u> <u>DOSMOKE</u> <u>XQTSMOKE</u> XSAGCHEM
研修 → 訓練	
交際 → 国際, コミュニティ, 友人 …ネットワーク …に関する面接部分の所要時間 心の健康の相談相手 仕事の相談相手 …が投票する政党 …同士が知り合い …と会話する頻度 …と知り合ってから年数 …との間柄 …との外出の有無 …との共通の趣味の有無 …との親密度 …との政治的な会話の有無 …の最終学歴 …の従業上の地位 …の職種 …の性別 …の人数 …の年齢 …への借金の可能性 知り合いが同一人物か 知り合い同士が知り合い 知り合いの種類 医師 銀行員 県庁の役職者 工場作業員 国会議員 市区町村の首長 市区町村役所の役職者 市民運動団体の役員 情報技術者	ZTIME <u>WLADDD</u>, <u>WLADDDSP</u>, <u>WLADFF</u>, <u>WLADFRI</u>, <u>WLADNONE</u>, <u>WLADOTHR</u>, <u>WLADPSY</u>, <u>WLADRLGN</u> ZVOTE[I-L] Z3KNOW[I-L] ZFQTALK[I-L] ZKNOWYR[I-L] ZFRIE[I-L], ZJOB COL[I-L], ZJOBETC[I-L], ZJOBREL[I-L], ZKIN1[I-L], ZKIN2[I-L], ZNEIB[I-L], ZRELETC[I-L], ZRLNOMK[I-L], ZSS[I-L], ZTEAM[I-L] ZCOUTG[I-L] ZCOHOBB[I-L] ZCLOSE[I-L] ZPLTALK[I-L] ZLSTSCH[I-L] ZTP7JOB[I-L] ZJOB[I-L] ZSEX[I-L] Z3ELSE, Z3NUM, Z3XX[I-L] ZAGE[I-L] ZCOMONY[I-L] ZSAME1, ZSAME2, ZSAME3, ZSAME4, ZSAME5, ZSAME6 Z1KNOW[A-D], Z2KNOW[E-H], Z3KNOW[I-L] ZKDOCF, ZKDOCM, ZKDOCN, ZKDOCX ZKBANKF, ZKBANKM, ZKBANKN, ZKBANKX ZKPREF, ZKPREFM, ZKPREFN, ZKPREFX ZKFCTRYF, ZKFCTRYM, ZKFCTRYN, ZKFCTRYX ZKDIETF, ZKDIETM, ZKDIETN, ZKDIETX ZKMAYRF, ZKMAYRM, ZKMAYRN, ZKMAYRX ZKTOWNF, ZKTOWNM, ZKTOWNN, ZKTOWNX ZKVOLF, ZKVOLM, ZKVOLN, ZKVOLX ZKCOMPF, ZKCOMPM, ZKCOMPN, ZKCOMPX

政治家の後援会の世話役	ZKSECRF, ZKSECRM, ZKSECRN, ZKSECRX
地方議会議員	ZKLOCALF, ZKLOCALM, ZKLOCALN, ZKLOCALX
中央官庁の役職者	ZKGVMTF, ZKGVMTM, ZKGVMTN, ZKGVMTX
中小企業経営者	ZKSMALLF, ZKSMALLM, ZKSMALLN, ZKSMALLX
町内会の役員	ZKJICHIF, ZKJICHIM, ZKJICHIN, ZKJICHIX
同業組合の役員	ZKTRDEF, ZKTRDEM, ZKTRDEN, ZKTRDEX
保険の勧誘員	ZKINSF, ZKINSM, ZKINSN, ZKINSX
マスコミ関係者	ZKMEDIAF, ZKMEDIAM, ZKMEDIAN, ZKMEDIAX
労働組合の役員	ZKUNIF, ZKUNIM, ZKUNIN, ZKUNIX
政治的な話題の相手	
…が投票する政党	ZVOTE[E-H]
…同士が知り合いか	Z2KNOW[E-H]
…と会話する頻度	ZFQTALK[E-H]
…と知り合ってから年数	ZKNOWYR[E-H]
…との間柄	ZFRIE[E-H], ZJOB COL[E-H], ZJOBETC[E-H], ZJOBREL[E-H], ZKIN1[E-H], ZKIN2[E-H], ZNEIB[E-H], ZRELETC[E-H], ZRLNOMK[E-H], ZSS[E-H], ZTEAM[E-H]
…との外出の有無	ZCOUTG[E-H]
…との共通の趣味の有無	ZCOHOBB[E-H]
…との親密度	ZCLOSE[E-H]
…との政治的な会話の有無	ZPLTALK[E-H]
…の最終学歴	ZLSTSCH[E-H]
…の従業上の地位	ZTP7JOB[E-H]
…の職種	ZJOB[E-H]
…の性別	ZSEX[E-H]
…の人数	Z2ELSE, Z2NUM, Z2XX[E-H]
…の年齢	ZAGE[E-H]
…への借金の可能性	ZCOMONY[E-H]
悩みの相談相手	
…が投票する政党	ZVOTE[A-D]
…同士が知り合いか	Z1KNOW[A-D]
…と会話する頻度	ZFQTALK[A-D]
…と知り合ってから年数	ZKNOWYR[A-D]
…との間柄	ZFRIE[A-D], ZJOB COL[A-D], ZJOBETC[A-D], ZJOBREL[A-D], ZKIN1[A-D], ZKIN2[A-D], ZNEIB[A-D], ZRELETC[A-D], ZRLNOMK[A-D], ZSS[A-D], ZTEAM[A-D]
…との外出の有無	ZCOUTG[A-D]
…との共通の趣味の有無	ZCOHOBB[A-D]
…との親密度	ZCLOSE[A-D]
…との政治的な会話の有無	ZPLTALK[A-D]
…の最終学歴	ZLSTSCH[A-D]
…の従業上の地位	ZTP7JOB[A-D]
…の職種	ZJOB[A-D]
…の性別	ZSEX[A-D]
…の人数	Z1ELSE, Z1NUM, Z1XX[A-D]
…の年齢	ZAGE[A-D]
…への借金の可能性	ZCOMONY[A-D]
外国人との…	FFXFNMG, FQ4FNR, XEFRIEND, XFNACT, XFNASSOX, XFNCLUBX, XFNETCX, XFNHLLLO, XFNHLLLOX, XFNMEAL, XFNMGX, XFN NOMK, XFN NOMKX, XFNONE, XFNSTAY, XFNSTDY, XFNSTDYX, XFNWORK, XFNWORKX
英語能力	ENGREAD, ENGTALK
家族との会話のための英語の使用機会	EUFAMILY
友人づきあいのための英語の使用機会	EUFRIEND
ペットを通じた人間関係の広がりへの意見	PT4NETWA

友人との会食の頻度 友人との交際費に消費者金融を利用	<u>FQ7FRSEE</u> <u>USCSSOC</u>
幸福 → 満足度 …の程度 結婚生活の… 全般的な… 結婚による…への意見	<u>FF5HAPPZ</u> <u>OP5HAPPZ</u> <u>Q4MGHAPP, Q4MNMGA, Q4WNMGA</u>
公務員 → 官公庁, 就労	
交友 → 交際, 友人	
高齢者 → 社会保障, 年金, 年齢 …にとって重要な活動への意見 家族・親族との時間 娯楽・レジャー 仕事 地域活動 読書・学習・研究 一人の時間 文化・スポーツサークル ボランティア 友人との時間 …にとって重要な関係への意見 親 学校時代の友人 きょうだい 近所の人 子ども 仕事関係の友人 団体・サークルの友人 配偶者 ペット 孫 …の医療・介護の責任 …の生活保障の責任 将来の年金額の予想	<u>IMOAFF</u> <u>IMOALSR</u> <u>IMOAWORK</u> <u>IMOACOM</u> <u>IMOALRN</u> <u>IMOAAALON</u> <u>IMOACRCL</u> <u>IMOAVLTR</u> <u>IMOAFRI</u> <u>IMORPAR</u> <u>IMORFRSC</u> <u>IMORSIB</u> <u>IMORCOM</u> <u>IMORCC</u> <u>IMORFRWK</u> <u>IMORFRCC</u> <u>IMORSS</u> <u>IMORPET</u> <u>IMORCCG</u> <u>OP5SRMDY</u> <u>OP5SRWFY</u> <u>OP5PENSN</u>
語学 → 教育, 国際	
国際 安全保障への政府の支出に対する意見 英語 …の学習意欲 …の学習経験の有無 英会話学校や文化教室 英会話サークル 英語教材で自習 海外留学や海外研修 社内研修 テレビ・ラジオ …の学習理由 インターネット 海外旅行 学習が好き 子どもの教育 資格を得る 仕事上役立つ 視野を広めたい 就職・転職 昇進・昇格 卒業・進級 楽しい	<u>BD3SAFTY</u> <u>WLRNENG</u> <u>XENOMARK, XENONE, XLRNENG</u> <u>XECLASS</u> <u>XECIRCLE</u> <u>XESELF</u> <u>XEOSSTDY</u> <u>XESHANAI</u> <u>XEMEDIA</u> <u>ELETC, ELNOMK</u> <u>ELINET</u> <u>ELTRAVL</u> <u>ELNEW</u> <u>ELCHILD</u> <u>ELQUALF</u> <u>ELTASK</u> <u>ELVISION</u> <u>ELGETJOB</u> <u>ELPROMO</u> <u>ELGRADE</u> <u>ELENOJOY</u>

ニュース・映画 米英が好き …の使用機会 家族との会話のための… 学校や資格取得で使う 子・孫に教える 仕事のための… 友人づきあいのための… 余暇活動のための… …の能力 会話 読解 外国人の増加で…学習の機会が増える 海外援助への政府の支出に対する意見 海外勤務や居住の経験の有無 海外旅行の経験の有無 外国人 …居住者の増加 …による影響への意見 外国語を学ぶ機会 外国の文化に触れる 過疎地の活性化 国際情勢への関心が高まる 国際平和 雇用機会の減少 社会の多様化 税負担の増加 治安の悪化 地域性の喪失 日本人の単一性の喪失 日本文化がそこなわれる 偏見が強くなる 偏見が弱くなる 労働力の補充 …への賛否 …と近所で出会う頻度 …との交際 挨拶 一緒に国際交流活動 一緒に仕事 一緒に地域活動 一緒に勉強 自宅に宿泊 食事に招待 親族が結婚 友人づきあい	ELMOVIE ELWEST EUETC, EUNO, EUNOMARK EUFAMILY EUCLASS EUKIDS EUTOKI, EUYOKU EUFRIEND EUHOBBY ENGTALK ENGREAD FNLANG BD3ODA XEOSJOB XEOSTRIP FNETC, FNNOKNOW, FNNOMK, FNNONE FNLANG FNCULT FNLOPOP FNINTNL FNPEACE FNWKCHN FNVARTY FNTAXUP FNSAFE FNLOCAL FNUNIQ FNJCUL FNPREUP FNPREDN FNWORK <u>QFNRRINCR</u> FQ4FNR XEFRIEND, XFNNOMK, XFNNOMKX, XFNONE XFNHLLO, XFNHLLOX XFNCLUBX XFNWORK, XFNWORKX XFNACT, XFNETCX XFNSTDY, XFNSTDYX XFNSTAY XFNMEAL FFXFNMG, XFNMGX XFNASSOX
心の健康 → 健康 …の相談相手 家族 宗教家 心理学の専門家 精神科・心療内科の医師 その他の医師 友人・知人・恋人 …を害した経験 …の回数 子どもの死亡 配偶者との死別	<u>WLADNONE</u>, <u>WLADOTHR</u> <u>WLADFF</u> <u>WLADRLGN</u> <u>WLADPSY</u> <u>WLADDDSP</u> <u>WLADDD</u> <u>WLADFRI</u> <u>XTRAUM5Y</u> CC[01-08]LIVE, CC[01-08]LVTG DODVWDW, <u>DOMARRY</u>, FQWDW, XWIDOW

犯罪の被害 離婚 カウンセリング …の受療意欲 …の受療経験 家族による… 対象者による… …の知識 心の教育への意見 悩みの相談相手の人数 ペットによる安寧への意見 身近ないじめの有無	<u>XROBBD1Y</u>, <u>XSTOLN1Y</u> DODVWDW, DOMARRY, FQXDIV, XDIV <u>WLCOUNSL</u> <u>XCOUNSLF</u> <u>XCOUNSLR</u> <u>KWCOUNSL</u> <u>OPEDMND</u> Z1ELSE, Z1NUM, Z1XX[A-D] PT4ALONA, PT4BEINA, PT4NEEDA, PT4RELAA, PT4WORTH XSBULLY
子ども → 親, 家族, 教育, 青少年 …が仕事の相談相手 …が政治的な話題の相手 …が悩みの相談相手 …と女性の就労への意見 …との関係が高齢期に重要 …との同居 …に高い学歴をつけさせることが重要 …にとっての離婚への賛否 …の教育の責任 …の教育のために英語を学習 …の生死 …の生年 …の性別 希望する… …の人数 理想的な… …の年齢 …を持つ必要性への意見 コミュニティの…への注意の仕方 三世代同居への賛否 体罰への賛否 親による… 教師による… 代理母出産への賛否 保育・育児の責任	ZKIN1[I-L] ZKIN1[E-H] ZKIN1[A-D] <u>Q4JBMMCC</u>, Q4JBMMFM <u>IMORCC</u> <u>CC[01-08]LVTG</u> OP4EDHI Q4CCDVY <u>OP5CCED</u> ELCHILD CC[01-08]LIVE, <u>CC[01-08]LVTG</u> CC[01-08]BORN, CC[01-08]EOB, CC[01-08]YOB <u>CC[01-08]SEX</u> <u>APPCCSXB</u> CC[01-08]MARK, <u>CCNUMTTL</u> <u>APPCCNMX</u>, <u>APPCCNUM</u> <u>CC[01-08]AGE</u> <u>Q4NOCCMG</u> SLCLERK, SLETC, SLFAMILY, SLNODO, SLNOMK, SLSCHL, SLSELF <u>OP2GNR</u> Q5PMSPNK Q5TTSPNK OSUBMOM <u>OP5CCARE</u>
コミュニティ → 環境, 居住地, 交際, 市民運動 …の子どもへの注意の仕方 …の人との関係が高齢期に重要 …の募金を通して寄付した経験 …への愛着 …への満足度 外国人 …居住者が増えること …で地域性が喪失 …への賛否 …と地域活動をした経験の有無 …と地域で出会う頻度 高齢期の活動として地域活動が重要 地元の有力者と接触した経験 生協への所属 町内会で活動した経験 町内会の役員と知り合い	SLCLERK, SLETC, SLFAMILY, SLNODO, SLNOMK, SLSCHL, SLSELF <u>IMORCOM</u> <u>XDNTSCH</u> LKLOCAL <u>ST5AREAY</u> FNLOCAL <u>QFNINCR</u> XFNACT, XFNETCX FQ4FNR <u>IMOACOM</u> X5YCNTC1 MEMCOOP X5YJICHI ZKJICHIF, ZKJICHIM, ZKJICHIN, ZKJICHIX

娯楽 → ギャンブル, 芸術, スポーツ, 余暇活動	
婚姻 → 結婚, 再婚, 死別, 離婚	
再婚 → 結婚, 死別, 離婚 死別後の… …の有無 …の年齢 離婚後の… …の有無 …の年齢	XMGA1WD, XMGA2WD AGEMG1WD, AGEMG2WD XMGA1DV, XMGA2DV AGEMG1DV, AGEMG2DV
財産 → 資産, 収入	
裁判 → 犯罪, 法制度	
自衛隊 …への信頼 安全保障への政府の支出に対する意見	<u>TR3DEFZ</u> BD3SAFTY
ジェンダー → 女性, 性, 男性	
仕事 → 就労, 不就労	
資産 → 家計, 収入 インターネットで株取引 親の…が子の学歴を決める 自動車 …の種類 …の所持 住居 貯蓄で生計をまかなう者 パソコンの自宅利用 ファックスの利用 ペット …の種類 …の所持	DONETSTK OP4EDECN <u>TPCARLG</u> , <u>TPCAROTH</u> , <u>TPCARSM</u> , <u>TPCARSTD</u> , <u>TPCARTK</u> <u>DOCAR</u> <u>OWNHOUSE</u> , <u>SZDWEL</u> , <u>TP8DWEL</u> , <u>TPHOUSE</u> <u>INCSAVE</u> , <u>INSAVING</u> <u>DOCOMPP</u> <u>DOFAX</u> DOBIRDA, DOCAT, DODOGE, DODOGI, DOFISHA, DOINSECT, DOMAMMAL, DOOTHER, DOPNOMK, DOREPTL DOPET
支出 → 家計, 消費行動	
死生観 → 医療, 宗教, 世界観	
失業 → 就労, 不就労	
自動車 …の所持 …の負担感 ガソリン代 購入代金・ローン 修理・車検 駐車場の賃貸料 保険料・税金 …の用途 送り迎え 買物・用事 仕事 通勤・通学 レジャー …への意見 環境汚染が心配 行動範囲が狭くなる 事故を起こしやすい ドライブの楽しみ 日常生活に支障 費用が高すぎる …免許の所持	<u>DOCAR</u> <u>EXCARGAS</u> <u>EXCARBUY</u> <u>EXCARFIX</u> <u>EXCARPRK</u> <u>EXCARINS</u> <u>USCARTFF</u> <u>USCARSHIP</u> <u>USCARWK</u> <u>CMTCAR</u> , <u>USCARCMT</u> <u>USCARLSR</u> <u>OPCARECO</u> <u>OPCARFLD</u> <u>OPCARACC</u> <u>OPCARDRV</u> <u>OPCARDLF</u> <u>OPCARCST</u> <u>DOCLCNS</u>

所持する…の種類 ドライブの頻度	<u>TPCARLG</u> , <u>TPCAROTH</u> , <u>TPCARSM</u> , <u>TPCARSTD</u> , <u>TPCARTK</u> <u>FQ4DRIVE</u>
死別 → 結婚, 再婚 …後の再婚 …の有無 …の年齢 …の有無 …の回数 …の年齢	XMGA1WD, XMGA2WD AGEMG1WD, AGEMG2WD DODVWDW, <u>DOMARRY</u> , XWIDOW FQWDW AGE1WDW, AGE2WDW
姉妹 → きょうだい	
市民運動 → 環境, 政治, ボランティア …団体の役員と知り合い …団体への所属 …に参加した経験 議会や役所に請願した経験 請願書に署名した経験 政治的な集会に出席した経験	ZKVOLF, ZKVOLM, ZKVOLN, ZKVOLX <u>MEMCIVIL</u> X5YCITZN X5YPETIT X5YSIGN X5YPOLMG
社会階層 → 階層	
社会保障 → 高齢者, 政治, 年金, 法制度 …への政府の支出に対する意見 高齢者の医療・介護の責任 高齢者の生活保障の責任 失業保険で生計をまかなう者 社会福祉で生計をまかなう者 福祉と税負担のバランスについての意見	BD3WFR <u>OP5SRMDY</u> <u>OP5SRWFY</u> <u>INCUEB</u> , <u>INUEB</u> <u>INCSOC</u> , <u>INSOCSEC</u> <u>OWELFTAX</u>
住居 → 居住地, コミュニティ …の形態 …の広さ	<u>OWNHOUSE</u> , <u>TP8DWEL</u> , <u>TPHOUSE</u> <u>SZDWEL</u>
宗教 → 世界観 …家が心の健康の相談相手 …団体 …への所属 …への信頼 死生観 安楽死法への賛否 死刑制度への賛否 死後の世界を信じるか 代理母出産への賛否 墓への希望 対象者の信仰する… …の有無 …の宗派 信仰の程度 配偶者の信仰する… …の有無 …の宗派 信仰の程度	<u>WLADRLGN</u> <u>MEMRL</u> <u>TR3RLGPZ</u> <u>QDDKILLA</u> <u>Q2DTHPY</u> <u>QAFTRDTH</u> <u>OSUBMOM</u> <u>OP7CMTRA</u> , <u>XCMCARE</u> , <u>XCMETC</u> , <u>XCMNATR</u> , <u>XCMNOMK</u> , <u>XCMNONE</u> , <u>XCMSSENS</u> <u>DORL</u> <u>XXRL</u> <u>DO3PIOUS</u> <u>SSDORL</u> <u>SSXXRL</u> <u>SS3PIOUS</u>
収入 → 家計, 資産, 消費行動 …を就労条件として重視 親の…が子の学歴を決める 親の…で生計をまかなう者 家族の…で生計をまかなう者 生計をまかなう…源 主な…	<u>IM5HIPAY</u> <u>OP4EDECN</u> <u>INCPAR</u> , <u>INPARENT</u> <u>INCFAM</u> , <u>INFAMILY</u> <u>INCFAM</u> , <u>INCIRR</u> , <u>INCMAIN</u> , <u>INCNOKN</u> , <u>INCNOMK</u> , <u>INCOTHER</u> , <u>INCPAR</u> , <u>INCPEN</u> , <u>INCSAVE</u> , <u>INCSELF</u> , <u>INCSOC</u> , <u>INCSP</u> , <u>INCUEB</u> <u>INCMAIN</u>

不就労者の… 世帯… …について世間との比較 …の最近の変化 15 歳の頃の…レベル 対象者の… …で生計をまかなう者 現在の仕事からの… …の支払い形態 最後にやめた仕事からの… 高い学歴を得れば…に恵まれる 配偶者の… …で生計をまかなう者	INFAMILY, INIRREG, INNOKNOW, INNOMARK, INOTHER, INPARENT, INPEN, INSAVING, INSOCSEC, INSPOUSE, INUEB SZHSINCM, <u>SZHSINCM</u> <u>OP5FFINX</u> <u>OP3ECN3A</u> <u>OPFFIX15</u> <u>INCSELF</u> SZHIINCX, <u>SZINCOMX</u> SZPAYDYX, SZPAYHRX, SZPAYMOX, SZPAYWKX, SZPAYYRX, TP5PAY SZHILST, SZINLST OP4EDINC SSHIINCX, <u>SSSZINCM</u> <u>INCSP</u>, <u>INSPOUSE</u>
就労 → 教育, 訓練, 不就労, 労働組合 …に必要な技能の取得に学校の意義があった …への意見 経営に不安を覚えたときの… 労働条件に不満を覚えたときの… 15 歳の頃の父親の… 従業上の地位 職種 組織の規模 役職 15 歳の頃の母親の… 外国人と一緒に働いた経験の有無 外国人の増加で労働力に変化 業界団体への所属 高齢期の活動として仕事が重要 雇用対策への政府の支出に対する意見 仕事関係の友人との関係が高齢期に重要 仕事に自動車を利用 仕事の関係者が仕事の相談相手 仕事の関係者が政治的な話題の相手 仕事の関係者が悩みの相談相手 仕事の相談相手の… 従業上の地位 職種 仕事の相談相手の人数 仕事のために英語を学習 仕事のための英語の使用機会 重視する…条件 就職が有利になることに学校の意義があった 職場での情報機器の利用 女性の…への意見 政治的な話題の相手の… 従業上の地位 職種 対象者の… 現在の仕事 …の有無 …への就労意欲 …への満足度	MSJSKILL <u>WLWKMNNG</u> <u>WLWKCND</u> <u>PJJBTP15</u> <u>PJJBXX15</u> <u>PJBSZ15</u> <u>PJJBTP15</u> <u>MMJBTP15</u> XFNWORK, XFNWORKX FNWKCHN, FNWORK <u>MEMIND</u> <u>IMOAWORK</u> BD3EMPLOY <u>IMORFRWK</u> <u>USCARWK</u> ZJOBREL[I-L], ZJOBETC[I-L], ZJOBREL[I-L] ZJOBREL[E-H], ZJOBETC[E-H], ZJOBREL[E-H] ZJOBREL[A-D], ZJOBETC[A-D], ZJOBREL[A-D] ZTP7JOB[I-L] ZJOB[I-L] Z3ELSE, Z3NUM, Z3XX[I-L] ELGETJOB, ELPROMO, ELQUALF, ELTASK EUTOKI, EUYOKU IM5FAMIL, IM5FREE, IM5HIPAY, IM5INDEP, IM5INTRG, IM5OTHER, IM5PROMO, IM5SECUR, IM5SOCTY, IM5TRG MSFINDJB <u>DOCOMPJ</u>, <u>DOEMAILJ</u> <u>Q4JBMMCC</u>, <u>Q4JBMMFM</u>, <u>Q4WNJB2L</u>, <u>Q4WWHHX</u>, <u>Q4WWHPHH</u>, <u>Q4WWJBIA</u> ZTP7JOB[E-H] ZJOB[E-H] <u>XJOB1WK</u> <u>WLKEEPJA</u>, <u>WLSTOPWK</u> <u>ST5JOB</u>

雇用契約	DOCNTRCT, SZCNTMO, SZCNTRCT, SZCNTYR
事業所	
…の規模	SZSTAFA
…の業種	<u>XXWPL</u>
…の女性従業員割合	SZWNSTF
…の組織形態	<u>TP4WPLA</u>
従業上の地位	<u>TP12JOB</u>
収入	SZHIINCX, <u>SZINCOMX</u>
…の支払い形態	SZPAYDYX, SZPAYHRX, SZPAYMOX, SZPAYWKX, SZPAYYRX, TP5PAY
就労時間数	<u>SZSJBHWK</u> , <u>XJOBHWK</u> , <u>XOTHWK</u>
就労日数	<u>XJOBDWK</u>
就労年数	<u>XJOBYR</u>
就労曜日	<u>DOWKFRI</u> , <u>DOWKMON</u> , <u>DOWKSAT</u> , <u>DOWKSUN</u> , <u>DOWKTHU</u> , <u>DOWKTUE</u> , <u>DOWKVAR</u> , <u>DOWKWED</u> , <u>DOWNOMK</u>
上司の有無	BSDOBOSS, DOBOSS
職種	<u>XXJOB</u>
組織	
…の規模	<u>SZTTLSTA</u>
…の業種	XXWPHQ
通勤	
…時間数	<u>DOCMT</u> , <u>SZCMTHR</u> , <u>SZCMTMIN</u> , <u>SZCMTTL</u>
…手段	<u>CMTBCYL</u> , <u>CMTBOAT</u> , <u>CMTBUS</u> , <u>CMTCAR</u> , <u>CMTETC</u> , <u>CMTMCYL</u> , <u>CMTNOMK</u> , <u>CMTTRAIN</u> , <u>CMTWALK</u> , <u>USCARCMT</u>
部下の有無	<u>DOSTAFF</u> , <u>STFDOSTF</u>
副業	
…の有無	<u>XSJB1WK</u>
就労時間数	<u>SZSJBHWK</u>
役職	<u>TP12JOB</u>
連休の回数	<u>FQWKOFF</u>
再就労の容易さ	<u>OP3NEWJB</u>
最初の仕事	
…に就いた時期	<u>XGETJOB</u>
…の求職方法	HOWJOB
事業所の業種	<u>XXFSTWP</u>
従業上の地位	<u>TP12FSTJ</u>
職種	<u>XXFSTJB</u>
組織の規模	<u>SZSTFFST</u>
役職	<u>TP12FSTJ</u>
失業の可能性	<u>OP4UNEMP</u> , <u>WLKEEPJA</u> , WLSTOPWK
就労への意欲	DOFINDJB, <u>DOLOOKJB</u> , SZFINDJB, <u>WLKEEPJA</u> , WLSTOPWK, WLWANTJB
転職の回数	XNUMCOWK
転職・勤続への意見	<u>OPCNGJB</u>
同業組合の役員と知り合い	ZKTRDEF, ZKTRDEM, ZKTRDEN, ZKTRDEX
悩みの相談相手の…	
従業上の地位	ZTP7JOB[A-D]
職種	ZJOB[A-D]
配偶者の…	
…の有無	<u>SSJB1WK</u>
事業所の業種	<u>SSXXHQX</u>
従業上の地位	<u>SSTP12JB</u>
収入	SSHIINCX, <u>SSSZINCM</u>
就労時間数	<u>SSJBHRWK</u>
就労日数	<u>SSJBDWK</u>
就労年数	SSSZWKYR

職種 組織の規模 役職	<u>SSXXJOB</u> <u>SSSZSTFA</u> <u>SSTP12JB</u>
趣味 → ギャンブル, 芸術, スポーツ, 余暇活動	
消費行動 → 家計, ギャンブル, 経済, 余暇活動	
…の変化	
外食の頻度	XSEATOUT
買い物へのこだわり	
価格重視	XSPRICE
再生商品の購入	XSRECYC
詰め替え商品の購入	XSREFIL
品質重視	XSQLTY
無農薬・有機野菜の購入	XSAGCHEM
高級ブランド品の購入	XSBRAND
講座の受講	
資格関連の…	XSLRNQL
趣味・教養の…	XSCLED
通信販売の利用	XSCATL
日本製品の購入	XSJAPAN
リサイクルショップの利用	XSRESHOP
インターネットで下調べ	SFQINET
買ってから後悔	SFQSORY
居住地でのコンビニエンスストアの利用頻度	FQCONVI
クレジットカード	
…の機能の利用	
1回払い	<u>FNCDONE</u>
キャッシング	<u>FNCDCASH</u>
分割払い	<u>FNCDINST</u>
リボ払い	<u>FNCDREVO</u>
…の所有枚数	<u>NUMCARD</u>
…の用途	
外食の代金	<u>USCDEAT</u>
高額な買い物	<u>USCDHIGH</u>
公共料金・通信費	<u>USCDCHRG</u>
日常の買い物	<u>USCDDAY</u>
…への意見	
宣伝を制限	<u>OPCDCM</u>
使いすぎる	<u>OPCDOVER</u>
犯罪に利用される	<u>OPCDCRM</u>
便利	<u>OPCDUSFL</u>
衝動買い	SFQIMPLS
消費者金融	
…の用途	<u>USCSBANK</u> , <u>USCSBUS</u> , <u>USCSCLTH</u> , <u>USCSDAY</u> , <u>USCSEDU</u> , <u>USCSHOB</u> , <u>USCSMD</u> , <u>USCSOTHR</u> , <u>USCSSOC</u>
…の利用回数	<u>NUMCONSF</u>
…への意見	
宣伝を制限すべき	<u>OPCSCM</u>
使いすぎる	<u>OPCSOVER</u>
犯罪に利用される	<u>OPCSCRM</u>
便利	<u>OPCSUSFL</u>
賞味期限を確認	SFQDATE
生産地を確認	SFQLOC
節約	
故障物は修理して使用	FQ4MEND
再生商品の購入	FQ4RECYC, XSRECYC
節水の心がけ	FQ4WATER
詰め替え商品の購入	FQ4REFIL, XSREFIL

電化製品の購入時 …に省エネ・省資源を重視 …に値段の安さを重視 …に無料下取りサービスを重視 電気はこまめに消す リサイクルショップの利用 他人に同調 チラシを見て買う ついでの時に買い物 電化製品購入の基準 アフターサービスが充実 色々な機能 色や形の良さ 再生利用が可能 省エネ・省資源 長持ち 値段の安さ 無料下取りサービス メーカー名 電化製品はいくつかの店で比較 日用品は特定の店で購入 品質重視 まとめ買い	IM5SAVE IM5PRICE IM5TRADE FQ4DENKI FQ4USED, XSRESHOP SFQSAME SFQADVTS SFQCHNC IM5SERV IM5FUNC IM5DESN IM5RECYC IM5SAVE IM5LAST IM5PRICE IM5TRADE IM5BRAND SFQELEC SFQSHOP SFQQLTY SFQSTK
情報技術 → インターネット …機器の利用 インターネット 携帯電話 電子メール パソコン ファックス …者が知り合い	DONONE, <u>DONONEX</u> <u>DOINBANK</u> , <u>DOINBRS</u> , <u>DOINHP</u> , <u>DOINNONE</u> , <u>DOINSHOP</u> , DONETSB, DONETSTK, FQ4PLWEB, SFQINET <u>DOPHS</u> <u>DOEMAIL</u> , DOEMAILJ, DOEMAILP <u>DOCOMPJ</u> , <u>DOCOMP</u> <u>DOFAX</u> ZKCOMPF, ZKCOMPM, ZKCOMP, ZKCOMPX
職業 → 就労, 不就労	
職場 → 就労, 不就労	
職場研修 → 訓練	
職歴 → 就労, 不就労	
所持 → 資産, 消費行動	
女性 → 家族, 結婚, 性, 男性, 母親 …知事 …候補への投票 …による大相撲の表彰への賛否 …にとっての結婚と幸福の関係への意見 …にとっての離婚への賛否 …の就労への意見 家事を仕事とすることへの満足度 対象者の勤める事業所の…従業員割合	ELWNGVNR QWNSUMO <u>Q4WNMGA</u> Q4WWDVY <u>Q4JBMMCC</u> , Q4JBMMFM, Q4WNJB2L, <u>Q4WWHHX</u> , <u>Q4WWHPHH</u> , <u>Q4WWJBIA</u> ST5HSWK SZWNSTF
所属 同じ組織・団体に…する人 …が仕事の相談相手 …が政治的な話題の相手 …が悩みの相談相手 業界団体への… 市民運動団体への… 宗教団体への… 趣味の会への… スポーツのグループへの…	ZTEAM[I-L] ZTEAM[E-H] ZTEAM[A-D] <u>MEMIND</u> <u>MEMCIVIL</u> <u>MEMRL</u> <u>MEMHOBBY</u> , <u>XXMEMHOB</u> <u>MEMSPORT</u> , <u>XXMEMSP</u>

生協への… 政治団体への… ボランティア団体への… 労働組合への…	MEMCOOP <u>MEMPLTGP</u> <u>MEMVLNTR</u> <u>JOINUNI</u>
信仰 → 宗教, 世界観	
親族 → 家族	
新聞 …で政治の記事を読む頻度 …への信頼 …を読む頻度 マスコミ関係者と知り合い よく読む…の紙名	FQ4PLNP <u>TR3NWSPPZ</u> <u>FQ5NEWSP</u> ZKMEDIAF, ZKMEDIAM, ZKMEDIAN, ZKMEDIAX <u>NPAKAHAT</u> , <u>NPASAH</u> , <u>NPCHUNI</u> , <u>NPDAYSP</u> , <u>NPETC</u> , <u>NPETCX1</u> , <u>NPETCX2</u> , <u>NPFUJI</u> , <u>NPGENDAI</u> , <u>NPHOKKAI</u> , <u>NPHOUCHI</u> , <u>NPJAPAN</u> , <u>NPMMAINI</u> , <u>NPNIKKEI</u> , <u>NPNIKSP</u> , <u>NPNOMARK</u> , <u>NPNONE</u> , <u>NPSANKEI</u> , <u>NPSANSP</u> , <u>NPSEIKYO</u> , <u>NPSPNIP</u> , <u>NPTOKYO</u> , <u>NPWESTJP</u> , <u>NPYOMIUR</u>
信頼 学者・研究者への… 学校への… 金融機関への… 警察への… 国会議員への… 裁判所への… 自衛隊への… 市区町村議会議員への… 宗教団体への… 新聞への… 大企業への… 中央官庁への… テレビへの… 人間一般への… 病院への… 労働組合への…	<u>TR3ACDAZ</u> <u>TR3SCHLZ</u> <u>TR3FINZ</u> <u>TR3COPZ</u> Q4MDIET, <u>TR3CGMNZ</u> <u>TR3SPCAZ</u> <u>TR3DEFZ</u> <u>TR3CITYZ</u> <u>TR3RLGPZ</u> <u>TR3NWSPPZ</u> <u>TR3CORPZ</u> <u>TR3BCRAZ</u> <u>TR3TVZ</u> OP3TRUST, OP3UTILS, <u>OP7GDEVO</u> <u>TR3HSPLZ</u> <u>TR3UNNZ</u>
スポーツ → 余暇活動 …一般の頻度 …に学校の意義があった …のグループへの所属 行なっている…の種類 クラブ活動への教員の立会いへの意見 健康のための運動 高齢期の活動として…が重要 サッカーくじの頻度 ジョギング等の頻度 釣りの頻度	<u>FQSPORT</u> MSSPORT <u>MEMSPORT</u> , <u>XXMEMSP</u> <u>XXSPORT</u> OPCLUBT XSEXER <u>IMOACRCL</u> FQ4TOTO, FQTOTO FQ4JOG FQ4FISH
性 → 結婚, 女性, 性別, 男性, 配偶者 …交渉 …の頻度 同性による…への意見 配偶者以外との…への意見 …役割観 10代の売春への意見 ポルノグラフィ …と社会道徳との関係への意見 …の規制への意見	FQ7SEX Q4HOMSEA Q4ADLTRY Q4JBMMFM, Q4MNCKY, <u>Q4MNCOOK</u> , <u>Q4WWHHX</u> , <u>Q4WWHPHH</u> , <u>Q4WWJBIA</u> Q4PROS19 OPPORNK Q3PORNNO
生活時間 飲酒の頻度	<u>DO7DRINK</u>

会話の頻度 仕事との相談相手との… 政治的な話題の相手との… 悩みの相談相手との… 家事をする頻度 家族揃っての夕食の頻度 時間の自由を就労条件として重視 就労時間 就労曜日 新聞を読む頻度 性交渉の頻度 通勤時間数 テレビを見る時間数 読書の頻度 ペット …が生活を規則的にするという意見 …と過ごす時間数 ボランティア活動の頻度 友人との会食の頻度 余暇活動の頻度 旅行の頻度 連休の回数	ZFQTALK[I-L] ZFQTALK[E-H] ZFQTALK[A-D] <u>FQ7CKDNR</u>, <u>FQ7CLEAN</u>, <u>FQ7GARB</u>, <u>FQ7SHOP</u>, <u>FQ7WASH</u> <u>FQ7FFDNR</u> IM5FREE <u>SZSJBHWK</u>, <u>XJOBBDWK</u>, <u>XJOBHWWK</u>, <u>XOTHWWK</u> <u>DOWKFRI</u>, <u>DOWKMON</u>, <u>DOWKSAT</u>, <u>DOWKSUN</u>, <u>DOWKTHU</u>, <u>DOWKTUE</u>, <u>DOWKVAR</u>, <u>DOWKWED</u>, <u>DOWNOMK</u> <u>FQ5NEWSP</u> FQ7SEX DOCMT, <u>SZCMTTHR</u>, <u>SZCMTMIN</u>, <u>SZCMTTL</u> HRTV <u>FQ5READ</u> PT4REGUA PTCARE, PTHOUR, PTMIN <u>SZVLIRRG</u>, <u>SZVLREG</u>, <u>XVLIRREG</u>, <u>XVLREG</u> <u>FQ7FRSEE</u> <u>FQ4DRIVE</u>, FQ4FISH, <u>FQ4GAME</u>, <u>FQ4GREEN</u>, FQ4HORSE, FQ4IGO, FQ4JOG, <u>FQ4KARA</u>, <u>FQ4LOTTO</u>, FQ4MAJON, <u>FQ4MOVIE</u>, <u>FQ4MUSIC</u>, FQ4NBS, <u>FQ4PACHI</u>, FQ4PGAM, <u>FQ4SHGIG</u>, FQ4SHOGI, FQ4TOTO, <u>FQ5READ</u>, FQLOT, FQPACHI, FQRACE, <u>FQSPORT</u>, FQTOTO, NUMRACE <u>FQ5TRIP</u> <u>FQWKOFF</u>
政策 → 政治, 政府, 法制度	
政治 → 政府, 法制度 …意識 議員への信頼 国会議員 市区町村議会議員 女性知事 …候補への投票に対する意見 …による大相撲の表彰への賛否 政治へのイメージ 監視していくもの 自分から働きかけるもの できればかかわりたくない なるようにしかならないもの 政治への関心の強さ 政治への自己効力感 政党を支持しない理由 保守革新意識 …関係の知り合い 国会議員 市区町村の首長 政治家の後援会の世話役 地方議会議員 …団体への所属 市民運動団体への所属 …的な運動 議会や役所に請願した経験	Q4MDIET, <u>TR3CGMNZ</u> <u>TR3CITYZ</u> ELWNGVNR QWNSUMO OPLWATCH OPLSELF OPLNOREL OPLCANT DOPOLIT, OPLCANT, OPLNOREL, OPLSELF, OPLWATCH Q4GVCMLP, Q4NOPWR, Q4VOTE XXWHYNO <u>OP5RADCA</u>, <u>OP7RADCZ</u> ZKDIETF, ZKDIETM, ZKDIETN, ZKDIETX ZKMAYRF, ZKMAYRM, ZKMAYRN, ZKMAYRX ZKSECRF, ZKSECRM, ZKSECRN, ZKSECRX ZKLOCALF, ZKLOCALM, ZKLOCALN, ZKLOCALX <u>MEMPLTGP</u> <u>MEMCIVIL</u> X5YPETIT

献金をした経験 市民運動に参加した経験 地元の有力者と接触した経験 請願書に署名した経験 政治家や官僚と接触した経験 政治的な集会に出席した経験 選挙運動の手伝いをした経験 …的な会話 …の相手の人数 …の有無 仕事の相談相手との… 政治的な話題の相手との… 悩みの相談相手との… …を家族とする頻度 …を友人とする頻度 …の情報収集 政治の記事を雑誌で読む頻度 政治の記事を新聞で読む頻度 政治のニュースをインターネットで見る頻度 政治のニュースをテレビで見る頻度 政党 仕事の相談相手が投票する… 支持する… …がない理由 支持政党ではないが好ましい… 政権担当能力がある… 政治的な話題の相手が投票する… 悩みの相談相手が投票する… 選挙で投票した経験 町内会で活動した経験	X5YDONAT X5YCITZN X5YCNTC1 X5YSIGN X5YCNTC2 X5YPOLMG X5YCMPGN Z2ELSE, Z2NUM, Z2XX[E-H] ZPLTALK[I-L] ZPLTALK[E-H] ZPLTALK[A-D] FQ4PLFAM FQ4PLFRI FQ4PLMAG FQ4PLNP FQ4PLWEB FQ4PLTV ZVOTE[I-L] XX8PLPTY XXWHYNO XX9PLPFV OCOMMPOK, ODPOK, OHOSHUOK, OKOMEIOK, OLDPOK, OLPOK, ONOPLPOK, OOTHEROK, OPLPDONT, OPLPNOMK, OSDPOK ZVOTE[E-H] ZVOTE[A-D] X5YVOTE X5YJICHI
青少年 → 親, 家族, 教育, 子ども 10代の売春への意見 少年法改正への意見 ポルノグラフィ …と社会道德との関係への意見 …の規制への意見	Q4PROS19 OP3JVLWY OPPORNK Q3PORNNO
政党 → 政治, 政府	
生年月日 → 年齢 子どもの… 対象者の…	CC[01-08]BORN, CC[01-08]EOB, CC[01-08]YOB <u>DOBYEAR</u>
政府 → 政治, 法制度 …の支出に対する意見 安全保障 海外援助 環境問題 教育 雇用対策 社会保障・年金 土木事業 犯罪の取締 …の役割範囲への意見 高齢者の医療・介護の責任 高齢者の生活保障の責任 子どもの教育の責任 保育・育児の責任 政策	BD3SAFTY BD3ODA BD3ENVA BD3EDUC BD3EMPTY BD3WFR BD3CNSTR BD3CRIME OP5LGGOZ <u>OP5SRMDY</u> <u>OP5SRWFY</u> <u>OP5CCED</u> <u>OP5CCARE</u>

国による環境問題への取り組みへの満足度 社会と個人の利益のバランスについての意見 将来の年金額の予想 対象者の所得税への評価 貧富解消…への賛否 福祉と税負担のバランスについての意見 内閣への評価	STECONAT ONATIND <u>OP5PENSN</u> <u>OP6TAXHI</u> <u>Q5GVEQAA</u> OWELFTAX OKOIZUM
性別 → 女性, 性, 男性 家族の… 子どもの… 仕事の相談相手の… 政治的な話題の相手の… 対象者の… 悩みの相談相手の…	FF[01-10]SEX, <u>FFH[01-05]SEX</u> <u>CC[01-08]SEX</u> ZSEX[I-L] ZSEX[E-H] <u>SEXA</u> ZSEX[A-D]
生命倫理 → 医療, 宗教	
世界観 → 宗教 死後の世界を信じるか 社会と個人の利益のバランスについての意見 人間 …一般への信頼 …の本性は善か悪か …は一般に利己主義か	QAFTRDTH ONATIND <u>OP3TRUST</u> <u>OP7GDEVO</u> OP3UTILS
世帯 → 家族, 家庭	
世帯収入 → 家計, 収入	
セックス → 性, 性別	
選挙 → 政治, 政府, 法制度	
臓器提供 → 医療	
退職 → 高齢者, 就労, 年金, 不就労	
体罰 → 暴力	
男性 → 女性, 性 …にとっての結婚と幸福の関係への意見 …にとっての離婚への賛否 …による家事への賛否 …の仕事を重視することへの意見	<u>Q4MNMGA</u> Q4HHDVY Q4MNCKY, <u>Q4MNCOOK</u> <u>Q4WWHHX</u>, <u>Q4WWPHPH</u>
治安 → 警察, 自衛隊, 犯罪	
地域 → 居住地, コミュニティ	
知人 → 交際, 友人	
父親 → 親, 男性 …との同居 …の最終学歴 …の生死 …の年齢 15 歳の頃の…の就労 従業上の地位 職種 組織の規模 役職	<u>PPLVTG</u> <u>PPLSTSCH</u> <u>PPLVTG</u> <u>PPAGE</u> <u>PPJBTP15</u> <u>PPJBXX15</u> <u>PPJBSZ15</u> <u>PPJBTP15</u>
調査実施情報 アタック状況番号 識別番号 実施月日 留置票の… 面接票の… 所要時間 交際ネットワーク面接部分の… 調査員による評定 対象者	DRAN <u>IDUSE</u> <u>DATEB</u>, <u>DAYB</u>, <u>MONTHB</u>, <u>XXTODAY</u> <u>DATE</u>, <u>DAY</u>, <u>MONTH</u> <u>DURATION</u> ZTIME

…の協力度 …の居住地区の種別 …の質問の理解度 留置票の種別 面接・留置票の順序	<u>COOP</u> <u>AREA</u> <u>USTAND</u> FORM <u>PROC</u>
通勤 → 就労 …時間 …手段 自転車 自動車 電車 徒歩のみ バイク バス 船 …の有無 なるべく公共交通機関を利用	<u>SZCMTTHR</u> , <u>SZCMTMIN</u> , <u>SZCMTTL</u> <u>CMTETC</u> , <u>CMTNOMK</u> <u>CMTBCYL</u> <u>CMTCAR</u> , <u>USCARCMT</u> <u>CMTTRAIN</u> <u>CMTWALK</u> <u>CMTMCYL</u> <u>CMTBUS</u> <u>CMTBOAT</u> <u>DOCMT</u> FQ4BUS
妻 → 結婚, 女性, 配偶者	
テレビ …ゲームの頻度 …で英語の学習をした経験 …で政治のニュースを見る頻度 …の呼びかけに応じて寄付した経験 …への信頼 …を見る時間数 クレジットカードの宣伝を制限すべき 消費者金融の宣伝を制限すべき マスコミ関係者と知り合い	<u>FQ4GAME</u> XEMEDIA FQ4PLTV <u>XDNTMASS</u> <u>TR3TVZ</u> <u>HRTV</u> <u>OPCDCM</u> <u>OPCSCM</u> ZKMEDIAF, ZKMEDIAM, ZKMEDIAN, ZKMEDIAX
転職 → 就労, 不就労	
同性愛 → 性	
道徳 → 規範 10代の売春への意見 体罰 親による…への賛否 教師による…への賛否 ポルノグラフィと社会道徳の関係への意見	Q4PROS19 Q5PMSPNK Q5TTSPNK OPPORNK
投票 → 政治, 政府, 法制度	
読書 → 教育, 生活時間, 余暇活動	
都市 → 居住地	
ドナーカード → 医療	
ドメスティック・バイオレンス → 家庭, 暴力	
ドライブ → 自動車, 余暇活動	
トラウマ → 心の健康	
人間観 → 宗教, 世界観	
ネットワーク → 交際, 友人	
年金 → 高齢者, 社会保障, 政治, 政府, 法制度 …で生計をまかなう者 …への政府の支出に対する意見 将来の…額の予想	<u>INCPEN</u> , <u>INPEN</u> BD3WFR <u>OP5PENSN</u>
年収 → 家計, 収入	
年齢 → 生年月日 家族の… 結婚の… 子どもの… 再婚の… 死別後の… 離婚後の…	<u>FF[01-10]AGE</u> , <u>FFH[01-05]AGE</u> AGE1MG <u>CC[01-08]AGE</u> AGEMG1WD, AGEMG2WD AGEMG1DV, AGEMG2DV

仕事の相談相手の… 死別の… 政治的な話題の相手の… 対象者の… 父親の… 悩みの相談相手の… 配偶者の… 母親の… 離婚の…	ZAGE[I-L] AGE1WDW, AGE2WDW ZAGE[E-H] <u>AGEB</u> <u>PPAGE</u> ZAGE[A-D] <u>SPAGEX</u> <u>MMAGE</u> AGE1DIV, AGE2DIV
農村 → 居住地	
配偶者 → 家族, 結婚, 再婚, 死別, 性, 離婚 …以外との性交渉への意見 …が仕事の相談相手 …が政治的な話題の相手 …が悩みの相談相手 …との家事分担 …との関係が高齢期に重要 …との関係への満足度 …との出会いに学校の意義があった …との同居 …による家事の頻度 …による家族の介護経験の有無 …のきょうだいの人数 …の健康 …の最終学歴 …の宗教 …の収入 …で生計をまかなう者 …の就労 …の有無 事業所の業種 従業上の地位 収入 就労時間数 就労日数 就労年数 職種 組織の規模 役職 …の年齢 家計の管理方法 結婚生活の幸福の程度 夫婦別姓への意見	Q4ADLTRY ZSS[I-L] ZSS[E-H] ZSS[A-D] WH3HSWK <u>IMORSS</u> <u>ST5SSREL</u> MSSPOUSE <u>SPLVTG</u> SSFQ7CK, SSFQ7CLN, SSFQ7GRB, SSFQ7SHP, SSFQ7WSH SSCARE <u>XSSNBROE</u>, <u>XSSNBROY</u>, XSSNSBLG, XSSNSELF, <u>XSSNSISE</u>, <u>XSSNSISY</u> SS5HLTHZ <u>SSLSTSCH</u> SS3PIOUS, SSDORL, SSXXRL SSHIINCX, <u>SSSZINCM</u> <u>INCSP</u>, INSPOUSE <u>SSJB1WK</u> <u>SSXXHQX</u> <u>SSTP12JB</u> SSHIINCX, <u>SSSZINCM</u> <u>SSJBHRWK</u> <u>SSJBDWK</u> SSSZWKYR <u>SSXXJOB</u> <u>SSSZSTFA</u> <u>SSTP12JB</u> <u>SPAGEX</u> RR6ACCT FF5HAPPZ OP4NAME
売春 → 規範, 性, 道德	
墓への希望 自分の墓を望まない理由	OP7CMTRA XCMCARE, XCMETC, XCMNATR, XCMNOMK, XCMNONE, XCMSSENS
パソコン → インターネット, 情報技術	
母親 → 親, 女性 …との同居 …の最終学歴 …の就労 …への意見 …の生死 …の年齢 代理母出産への賛否	<u>MMLVTG</u> <u>MMLSTSCH</u> <u>MMJBTP15</u> <u>Q4JBMMCC</u>, Q4JBMMFM <u>MMLVTG</u> <u>MMAGE</u> OSUBMOM

犯罪 → 警察, 法制度 …取締りへの政府の支出に対する意見 …にクレジットカードが利用される …に消費者金融が利用される …の被害経験 空き巣 強盗等 暴行 外国人の増加で治安が悪化 居住地の夜の治安 警察への信頼 少年…の原因への意見 学校での生活環境 家庭環境 経済的な格差 心理状態 法律制度	BD3CRIME <u>OPCDCRM</u> <u>OPCSCRM</u> <u>XSTOLN1Y</u> <u>XROBBD1Y</u> WHENBEAT, WHOMBEAT, XBEATEN FNSAFE <u>FEARWALK</u> TR3COPZ <u>OPJVSCHL</u> <u>OPJVFF</u> <u>OPJVECN</u> <u>OPJVMNTL</u> <u>OPJVLAW</u>
病院 → 医療	
貧富 → 階層, 収入, 不平等	
夫婦関係 → 家族, 結婚, 死別, 性, 配偶者, 離婚	
フェミニズム → 女性, 性	
福祉 → 医療, 幸福, 高齢者, 社会保障, 政治, 年金	
不就労 → 就労 …経験 …の有無 …の年数 …のうち求職活動をした年数 …者の生計をまかなう収入源 …の理由 以前の就労経験 …の有無 最後の仕事 …をやめた年 …をやめた理由 事業所の業種 従業上の地位 収入 職種 組織の規模 役職 求職への意欲 雇用対策への政府の支出に対する意見 重視する就労条件 連休の回数	XNOWORK SZNOWORK SZFINDJB INFAMILY, INIRREG, INNOKNOW, INNOMARK, INOTHER, INPARENT, INPEN, INSAVING, INSOCSEC, INSPOUSE, INUEB <u>TP5UNEMP</u> <u>XWORK</u> , XWORK1Y WHNSTPWK <u>XXSTPJB</u> XXLSTWPL TP12LSTJ SZHILST, SZINLST XXLSTJB SZSTFLSA TP12LSTJ DOFINDJB, <u>DOLOOKJB</u> , SZFINDJB, WLWANTJB BD3EMPTY IM5FAMIL, IM5FREE, IM5HIPAY, IM5INDEP, IM5INTRG, IM5OTHER, IM5PROMO, IM5SECUR, IM5SOCTY, IM5TRG <u>FQWKOFF</u>
不平等 → 階層, 資産, 収入, 女性, 男性 生活水準向上の機会 貧富解消政策への賛否	<u>OP5CHNCA</u> <u>Q5GVEQAA</u>
ペット → 資産, 余暇活動 …との関係が高齢期に重要	<u>IMORPET</u>
奉仕活動 → ボランティア	
法制度 → 政治, 政府, 犯罪 …が少年犯罪の原因 安楽死法への賛否 カジノの合法化への意見	<u>OPJVLAW</u> <u>QDDKILLA</u> OPCASINO

クレジットカードの宣伝を制限すべき 裁判所への信頼 裁判の厳しさへの意見 死刑制度への賛否 少年法改正への意見 対象者の仕事の雇用契約 対象者の所得税への評価 ポルノグラフィの規制への意見	OPCSCM TR3SPCAZ OP5JUDGE Q2DTHPY OP3JVLWY DOCNTRCT, SZCNTMO, SZCNTRCT, SZCNTYR OP6TAXHI Q3PORNNO
暴力 いじめ …の責任 身近な…の有無 強盗等の被害経験の有無 体罰への賛否 親による… 教師による… 暴行の被害経験	SUBULLY, SUCMATE, SUFFBUL, SUFFSLF, SUSCHL, SUSELF, SUTCHER XSBULLY XROBBD1Y Q5PMSPNK Q5TTSPNK WHENBEAT, WHOMBEAT, XBEATEN
ボランティア → 環境, コミュニティ, 市民運動 …活動 …の経験の有無 定期的な… 介護・福祉 環境保護・清掃 寄付金集め 教育・技術指導 文化・芸術 不定期な… 介護・福祉 環境保護・清掃 寄付金集め 教育・技術指導 文化・芸術 …の頻度 定期的な… 不定期な… …への参加意欲 …への支援経験の有無 介護・福祉 切手・はがきなどの購入を通じた寄付 寄付・募金 献血 指導 清掃・環境 貯金口座・クレジットカードへの加入を 通じた寄付 バザーへの出品 古着や毛布などの寄贈 文化的奉仕 労働奉仕 …団体の役員と知り合い …団体への所属 寄付 …の金額 …の経験 学校や地域を通して 定期的な寄付 募金箱に寄付	XVLREG, XVLROTHR XVLRWF XVLRENV XVLRDNT XVLRTCH XVLRCUL XVLIRREG, XVLTOTHR XVLTFW XVLTENV XVLTDNT XVLTTCH XVLTCUL SZVLREG SZVLIRRG WLVLDO XVLETC, XVLNOMK XVLWF XVLSTAMP XVLDONAT XVLBLOOD XVLTEACH XVLNV XVLCARD XVLBAZZR XVLUSED XVLVCUL XVLLABOR ZKVOLF, ZKVOLM, ZKVOLN, ZKVOLX MEMVLNTR SZDNT XDNTNONE, XDNTOTHR XDNTSCH XDNTREG XDNTBOX

マスコミを通して …への支援経験 高齢期の活動として…活動が重要 社会のためになることを就労条件として重視 他人のためになることを就労条件として重視	<u>XDNTMASS</u> <u>XVLCARD</u>, <u>XVLDONAT</u> <u>IMOAVLTR</u> <u>IM5SOCTY</u> <u>IM5OTHER</u>
ポルノグラフィ → 性	
孫 → 子ども …との関係が高齢期に重要 三世代同居への賛否	<u>IMORCCG</u> <u>OP2GNR</u>
マスコミ → 新聞, テレビ	
満足度 → 幸福 家計状態への… 家事を仕事とすることへの… 家庭生活への… 環境問題への取り組みへの… 企業による… 国による… 自治体による… 居住地域への… 健康状態への… 仕事への… 配偶者との関係への… 友人関係への… 余暇利用への…	<u>ST5ECNY</u> <u>ST5HSWK</u> <u>ST5LIFEY</u> <u>STECOCO</u> <u>STECONAT</u> <u>STECOLOC</u> <u>ST5AREAY</u> <u>ST5HLTHY</u> <u>ST5JOB</u> <u>ST5SSREL</u> <u>ST5FRIY</u> <u>ST5LEISY</u>
未婚 → 結婚	
無職 → 就労, 不就労	
メディア → インターネット, 新聞, テレビ	
友人 → 交際 …が心の健康の相談相手 …が仕事の相談相手 …が政治的な話題の相手 …が悩みの相談相手 …関係への満足度 …づきあいのための英語の使用機会 …づくりに学校の意義があった …と政治について話す頻度 …との会食の頻度 …との関係が高齢期に重要 …との交際費に消費者金融を利用 外国人 …との会食の有無 …との宿泊招待の有無 …との友人づきあい 高齢期の活動として…との時間が重要	<u>WLADFRI</u> <u>ZFRIE[I-L]</u> <u>ZFRIE[E-H]</u> <u>ZFRIE[A-D]</u> <u>ST5FRIY</u> <u>EUFRIEND</u> <u>MSFRIEND</u> <u>FQ4PLFRI</u> <u>FQ7FRSEE</u> <u>IMORFRCC</u>, <u>IMORFRSC</u>, <u>IMORFRWK</u> <u>USCSSOC</u> <u>XFNMEAL</u> <u>XFNSTAY</u> <u>XFNASSOX</u> <u>IMOAFRI</u>
余暇活動 → ギャンブル, 芸術, 消費行動, スポーツ, 生活時間 …のために英語を学習 …のための英語の使用機会 …への満足度 インターネットによるショッピング・バンキング 映画鑑賞の頻度 園芸・庭いじりの頻度 音楽鑑賞の頻度 海外旅行の経験の有無 カラオケの頻度 ギャンブル	<u>ELENJOY</u>, <u>ELINET</u>, <u>ELMOVIE</u>, <u>ELNEW</u>, <u>ELTRAVL</u>, <u>ELVISION</u>, <u>ELWEST</u> <u>EUHOBBY</u> <u>ST5LEISY</u> <u>DONETSB</u> <u>FQ4MOVIE</u> <u>FQ4GREEN</u> <u>FQ4MUSIC</u> <u>XEOSTRIP</u> <u>FQ4KARA</u>

…の頻度 …への支出 共通の趣味の有無 仕事の相談相手との… 政治的な話題の相手との… 悩みの相談相手との… 教養講座の受講経験 ゲームの頻度 高齢期の活動として…が重要 高齢期の活動としてサークル活動が重要 高齢期の活動として読書が重要 サークルの友人との関係が高齢期に重要 趣味の会への所属 趣味の費用に消費者金融を利用 スポーツ …のグループへの所属 …の頻度 行っている…の種類 読書冊数 ドライブの頻度 ペット …と過ごす時間数 …の意味 …の種類 …の所持 旅行の頻度 レジャーに自動車を利用	FQ4HORSE, FQ4LOTTO, FQ4NBS, <u>FQ4PACHI</u>, FQ4PGAM, FQ4TOTO, FQLOT, FQPACHI, FQRACE, FQTOTO, NUMRACE NUMRACE, SZLOT, SZPACHI, SZRACE, SZTOTO ZCOHOBB[I-L] ZCOHOBB[E-H] ZCOHOBB[A-D] XECLASS, XLRNCLTR, XLRNENG, XSCLED <u>FQ4GAME</u>, FQ4IGO, FQ4MAJON, <u>FQ4SHGIG</u>, FQ4SHOGI <u>IMOALSR</u> <u>IMOACRCL</u> <u>IMOALRN</u> <u>IMORFRCC</u> <u>MEMHOBBY</u>, <u>XXMEMHOB</u> <u>USCSHOB</u> <u>MEMSPORT</u>, <u>XXMEMSP</u> FQ4FISH, FQ4JOG, <u>FQSPORT</u> <u>XXSPORT</u> <u>FQ5READ</u> <u>FQ4DRIVE</u> PTCARE, PTHOUR, PTMIN PT4ALONA, PT4BEINA, PT4FFCOA, PT4NEEDA, PT4NETWA, PT4REGUA, PT4RELAA, PT4WORTH DOBIRDA, DOCAT, DODOGE, DODOGI, DOFISHA, DOINSECT, DOMAMMAL, DOOTHER, DOPNOMK, DOREPTL DOPET <u>FQ5TRIP</u> <u>FQ4DRIVE</u>, <u>OPCARDRV</u>, <u>USCARLSR</u>
ライフイベント → 結婚, 子ども, 就労	
ライフスタイル → 家族, 結婚, 就労, 世界観, 余暇活動	
離婚 → 結婚, 再婚 …後の再婚 …の有無 …の年齢 …の有無 …の回数 …の年齢 …への賛否 夫にとっての… 子どもにとっての… 妻にとっての…	XMGA1DV, XMGA2DV AGEMG1DV, AGEMG2DV DODVWDW, <u>DOMARRY</u>, XDIV FQXDIV AGE1DIV, AGE2DIV <u>Q4DIVOK</u> Q4HHDVY Q4CCDVY Q4WWDVY
離別 → 離婚	
旅行 → 余暇活動	
レジャー → 余暇活動	
労働 → 就労, 不就労	
労働組合 …の有無 …の役員と知り合い …への加入 …への信頼	<u>DOUNION</u> ZKUNIF, ZKUNIM, ZKUNIN, ZKUNIX <u>JOINUNI</u> TR3UNNZ

Ⅱ.4 変数名索引 (アルファベット順)

[略号・記号]

面：面接調査票，留：留置調査票，調：調査員記入票（面接調査票末尾）

＊：調査票冒頭欄，F：調査員記入欄，◇：抽出関連などの変数で質問番号なし

変 数 名	質 問 概 要	JGSS-2005	
		調査	質問番号
AGEB	年齢	面・留	＊
APPCCNMX	理想的な子どもの人数：5人以上の場合（具体的記述）	留	Q52
APPCCNUM	理想的な子どもの人数（一般論）	留	Q52
APPCCSXB	希望する子どもの性別	留	Q53
AREA	調査員への質問：回答者の居住地域	調	F5
BLOCK	地域ブロック		◇
CC[01-08]AGE	子ども[01-08]：年齢	面	問 25-2
CC[01-08]LVTG	子ども[01-08]：同居・生死	面	問 25-2
CC[01-08]SEX	子ども[01-08]：性別	面	問 25-2
CCNUMTTL	子どもの人数	面	問 25-1
CMTBCYL	通勤手段：自転車	面	問 3-2 2
CMTBOAT	通勤手段：船	面	問 3-2 7
CMTBUS	通勤手段：バス	面	問 3-2 4
CMTCAR	通勤手段：自動車	面	問 3-2 6
CMTETC	通勤手段：その他	面	問 3-2 8
CMTMCYL	通勤手段：バイク	面	問 3-2 3
CMTTRAIN	通勤手段：電車	面	問 3-2 5
CMTWALK	通勤手段：徒歩のみ	面	問 3-2 1
COOP	調査員への質問：回答者の協力度	調	F1
DATE	面接完了日	面	＊
DATEB	留置回収完了日	面	＊
DAY	面接完了日：日	面	＊
DAYB	留置回収完了日：日	面	＊
DO3PIOUS	信仰の度合い（本人）	留	Q62-3
DO7DRINK	飲酒頻度	留	Q19
DOBYEAR	生年	面	＊
DOCAR	自動車の所持	面	問 31-1
DOCLCNS	自動車免許の所持	留	Q13-1
DOCMT	通勤の有無	面	問 3-1
DOCOMPJ	利用通信媒体：パソコン（職場）	留	Q5 1
DOCOMPP	利用通信媒体：パソコン（自宅）	留	Q5 2
DOEMAIL	電子メールの利用	留	Q6
DOFAX	利用通信媒体：ファックス	留	Q5 4
DOINBANK	インターネットの利用：バンキング	留	Q7 3
DOINBRS	インターネットの利用：情報検索	留	Q7 1
DOINHP	インターネットの利用：ホームページの作成	留	Q7 4
DOINNONE	インターネットの利用：いずれも行っていない	留	Q7 5
DOINSHOP	インターネットの利用：ショッピング	留	Q7 2
DOLOOKJB	求職の有無（全員）	面	問 17

DOLSTSCH	最終学校の卒業・中退（本人）	面	問.37
DOMARRY	結婚状況	面	問 21
DONONEX	利用通信媒体：いずれも利用していない	留	Q5 5
DOPHS	利用通信媒体：携帯電話または PHS	留	Q5 3
DORL	信仰する宗教の有無（本人）	留	Q62-1
DOSMOKEX	喫煙経験	留	Q18-1
DOSTAFF	部下の有無	面	問 9
DOUNION	労働組合の有無	面	問 10-1
DOWKFRI	就労曜日：金	面	問 2-2 5
DOWKMON	就労曜日：月	面	問 2-2 1
DOWKSAT	就労曜日：土	面	問 2-2 6
DOWKSUN	就労曜日：日	面	問 2-2 7
DOWKTHU	就労曜日：木	面	問 2-2 4
DOWKTUE	就労曜日：火	面	問 2-2 2
DOWKVAR	就労曜日：週によってまちまち	面	問 2-2 8
DOWKWED	就労曜日：水	面	問 2-2 3
DURATION	調査所要時間（分）	調	F7
EXCARBUY	自動車の負担感：購入代金・ローン	面	問 31-3 C
EXCARFIX	自動車の負担感：修理・車検	面	問 31-3 D
EXCARGAS	自動車の負担感：ガソリン代	面	問 31-3 A
EXCARINS	自動車の負担感：保険料・税金	面	問 31-3 B
EXCARPRK	自動車の負担感：駐車場の賃貸料	面	問 31-3 E
FAATOPI	症状の有無：アトピー性皮膚炎（同居家族）	留	Q17-2 1
FAFOOD	症状の有無：食物アレルギー（同居家族）	留	Q17-2 4
FAKAFUN	症状の有無：花粉症（同居家族）	留	Q17-2 2
FANOFF	症状の有無：非該当（同居家族はいない）	留	Q17-2 6
FANONE	症状の有無：いずれもない（同居家族）	留	Q17-2 5
FAZENSOK	症状の有無：ぜんそく（同居家族）	留	Q17-2 3
FEARWALK	自宅周辺の危険な場所の有無	留	Q44
FFH[01-05]AGE	その他の家族[01-05]：年齢	面	問 26-2
FFH[01-05]REL	その他の家族[01-05]：続柄	面	問 26-2
FFH[01-05]SEX	その他の家族[01-05]：性別	面	問 26-2
FFHEAD	世帯主	面	問 29
FFO[01-06]REL	一時的な別居家族[01-06]：続柄	面	問 28-2
FFO[01-06]WHY	一時的な別居家族[01-06]：別居理由	面	問 28-2
FNCDCASH	クレジットカードの機能の利用：キャッシング	留	Q49-3 D
FNCINST	クレジットカードの機能の利用：分割払い	留	Q49-3 B
FNCDONE	クレジットカードの機能の利用：1 回払い	留	Q49-3 A
FNCREVO	クレジットカードの機能の利用：リボ払い	留	Q49-3 C
FQ4DRIVE	娯楽の頻度：ドライブ	留	Q9 A
FQ4GAME	娯楽の頻度：テレビゲーム	留	Q9 E
FQ4GREEN	娯楽の頻度：園芸・庭いじり	留	Q9 F
FQ4KARA	娯楽の頻度：カラオケ	留	Q9 B
FQ4LOTTO	娯楽の頻度：宝くじ	留	Q9 H
FQ4MOVIE	娯楽の頻度：映画鑑賞	留	Q9 C
FQ4MUSIC	娯楽の頻度：音楽鑑賞	留	Q9 D
FQ4PACHI	娯楽の頻度：パチンコ・パチスロ	留	Q9 I
FQ4SHGIG	娯楽の頻度：将棋・囲碁	留	Q9 G

FQ5NEWSP	新聞を読む頻度	留	Q3
FQ5READ	1ヶ月の読書冊数	留	Q2
FQ5TRIP	1泊以上の旅行頻度	留	Q12
FQ7CKDNR	夕食の用意：頻度（本人）	留	Q8 C
FQ7CLEAN	家の掃除：頻度（本人）	留	Q8 F
FQ7FFDNR	家族と一緒にの夕食：頻度	留	Q8 A
FQ7FRSEE	友人との会食：頻度	留	Q8 B
FQ7GARB	ゴミ出し：頻度（本人）	留	Q8 G
FQ7SHOP	買い物：頻度（本人）	留	Q8 E
FQ7WASH	洗濯：頻度（本人）	留	Q8 D
FQSPORT	定期的に行なうスポーツ：頻度	留	Q10-1
FQWKOFF	連休の回数／年	面	問 2-3
GMCONC1	遺伝子組換え食品：大豆（大豆加工食品）	留	Q27-4
GMCONC2	遺伝子組換え食品：とうもろこし	留	Q27-4
GMCONC3	遺伝子組換え食品：じゃがいも	留	Q27-4
GMCONC4	遺伝子組換え食品：米	留	Q27-4
GMCONC5	遺伝子組換え食品：麦	留	Q27-4
GMCONC6	遺伝子組換え食品：トマト	留	Q27-4
GMCONC7	遺伝子組換え食品：豆全般・穀類全般	留	Q27-4
GMCONC8	遺伝子組換え食品：野菜全般・その他の青果	留	Q27-4
GMCONC9	遺伝子組換え食品：青果以外	留	Q27-4
HAATOPI	症状の有無：アトピー性皮膚炎（本人）	留	Q17-1 1
HAFOOD	症状の有無：食物アレルギー（本人）	留	Q17-1 4
HAKAFUN	症状の有無：花粉症（本人）	留	Q17-1 2
HANONE	症状の有無：いずれもない（本人）	留	Q17-1 5
HAZENSOK	症状の有無：ぜんそく（本人）	留	Q17-1 3
HRTV	テレビ視聴時間	留	Q1
IMOAAALON	高齢期に重要な活動：一人の時間	留	Q63 I
IMOACOM	高齢期に重要な活動：地域活動	留	Q63 B
IMOACRCL	高齢期に重要な活動：文化・スポーツサークル	留	Q63 C
IMOAFF	高齢期に重要な活動：家族・親族との時間	留	Q63 G
IMOAFRI	高齢期に重要な活動：友人との時間	留	Q63 H
IMOALRN	高齢期に重要な活動：読書・学習・研究	留	Q63 F
IMOALSR	高齢期に重要な活動：娯楽・レジャー	留	Q63 E
IMOAVLTR	高齢期に重要な活動：ボランティア	留	Q63 D
IMOAWORK	高齢期に重要な活動：仕事	留	Q63 A
IMORCC	高齢期に重要な関係：子ども	留	Q64 B
IMORCCG	高齢期に重要な関係：孫	留	Q64 D
IMORCOM	高齢期に重要な関係：近所の人	留	Q64 I
IMORFRCC	高齢期に重要な関係：団体・サークルの友人	留	Q64 H
IMORFRSC	高齢期に重要な関係：学校時代の友人	留	Q64 G
IMORFRWK	高齢期に重要な関係：仕事関係の友人	留	Q64 F
IMORPAR	高齢期に重要な関係：親	留	Q64 E
IMORPET	高齢期に重要な関係：ペット	留	Q64 J
IMORSIB	高齢期に重要な関係：きょうだい	留	Q64 C
IMORSS	高齢期に重要な関係：配偶者	留	Q64 A
INCFAM	現在の収入源：他の家族の収入（全員）	面	問 18-1 4
INCIRR	現在の収入源：不定期的な仕事（全員）	面	問 18-1 9

INCMAIN	現在の収入源：中心となるもの（全員）	面	問 18-2
INCNOKN	現在の収入源：わからない（全員）	面	問 18-1 11
INCOTHER	現在の収入源：その他（全員）	面	問 18-1 10
INCPAR	現在の収入源：親の収入（全員）	面	問 18-1 3
INCPEN	現在の収入源：年金（全員）	面	問 18-1 5
INCSAVE	現在の収入源：貯蓄（全員）	面	問 18-1 7
INSELF	現在の収入源：自分の収入（全員）	面	問 18-1 1
INCSOC	現在の収入源：社会福祉（全員）	面	問 18-1 8
INCSP	現在の収入源：配偶者の収入（全員）	面	問 18-1 2
INCUEB	現在の収入源：失業保険（全員）	面	問 18-1 6
JOINUNI	労働組合加入の有無	面	問 10-2
KNOWGMO	遺伝子組換え食品の知識	留	Q27-1
KWCOUNSL	カウンセリングの知識	留	Q24
KWGMCONC	思い浮かぶ遺伝子組換え食品の有無	留	Q27-3
MARC	配偶者（DOMARRY の転記）	面・留	*
MEMCIVIL	組織への所属：市民運動のグループ	留	Q60 D
MEMHOBBY	組織への所属：趣味の会	留	Q11-1
MEMIND	組織への所属：業界団体	留	Q60 B
MEMPLTGP	組織への所属：政治団体	留	Q60 A
MEMRL	組織への所属：宗教の団体や会	留	Q60 E
MEMSPORT	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	留	Q60 F
MEMVLNTR	組織への所属：ボランティアのグループ	留	Q60 C
MMAGE	母親：年齢	面	問 24-2
MMJBTP15	15 歳の頃の母：就労地位	面	問 34
MMLSTSCH	最終学校（母親）	面	問 36
MMLVTG	母親：同居・生死	面	問 24-1
MONTH	面接完了日：月	面	*
MONTHB	留置回収完了日：月	面	*
NGMCONC	思い浮かぶ遺伝子組換え食品の個数	留	Q27-4
NPAKAHAT	購読新聞：赤旗	留	Q4 18
NPASAH1	購読新聞：朝日	留	Q4 1
NPCHUNI	購読新聞：中日新聞	留	Q4 13
NPDAYSP	購読新聞：デイリースポーツ	留	Q4 8
NPETC	購読新聞：その他	留	Q4 20
NPETCX1	購読新聞：その他：具体的記述（1 番目）	留	Q4 20
NPETCX2	購読新聞：その他：具体的記述（2 番目）	留	Q4 20
NPFUJI	購読新聞：夕刊フジ	留	Q4 17
NPGENDAI	購読新聞：日刊ゲンダイ	留	Q4 16
NPHOKKAI	購読新聞：北海道新聞	留	Q4 11
NPHOUCHI	購読新聞：報知	留	Q4 10
NPJAPAN	購読新聞：Japan Times	留	Q4 15
NPMMAINI	購読新聞：毎日	留	Q4 4
NPNIKKEI	購読新聞：日経	留	Q4 3
NPNIKSP	購読新聞：日刊スポーツ	留	Q4 9
NPNONE	購読新聞：ない	留	Q4 21
NPSANKEI	購読新聞：産経	留	Q4 2
NPSANSP	購読新聞：サンケイスポーツ	留	Q4 6
NPSEIKYO	購読新聞：聖教新聞	留	Q4 19

NPSPNIP	購読新聞：スポーツニッポン	留	Q4 7
NPTOKYO	購読新聞：東京新聞	留	Q4 12
NPWESTJP	購読新聞：西日本新聞	留	Q4 14
NPYOMIUR	購読新聞：読売	留	Q4 5
NUMCARD	クレジットカードの所有枚数	留	Q49-1
NUMCONSF	消費者金融の利用回数	留	Q51-1
OP10LVL	自分の位置する階層	面	問 20
OP2GNR	三世代同居観	留	Q55
OP3ECN3A	家計状態の変化	留	Q31
OP3NEWJB	再就労の容易さ	面	問 15
OP3TRUST	人間観（一般）：人は信用できる	留	Q56
OP4UNEMP	失業の可能性	面	問 14
OP5CCARE	国か個人か：保育・育児	留	Q38 D
OP5CCED	国か個人か：子どもの教育	留	Q38 C
OP5CHNCA	生活水準向上機会の有無	留	Q34
OP5FFINX	世帯収入のレベル	留	Q32
OP5HAPPZ	幸福度	留	Q66
OP5HLTHZ	健康状態（本人）	留	Q16
OP5LEVK	階層帰属意識	留	Q36
OP5PENSN	自分の年金額予想	留	Q35
OP5RADCA	政治意識（保革 5 段階）	留	Q39
OP5SRMDY	国か個人か：高齢者の医療・介護	留	Q38 B
OP5SRWFY	国か個人か：高齢者の生活保障	留	Q38 A
OP6TAXHI	所得税の負担感	留	Q40
OP7GDEVO	人間観（一般）：人間の本性	留	Q57
OPCARACC	自動車への意見：事故を起こしやすい	留	Q14 E
OPCARCST	自動車への意見：費用が高すぎる	留	Q14 D
OPCARDLF	自動車への意見：日常生活に支障	留	Q14 A
OPCARDRV	自動車への意見：ドライブの楽しみ	留	Q14 C
OPCARECO	自動車への意見：環境汚染が心配	留	Q14 F
OPCARFLD	自動車への意見：行動範囲が狭くなる	留	Q14 B
OPCDCM	クレジットカードへの意見：宣伝を制限	留	Q48 D
OPCDCRM	クレジットカードへの意見：犯罪に利用される	留	Q48 C
OPCDOVER	クレジットカードへの意見：使いすぎる	留	Q48 B
OPCDUSFL	クレジットカードへの意見：便利	留	Q48 A
OPCNGJB	転職・勤続への意見	面	問 19
OPCSCM	消費者金融への意見：宣伝を制限	留	Q50 D
OPCSCRM	消費者金融への意見：犯罪に利用される	留	Q50 C
OPCSOVER	消費者金融への意見：使いすぎる	留	Q50 B
OPCSUSFL	消費者金融への意見：便利	留	Q50 A
OPEDMND	心の教育への意見	留	Q25
OPFFIX15	15 歳の頃の世帯収入レベル	留	Q33
OPGMEAT	遺伝子組換え食品への意見：食べてもよい	留	Q27-2 E
OPGMHOW	遺伝子組換え食品への意見：どのようにしてできるか	留	Q27-2 H
OPGMNTRL	遺伝子組換え食品への意見：自然なもの	留	Q27-2 D
OPGMSAFE	遺伝子組換え食品への意見：安全	留	Q27-2 A
OPGMSPRD	遺伝子組換え食品への意見：社会への普及	留	Q27-2 F
OPGMUSER	遺伝子組換え食品への意見：自分にとって有益	留	Q27-2 B

OPGMUSES	遺伝子組換え食品への意見：社会にとって有益	留	Q27-2 C
OPGMWHAT	遺伝子組換え食品への意見：どのようなものがあるか	留	Q27-2 G
OPJVECN	少年犯罪の原因への意見：経済的な格差	留	Q26 E
OPJVFF	少年犯罪の原因への意見：家庭環境	留	Q26 B
OPJVLAW	少年犯罪の原因への意見：法律制度	留	Q26 D
OPJVMNTL	少年犯罪の原因への意見：心理状態	留	Q26 A
OPJVSCHL	少年犯罪の原因への意見：学校での生活環境	留	Q26 C
OWNHOUSE	居住形態：持ち家	留	Q28-1
PPAGE	父親：年齢	面	問 24-2
PPJBSZ15	15 歳の頃の父：企業規模	面	問 33-3
PPJBTP15	15 歳の頃の父：就労地位	面	問 33-1
PPJBXX15	15 歳の頃の父：職種	面	問 33-2
PPLSTSCH	最終学校（父親）	面	問 36
PPLVTG	父親：同居・生死	面	問 24-1
PREF	都道府県名		◇
PREF15	15 歳の頃の居住地（本人）：都道府県名	面	問 32-1
PROC	調査手順（留置／面接の順序）	調	F6
Q4DEBT	借金への賛否	留	Q47
Q4DIVOK	意見についての賛否：離婚	留	Q54 A
Q4JBMMCC	意見についての賛否：子どもへの影響	留	Q54 G
Q4MNCOOK	意見についての賛否：男性の家事	留	Q54 D
Q4MNMGA	意見についての賛否：男性の幸福	留	Q54 F
Q4NOCCMG	意見についての賛否：子どもをもつ必要	留	Q54 H
Q4WNMGA	意見についての賛否：女性の幸福	留	Q54 C
Q4WWHHX	意見についての賛否：性役割分担	留	Q54 E
Q4WWPHPH	意見についての賛否：妻は夫の手助け	留	Q54 I
Q4WWJBIA	意見についての賛否：妻の仕事	留	Q54 B
Q5GVEQAA	貧富解消政策への賛否	留	Q42
QDDKILLA	安楽死の賛否	留	Q41
QFNRINCR	外国人増加の賛否	留	Q37
REMOTE15	15 歳の頃の居住地（本人）：農山村地域	面	問 32-3
SEXA	性別	面・留	*
SIZE	市郡規模		◇
SPAGEX	配偶者の年齢	面	問 23-1
SPLVTG	配偶者との同居	面	問 23-2
SSJB1WK	先週の就労経験（配偶者）	面	問 22-1
SSJBDWK	就労日数／週（配偶者）	面	問 22-2
SSJBHRWK	就労時間数／週（配偶者）	面	問 22-2
SSLSTSCH	最終学校（配偶者）	面	問 36
SSSZINCM	年収（配偶者）	面	問 22-7
SSSZSTFA	企業規模（配偶者）	面	問 22-6
SSTP12JB	就労地位（配偶者）	面	問 22-3
SSXXHQX	業種（配偶者）	面	問 22-4
SSXXJOB	職種（配偶者）	面	問 22-5
ST5AREAY	生活満足度：居住地域	留	Q15 A
ST5ECNY	生活満足度：家計状態	留	Q15 D
ST5FRIY	生活満足度：友人関係	留	Q15 E
ST5HLTHY	生活満足度：健康状態	留	Q15 F

ST5JOB	現在の仕事の満足度	面	問 11
ST5LEISY	生活満足度：余暇利用	留	Q15 B
ST5LIFEY	生活満足度：家庭生活	留	Q15 C
ST5SSREL	生活満足度：配偶者との関係	留	Q15 G
SZCMTHR	通勤時間：時間	面	問 3-1
SZCMTMIN	通勤時間：分	面	問 3-1
SZCMTTL	通勤時間：合計	面	問 3-1
SZDNT	寄付の金額	留	Q61-2
SZFFONLY	家族人数（本人除く）	面	問 27
SZFFOTHR	その他の家族の人数	面	問 26-1
SZFFOUT	一時的な別居家族の人数	面	問 28-1
SZFFTTL	家族人数（本人含む）	面	問 27
SZHSINCM	世帯年収	面	問 30
SZINCOMX	本人年収	面	問 8
SZSJBHVK	副業就労時間数／週	面	問 16-2
SZSTFFST	初職の企業規模	面	問 38-5
SZTTLSTA	企業規模	面	問 6
SZVLIRRG	不定期なボランティア：活動量（合計日数/年）	留	Q59-2
SZVLREG	定期的ボランティア：活動量（時間/月）	留	Q58-2
TP12FSTJ	初職の就労地位	面	問 38-2
TP12JOB	就労地位	面	問 5-1
TP4WPLA	事業所形態	面	問 4
TP5LOC15	15 歳の頃の居住地（本人）	面	問 32-2
TP5UNEMP	不就労の理由	面	問 1-2
TPCARLG	自動車の種類：大型乗用車	面	問 31-2 2
TPCAROTH	自動車の種類：その他	面	問 31-2 5
TPCARSM	自動車の種類：軽自動車・軽トラック	面	問 31-2 3
TPCARSTD	自動車の種類：普通乗用車	面	問 31-2 1
TPCARTK	自動車の種類：普通トラック	面	問 31-2 4
TPHOUSE	居住形態：一戸建て	留	Q28-2
TR3ACDAZ	組織への信頼：学者・研究者	留	Q65 J
TR3BCRAZ	組織への信頼：中央官庁	留	Q65 D
TR3CGMNZ	組織への信頼：国会議員	留	Q65 K
TR3CITYZ	組織への信頼：市区町村議会議員	留	Q65 L
TR3COPZ	組織への信頼：警察	留	Q65 N
TR3CORPZ	組織への信頼：大企業	留	Q65 A
TR3DEFZ	組織への信頼：自衛隊	留	Q65 M
TR3FINZ	組織への信頼：金融機関	留	Q65 O
TR3HSPLZ	組織への信頼：病院	留	Q65 G
TR3NWSPZ	組織への信頼：新聞	留	Q65 F
TR3RLGPZ	組織への信頼：宗教団体	留	Q65 B
TR3SCHLZ	組織への信頼：学校	留	Q65 C
TR3SPCAZ	組織への信頼：裁判所	留	Q65 I
TR3TVZ	組織への信頼：テレビ	留	Q65 H
TR3UNNZ	組織への信頼：労働組合	留	Q65 E
USCARCMT	自動車の用途：通勤・通学	留	Q13-2 A
USCARLSR	自動車の用途：レジャー	留	Q13-2 E
USCARSHP	自動車の用途：買物・用事	留	Q13-2 C

USCARTFF	自動車の用途：送り迎え	留	Q13-2 B
USCARWK	自動車の用途：仕事	留	Q13-2 D
USCDCHRG	クレジットカードの用途：公共料金・通信費	留	Q49-2 D
USCDDAY	クレジットカードの用途：日常の買い物	留	Q49-2 A
USCDEAT	クレジットカードの用途：外食の代金	留	Q49-2 C
USCDHIGH	クレジットカードの用途：高額な買い物	留	Q49-2 B
USCSBANK	消費者金融の利用理由：他の金融機関への支払い	留	Q51-2 8
USCSBUS	消費者金融の利用理由：事業資金	留	Q51-2 4
USCSCLTH	消費者金融の利用理由：服飾品の費用	留	Q51-2 7
USCSDAY	消費者金融の利用理由：日常の生活費	留	Q51-2 1
USCSEDU	消費者金融の利用理由：教育費	留	Q51-2 3
USCSHOB	消費者金融の利用理由：趣味の費用	留	Q51-2 6
USCSMD	消費者金融の利用理由：医療費	留	Q51-2 2
USCSOTHR	消費者金融の利用理由：その他	留	Q51-2 9
USCSSOC	消費者金融の利用理由：交際費	留	Q51-2 5
USTAND	調査員への質問：回答者の理解度	面	F2
WEIGHT	ウェイト		◇
WLADDD	心の健康の相談相手：その他の医師	留	Q21 4
WLADDDSP	心の健康の相談相手：精神科・心療内科の医師	留	Q21 3
WLADFF	心の健康の相談相手：家族	留	Q21 1
WLADFRI	心の健康の相談相手：友人・知人・恋人	留	Q21 2
WLADNONE	心の健康の相談相手：誰にも相談しない	留	Q21 8
WLADOTHR	心の健康の相談相手：その他	留	Q21 7
WLADPSY	心の健康の相談相手：心理学の専門家	留	Q21 5
WLADRLGN	心の健康の相談相手：宗教家	留	Q21 6
WLCOUNSL	カウンセリングの受療意欲	留	Q22-2
WLKEEPJA	現在の会社・組織での就労継続意向	面	問 13
WLLIVE	現在の居住地域に住み続けたいか	留	Q30
WLWKCND	働き方の意向：労働条件に不満	面	問 12-1
WLWKMNG	働き方の意向：経営に不安	面	問 12-2
XCOUNSLF	カウンセリングの受療経験（家族）	留	Q23
XCOUNSLR	カウンセリングの受療経験（本人）	留	Q22-1
XDNTBOX	寄付の経験：募金箱に寄付	留	Q61-1 2
XDNTMASS	寄付の経験：マスコミを通して	留	Q61-1 4
XDNTNONE	寄付の経験：していない	留	Q61-1 6
XDNTOTHR	寄付の経験：その他	留	Q61-1 5
XDNTREG	寄付の経験：定期的な寄付	留	Q61-1 1
XDNTSCH	寄付の経験：学校や地域を通して	留	Q61-1 3
XGETJOB	初職の就労時期	面	問 38-1
XJOB1WK	先週の就労経験	面	問 1-1
XJOBDWK	就労日数／週	面	問 2-1
XJOBHWK	就労時間数／週	面	問 2-1
XJOBYR	就労年数	面	問 7
XLIVEYR	現在の居住地域への居住年数	留	Q29
XNUMBROE	兄弟姉妹人数（兄）	面	問 35-1
XNUMBROY	兄弟姉妹人数（弟）	面	問 35-1
XNUMSISE	兄弟姉妹人数（姉）	面	問 35-1
XNUMSISY	兄弟姉妹人数（妹）	面	問 35-1

XOTHWK	残業時間数／週	面	問 2-1
XQTSMOKE	禁煙努力	留	Q18-2
XROBBD1Y	強盗等の被害経験	留	Q46
XSJB1WK	副業の有無	面	問 16-1
XSSNBROE	配偶者の兄弟姉妹人数（兄）	面	問 35-2
XSSNBROY	配偶者の兄弟姉妹人数（弟）	面	問 35-2
XSSNSISE	配偶者の兄弟姉妹人数（姉）	面	問 35-2
XSSNSISY	配偶者の兄弟姉妹人数（妹）	面	問 35-2
XSTOLN1Y	空き巣被害経験	留	Q45
XTRAUM5Y	トラウマの回数	留	Q20
XVLIRREG	不定期なボランティア：経験の有無	留	Q59-1
XVLRUL	定期的ボランティアの内容：文化・芸術	留	Q58-3 3
XVLRDNT	定期的ボランティアの内容：寄付金集め	留	Q58-3 5
XVLRG	定期的ボランティア：経験の有無	留	Q58-1
XVLRNV	定期的ボランティアの内容：環境保護・清掃	留	Q58-3 1
XVLRTHR	定期的ボランティアの内容：その他	留	Q58-3 6
XVLRTH	定期的ボランティアの内容：教育・技術指導	留	Q58-3 4
XVLRWF	定期的ボランティアの内容：介護・福祉	留	Q58-3 2
XVLTUL	不定期なボランティアの内容：文化・芸術	留	Q59-3 3
XVLTNT	不定期なボランティアの内容：寄付金集め	留	Q59-3 5
XVLTENV	不定期なボランティアの内容：環境保護・清掃	留	Q59-3 1
XVLTTHR	不定期なボランティアの内容：その他	留	Q59-3 6
XVLTTH	不定期なボランティアの内容：教育・技術指導	留	Q59-3 4
XVLTWF	不定期なボランティアの内容：介護・福祉	留	Q59-3 2
XWORK	就労経験	面	問 1-3
XX8PLPTY	支持政党	留	Q43-1
XX9PLPFV	好ましい政党	留	Q43-2
XXFSTJB	初職の職種	面	問 38-4
XXFSTWP	初職の業種	面	問 38-3
XXJOB	職種	面	問 5-3
XXLSTSCH	最終学校（本人）	面	問 36
XXMEMHOB	組織への所属：趣味の会（具体的記述）	留	Q11-2
XXRL	信仰する宗教（本人）	留	Q62-2
XXSPORT	スポーツの種類（具体的記述）	留	Q10-2
XXSTPJB	離職理由	面	問 1-4
XXWPL	業種	面	問 5-2

III. JGSS-2005 資料

Ⅲ.1 抽出地点リスト

(調査対象者の特定に繋がる可能性があるため、地点リストを削除している)

III. 2 産業コード

10	農業
20	林業
30	漁業
40	鉱業
50	建設業
60	製造業
70	電気・ガス・熱供給・水道業
80	運輸業
91	卸売業
92	小売業
93	飲食店
100	金融・保険業
110	不動産業
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業
130	情報・通信サービス業
140	医療・福祉サービス業
150	教育・研究サービス業
160	法律・会計サービス業
170	その他のサービス業
180	公務
190	分類不能の産業
987	兵役
998	非該当
999	無回答

産業カテゴリーの分類コードについては、原則として『SSM 産業分類・職業分類(95年版)』(1995年SSM調査研究会)を利用した。1995年SSM分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。

III.3 職業コード

501 (専門)	自然科学系研究者
502 (専門)	人文科学系研究者
503 (専門)	機械・電気・化学技術者
504 (専門)	建築・土木技術者
505 (専門)	農林技術者
506 (専門)	情報処理技術者
507 (専門)	その他の技師・技術者
508 (専門)	医師
509 (専門)	歯科医師
510 (専門)	薬剤師
511 (専門)	助産師 (助産婦)
512 (専門)	保健師 (保健婦)
513 (専門)	栄養士
514 (専門)	看護師 (看護婦、看護師)
515 (専門)	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師
516 (専門)	その他の保健医療従事者
517 (専門)	裁判官、検察官、弁護士
518 (専門)	その他の法務従事者
519 (専門)	公認会計士、税理士
520 (専門)	幼稚園教員
521 (専門)	小学校教員
522 (専門)	中学校教員
523 (専門)	高等学校教員
524 (専門)	大学教員
525 (専門)	盲・ろう・養護学校教員
526 (専門)	その他の教員
527 (専門)	宗教家
528 (専門)	文芸家、著述家
529 (専門)	記者、編集者
530 (専門)	彫刻家、画家、工芸美術家
531 (専門)	デザイナー
532 (専門)	写真家、カメラマン
533 (専門)	音楽家 (個人に教授するものを除く)
534 (専門)	俳優、舞踊家、演芸家 (個人に教授するものを除く)
535 (専門)	職業スポーツ家 (個人に教授するものを除く)

536 (専門)	獣医師
537 (専門)	保育士 (保母、保父)
538 (専門)	社会福祉事業専門職員
539 (専門)	個人教師
540 (専門)	不動産鑑定士
541 (専門)	経営コンサルタント
542 (専門)	アナウンサー (ラジオ・テレビ)
543 (専門)	図書館司書
544 (専門)	その他の専門的・技術的職業従事者
545 (管理)	管理的公務員
546 (管理)	国会議員
547 (管理)	地方議員
548 (管理)	会社役員
549 (管理)	その他の法人・団体の役員
550 (管理)	会社・団体等の管理職員
551 (管理)	駅長、区長
552 (管理)	郵便局長、電報・電話局長
553 (管理)	その他の管理的職業従事者
554 (事務)	総務・企画事務員
555 (事務)	受付・案内事務員
556 (事務)	出荷・受荷事務員
557 (事務)	営業・販売事務員
558 (事務)	その他の一般事務員
559 (事務)	会計事務員
560 (事務)	郵便・通信事務員
561 (事務)	集金人
562 (事務)	その他の外勤事務従事者
563 (事務)	運輸事務員
564 (事務)	速記者、タイピスト、キーパンチャー
565 (事務)	電子計算機等操作員
566 (販売)	小売店主
567 (販売)	卸売店主
568 (販売)	飲食店主
569 (販売)	販売店員
570 (販売)	行商人、呼売人、露天商
571 (販売)	再生資源卸売人・回収人
572 (販売)	商品仲立人
573 (販売)	外交員 (保険、不動産を除く)

574 (販売)	保険代理人・外交員
575 (販売)	不動産仲買人・売買人
576 (販売)	質屋店主・店員
577 (販売)	その他の販売類似職業従事者
578 (非熟練)	家政婦、家事サービス職業従事者
579 (熟練)	理容師、美容師
580 (半熟練)	クリーニング職、洗張職
581 (熟練)	料理人
582 (販売)	バーテンダー
583 (販売)	給仕係
584 (販売)	スチュワーデス、スチュワード
585 (販売)	接客社交係
586 (事務)	娯楽場等の接客員
587 (販売)	旅行・観光案内人
588 (販売)	その他の個人サービス職業従事者
589 (販売)	旅館主人・番頭、ホテル支配人
590 (事務)	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母
591 (非熟練)	ファッションモデル
592 (非熟練)	その他のサービス職業従事者
593 (事務)	自衛官
594 (事務)	警察官、海上保安官、鉄道公安員
595 (事務)	消防員
596 (事務)	看守、守衛、監視員
597 (事務)	その他の保安職業従事者
598 (事務)	旧職業軍人
599 (農林)	農耕・養蚕作業者
600 (農林)	植木職、造園師
601 (農林)	畜産作業者
602 (農林)	林業作業者
603 (農林)	その他の農林業作業者
604 (農林)	漁業作業者
605 (農林)	漁船の船長・航海士・機関長・機関士
606 (半熟練)	電車・機関車運転士
607 (半熟練)	自動車運転者
608 (管理)	船長・航海士（漁船を除く）、水先人
609 (専門)	船舶機関長・機関士（漁船を除く）
610 (専門)	航空機操縦士、航空士、航空機関士
611 (半熟練)	車掌

612 (半熟練)	鉄道員
613 (半熟練)	船員
614 (半熟練)	その他の運輸従事者
615 (専門)	無線通信士、無線技術士
616 (事務)	有線通信士
617 (事務)	電話交換手
618 (事務)	郵便・電報外務員
619 (事務)	その他の通信従事者
620 (非熟練)	採鉱員、採炭員
621 (非熟練)	石切出作業者
622 (非熟練)	その他の採掘作業者
623 (熟練)	陶磁器工、絵付作業者
624 (熟練)	石工
625 (半熟練)	ガラス・セメント製品製造作業者
626 (熟練)	その他の窯業・土石製品製造作業者
627 (半熟練)	製鉄工、製鋼工、精錬工
628 (熟練)	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業者
629 (半熟練)	化学製品製造作業者
630 (半熟練)	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者
631 (熟練)	鉄工、板金工
632 (半熟練)	金属溶接工
633 (熟練)	一般機械組立工・修理工
634 (半熟練)	電気機械器具組立工・修理工
635 (熟練)	自動車組立工・整備工
636 (熟練)	鉄道車両組立工・修理工
637 (熟練)	船舶ぎ装工（他に分類されない）
638 (熟練)	航空機組立工・整備工
639 (熟練)	自転車組立工・修理工
640 (熟練)	その他の輸送機械組立・修理作業者
641 (熟練)	時計組立工・修理工
642 (熟練)	光学機械・精密機械器具組立工・修理工
643 (熟練)	精穀工、製粉工
644 (熟練)	パン・菓子・めん類・豆腐製造工
645 (半熟練)	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業者
646 (半熟練)	たばこ製造工
647 (熟練)	酒類製造工
648 (半熟練)	製糸作業者
649 (半熟練)	織布工、紡織作業者

650 (半熟練)	漂白工、染色工
651 (熟練)	洋服・和服仕立職
652 (半熟練)	縫製工、裁断工
653 (半熟練)	製材工、木工
654 (熟練)	指物職、家具職、建具職
655 (熟練)	船大工
656 (熟練)	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業
657 (半熟練)	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業
658 (熟練)	印刷・製本作業
659 (半熟練)	ゴム・プラスチック製品製造作業
660 (熟練)	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業
661 (熟練)	塗装工、画工、看板工
662 (熟練)	漆塗師、まき絵師
663 (熟練)	表具師、内張工
664 (熟練)	和がさ・ちょうちん・うちわ職
665 (熟練)	貴金属・宝石・甲・角等細工工
666 (熟練)	印判師
667 (半熟練)	洋傘組立工
668 (熟練)	かばん・袋物製造工
669 (半熟練)	がん具製造工
670 (熟練)	製図工、現図工
671 (熟練)	映写技士
672 (半熟練)	その他の技能工・生産工程作業
673 (熟練)	汽かん士、汽かん火夫
674 (熟練)	起重機・建設機械運転作業
675 (熟練)	その他の定置機関運転作業
676 (半熟練)	発電員、変電員
677 (熟練)	電気工事・電話工事作業
678 (熟練)	土木・建築請負師
679 (熟練)	左官、とび職
680 (熟練)	れんが積工、配管工
681 (熟練)	畳職
682 (非熟練)	土工、道路工夫
683 (非熟練)	鉄道線路工夫
684 (熟練)	現場監督、その他の建設作業
685 (非熟練)	倉庫夫、仲仕
686 (非熟練)	運搬労務者
687 (非熟練)	清掃員

688 (非熟練)	その他の労務作業者
689 (分類不能)	分類不能の職業
690 (分類不能)	旧地主
691 (分類不能)	名目上の役員
701 (事務)	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー
702 (分類不能)	大工
703 (専門)	教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合
704 (分類不能)	製品製造作業者：(特に父職で) 作っている製品が明記されていない場合
705 (分類不能)	会社員：(特に父職で) 記入が「会社員」とあった場合
707 (分類不能)	自営業：(特に父職で) 記入が「自営業」とあった場合
986 (分類不能)	無職
987 (分類不能)	兵役
998 (非該当)	非該当
999 (無回答)	不明、無回答

※括弧内の分類は、JGSS 累積データ 2000-2003 コードブック内で、基礎集計を示すにあたって便宜的に用いた分類カテゴリーの割り当てであり、参考までに記した。

職業の職種分類コードについては、『SSM 産業分類・職業分類 (95 年版)』(1995 年 SSM 調査研究会)における 1995 年 SSM 分類を参考に、自由記述の内容にアフターコードを割り当てている。1995 年 SSM 分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。JGSS 分類と SSM 分類との相違点は、以下のとおりである。

SSM 分類と内容が若干異なるコード

511	助産師 (助産婦)
512	保健師 (保健婦)
514	看護師 (看護婦、看護師)
537	保育士 (保母、保父)
578	家政婦、家事サービス職業従事者

SSM 分類にはないコード

701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー：「559 会計事務員」から分離
702	大工：「679 大工・左官、とび職」から分離
703	教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合に用いた
704	製品製造作業者：(特に父職で) 作っている製品が明記されていない場合に用いた
705	会社員：(特に父職で) 記入が「会社員」とあった場合
707	自営業：(特に父職で) 記入が「自営業」とあった場合

SSM 分類には存在するが、JGSS にはあてはまらないので含まれないコード

988	大学生、短大生
989	大学院生
990	その他の生徒・学生

また、職業・産業自動コーディングシステムの開発にご尽力いただいた下記の研究者にも、謝意を表したい（所属は 2005 年 3 月現在）。

高橋 和子（敬愛大学国際学部 助教授）

奥村 学（東京工業大学精密工学研究所 助教授）

高村 大也（東京工業大学精密工学研究所 助手）

須山 敦（東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士 2 年）

村山 紀文（東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士 2 年）

III. 4 GSS・世論調査と JGSS-2005 調査項目（面接調査票）の対応表

- 注：1）GSS ならびに各種世論調査における調査項目と設問文や選択肢が完全に一致する場合だけでなく、類似しているケースも含まれている。
- 2）GSS は 1972 年から 2004 年までの調査、世論調査は日本において比較的最近行なわれたものについて検討している。
- 3）世論調査…※：主として基本的な属性で、世論調査以外の官庁統計（個人調査だけでなく制度調査を含む）などに対応する設問があるものを意味する。（例えば、就業構造基本統計調査、労働組合基礎調査、賃金労働制度等調査など）

質問番号	質問概要	JGSS 変数名	GSS 変数名	最近の世論調査など
冒頭	調査年度別識別番号	IDUSE	ID	
	地域ブロック	BLOCK	REGION	※
	都道府県名	PREF		※
	市郡規模	SIZE	SIZE SRCBELT XNORCSIZ	※
	性別	SEXA	SEX	※
	生年	DOBYEAR	COHORT	※
	年齢	AGEB	AGE	※
	配偶者（DOMARRY の転記）	MARC	MARITAL	※
	面接完了日	DATE	DATEINTV	
	面接完了日：月	MONTH		
	面接完了日：日	DAY		
	留置回収完了日	DATEB		
	留置回収完了日：月	MONTHB		
	留置回収完了日：日	DAYB		
問 1-1	先週の就労経験	XJOB1WK	WORKNOW WRKSTAT	※
問 1-2	不就労の理由	TP5UNEMP	WRKSTAT	※
問 1-3	就労経験	XWORK	NEVERWK EVJOB	
問 1-4	離職理由	XXSTPJB	WHYJBEND	※
問 2-1	就労日数／週	XJOBDWK		※
	就労時間数／週	XJOBHWK	HRS1 HRS2 (WORKWEEK)	※
	残業時間数／週	XOTHWK		※
問 2-2	就労曜日：月	DOWKMON	WORKDY	
	就労曜日：火	DOWKTUE	WORKDY	
	就労曜日：水	DOWKWED	WORKDY	
	就労曜日：木	DOWKTHU	WORKDY	
	就労曜日：金	DOWKFRI	WORKDY	
	就労曜日：土	DOWKSAT	WORKDY	
	就労曜日：日	DOWKSUN	WORKDY	
	就労曜日：週によってまちまち	DOWKVAR	WORKDY	
問 2-3	連休の回数／年	FQWKOFF	ABSENT	2003 内閣府「自由時間と観光に関する世論調査」
問 3-1	通勤の有無	DOCMT	COMMUTE PLACEWRK	
	通勤時間：時間	SZCMTHR	COMMUTE	1993 生命保険文化センター「就労意識に関する調査」
	通勤時間：分	SZCMTMIN	COMMUTE	2004 内閣府「住宅に関する世論調査」
	通勤時間：合計	SZCMTTTL	COMMUTE	2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
問 3-2	通勤手段：徒歩のみ	CMTWALK		1992 連合総合生活開発研究所「労働時間制度調査」
	通勤手段：自転車	CMTBCYL		1994 連合総合生活開発研究所「大都市圏通勤者の通勤事情調査」
	通勤手段：バイク	CMTMCYL		
	通勤手段：バス	CMTBUS		

問 3-2	通勤手段：電車	CMTTRAIN		
	通勤手段：自動車	CMTCAR		
	通勤手段：船	CMTBOAT		
	通勤手段：その他	CMTETC		
問 4	事業所形態	TP4WPLA	NUMSITES PARTORG TYPEORG WRKGOVT	※
問 5-1	就労地位	TP12JOB	EMPLOYER WRKSFLF WKFAMBIZ WRKTYPE	※
問 5-2	業種	XXWPL	INDUS80 INDUSTRY	※
問 5-3	職種	XXJOB	ISCO68 ISCO681 ISCO88 OCC OCC80 PRESTG80 PRESTIGE	※
問 6	企業規模	SZTTLSTA	ORGSIZE TOTALNUM	※
問 7	就労年数	XJOBYR	EMPYEARS JOBYEAS OTHYRS YEARSJOB	※
問 8	本人年収	SZINCOMX	REALRINC RINCOM77 RINCOM82 RINCOM86 RINCOM91 RINCOM98 RINCOME	※
問 9	部下の有無	DOSTAFF	OFFSUP SUPERVIS WKSUP	
問 10-1	労働組合の有無	DOUNION		※
問 10-2	労働組合加入の有無	JOINUNI	MEMUNION UNION	※
問 11	現在の仕事の満足度	ST5JOB	JOBSAT SATJOB SATJOB7 SATJOB1	※
問 12-1	働き方の意向：労働条件に不満	WLWKCND		2004.10 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート調査」
問 12-2	働き方の意向：経営に不安	WLWKMNG		2004.10 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート調査」
問 13	現在の会社・組織での就労継続意向	WLKEEPJA	CHNGEORG LEAVEJOB TRYNEWJB	※
問 14	失業の可能性	OP4UNEMP	JOBLOSE WORRYJOB	1999 NHK「不況と国民の生活実感調査」 2004 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」
問 15	再就労の容易さ	OP3NEWJB	JOBFIND JOBFIND1	1999 日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」 2003 日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」 2004 日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」 2004.10 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート調査」
問 16-1	副業の有無	XSJB1WK	MOONLITE SECONDWK	※

問 16-2	副業就労時間数／週	SZSJ BHWK	OTH HRS	※
問 17	求職の有無（全員）	DOLOOKJB	LOOKJOB	※
問 18-1 1	現在の収入源：自分の収入（全員）	INCSELF		
問 18-1 2	現在の収入源：配偶者の収入（全員）	INCSP		
問 18-1 3	現在の収入源：親の収入（全員）	INCPAR		
問 18-1 4	現在の収入源：他の家族の収入（全員）	INCFAM		
問 18-1 5	現在の収入源：年金（全員）	INCPEN		
問 18-1 6	現在の収入源：失業保険（全員）	INCUEB		
問 18-1 7	現在の収入源：貯蓄（全員）	INCSAVE		
問 18-1 8	現在の収入源：社会福祉（全員）	INCSOC		
問 18-1 9	現在の収入源：不定期的な仕事（全員）	INCIRR		
問 18-1 10	現在の収入源：その他（全員）	INCOTHER		
問 18-1 11	現在の収入源：わからない（全員）	INCNOKN		
問 18-2	現在の収入源：中心となるもの（全員）	INCMAN	ECONSUF	※
問 19	転職・勤続への意見	OPCNGJB		2003.9 統数研「日本人の国民性」第 11 次全国調査 2004.8 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」
問 20	自分の位置する階層	OP10LVL	RANK FAMRNK	1995.10 「社会階層と社会移動（SSM）調査」 1999 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『社会的な不平等』」（小野寺典子「社会に対する強い不公平感」NHK 放送文化研究所『放送研究と調査』00.10） 1999 総理府「国民生活に関する世論調査」 1999 経済企画庁「国民生活選好度調査」 1999 読売新聞社「読売全国世論調査」 1999 山形県広報室「山形県政世論調査」 1999 埼玉県総務部「埼玉県政世論調査」 1999 東京都多摩市「多摩市政世論調査」 2001 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2002 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2002 愛媛県「県民生活に関する世論調査」 2003 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2004 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2004 埼玉県総務部「埼玉県政世論調査」 2004 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」 2004 読売新聞社「読売全国世論調査」 2005 内閣府「国民生活に関する世論調査」
問 21	結婚状況	DOMARRY	MARITAL POSSLQ	※
問 22-1	先週の就労経験（配偶者）	SSJB1WK	SPWRKSTA	※
問 22-2	就労日数／週（配偶者）	SSJBDWK		※
	就労時間数／週（配偶者）	SSJBHRWK	SPHRS1 SPHRS2	※
問 22-3	就労地位（配偶者）	SSTP12JB	SPWRKSLF	※
問 22-4	業種（配偶者）	SSXXHQX	SPIND80 SPIND	※
問 22-5	職種（配偶者）	SSXXJOB	SPISC681 SPISCO68 SPISCO88 SPOCC SPOCC80 SPPRES SPPRES80	※

問 22-6	企業規模（配偶者）	SSSZSTFA	SPLOCNUM	※	
問 22-7	年収（配偶者）	SSSZINCM		※	
問 23-1	配偶者の年齢	SPAGEX	SPYRBORN		
問 23-2	配偶者との同居	SPLVTG			
問 24-1	父親：同居・生死	PPLVTG	PALIVE PALIVE1		
	母親：同居・生死	MMLVTG	MALIVE MALIVE1		
問 24-2	父親：年齢	PPAGE	PAYRBORN		
	母親：年齢	MMAGE	MAYRBORN		
問 25-1	子どもの人数	CCNUMTTL	CHILDS		
問 25-2	子ども[01-08]：同居・生死	CC01LVTG -CC08LVTG	KDALIVE1- KDALIVE9	※	
	子ども[01-08]：性別	CC01SEX -CC08SEX	KDSEX1- KDSEX9	※	
	子ども[01-08]：年齢	CC01AGE -CC08AGE	KDYRBRN1 -KDYRBRN9	※	
問 26-1	その他の家族の人数	SZFFOTHR			
問 26-2	その他の家族[01-05]：続柄	FFH01REL -FFH05REL	RELATE1 -RELATE14 RELHHD1 -RELHHD14 RELHH1 -RELHH14	※	
	その他の家族[01-05]：性別	FFH01SEX -FFH05SEX	GENDER1 -GENDER14	※	
	その他の家族[01-05]：年齢	FFH01AGE -FFH05AGE	OLD1 -OLD14	※	
問 27	家族人数（本人除く）	SZFFONLY			
	家族人数（本人含む）	SZFFTTL	HOMPOP	※	
問 28-1	一時的な別居家族の人数	SZFFOUT			
問 28-2	一時的な別居家族[01-06]：続柄	FFO01REL -FFO06REL	RELATE1 -RELATE14 RELHHD1 -RELHHD14 RELHH1 -RELHH14	※	
	一時的な別居家族[01-06]：別居理由	FFO01WHY -FFO06WHY	WHERE1 -WHERE14		
問 29	世帯主	FFHEAD	RPLACE	※	
問 30	世帯年収	SZHSINCM	INCOME INCOME72 INCOME77 INCOME82 INCOME86 INCOME91 INCOME98 REALINC	※	
問 31-1	自動車の所持	DOCAR		1999.6 2003.3	国土交通省自動車交通局「わが国の自動車保有動向」 日本自動車工業会「小型・軽トラック市場動向調査」
問 31-2 1	自動車の種類：普通乗用車	TPCARSTD			
問 31-2 2	自動車の種類：大型乗用車	TPCARLG			
問 31-2 3	自動車の種類：軽自動車・軽トラック	TPCARSM		2003.3	日本自動車工業会「普通トラック市場動向調査」
問 31-2 4	自動車の種類：普通トラック	TPCARTK		2003.3	日本自動車工業会「普通トラック市場動向調査」
問 31-2 5	自動車の種類：その他	TPCAROTH			
問 31-3 A	自動車の負担感：ガソリン代	EXCARGAS			
問 31-3 B	自動車の負担感：保険料・税金	EXCARINS			
問 31-3 C	自動車の負担感：購入代金・ローン	EXCARBUY			
問 31-3 D	自動車の負担感：修理・車検	EXCARFIX			
問 31-3 E	自動車の負担感：駐車場の賃貸料	EXCARPRK			

問 32-1	15 歳の頃の居住地（本人）： 都道府県名	PREF15	REG16	
問 32-2	15 歳の頃の居住地（本人）	TP5LOC15	RES16	
問 32-3	15 歳の頃の居住地（本人）： 農山村地域	REMOTE15	RES16	
問 33-1	15 歳の頃の父：就労地位	PPJBTP15	PASLF PAWRKSLF	
問 33-2	15 歳の頃の父：職種	PPJBXX15	PAJOB PAOCC16 PAOCC80 PAPRES16 PAPRES80	
問 33-3	15 歳の頃の父：企業規模	PPJBSZ15		
問 34	15 歳の頃の母：就労地位	MMJBTP15	MAOCC80 MAPRES80 MAWK16 MAWRKSLF	
問 35-1	兄弟姉妹人数（兄）	XNUMBROE	BRONUM SIBORDER (SIBS)	※
	兄弟姉妹人数（姉）	XNUMSISE	SIBORDER SISNUM (SIBS)	※
	兄弟姉妹人数（弟）	XNUMBROY	BRONUM SIBORDER (SIBS)	※
	兄弟姉妹人数（妹）	XNUMSISY	SISNUM SIBORDER (SIBS)	※
問 35-2	配偶者の兄弟姉妹人数（兄）	XSSNBROE	(SPSIBS)	
	配偶者の兄弟姉妹人数（姉）	XSSNSISE	(SPSIBS)	
	配偶者の兄弟姉妹人数（弟）	XSSNBROY	(SPSIBS)	
	配偶者の兄弟姉妹人数（妹）	XSSNSISY	(SPSIBS)	
問 36	最終学校（本人）	XXLSTSCH	DEGREE EDUC	※
	最終学校（配偶者）	SSLSTSCH	SPDEG SPEDUC	※
	最終学校（父親）	PPLSTSCH	PADEG PAEDUC	※
	最終学校（母親）	MMLSTSCH	MADEG MAEDUC	※
問 37	最終学校の卒業・中退（本人）	DOLSTSCH	EDUC DEGREE	※
問 38-1	初職の就労時期	XGETJOB	NEVERWK	
問 38-2	初職の就労地位	TP12FSTJ	FIRSTSLF WRKSLFST	
問 38-3	初職の業種	XXFSTWP	INDFIRST	
問 38-4	初職の職種	XXFSTJB	FIRSTJOB OCCFIRST PRESFRST	
問 38-5	初職の企業規模	SZSTFFST		
F1	調査員への質問：回答者の協 力度	COOP	COOP COOP2	
F2	調査員への質問：回答者の理 解度	USTAND	COMPREND	
F5	調査員への質問：回答者の居 住地域	AREA	COMTYPE	1997.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」
F6	調査手順（留置／面接の順 序）	PROC		
F7	調査所要時間（分）	DURATION		

(前田 幸男・三輪 哲)

III. 5 GSS・世論調査と JGSS-2005 調査項目（留置調査票）の対応表

注：1）GSS ならびに各種世論調査における調査項目と設問文や選択肢が完全に一致する場合だけでなく、類似しているケースも含まれている。

2）GSS は 1972 年から 2004 年までの調査、世論調査は日本において比較的最近行なわれたものについて検討している。

質問番号	質問概要	JGSS 変数名	GSS 変数名	最近の世論調査など
Q1	テレビ視聴時間	HRTV	TVHOURS	2000.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」(NHK 放送文化研究所編『日本人の生活時間 2000』02) 2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査(上村修一・井田美恵子「携帯電話とインターネットの利用状況」『放送研究と調査』01.8) 2002.1 NHK 放送文化研究所「家族の中のテレビ 2002 調査」(白石信子・井田美恵子「テレビの家族視聴の実態」『放送研究と調査』02.8) 2002.10 NHK 放送文化研究所「テレビ 50 年調査」(白石信子・井田美恵子「浸透した『現代的なテレビの見方』」『放送研究と調査』03.5) 2002.11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2004.11 NHK 放送文化研究所「全国個人視聴率調査」(視聴率グループ「テレビ・ラジオの視聴の現状」『放送研究と調査』05.2) 2005.4 NHK 放送文化研究所「全国個人視聴率調査の結果」(視聴率調査グループ『放送研究と調査』05.6) 2005.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」(吉田理恵・中野佐和子・渡辺洋子「日本人の生活時間・2005」『放送研究と調査』06.4) 2005.11 NHK 放送文化研究所「全国個人視聴率調査」(視聴率グループ「テレビ・ラジオ視聴の現状」『放送研究と調査』06.2)
Q2	1 ヶ月の読書冊数	FQ5READ		2000.1 読売新聞「読書」(『日本の世論』) 2000.10 NHK「国民生活時間調査」 2004.9 毎日新聞「読書世論調査」第 58 回調査(毎日新聞 04.10.26)
Q3	新聞を読む頻度	FQ5NEWSP	NEWS	2000.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2001.9 読売新聞「メディア」(読売新聞社世論調査部『日本の世論』02) 2003.2 朝日新聞「新聞読者基本調査」(高山雄二「新聞読者基本調査に見る新聞の読まれ方」『朝日総研レポート』04.6) 2005.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」

Q4	購読新聞：朝日 購読新聞：産経 購読新聞：日経 購読新聞：毎日 購読新聞：読売 購読新聞：サンケイスポーツ 購読新聞：スポーツニッポン 購読新聞：デイリースポーツ 購読新聞：日刊スポーツ 購読新聞：報知 購読新聞：北海道新聞 購読新聞：東京新聞 購読新聞：中日新聞 購読新聞：西日本新聞 購読新聞：Japan Times 購読新聞：日刊ゲンダイ 購読新聞：夕刊フジ 購読新聞：赤旗 購読新聞：聖教新聞 購読新聞：その他 購読新聞：ない 購読新聞：その他：具体的記述（1 番目） 購読新聞：その他：具体的記述（2 番目）	NPASAH NPSANKEI NPNIKKEI NPMANI NPYOMIUR NPSANSP NPSNP NPDAYSP NPNIKSP NPHOUCHI NPHOKKAI NPTOKYO NPCHUNI NPWESTJP NPJAPAN NPGENDAI NPFUJI NPAKAHAT NPSEIKYO NPETC NPNONE NPETCX1 NPETCX2		1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャル・ネットワークと投票行動調査」 2001- 池田謙一ほか 文部科学省科学研究費特別推進研究「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2006
Q5 1	利用通信媒体：パソコン（職場）	DOCOMPJ	COMPUSE COMPWORK	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2 回調査 2001.3 NHK「メディアと生活」調査 2001.9 読売新聞「メディア」（『日本の世論』） 2001.10 NHK「IT 時代の生活時間調査」（三矢恵子他「広がるインターネットしかしテレビとは大差」『放送研究と調査』02.4） 2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2001.11 読売新聞「IT」（『日本の世論』） 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」
Q5 2	利用通信媒体：パソコン（自宅）	DOCOMP	COMPUSE USEHOME	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2 回調査 2001.3 NHK「メディアと生活」調査 2001.6 NHK「景気と暮らしの実感調査」 2001.8 内閣府国民生活局「IT による家族への影響実態調査」（内閣府『国民生活選好度調査』02） 2001.9 読売新聞「メディア」（『日本の世論』） 2001.10 NHK「IT 時代の生活時間調査」 2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2001.11 読売新聞「IT」（『日本の世論』） 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」

Q5 3	利用通信媒体：携帯電話または PHS	DOPHS		2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.3 NHK「メディアと生活」調査 2001.3 野村総研「情報通信利用者動向調査」(『[統] 変わりゆく日本人』に引用) 2001.6 NHK「景気と暮らしの実感調査」 2001.8 内閣府国民生活局「IT による家族への影響実態調査」 2001.10 NHK「IT 時代の生活時間調査」 2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2001.11 読売新聞「IT」(『日本の世論』) 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.10 全国消費者協会連合会「携帯電話についての調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.1 朝日新聞「携帯・インターネット・少子化」(湯澤雄「進む IT 社会『犯罪引き起こす』と不安も」『朝日総研リポート』04.12) 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2004.12 時事通信社「時事世論調査」 2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
Q5 4	利用通信媒体：ファックス	DOFAX		2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2001.11 読売新聞「IT」(『日本の世論』) 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」
Q5 5	利用通信媒体：いずれも利用していない	DONONEX		
Q6	電子メールの利用	DOEMAIL	EMAILHR EMAILMIN EMGET EMMINO EMHRO EMHRW EMMINH EMHRH EMMINW EMSENT	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.3 NHK「メディアと生活」調査 2001.6 NHK「景気と暮らしの実感調査」 2001.8 内閣府国民生活局「IT による家族への影響実態調査」 2001.10 NHK「IT 時代の生活時間調査」 2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.4 時事通信社「時事世論調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」 2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2005.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
Q7 1	インターネットの利用：情報検索	DOINBRS	ARTINFO ARTMUS1 CANINF1-14 COOK30 FIN30 GOVT30 HEALTH12 HLTHWWW JOBONWWW LITSITE LOCATE12 MUSICINF NEWJOB12 POL30 POLINF12 POLWWW SRCHENG WORK12	2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2005.3 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ・2005 調査」(原美和子・照井大輔「インターネット利用者の拡大とテレビ視聴」『放送研究と調査』06.3) 2005.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2005.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」

Q7 2	インターネットの利用：ショッピング	DOINSHOP	BUYINF12 BUYIT12 ECOMMINH ECOMHRH ECOMMINW ECOMHRW ECOMMINO ECOMHRO	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.3 NHK「メディアと生活」調査 2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.4 時事通信社「時事世論調査」 2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
Q7 3	インターネットの利用：バンキング	DOINBANK	ECOMHRH ECOMHRO ECOMHRW ECOMMINH ECOMMINO ECOMMINW HMEFIN12	2001.3 野村総研「情報通信利用者動向調査」(『[統] 変わりゆく日本人』に引用) 2001.6 NHK「景気と暮らしの実感調査」 2001.8 内閣府国民生活局「IT による家族への影響実態調査」 2001.9 読売新聞「メディア」(『日本の世論』) 2001.10 NHK「IT 時代の生活時間調査」 2001.11 読売新聞「IT」(『日本の世論』) 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.4 時事通信社「時事世論調査」 2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2005.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」
Q7 4	インターネットの利用：ホームページの作成	DOINHPP		2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.4 時事通信社「時事世論調査」 2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」
Q7 5	インターネットの利用：いづれも行っていない	DOINNONE	INTACSS WWWHRH WWWHRO WWWHRW WWWMINH WWWMINO WWWMINW	
Q8 A	家族そろった夕食：頻度	FQ7FFDNR		1999.7 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」
Q8 B	友人との会食：頻度	FQ7FRSEE	BSTVISIT FRIVISIT SOCFRIEND	
Q8 C	夕食の用意：頻度（本人）	FQ7CKDNR	COOKING1 HWDUTIES RHHWORK	2002.11 NHK「家庭と男女の役割に関する調査」 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(『月刊世論調査』05.5)
Q8 D	洗濯：頻度（本人）	FQ7WASH	HWDUTIES LAUNDRY1 RHHWORK	2002.6 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2002.11 NHK「家庭と男女の役割に関する調査」
Q8 E	買い物：頻度（本人）	FQ7SHOP	HWDUTIES RHHWORK	2002.11 NHK「家庭と男女の役割に関する調査」
Q8 F	家の掃除：頻度（本人）	FQ7CLEAN	CLEAN1 HWDUTIES RHHWORK	2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
Q8 G	ゴミ出し：頻度（本人）	FQ7GARB	HWDUTIES RHHWORK	
Q9 A	娯楽の頻度：ドライブ	FQ4DRIVE		2006.2 社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参力の実態調査」(『レジャー白書』06)

Q9 B	娯楽の頻度：カラオケ	FQ4KARA		2000.4 2002.12 2006.2	野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 自由時間デザイン協会「余暇活動に関する調査」 社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参力の実態調査」
Q9 C	娯楽の頻度：映画鑑賞	FQ4MOVIE	SEEFILM SEEMOVIE	2006.2	社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参力の実態調査」
Q9 D	娯楽の頻度：音楽鑑賞	FQ4MUSIC	GOMUSIC MUSICDIF MUSICLKE MUSICNEW POPMUSIC WWWCLASS WWWCNTRY WWWGTHIC WWWJAZZ WWWOLDIE WWWRAP WWWRELIG WWWROCK WWWORLD	2006.2	社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参力の実態調査」
Q9 E	娯楽の頻度：テレビゲーム	FQ4GAME	GAME12 GAMES30 GAMEGN	2006.2	社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参力の実態調査」
Q9 F	娯楽の頻度：園芸・庭いじり	FQ4GREEN	GARDEN		
Q9 G	娯楽の頻度：将棋・囲碁	FQ4SHGIG		2002.12 2006.2	自由時間デザイン協会「余暇活動に関する調査」(『レジャー白書』03) 社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参力の実態調査」
Q9 H	娯楽の頻度：宝くじ	FQ4LOTTO		2006.2	社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参力の実態調査」
Q9 I	娯楽の頻度：パチンコ・パチスロ	FQ4PACHI		2006.2	社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参力の実態調査」
Q10-1	定期的に行なうスポーツ：頻度	FQSPORT	DOSPORTS GRPSPORT	2003.9 2004.2	朝日新聞「スポーツ」(『朝日総研』03.12) 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」(『月間世論調査』04.8)
Q10-2	スポーツの種類(具体的記述)	XXSPORT		2003.9 2004.2	朝日新聞「スポーツ」(『朝日総研』03.12) 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」(『月間世論調査』04.8)
Q11-1	組織への所属：趣味の会	MEMHOBBY	GRPSPORT MEMHOBBY MEMLIT	2000.7	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
Q11-2	組織への所属：趣味の会(具体的記述)	XXMEMHOB			
Q12	1泊以上の旅行頻度	FQ5TRIP		2003.8	内閣府「自由時間と観光に関する世論調査」
Q13-1	自動車免許の所持	DOCLCNS			
Q13-2 A	自動車の用途：通勤・通学	USCARCMT		2003.3	日本自動車工業会「小型・軽トラック市場動向調査」
Q13-2 B	自動車の用途：送り迎え	USCARTFF			
Q13-2 C	自動車の用途：買物・用事	USCARSHP			
Q13-2 D	自動車の用途：仕事	USCARWK			
Q13-2 E	自動車の用途：レジャー	USCARLSR			
Q14 A	自動車への意見：日常生活に支障	OPCARDLF			
Q14 B	自動車への意見：行動範囲が狭くなる	OPCARFLD			
Q14 C	自動車への意見：ドライブの楽しみ	OPCARDRV			

Q14 D	自動車への意見：費用が高すぎる	OPCARCST		
Q14 E	自動車への意見：事故を起こしやすい	OPCARACC		
Q14 F	自動車への意見：環境汚染が心配	OPCARECO		2003.3 日本自動車工業会「小型・軽トラック市場動向調査」
Q15 A	生活満足度：居住地域	ST5AREAY	SATCITY	2001.6 内閣府「国土の将来像に関する世論調査」(『月刊世論調査』02.2) 2002.10 内閣府「国民生活選好度調査」 2003.6 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」第7回調査(NHK 放送研究所編『現代日本人の意識構造』第6版 04) 2004.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2004.6 内閣府政府広報室「社会資本の整備に関する世論調査」(『月刊世論調査』04.10)
Q15 B	生活満足度：余暇利用	ST5LEISY	SATHOBBY	2000.6 読売新聞「余暇・レジャー」(『日本の世論』) 2003.8 内閣府「自由時間と観光に関する世論調査」(『月間世論調査』04.2) 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2004.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
Q15 C	生活満足度：家庭生活	ST5LIFEY	SATFAM SATFAM7	2001.1 読売新聞「家族像」(『日本の世論』) 2002.10 内閣府「国民生活選好度調査」 2002.11 NHK 放送文化研究所「家庭と男女の役割に関する調査」(小林利行「意識の変化に見る『少子化の構図』」『放送研究と調査』03.4) 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査
Q15 D	生活満足度：家計状態	ST5ECNY	SATFIN	2002.10 内閣府「国民生活選好度調査」 2004.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
Q15 E	生活満足度：友人関係	ST5FRIY	SATFRND	2003 NHK「日本人の意識」第7回調査
Q15 F	生活満足度：健康状態	ST5HLTHY	SATHEALT	2002.10 内閣府「国民生活選好度調査」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査
Q15 G	生活満足度：配偶者との関係	ST5SSREL		
Q16	健康状態(本人)	OP5HLTHZ	HEALTH HEALTH1	2000.2 総理府「生活習慣病に関する世論調査」(『月刊世論調査』00.10) 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2004.2 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」(『月刊世論調査』04.8)
Q17-1 1	症状の有無：アトピー性皮膚炎(本人)	HAATOPI		2003.6 厚生労働省「平成15年保健福祉動向調査」
Q17-1 2	症状の有無：花粉症(本人)	HAKAFUN		1998 馬場廣太郎「全国耳鼻科医家族調査」 2001.4-7 日本アレルギー協会「全国疫学調査」 2003.6 厚生労働省「平成15年保健福祉動向調査」 2005.2 朝日新聞「定例RDD調査「花粉症」」(中村純「花粉症は『国民病』。小泉政権『完投』期待増のナゾ」『朝日総研レポート』05.3)
Q17-1 3	症状の有無：ぜんそく(本人)	HAZENSOK		2003.6 厚生労働省「平成15年保健福祉動向調査」 2005 厚生労働省免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「気管支喘息の有病率・罹患率およびQOLに関する全年齢階級別全国調査に関する研究」
Q17-1 4	症状の有無：食物アレルギー(本人)	HAFOOD		1997 日本薬剤師会「食物アレルギーに関する調査」
Q17-1 5	症状の有無：いずれもない(本人)	HANONE		2003.4-5 日本能率協会総合研究所「アレルギー性疾患に関する構造基本調査」
Q17-2 1	症状の有無：アトピー性皮膚炎(同居家族)	FAATOPI		1992 厚生省アレルギー総合研究事業「アレルギー疾患全国調査」 -1994 2000.9 日本小児保健協会「平成12年度幼児健康度調査」 2000 厚生省免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「アトピー性皮膚炎の診断のための質問票」 -2002

Q17-2 2	症状の有無：花粉症（同居家族）	FAKAFUN		1992 -1994 1992 -1995 2006.3	厚生省アレルギー総合研究事業「アレルギー疾患全国調査」 環境庁「窒素酸化物等健康影響継続観察調査」 ロート製薬「子どもの花粉症調査」
Q17-2 3	症状の有無：ぜんそく（同居家族）	FAZENSOK		1967 -2005 1992 -1994 1992 -1995 2000.9 1996 -2002 2005	文部科学省「学校保健統計調査」 厚生省アレルギー総合研究事業「アレルギー疾患全国調査」 環境庁「窒素酸化物等健康影響継続観察調査」 日本小児保健協会「平成12年度幼児健康度調査」 環境省「平成8-14年度環境保健サーベイランス調査」 厚生労働省免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「気管支喘息の有病率・罹患率およびQOLに関する全年齢階級別全国調査に関する研究」
Q17-2 4	症状の有無：食物アレルギー（同居家族）	FAFOOD		1992 1992 -1994 1994 1996 1997 1998 2000 2002.1	日本学校保健会「児童生徒の健康状態サーベイランス調査」 厚生省アレルギー総合研究事業「アレルギー疾患全国調査」 日本学校保健会「児童生徒の健康状態サーベイランス調査」 日本学校保健会「児童生徒の健康状態サーベイランス調査」 日本薬剤師会「食物アレルギーに関する調査」 日本学校保健会「児童生徒の健康状態サーベイランス調査」 日本学校保健会「児童生徒の健康状態サーベイランス調査」 昭和大学小児科「アレルギー疾患児における食生活の実態調査」
Q17-2 5	症状の有無：いずれもない（同居家族）	FANONE		2003.4-5	日本能率協会総合研究所「アレルギー性疾患に関する構造基本調査」
Q17-2 6	症状の有無：非該当（同居家族はいない）	FANOFF			
Q18-1	喫煙経験	DOSMOKEX	CIGWEEK EVSMOKE SMOKE SMOKECIG	1988.10	総理府「健康と喫煙問題に関する世論調査」（『日本人の酒とたばこ』89）
Q18-2	禁煙努力	XQTSMOKE	QUITSMK	1988.10	総理府「健康と喫煙問題に関する世論調査」
Q19	飲酒頻度	DO7DRINK	DRINK DRINKYR EVDRIK	1987.9	総理府「酒類に関する世論調査」（『日本人の酒とたばこ』89）
Q20	トラウマの回数	XTRAUM5Y	TRAUMA5	1996.7	生保センター「日本人の生活価値観」第4回調査
Q21 1	心の健康の相談相手：家族	WLADFF	BRKDDO1-3 DOWN1-2 DOWN1A-2A MNILDO1-3 PROBHLPI-3 PSYCDRCT PSYCFDOC PSYCPSYC SOLVEOWN SYMPCOUN TREAT5-6 TREAT8-11	1998.6 2004.6	厚生省「国民生活基礎調査（悩みやストレスの相談状況）」 厚生労働省「国民生活基礎調査（悩みやストレスの相談状況）」
Q21 2	心の健康の相談相手：友人・知人・恋人	WLADFRI			
Q21 3	心の健康の相談相手：精神科・心療内科の医師	WLADDDSP			
Q21 4	心の健康の相談相手：その他の医師	WLADDDSP			
Q21 5	心の健康の相談相手：心理学の専門家	WLADPSY			
Q21 6	心の健康の相談相手：宗教家	WLADRLGN			
Q21 7	心の健康の相談相手：その他	WLADOTHR			
Q21 8	心の健康の相談相手：誰にも相談しない	WLADNONE			
Q22-1	カウンセリングの受療経験（本人）	XCOUNSLR	HLTH2 SEENMNTL (RELMHSP1)		

Q22-2	カウンセリングの受療意欲	WLCOUNSL	USEPSYC1-4		
Q23	カウンセリングの受療経験 (家族)	XCOUNSLF	(RELMHSP2) (SEENMNTL)		
Q24	カウンセリングの知識	KWCOUNSL			
Q25	心の教育への意見	OPEDMND			
Q26 A	少年犯罪の原因への意見：心理状態	OPJVMNTL			
Q26 B	少年犯罪の原因への意見：家庭環境	OPJVFF			
Q26 C	少年犯罪の原因への意見：学校での生活環境	OPJVSCHL			
Q26 D	少年犯罪の原因への意見：法律制度	OPJVLAW			
Q26 E	少年犯罪の原因への意見：経済的な格差	OPJVECN			
Q27-1	遺伝子組換え食品の知識	KNOWGMO			
Q27-2 A	遺伝子組換え食品への意見：安全	OPGMSAFE	GENEGEN	2000.7 2003.6	読売新聞社「読売全国世論調査」 東京都世田谷区「世田谷区民意識調査」
Q27-2 B	遺伝子組換え食品への意見：自分にとって有益	OPGMUSER			
Q27-2 C	遺伝子組換え食品への意見：社会にとって有益	OPGMUSES			
Q27-2 D	遺伝子組換え食品への意見：自然なもの	OPGMNTRL			
Q27-2 E	遺伝子組換え食品への意見：食べてもよい	OPGMEAT		1997.4	読売新聞社「読売全国世論調査」
Q27-2 F	遺伝子組換え食品への意見：社会への普及	OPGMSPRD			
Q27-2 G	遺伝子組換え食品への意見：どのようなものがあるか	OPGMWHAT			
Q27-2 H	遺伝子組換え食品への意見：どのようにしてできるか	OPGMHOW			
Q27-3	思い浮かぶ遺伝子組換え食品の有無	KWGMCONC			
Q27-4	思い浮かぶ遺伝子組換え食品の個数	NGMCONC			
	遺伝子組換え食品：大豆（大豆加工食品）	GMCONC1			
	遺伝子組換え食品：とうもろこし	GMCONC2			
	遺伝子組換え食品：じゃがいも	GMCONC3			
	遺伝子組換え食品：米	GMCONC4			
	遺伝子組換え食品：麦	GMCONC5			
	遺伝子組換え食品：トマト	GMCONC6			
	遺伝子組換え食品：豆全般・穀類全般	GMCONC7			
	遺伝子組換え食品：野菜全般・その他の青果	GMCONC8			
	遺伝子組換え食品：青果以外	GMCONC9			
Q28-1	居住形態：持ち家	OWNHOUSE	DWELOWN	2001	内閣府「循環型社会の形成に関する調査」
Q28-2	居住形態：一戸建て	TPHOUSE	DWELLING	2001	内閣府「国民生活に関する世論調査」
				2002	内閣府「国民生活に関する世論調査」
				2003	内閣府「国民生活に関する世論調査」
				2003	内閣府「高齢者介護に関する世論調査」
				2004	内閣府「社会資本の整備に関する世論調査」
				2004	内閣府「国民生活に関する世論調査」
				2004	内閣府「住宅に関する世論調査」
Q29	現在の居住地域への居住年数	XLIVEYR	COMYEAR LIVECOM LIVECOM1 LOCLIVED	1975 1997.4	三宅一郎「地域社会に関する世論調査」 野村総研「生活者一万人アンケート調査」

Q30	現在の居住地域に住み続けたいか	WLLIVE	MOVENEI MOVENOAM MOVESTAT MOVETOWN MOVEUSA	1975 1997.4	三宅一郎「地域社会に関する世論調査」 野村総研「生活者一万人アンケート調査」
Q31	家計状態の変化	OP3ECN3A	FINALTER	2001.4 2002.12 2003.9 2004.6 2004.7	読売新聞「暮らし」（『日本の世論』） 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」（乳井泰彦「日本人の価値観 四半世紀で大きく変化」『朝日総研レポート』03.2） 統計数理研究所「日本人の国民性」第11次全国調査（『国民性の研究 第11次全国調査』統計数理研究所レポート92, 04） 内閣府政府広報室「国民生活に関する世論調査」（『月刊世論調査』04.11） NHK放送文化研究所「景気と暮らしの実感調査」（中瀬剛丸・山内利香「景気回復への期待と将来の不安」『放送研究と調査』04.10）
Q32	世帯収入のレベル	OP5FFINX	FINRELA	1993	統数研「日本人の国民性」第9次全国調査
Q33	15歳の頃の世帯収入レベル	OPFFIX15	INCOM16		
Q34	生活水準向上機会の有無	OP5CHNCA	GOODLIFE	2001.4 2002.10	読売新聞「景気・雇用」（『日本の世論』） 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」
Q35	自分の年金額予想	OP5PENSN	SOCSECRT	1996.7 1998 1999	生保センター「日本人の生活価値観」第4回調査 貯蓄広報中央委員会「貯蓄と消費に関する世論調査」（『国民生活白書』に引用） 経企庁「国民生活選好度調査」
Q36	階層帰属意識	OP5LEVK	CLASS CLASSY FAMRNK	2001.4 2003.6 2003.9 2005.3 2005.12	読売新聞「暮らし」（『日本の世論』） 内閣府「国民生活に関する世論調査」 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 朝日新聞「日・韓・中・国際調査」（『朝日総研レポート』05.6） 朝日新聞「定期国民『生きがい』意識調査（『朝日総研レポート』06.2）
Q37	外国人増加の賛否	QFNRINCR	ETHCHNG LETIN LETIN1 LETINASN LETINEUR LETINHSP	2000.11 2004.5	内閣府「外国人労働者問題に関する世論調査」（『月刊世論調査』01.6） 内閣府「外国人労働者の受入れに関する世論調査」（『月刊世論調査』04.9）
Q38 A	国か個人か：高齢者の生活保障	OP5SRWFY	AIDOLD EQUAL4 KIDPARS	2001.9 2004.1	読売新聞「社会保障」（『日本の世論』） 内閣府「社会意識に関する世論調査」（『月刊世論調査』04.6）
Q38 B	国か個人か：高齢者の医療・介護	OP5SRMDY	EQUAL4 KIDPARS OBTOHELP	2003.7	内閣府「高齢者介護に関する世論調査」（『月間世論調査』04.1）
Q38 C	国か個人か：子どもの教育	OP5CCED	GOVEDOP		
Q38 D	国か個人か：保育・育児	OP5CCARE	AIDKIDS		
Q39	政治意識（保革5段階）	OP5RADCA	POLVIEWS POLVIEWY	2001	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
Q40	所得税の負担感	OP6TAXHI	INCTAX TAX	2001.11	読売新聞「税金」（『日本の世論』）
Q41	安楽死の賛否	QDDKILLA	LETDIE1	2000.7 2001.12 2002.1	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 読売新聞「医療」（『日本の世論』） NHK放送文化研究所「科学技術・生命倫理に関する世論調査」（加藤元宣「最先端の生殖医療“容認”は少数」『放送研究と調査』02.6）
Q42	貧富解消政策への賛否	Q5GVEQAA	EQINCOME EQUALIZE EQWLTH EQWLTHY GOVEQINC HELPPOR		

Q43-1	支持政党	XX8PLPTY	PARTYID	2000 2000 2000 2000 2000.1 2001 -2006 2002 2002 2003 2006.5	朝日新聞社「政治意識に関する世論調査」 読売新聞社「読売全国世論調査」 時事通信社「時事世論調査」 NES2000pre/post JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 池田謙一ほか 文部科学省科学研究費特別推進研究「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 NHK「転換期の政治意識・2002 調査」 NES2002pre/post 池田謙一ほか「アジア・バロメータ」 朝日新聞社「定例 RDD 調査」(『朝日総研リポート』06.7)
Q43-2	好ましい政党	XX9PLPFV		2000 2000.1 2001 -2006 2003	NES2000pre/post JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 池田謙一ほか「アジア・バロメータ」
Q44	自宅周辺の危険な場所の有無	FEARWALK	FEAR	2002.10 2004.1 2004.7	内閣府「国民生活選好調査」 朝日新聞「定期国民意識調査」(永島学「広がる犯罪への不安」『朝日総研リポート』04.4) 内閣府「治安に関する世論調査」(『月刊世論調査』04.12)
Q45	空き巣被害経験	XSTOLN1Y	BURGLR LAW3	2000.9 2004.1 2004.7	内閣府「犯罪被害者に関する世論調査」(『月刊世論調査』01.3) 朝日新聞「定期国民意識調査」 内閣府「治安に関する世論調査」(『月刊世論調査』04.12)
Q46	強盗等の被害経験	XROBBD1Y	LAW1 ROBBRY	2000.9 2004.7	内閣府「犯罪被害者に関する世論調査」 内閣府「治安に関する世論調査」(『月刊世論調査』04.12)
Q47	借金への賛否	Q4DEBT		1999.10 2001.10	金沢大学文学部社会学研究室「文化と社会生活に関する意識調査」 金沢大学文学部社会学研究室「現代社会とライフチャンスに関する意識調査」
Q48 A	クレジットカードへの意見：便利	OPCDUSFL			
Q48 B	クレジットカードへの意見：使いすぎる	OPCDOVER		1999.10 1998.10	金沢大学文学部社会学研究室「文化と社会生活に関する意識調査」 内閣府「消費者問題に関する世論調査」
Q48 C	クレジットカードへの意見：犯罪に利用される	OPCDCRM			
Q48 D	クレジットカードへの意見：宣伝を制限	OPCDCM			
Q49-1	クレジットカードの所有枚数	NUMCARD		1998 -2004	経済企画庁「単身世帯消費動向調査」
Q49-2 A	クレジットカードの用途：日常の買い物	USCDDAY			
Q49-2 B	クレジットカードの用途：高額な買い物	USCDHIGH		1999.10	金沢大学文学部社会学研究室「文化と社会生活に関する意識調査」
Q49-2 C	クレジットカードの用途：外食の代金	USCDEAT			
Q49-2 D	クレジットカードの用途：公共料金・通信費	USCDCHRG			
Q49-3 A	クレジットカードの機能の利用：1 回払い	FNCDONE			
Q49-3 B	クレジットカードの機能の利用：分割払い	FNCINST			
Q49-3 C	クレジットカードの機能の利用：リボ払い	FNCREVO			
Q49-3 D	クレジットカードの機能の利用：キャッシング	FNCDCASH			

Q50 A	消費者金融への意見：便利	OPCSUSFL		
Q50 B	消費者金融への意見：使いすぎる	OPCSOVER		
Q50 C	消費者金融への意見：犯罪に利用される	OPCSCRM		
Q50 D	消費者金融への意見：宣伝を制限	OPCSMCM		
Q51-1	消費者金融の利用回数	NUMCONSF	BORROW1A BORROW2A	
Q51-2 1	消費者金融の利用理由：日常の生活費	USCSDAY		
Q51-2 2	消費者金融の利用理由：医療費	USCSMD		
Q51-2 3	消費者金融の利用理由：教育費	USCSEDU		
Q51-2 4	消費者金融の利用理由：事業資金	USCSBUS		
Q51-2 5	消費者金融の利用理由：交際費	USCSSOC		
Q51-2 6	消費者金融の利用理由：趣味の費用	USCSHOB		
Q51-2 7	消費者金融の利用理由：服飾品の費用	USCSCLTH		
Q51-2 8	消費者金融の利用理由：他の金融機関への支払い	USCSBANK		
Q51-2 9	消費者金融の利用理由：その他	USCSOTHR		
Q52	理想的な子どもの人数（一般論）	APPCCNUM	CHLDIDEL FOURKIDS NOKIDS NUMKIDS ONEKID THREKIDS TWOKIDS	1995.6 総理府「人口問題に関する意識調査」 1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 1997 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 1997.7 厚生労働省「結婚と出生・育児に関する基礎調査」 1998 NHK「日本人の意識」第6回調査 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」（『月刊世論調査』99.10） 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2002 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2002 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 2003.1 内閣府「若年層の意識実態調査」 2003.6 NHK「日本人の意識」第7回調査 2004.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2004.2-3 厚生労働省「少子化に関する意識調査」 2004.4 毎日新聞「人口・家族・世代」第1回調査（「毎日新聞」04.7.27） 2004.10 朝日新聞「携帯電話・インターネット・少子化」定例面接調査（吉田貴文「少子化問題『女性に負担』の構図変わらず」（『朝日総研レポート』04.12） 2005 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 2005.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2006.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」
Q52 S	理想的な子どもの人数：5人以上の場合（具体的記述）	APPCCNMX	CHLDIDEL NUMKIDS	

Q53	希望する子どもの性別	APPCCSXB	(CHLDSEX) (CHLDSEX1)	1995 1997 1998 2000 2002 2003 2005 2005 2006	電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 統数研「日本人の国民性」全国調査 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 統数研「日本人の国民性」全国調査 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」
Q54 A	意見についての賛否：離婚	Q4DIVOK	DIVBEST MARDIV MARNOMAR		
Q54 B	意見についての賛否：妻の仕事	Q4WWJBIA	FEWORK FEWORKIF	1999.7	家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」
Q54 C	意見についての賛否：女性の幸福	Q4WNMGA	FEMARRY	2003.6 2004.11 2004.12	NHK「日本人の意識」第7回調査 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(『月刊世論調査』05.5) NHK「現代日本人のライフスタイル 2004 調査」(加藤元宣・諸藤絵美「幸せになりたいが、ためらう結婚」『放送研究と調査』05.5)
Q54 D	意見についての賛否：男性の家事	Q4MNCOOK	MEHHWORK		
Q54 E	意見についての賛否：性役割分担	Q4WWHHX	FEFAM FEHOME HUBBYWK1 HUBBYWRK MRMOM TRADMOM	2001.1 2002.11 2002.12 2003.6 2004.11	読売新聞「家族像」(『日本の世論』) NHK「家庭と男女と役割に関する調査」 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 NHK「日本人の意識」第7回調査 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
Q54 F	意見についての賛否：男性の幸福	Q4MNMGA	MEMARRY	2003.6 2004.12	NHK「日本人の意識」第7回調査 NHK「現代日本人のライフスタイル 2004」
Q54 G	意見についての賛否：子どもへの影響	Q4JBMMCC	FEPRESCH KIDSUFFR	1994 1999.2	NHK 世論調査部「家庭と仕事についての国際比較調査」 総理府「少子化に関する世論調査」
Q54 H	意見についての賛否：子どもをもつ必要	Q4NOCCMG	IMPKIDS KIDLESS MARKIDS NOKIDS	2001.1 2003.6 2004.4 2004.11 2004.12	読売新聞「家族像」(『日本の世論』) NHK「日本人の意識」第7回調査 毎日新聞「人口・家族・世代」第1回世論調査 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 NHK「現代日本人のライフスタイル 2004」
Q54 I	意見についての賛否：妻は夫の手助け	Q4WWHPHH	FEHELP	1992.11	総理府「男女平等に関する世論調査」
Q55	三世同居観	OP2GNR	AGED	2002.12	朝日新聞「第25回定期国民意識調査」
Q56	人間観（一般）：人は信用できる	OP3TRUST	CANTRUST TRUST TRUSTY	2000.7 2003.9	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(電通総研・日本リサーチセンター『世界60ヵ国価値観データブック』04 同友館) 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査
Q57	人間観（一般）：人間の本性	OP7GDEVO	WORLD4	2000.7 2003.9	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査

Q58-1	定期的ボランティア：経験の有無	XVLREG	VOLART VOLARTS VOLEDUC VOLENVIR VOLFOUND VOLHLTH VOLHUMAN VOLINFRM VOLINTL VOLOTH VOLPOL VOLPUB VOLREC VOLRELIG VOLWKCHR VOLWKOTH VOLWKPOL VOLWKREL VOLWORK VOLYOUTH	1996.10 総務省「社会生活基本調査」 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2000.5 経済企画庁「国民生活選好度調査」 2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2005.12 朝日新聞「定期国民『生きがい』意識調査」
Q58-2	定期的ボランティア：活動量（時間/月）	SZVLREG	HRSART HRSEUC HRSENVIR HRSFOUND HRSHLTH HRSHUMAN HRSINFRM HRSINTL HRSOTH HRSPOL HRSPUB HRSREC HRSRELIG HRSWORK HRSYOUTH VOLCHRTY	2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」
Q58-3 1	定期的ボランティアの内容：環境保護・清掃	XVLRENV		2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」
Q58-3 2	定期的ボランティアの内容：介護・福祉	XVLRWF		
Q58-3 3	定期的ボランティアの内容：文化・芸術	XVLRCUL		
Q58-3 4	定期的ボランティアの内容：教育・技術指導	XVLRTCH		

Q58-3 5	定期的ボランティアの内容： 寄付金集め	XVLRDNT	FEGIVE GAVEPOL GIVART GIVCHRTY GIVEARTS GIVECHNG GIVECONG GIVEDUC GIVEGRP GIVENVIR GIVEOTH GIVEREL GIVFOUND GIVHLTH GIVHMLSS GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH GRNMONEY PARTTHON POLFUNDS RACGIVE TITHING	
Q58-3 6	定期的ボランティアの内容： その他	XVLROTHR		2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」
Q59-1	不定期なボランティア：経験の有無	XVLIRREG	VOLART VOLARTS VOLEDUC VOLENVIR VOLFOUND VOLHLTH VOLHUMAN VOLINFRM VOLINTL VOLOTH VOLPOL VOLPUB VOLREC VOLRELIG VOLWKCHR VOLWKOTH VOLWKPOL VOLWKREL VOLWORK VOLYOUTH	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2000.5 経済企画庁「国民生活選好度調査」 2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」

Q59-2	不定期なボランティア：活動量（合計日数/年）	SZVLIRRG	HRSART HRSEUC HRSENVIR HRSFOUND HRSHLTH HRSHUMAN HRSINFRM HRSINTL HRSOTH HRSPOL HRSPUB HRSREC HRSRELIG HRSWORK HRSYOUTH VOLCHRTY	2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」
Q59-3 1	不定期なボランティアの内容：環境保護・清掃	XVLTENV		2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」
Q59-3 2	不定期なボランティアの内容：介護・福祉	XVLTWF		
Q59-3 3	不定期なボランティアの内容：文化・芸術	XVLTCL		
Q59-3 4	不定期なボランティアの内容：教育・技術指導	XVLTCH		
Q59-3 5	不定期なボランティアの内容：寄付金集め	XVLTNT	FEGIVE GAVEPOL GIVART GIVCHRTY GIVEARTS GIVECHNG GIVECONG GIVEDUC GIVEGRP GIVENVIR GIVEOTH GIVEREL GIVFOUND GIVHLTH GIVHMLSS GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH GRNMONEY PARTTHON POLFUNDS RACGIVE TITHING	
Q59-3 6	不定期なボランティアの内容：その他	XVLTOTHR		2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」
Q60 A	組織への所属：政治団体	MEMPLTGP	GRPPARTY GRPPOL MEMPOLIT	2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001 「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 -2006 2002 NES2002post 2003 池田謙一ほか「アジア・バロメータ」

Q60 B	組織への所属：業界団体	MEMIND	GRPUNION GRPWORK MEMFARM MEMPROF	2000 2000.1 2001 -2006 2002 2003	NES2000post JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 NES2002post 池田謙一ほか「アジア・バロメータ」
Q60 C	組織への所属：ボランティアのグループ	MEMVLNTR	GRPCHRTY MEMSERV	2000 2000 2000.1 2001 -2006 2002 2002.11 2003	経企庁「国民生活選好度調査」 NES2000post JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 NES2002post NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」(河野啓「市民意識・社会参加・政治への信頼」『放送研究と調査』03.4) 池田謙一ほか「アジア・バロメータ」
Q60 D	組織への所属：市民運動のグループ	MEMCIVIL	FEJOIN GRNGROUP MEMNAT RACJOIN	2000 2000.1 2001 -2006 2002 2002.11 2003	NES2000post JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 NES2002post NHK「転換期の政治意識・2002 調査」 池田謙一ほか「アジア・バロメータ」
Q60 E	組織への所属：宗教の団体や会	MEMRL	CHURCHMEN CHURCHTX GRPCHURH GRPRELIG MEMCHURH	2000.7	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
Q60 F	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	MEMSPORT	GRPSPORT GRPSPTS MEMSPORT	2000.10	内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」(『月刊世論調査』01.4)
Q61-1 1	寄付の経験：定期的な寄付	XDNTREG	FEGIVE GIVART GIVCHRTY GIVEDUC GIVENVIR GIVFOUND GIVHLTH GIVHMLSS GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH GRNMONEY RACGIVE	2000.5	経済企画庁「国民生活選好度調査」
Q61-1 2	寄付の経験：募金箱に寄付	XDNTBOX			
Q61-1 3	寄付の経験：学校や地域を通して	XDNTSCH			
Q61-1 4	寄付の経験：マスコミを通して	XDNTMASS			
Q61-1 5	寄付の経験：その他	XDNTOTHER			
Q61-1 6	寄付の経験：していない	XDNTNONE			

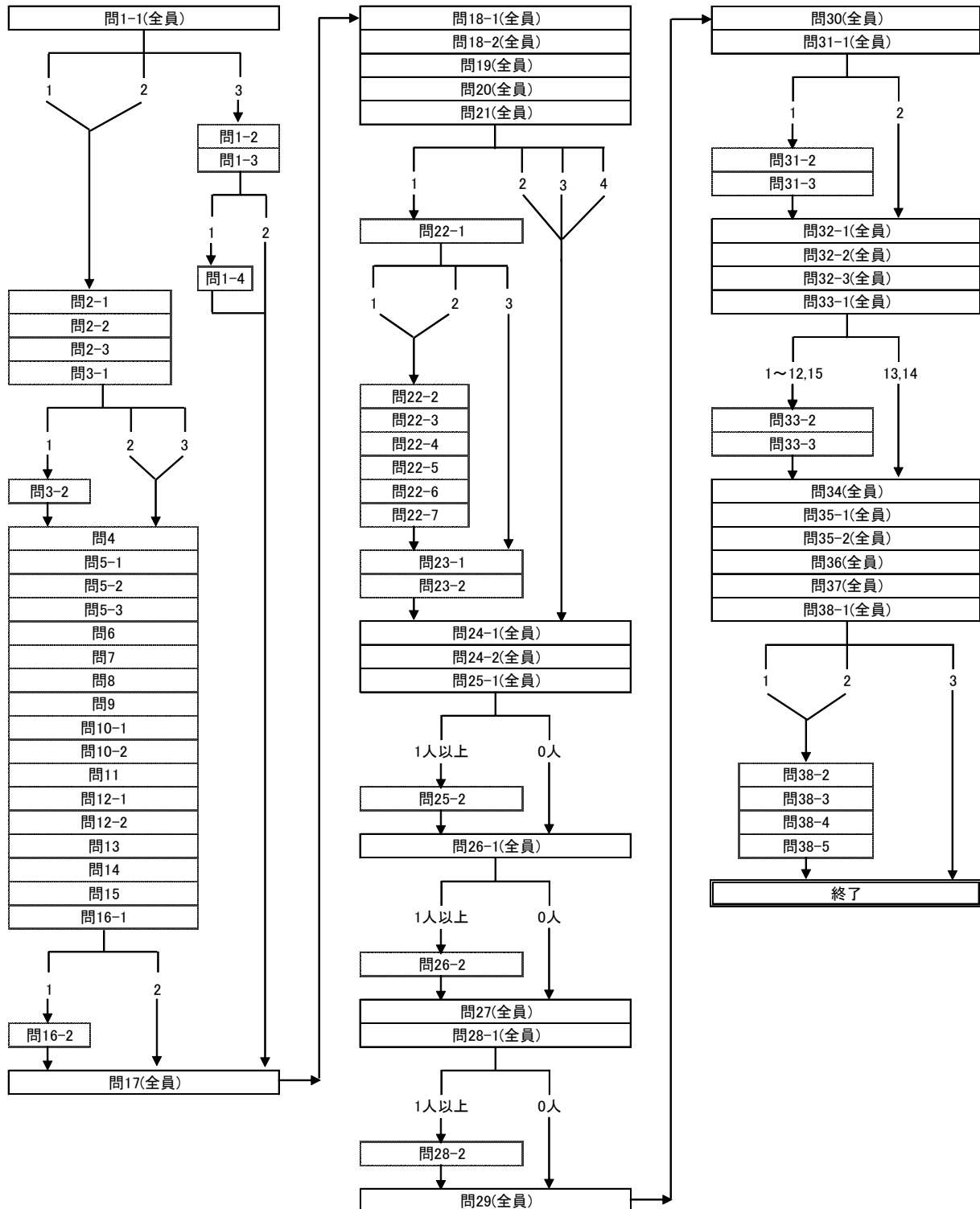
Q61-2	寄付の金額	SZDNT	GIVEARTS GIVECONG GIVEOTH GIVEREL TITHING TOTART TOTEDUC TOTENVIR TOTFOUND TOTHLTH TOTHUMAN TOTINFRM TOTINTL TOTOTH TOTPOL TOTPUB TOTREC TOTRELIG TOTWORK TOTYOUTH	2000.5	経済企画庁「国民生活選好度調査」
Q62-1	信仰する宗教の有無（本人）	DORL	RELIG	2000.7 2001.12 2002.12 2003.7 2003.9	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 読売新聞「宗教観」（『日本の世論』） 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 NHK「日本人の意識」第7回調査 統数研「日本人の国民性」第11回調査
Q62-2	信仰する宗教（本人）	XXRL	RELIG	1998.11 2000.7	「ISSP 国際比較調査『宗教』」 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
Q62-3	信仰の度合い（本人）	DO3PIOUS	FEELREL RELITEN RELPERSN		
Q63 A	高齢期に重要な活動：仕事	IMOAWORK		1993	早稲田大学人間科学部人間総合研究センター「高齢者の生活の質に関する調査」
Q63 B	高齢期に重要な活動：地域活動	IMOACOM		1999	ライフデザイン研究所「今後の生活に関するアンケート」
Q63 C	高齢期に重要な活動：文化・スポーツサークル	IMOACRCL		2000	高齢者雇用開発協会「超高齢社会の雇用・就業の展開に関するアンケート調査」
Q63 D	高齢期に重要な活動：ボランティア	IMOAVLTR		2000	京都市保健福祉局「京都市高齢者問題に関する市民意識調査」
Q63 E	高齢期に重要な活動：娯楽・レジャー	IMOALSR		2002	高齢者雇用開発協会「定年到達者等の仕事と生活に関するアンケート調査」
Q63 F	高齢期に重要な活動：読書・学習・研究	IMOALRN		2003	生命保険文化センター「生活設計と金融・保険に関する調査（中高年独身層）」
Q63 G	高齢期に重要な活動：家族・親族との時間	IMOAFF		2003	生命保険文化センター「長寿時代の生活設計」
Q63 H	高齢期に重要な活動：友人との時間	IMOAFRI		2005.9	内閣府「高齢社会対策に関する特別世論調査」（『月刊世論調査』06.4）
Q63 I	高齢期に重要な活動：一人の時間	IMOALON			
Q64 A	高齢期に重要な関係：配偶者	IMORSS		1997	高齢者雇用開発協会「定年到達者等の就業と生活態度に関する調査」
Q64 B	高齢期に重要な関係：子ども	IMORCC		1999	ライフデザイン研究所「今後の生活に関するアンケート」
Q64 C	高齢期に重要な関係：きょうだい	IMORSIB		2002	高齢者雇用開発協会「定年到達者等の仕事と生活に関するアンケート調査」
Q64 D	高齢期に重要な関係：孫	IMORCCG		2003	生命保険文化センター「生活設計と金融・保険に関する調査」
Q64 E	高齢期に重要な関係：親	IMORPAR		2003	生命保険文化センター「生活設計と金融・保険に関する調査（中高年独身層）」
Q64 F	高齢期に重要な関係：仕事関係の友人	IMORFRWK		2003	生命保険文化センター「長寿時代の生活設計」
Q64 G	高齢期に重要な関係：学校時代の友人	IMORFRSC		2005.9	内閣府「高齢社会対策に関する特別世論調査」
Q64 H	高齢期に重要な関係：団体・サークルの友人	IMORFRCC			
Q64 I	高齢期に重要な関係：近所の人	IMORCOM			
Q64 J	高齢期に重要な関係：ペット	IMORPET			

Q65 A	組織への信頼：大企業	TR3CORPZ	CONBIZ CONBUS CONBUSY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2002.11 NHK「転換期の政治意識・2002 調査」
Q65 B	組織への信頼：宗教団体	TR3RLGPZ	CONCHURH CONCLERG CONCLERY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
Q65 C	組織への信頼：学校	TR3SCHLZ	CONEDUC CONEDUCY CONSCHLS	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.2 読売新聞「教育」（『日本の世論』） 2002.12 朝日新聞「第25 回定期国民意識調査」
Q65 D	組織への信頼：中央官庁	TR3BCRAZ	CONFED CONFEDY CONGOVT FEDTRUST	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2002.11 NHK「転換期の政治意識・2002 調査」
Q65 E	組織への信頼：労働組合	TR3UNNZ	CONLABOR CONLABOY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
Q65 F	組織への信頼：新聞	TR3NWSPPZ	CONPRESS CONPRESY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.9 読売新聞「メディア」（『日本の世論』） 2002.11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」（横山滋・米倉律「同居する『信頼』と『批判』」『放送研究と調査』03.3） 2002.11 NHK「転換期の政治意識・2002 調査」 2002.12 朝日新聞「第25 回定期国民意識調査」
Q65 G	組織への信頼：病院	TR3HSPLZ	CONMEDIC CONMEDIY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.9 読売新聞「社会保障」（『日本の世論』） 2002.1 NHK「科学技術・生命倫理に関する世論調査」 2002.3 朝日新聞「医療」（朝日新聞総合研究センター『朝日総研レポート』02.6） 2002.12 朝日新聞「第25 回定期国民意識調査」
Q65 H	組織への信頼：テレビ	TR3TVZ	CONTV CONTVY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.9 読売新聞「メディア」（『日本の世論』） 2002.11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2002.11 NHK「転換期の政治意識・2002 調査」
Q65 I	組織への信頼：裁判所	TR3SPCAZ	CONCOURT CONJUDGE CONJUDGY	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
Q65 J	組織への信頼：学者・研究者	TR3ACDAZ	CONSCI CONSCIY TRSTPROF	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
Q65 K	組織への信頼：国会議員	TR3CGMNZ	CONCONG CONLEGIS CONLEGIY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.5 読売新聞「政治意識」（『日本の世論』） 2002.11 NHK「転換期の政治意識・2002 調査」 2002.12 朝日新聞「第25 回定期国民意識調査」
Q65 L	組織への信頼：市区町村議会議員	TR3CITYZ	LOCCARE LOCTRUST	1999.3 読売新聞「地域住民意識」（『日本の世論』）

Q65 M	組織への信頼：自衛隊	TR3DEFZ	CONARMY CONARMYY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2006.2 内閣府「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」(『月刊世論調査』06.9)
Q65 N	組織への信頼：警察	TR3COPZ		2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2000.11 読売新聞「治安」(『日本の世論』) 2001.12 朝日新聞「揺らぐ『生活の安全』」(『朝日総研レポート』02.4) 2002.11 NHK「転換期の政治意識・2002 調査」 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」
Q65 O	組織への信頼：金融機関	TR3FINZ	CONFINAN CONFINAY	
Q66	幸福度	OP5HAPPZ	HAPPY HAPPY7 HAPUNHAP	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
	ウェイト	WEIGHT	PORMWT OVERSAMP	

(木村 雅文・杉田 陽出)

III.6 フローチャート



2005 年 9 月
JGSS-2005 面接調査票文部科学省指定
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

「第 5 回 生活と意識についての国際比較調査」

(調査企画) 大阪商業大学 比較地域研究所
東京大学 社会科学研究所
(調査実施) 社 団 法 人 中 央 調 査 社IDUSE
BLOCK
PREF
SIZE

	訪問日	訪問時間	話をした人	回収状況
1	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在	面接票 1 面接完了 DATE (月 日) MONTHB DAY 2 面接不能 留置票 1 回収完了 DATEB (月 日) MONTHB DAYB 2 回収不能 一方で調査不能の場合、次のページを忘れず記入する。 留置票の受取予定日時
2	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在	
3	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在	
4	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在	
5	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在	
6	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在	
7	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在	
8	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在	
9	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在	
10	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在	
対象者本人に会えるまでの訪問を全て記録する。 10 回を越えた訪問の記録は不要。 接触ができるまで、必ず 4 日以上訪問する。 (同日に 2 度訪問しても 1 日と数えるが、同日の訪問を禁止するわけではない) 必ず平日と休日(土日祝)の両方を訪問する。				

SEXA		DOBYEAR				AGEB		MARC		調査員	点検者
支局 番号	地点 番号	対象 番号	性別 A 欄	生年月日 B 欄				9/1 年齢 C 欄	婚姻状態 D 欄		
			男 = 1 女 = 2	大正 = 2 昭和 = 3		年	月	日			

D 欄は問 21 の回答番号を転記し、同じ番号を留置票の下部にも転記。

面接票か留置票の一方でも調査不能であった場合、このページを必ず記入する。

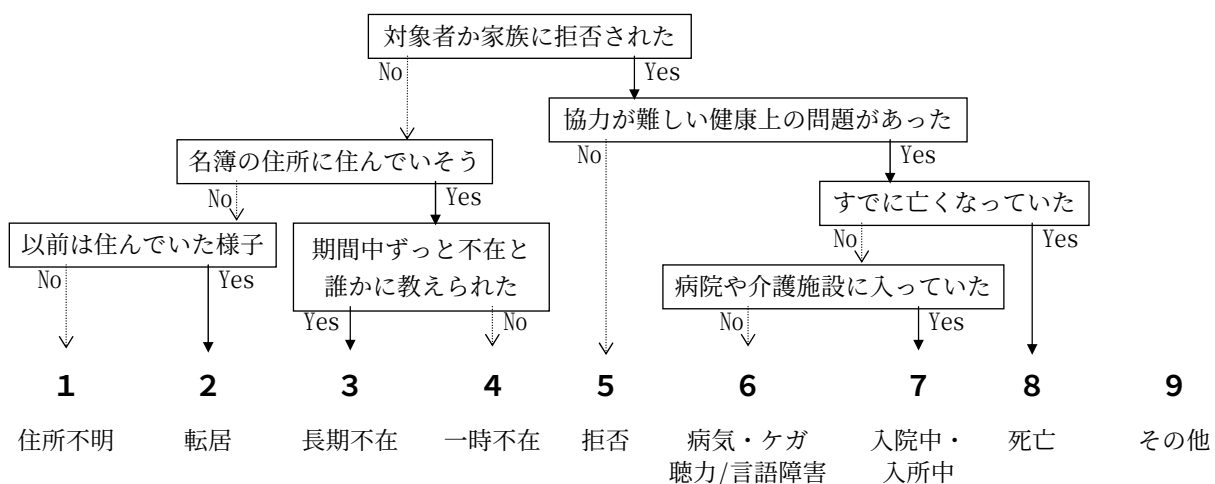
N1 調査不能と決定した日時

		月			日	1 午前			時			分頃
						2 午後						

N2 対象者の家の種類

1 一戸建て **2** 集合住宅（アパート・マンションなど） **3** 不 明

N3 調査不能の理由



上の流れ図に沿って理由を分類する。

結果に違和感がある場合や変わった状況の場合は、「9 その他」に○をつけ、下の欄を詳しく記入する。

ここで○をつけた番号は、対象者名簿の「欠票 No」に転記する。

N4 調査不能の具体的な状況（複雑な状況については、詳しく記入してください）

まずはじめに、あなたのお仕事について、おうかがいします。

問 1-1〔回答票 1〕先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか、または仕事をするようになっていましたか。この中からあげてください。

XJOB1WK

1

(ア)

仕事をした

2

(イ)

仕事をもっているが、
病気、休暇などで先週は仕事を休んだ

3

(ウ)

仕事をしていない

問 1-2〔回答票 2〕先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP

1 (ア) 失業中

2 (イ) 定年などで仕事をやめた

3 (ウ) 学生

4 (エ) 主に家事をしている

5 (オ) その他 ()

6 わからない

問 1-3 あなたは、これまでに収入をとまなう仕事をしたことがありますか。

XWORK

1 は い

2 いいえ → 7 ページ問 17 へ

問 1-4〔回答票 3〕あなたが最後の主な仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。

XXSTPJB

1 (ア) 定年など退職（引退）する年齢になった

2 (イ) 早期退職（引退）を選んだ

3 (ウ) 早期退職（引退）をさせられた

4 (エ) 健康上の理由で働けなくなった

5 (オ) 会社が倒産したり、職場が閉鎖された

6 (カ) 解雇された

7 (キ) 雇用期間や契約期間が終了した

8 (ク) 仕事や労働条件等が不満だったので

9 (ケ) 開業や転職のため

10 (コ) 家族の介護のため

11 (サ) 結婚したため

12 (シ) 出産・育児のため

13 (ス) その他 ()

14 わからない

7 ページ問 17 へ

お仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 2-1 あなたは主な収入を得る仕事を先週何日しましたか。また、週合計何時間しましたか。そのうち、残業は何時間しましたか。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

自営業など残業時間があてはまらない場合、残業時間には0（ゼロ）と記入。

XJOB1WK

週

--	--

日

XJOB1WK

週 合 計

--	--

時間

XOTHWK

(内) 残 業

--	--

時間

問 2-2 あなたは通常、何曜日に仕事をしますか。働く時間が短い曜日も入れてください。

該当する曜日すべてに○をつける

DOWKMON 1 月曜日
DOWKTUE 2 火曜日
DOWKWED 3 水曜日
DOWKTHU 4 木曜日

DOWKFRI 5 金曜日
DOWKSAT 6 土曜日
DOWKSUN 7 日曜日
DOWKVAR 8 週によって働く曜日はまちまち

問 2-3 [回答票 4] この 1 年間に、連続して 4 日以上休んだことが何回ありましたか。

土日などの通常の休日や祝日を含めて 4 日以上の場合も入れる（盆休みや正月、ゴールデンウィークなども含む）。

忌引きや本人の病気による休みは入れない。

FQWKOFF

1 (ア) 1 回	2 (イ) 2 回	3 (ウ) 3 回	4 (エ) 4 回以上	5 (オ) なし
-----------------	-----------------	-----------------	-------------------	----------------

問 3-1 [回答票 5] 現在、あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

DOCMT

1 (ア) 時間	2 (イ) 住まいと 職場は同じ	3 (ウ) 日によって 行き先が違う
SZCMTTL およそ		
SZCMTHR		
SZCMTMIN		

問 3-2 [回答票 6] 通勤手段は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

CMTWALK 1 (ア) 徒歩のみ	CMTTRAIN 5 (オ) 電車
CMTBCYL 2 (イ) 自転車	CMTCAR 6 (カ) 自動車
CMTMCYL 3 (ウ) バイク	CMTBOAT 7 (キ) 船
CMTBUS 4 (エ) バス	CMTETC 8 (ク) その他

問 4 [回答票 7] あなたが働く事業所はこの中のどれにあたりますか。

省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

TP4WPLA 1 (ア) 官公庁
2 (イ) 単独事業所（他に事業所などはない）
3 (ウ) 支店・支所（本社・本店は他にある）
4 (エ) 本社・本店（他に支店・支所などがある）
5 わからない

問 5-1 [回答票 8] あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と 11 (サ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

官公庁に勤める回答者にも、問 5 すべてに回答してもらう。

TP12JOB

1 (ア) 経営者・役員	8 (ク) " 役職はわからない
2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし	9 (ケ) 臨時雇用・パート・アルバイト
3 (ウ) " 職長、班長、組長	10 (コ) 派遣社員
4 (エ) " 係長、係長相当職	11 (サ) 自営業主・自由業者
5 (オ) " 課長、課長相当職	12 (シ) 家族従業者
6 (カ) " 部長、部長相当職	13 (ス) 内職
7 (キ) " その他の役職 (具体的に)	14 わからない

問 5-2 あなたが働いている場所（工場、事務所、商店、病院などの事業所）はどのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

XXWPL

（できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可）

問 5-3 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように）

XXJOB

（できるだけ詳しく具体的に）

次の 2 問は、あなたの働いている会社・組織全体についての質問です。

問 6〔回答票 9〕従業員（働いている人）は、会社・組織全体で何人くらいですか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

SZTTLSTA

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人 | 7 (キ) 300～499 人 |
| 2 (イ) 2～4 人 | 8 (ク) 500～999 人 |
| 3 (ウ) 5～9 人 | 9 (ケ) 1,000～1,999 人 |
| 4 (エ) 10～29 人 | 10 (コ) 2,000～9,999 人 |
| 5 (オ) 30～99 人 | 11 (サ) 1 万人以上 |
| 6 (カ) 100～299 人 | 12 (シ) 官公庁 |
| | 13 わからない |

問 7 あなたは現在の会社・組織に通算何年働いていますか。（自営業者は自営業を行なっている期間）

XJOBYR

--	--

年間

1 年未満の場合は 0（ゼロ）と記入。

問 8〔回答票 10〕昨年 1 年間のあなたの主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料、その他が引かれる前の額をお答えください。尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

SZINCOMX

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 (ア) なし | 12 (シ) 750～850 万円未満 |
| 2 (イ) 70 万円未満 | 13 (ス) 850～1,000 万円未満 |
| 3 (ウ) 70～100 万円未満 | 14 (セ) 1,000～1,200 万円未満 |
| 4 (エ) 100～130 万円未満 | 15 (ソ) 1,200～1,400 万円未満 |
| 5 (オ) 130～150 万円未満 | 16 (タ) 1,400～1,600 万円未満 |
| 6 (カ) 150～250 万円未満 | 17 (チ) 1,600～1,850 万円未満 |
| 7 (キ) 250～350 万円未満 | 18 (ツ) 1,850～2,300 万円未満 |
| 8 (ク) 350～450 万円未満 | 19 (テ) 2,300 万円以上 |
| 9 (ケ) 450～550 万円未満 | |
| 10 (コ) 550～650 万円未満 | 20 回答したくない |
| 11 (サ) 650～750 万円未満 | 21 わからない |

問 9 仕事の上であなたが管理・監督する人（部下など）がいますか。

DOSTAFF

- 1 い る 2 い ない 3 わ からない

問 10-1 あなたが働く職場には、労働組合が組織されていますか。

DOUNION

- 1 は い 2 いいえ 3 わからない

問 10-2 (回答票 11) あなたは労働組合に入っていますか。

JOINUNI

- 1 (ア) 職場の労働組合に入っている
2 (イ) 職場以外の労働組合に入っている
3 (ウ) 入っていない

問 11 (回答票 12) 現在の主な仕事にどのくらい満足していますか。

ST5JOB

- | | | | | | |
|--------|--------------------|---------------|-------------------|-------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) | |
| 満足している | どちらかといえば
満足している | どちらとも
いえない | どちらかといえば
不満である | 不満である | わからない |

問 12-1 (回答票 13) 賃金や時間などの自分の労働条件について不満を感じた場合、あなたは次の A・B のどちらの行動をとると思いますか。

- WLWKCND A 現在の会社・団体の中でぎりぎりまで改善する努力をする
 B 現在の会社・団体に見切りをつけて、より良い条件の仕事や事業を探す

- 1 (ア) A 2 (イ) どちらかといえば A 3 (ウ) どちらかといえば B 4 (エ) B

問 12-2 (回答票 14) 会社や団体の今後の経営に不安を覚えた場合、あなたは次の A・B のどちらの行動をとると思いますか。

- WLWKMNNG A 現在の会社・団体の中でぎりぎりまで改善する努力をする
 B 現在の会社・団体に見切りをつけて、より安定した仕事や事業を探す

- 1 (ア) A 2 (イ) どちらかといえば A 3 (ウ) どちらかといえば B 4 (エ) B

問 13 (回答票 15) 今働いている会社をやめるつもりがありますか。(または) 今の事業をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | |
| 近いうちに
やめるつもり | 当分
やめるつもりはない | まったく
やめるつもりはない | わからない |

問 14 (回答票 16) 今後 1 年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

自営業主が倒産などで失職する場合も含む。

OP4UNEMP

- | | | | | |
|-------|--------|-------|--------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | |
| かなりある | ある程度ある | あまりない | まったくない | わからない |

問 15 (回答票 17) もし今の仕事や事業をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

OP3NEWJB

- | | | | |
|----------|-----------|--------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | |
| 非常に容易である | ある程度容易である | 容易ではない | わからない |

問 16-1 これまでお答えいただいた仕事以外に、あなたは先週、別の仕事をしましたか。またはすることになっていましたか。収入をとまなう仕事についてのみお答えください。

XSJB1WK

1 はい

2 いいえ

問 16-2 その他の収入の仕事を、先週合計何時間しましたか。
またはすることになっていましたか。

SZSJBHWK

時間

(全員に)

問 17 あなたは現在、仕事を探していますか。

DOLOOKJB

1 はい

2 いいえ

問 18-1 (回答票 18) 現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

問 18-2 (回答票 18) そのうち、一番中心となる収入源を1つだけ答えてください。

問 18-1であてはまるものが1つしかなければ、問 18-2では同じものに○をつける。

		問 18-1 あてはまる収入源 すべてに○	INCMAIN 問 18-2 中心となる収入源 1つだけに○
INCSELF	(ア) 自分の収入	1	1
INCSP	(イ) 配偶者の収入	2	2
INCPAR	(ウ) 親の収入	3	3
INCFAM	(エ) 配偶者・親以外の家族の収入	4	4
INCPEN	(オ) 年金	5	5
INCUEB	(カ) 失業保険	6	6
INCSAVE	(キ) 貯蓄	7	7
INCSOC	(ク) 社会福祉(生活保護、福祉手当等)	8	8
INCIRR	(ケ) 不定期的な仕事	9	9
INCOTHER	(コ) その他()	10	10
INCNOKN	わからない	11	11

問 19 (回答票 19) 働き方に関する次のA・Bの意見のうち、あなたの意見はどちらに近いですか。

OPCNGJB A さまざまな勤め先を経験する方がよい

B 一つの勤め先に長く勤める方がよい

1 (ア) A

2 (イ) どちらかといえばA

3 (ウ) どちらかといえばB

4 (エ) B

問 20 (回答票 20) かりに現在の日本の社会全体を、次のような10段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入と思いますか。

OP10LVL

一番上

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

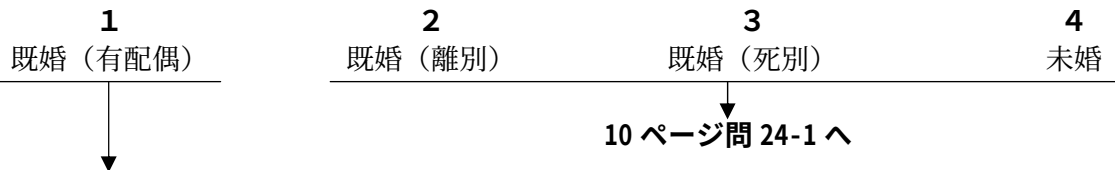
一番下

ここからはあなたのご家族のことについておうかがいします。

問 21 あなたは結婚していますか。

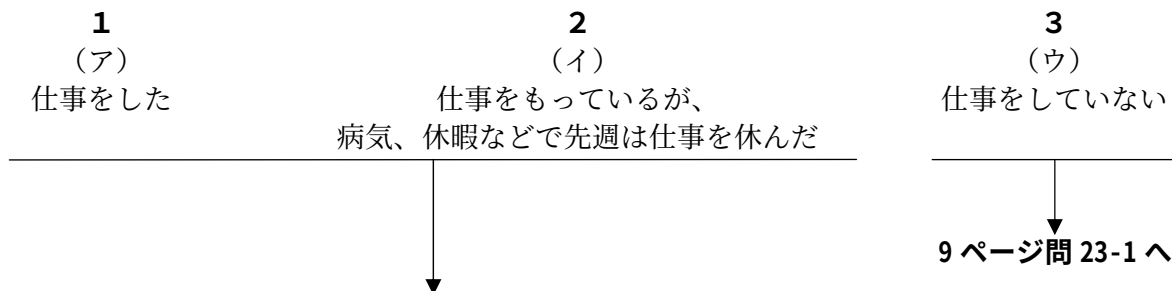
本人の判断にまかせるが、尋ねられたら、婚姻届を出していない内縁の関係も含む。

DOMARRY



問 22-1 【回答票 21】 配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

SSJB1WK



問 22-2 配偶者の方のお仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。配偶者の方は先週何日仕事をしましたか。また、残業を含めて合計何時間仕事をしましたか。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

SSJBDWK

週 日

SSJBHRWK

週合計 時間

問 22-3 【回答票 22】 配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

配偶者が官公庁に勤めている回答者にも、問 22 すべてに回答してもらう。

1 (ア)「経営者」と 11 (サ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

SSTP12JB

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員 | 8 (ク) // 役職はわからない |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし | 9 (ケ) 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 3 (ウ) // 職長、班長、組長 | 10 (コ) 派遣社員 |
| 4 (エ) // 係長、係長相当職 | 11 (サ) 自営業主・自由業者 |
| 5 (オ) // 課長、課長相当職 | 12 (シ) 家族従業者 |
| 6 (カ) // 部長、部長相当職 | 13 (ス) 内職 |
| 7 (キ) // その他の役職
(具体的に) | 14 わからない |

問 22-4 配偶者の方が働いている場所（工場、事務所、商店などの事業所）は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

SSXXHQX

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 22-5 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。主な収入の仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

SSXXJOB

(できるだけ詳しく具体的に。)

問 22-6 (回答票 23) 配偶者の方が働いている会社・組織全体で、従業員(働いている人)は何人くらいですか。配偶者自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

SSSZSTFA

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人 | 7 (キ) 300～499 人 |
| 2 (イ) 2～4 人 | 8 (ク) 500～999 人 |
| 3 (ウ) 5～9 人 | 9 (ケ) 1,000～1,999 人 |
| 4 (エ) 10～29 人 | 10 (コ) 2,000～9,999 人 |
| 5 (オ) 30～99 人 | 11 (サ) 1 万人以上 |
| 6 (カ) 100～299 人 | 12 (シ) 官公庁 |
| | 13 わからない |

問 22-7 (回答票 24) 昨年 1 年間の配偶者の方の主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料、その他が引かれる前の額をお答えください。尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

SSSZINCM

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 (ア) なし | 12 (シ) 750～850 万円未満 |
| 2 (イ) 70 万円未満 | 13 (ス) 850～1,000 万円未満 |
| 3 (ウ) 70～100 万円未満 | 14 (セ) 1,000～1,200 万円未満 |
| 4 (エ) 100～130 万円未満 | 15 (ソ) 1,200～1,400 万円未満 |
| 5 (オ) 130～150 万円未満 | 16 (タ) 1,400～1,600 万円未満 |
| 6 (カ) 150～250 万円未満 | 17 (チ) 1,600～1,850 万円未満 |
| 7 (キ) 250～350 万円未満 | 18 (ツ) 1,850～2,300 万円未満 |
| 8 (ク) 350～450 万円未満 | 19 (テ) 2,300 万円以上 |
| 9 (ケ) 450～550 万円未満 | |
| 10 (コ) 550～650 万円未満 | 20 回答したくない |
| 11 (サ) 650～750 万円未満 | 21 わからない |

問 23-1 配偶者の方の 9 月 1 日現在の年齢を教えてください。

SPAGEX

歳

問 23-2 配偶者の方とは一緒に暮らしていますか。

SPLVTG

- 1 同居 2 別居(単身赴任中) 3 別居(その他の理由)

問 24-1 あなたは、あなた自身のお父様、お母様と一緒に暮らしていますか。それぞれについてお答えください。二世帯住宅などの判断は回答者に任せるが、迷うときには「台所が同じ場合を同居とお考えください」と答える。

問 24-2 お父様、お母様の 9 月 1 日現在の年齢を教えてください。

PPLVTG			PPAGE		MMLVTG			MMAGE	
同居・別居・死亡			死亡の場合は空欄		同居・別居・死亡			死亡の場合は空欄	
父親	1	同居		歳	母親	1	同居		歳
	2	別居				2	別居		
	3	死亡				3	死亡		

問 25-1 これまでにお持ちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。

いない場合は 0（ゼロ）と記入。養子・連れ子について尋ねられた場合は、含めて答えてもらう。

CCNUMTTL

人

問 25-2 そのお子様全員について、一緒に暮らしているかどうか、性別、9 月 1 日現在の年齢を教えてください。一番早く生まれたお子様から順にお答えください。

	CC**LVTG	CC**SEX	CC**AGE
	同居・別居・死亡	性別	死亡の場合は空欄
第一子	1 同居 2 別居 3 死亡	1 男 2 女	歳
第二子	1 同居 2 別居 3 死亡	1 男 2 女	歳
第三子	1 同居 2 別居 3 死亡	1 男 2 女	歳
第四子	1 同居 2 別居 3 死亡	1 男 2 女	歳
第五子	1 同居 2 別居 3 死亡	1 男 2 女	歳

問 26-1 ここまでに、あなたの配偶者、あなた自身のご両親、お子様についてうかがいました。それ以外の方で、あなたと一緒に暮らしている方はいますか。いれば、その人数を教えてください。

いない場合は 0（ゼロ）と記入。養子・連れ子については、問 25-1 の子どもの中に含めてもらう。

SZFFOTHR

人

問 26-2 その全員について、あなたからみた続柄、性別、9 月 1 日現在の年齢を教えてください。

続柄は「続柄コード表」を参照し、具体的に記入した上で にコードを記入する。回答者本人からみた続柄であることに注意する。

	FFH**REL	FFH**SEX	FFH**AGE
	回答者からみた続柄	性別	年齢
(1) _____		1 男 2 女	歳
(2) _____		1 男 2 女	歳
(3) _____		1 男 2 女	歳
(4) _____		1 男 2 女	歳

問 30〔回答票 26〕 昨年 1 年間のあなたの世帯収入はどのくらいですか。税金を差し引く前の収入でお答えください。株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。この中のどれにあてはまりますか。尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

SZHSINCM

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 (ア) なし | 12 (シ) 750～850 万円未満 |
| 2 (イ) 70 万円未満 | 13 (ス) 850～1,000 万円未満 |
| 3 (ウ) 70～100 万円未満 | 14 (セ) 1,000～1,200 万円未満 |
| 4 (エ) 100～130 万円未満 | 15 (ソ) 1,200～1,400 万円未満 |
| 5 (オ) 130～150 万円未満 | 16 (タ) 1,400～1,600 万円未満 |
| 6 (カ) 150～250 万円未満 | 17 (チ) 1,600～1,850 万円未満 |
| 7 (キ) 250～350 万円未満 | 18 (ツ) 1,850～2,300 万円未満 |
| 8 (ク) 350～450 万円未満 | 19 (テ) 2,300 万円以上 |
| 9 (ケ) 450～550 万円未満 | |
| 10 (コ) 550～650 万円未満 | 20 回答したくない |
| 11 (サ) 650～750 万円未満 | 21 わからない |

問 31-1 あなたの家には、自動車はありますか。ご自分の車でない場合も含めてお答えください。

二輪車は含めない。

DOCAR

1 あ る
↓

2 な い → 次ページ問 32-1 へ

問 31-2〔回答票 27〕 次の中からあなたの家にある車をすべて選んでください。

- | | |
|----------|--|
| TPCARSTD | 1 (ア) 普通乗用車 (ナンバープレートが白で、5・7 から始まる車) |
| TPCARLG | 2 (イ) 大型乗用車 (ナンバープレートが白で、3 から始まる車) |
| TPCARSM | 3 (ウ) 軽自動車・軽トラック (ナンバープレートが黄色で、4・5 から始まる車) |
| TPCARTK | 4 (エ) 普通トラック (ナンバープレートが白で、1・4・6 から始まる車) |
| TPCAROTH | 5 (オ) その他の車 (具体的に) |

問 31-3〔回答票 28〕 車に関わる次のような費用は、あなたの家の家計にとってどの程度負担になっていますか。それぞれについてお答えください。

- | | | (ア)
とても負担に
なっている | (イ)
やや負担に
なっている | (ウ)
あまり負担に
なっていない | (エ)
全く負担に
なっていない | |
|----------|-------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|------------------------|-------------|
| EXCARGAS | A ガソリン代 -----→ | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| EXCARINS | B 保険料・税金 -----→ | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| EXCARBUY | C 車の購入代金・ローンの返済 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| EXCARFIX | D 修理・車検の代金 -----→ | 1 | 2 | 3 | 4 | 駐車場は |
| EXCARPRK | E 駐車場の賃貸料 -----→ | 1 | 2 | 3 | 4 | 借りていない
5 |

問 32-1 あなたが 15 歳の頃、どちらにお住まいでしたか。都道府県名をお答えください。

外国の場合は「外国」と記入し、問 32 すべてに回答してもらう。

PREF15

都道府県

コード

調査員は記入不要

問 32-2 (回答票 29) その地域は、当時、この中のどれにあたったと思いますか。

TP5LOC15

- 1 (ア) 大都市 2 (イ) 中小都市 3 (ウ) 町・村

問 32-3 そこは農山漁村地域でしたか。

REMOTE15

- 1 は い 2 いいえ

問 33-1 (回答票 30) あなたが 15 歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

PPJBTP15

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員 | 8 (ク) // 役職はわからない |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし | 9 (ケ) 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 3 (ウ) // 職長、班長、組長 | 10 (コ) 自営業主・自由業者 |
| 4 (エ) // 係長、係長相当職 | 11 (サ) 家族従業者 |
| 5 (オ) // 課長、課長相当職 | 12 (シ) 内職 |
| 6 (カ) // 部長、部長相当職 | 13 (ス) 働いていなかった → 問 34 へ |
| 7 (キ) // その他の役職
(具体的に) | 14 (セ) 父はいなかった → 問 34 へ |
| | 15 わからない |

問 33-2 お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

PPJBXX15

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可。)

問 33-3 (回答票 31) お父さんが働いていた会社・組織全体で従業員(働いていた人)は何人くらいでしたか。

省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

PPJBSZ15

- | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|-----|----------|------------|-----------|-----|-------|
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) | (オ) | |
| 1 人 | 小企業 | 中企業 | 大企業 | 官公庁 | わからない |
| | (2~29 人) | (30~299 人) | (300 人以上) | | |

問 34 (回答票 32) あなたが 15 歳の頃、お母さんは仕事をもって働いていましたか。働いていた場合には、この中のどれにあたりますか。

MMJBTP15

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1 (ア) 仕事はもっていなかった | 6 (カ) // 仕事内容はわからない |
| 2 (イ) 臨時雇用・パート・アルバイト | 7 (キ) 自営業・家族従業者 農林漁業 |
| 3 (ウ) 常時雇用一般職 役職なし | 8 (ク) // 農林漁業以外 |
| 4 (エ) // 管理職 | 9 (ケ) 内職 |
| 5 (オ) // 専門的な仕事
(看護婦、教師など) | 10 (コ) 経営者・役員 |
| | 11 (サ) 母はいなかった |
| | 12 わからない |

問 35-1 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

いない場合は0(ゼロ)を記入。誰を「兄弟姉妹」に含むかは本人の判断にまかせる。

あなたの兄弟姉妹

XNUMBROE	XNUMSISE	XNUMBROY	XNUMSISY
兄	姉	弟	妹
人	人	人	人

問 35-2 あなたの配偶者の兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

配偶者が死別の場合にも尋ねる。未婚や離別の人には聞かない。いない場合は0(ゼロ)を記入。

配偶者の兄弟姉妹

XSSNBROE	XSSNSISE	XSSNBROY	XSSNSISY
兄	姉	弟	妹
人	人	人	人

問 36 【回答票 33】あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は次のどれにあたりますか。あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

配偶者については死別の場合にも尋ねる。

最後に出たのが戦後の専門学校の場合、その前に出た学校を答えてもらう（多くの場合は高校）。

*高専（高等専門学校）は、工業分野を中心として、中学卒業後に入る5年一貫の高等教育機関。

		XXLSTSCH	SSLSTSCH	PPLSTSCH	MMLSTSCH
		本人	配偶者	父親	母親
戦前	(ア) 旧制尋常小学校（国民学校を含む）	1	1	1	1
	(イ) 旧制高等小学校	2	2	2	2
	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	3	3	3	3
	(エ) 旧制実業・商業学校	4	4	4	4
	(オ) 旧制師範学校	5	5	5	5
	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	6	6	6	6
	(キ) 旧制大学・旧制大学院	7	7	7	7
戦後	(ク) 新制中学校	8	8	8	8
	(ケ) 新制高校	9	9	9	9
	(コ) 新制短大・高専*	10	10	10	10
	(サ) 新制大学	11	11	11	11
	(シ) 新制大学院	12	12	12	12
	わからない	13	13	13	13
	結婚したことはない・離別した	※	14	※	※

問 37 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

DOLSTSCH

1 卒業

2 中退

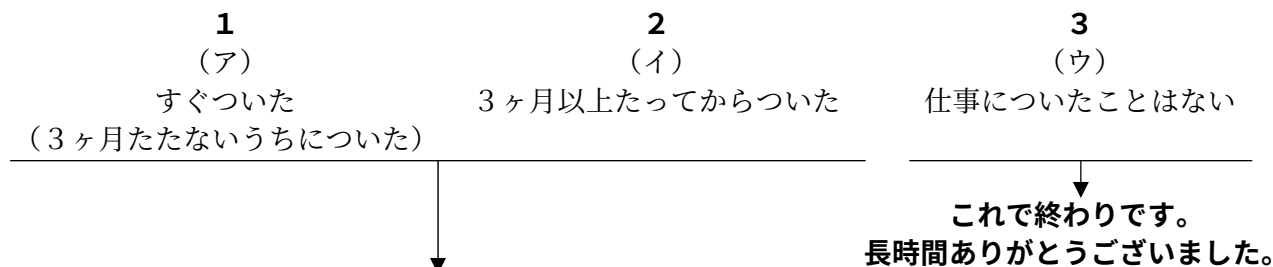
3 在学中

あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

学校を中退している場合は、中退後に最初についた仕事について尋ねる。兵役は除く。兵役後についた仕事について尋ねる。在学中の就業を、回答者が初めての仕事と認めていれば、それについて尋ねる。官公庁に該当する回答者にも、問38 すべてに回答してもらう。

問 38-1〔回答票 34〕あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

XGETJOB



問 38-2 【回答票 35】 その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と11(サ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

TP12FSTJ	1 (ア) 経営者・役員	8 (ク) //	役職はわからない
	2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし	9 (ケ) 臨時雇用・パート・アルバイト	
	3 (ウ) //	10 (コ) 派遣社員	
	4 (エ) //	11 (サ) 自営業主・自由業者	
	5 (オ) //	12 (シ) 家族従業者	
	6 (カ) //	13 (ス) 内職	
	7 (キ) //	14 //	わからない
	(具体的に)		

問 38-3 あなたが最初に働いていた場所（工場、事務所、商店、病院などの事業所）は、どのような事業をしていましたか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

XXFSTWP

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可。)

問 38-4 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業……というように)

XXFSTJB

(できるだけ詳しく具体的に。)

問 38-5〔回答票 36〕あなたが最初についた仕事では、会社・組織全体で従業員（働いていた人）は何人くらいでしたか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

SZSTFFST	1	(ア)	1人	7	(キ)	300～499人
	2	(イ)	2～4人	8	(ク)	500～999人
	3	(ウ)	5～9人	9	(ケ)	1,000～1,999人
	4	(エ)	10～29人	10	(コ)	2,000～9,999人
	5	(オ)	30～99人	11	(サ)	1万人以上
	6	(カ)	100～299人	12	(シ)	官公庁
				13		わからない

これで終わりです。長時間ありがとうございました。

III. 8 面接調査票 回答票（サンプル）

面接調査では、ほとんどの設問において調査対象者に下記のような回答票を示して、該当する番号を答えてもらっている。下記は実際に使用した回答票を縮小したものである。

問 1-1

〔回答票 1〕

- (ア) 仕事をした
- (イ) 仕事をもっているが、
病気、休暇などで先週は仕事を休んだ
- (ウ) 仕事をしていない

問 6

〔回答票 9〕

- (ア) 1 人
- (イ) 2～4 人
- (ウ) 5～9 人
- (エ) 10～29 人
- (オ) 30～99 人
- (カ) 100～299 人
- (キ) 300～499 人
- (ク) 500～999 人
- (ケ) 1,000～1,999 人
- (コ) 2,000～9,999 人
- (サ) 1 万人以上
- (シ) 官公庁

問 19

〔回答票 19〕

A さまざまな勤め先を経験する方がよい

B 一つの勤め先に長く勤める方がよい

- (ア) A
- (イ) どちらかといえば A
- (ウ) どちらかといえば B
- (エ) B

問 20

〔回答票 20〕

一番上  一番下	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
	9
	10

2005 年 9 月
JGSS-2005 留置調査票文部科学省指定
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

「第 5 回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学比較地域研究所
東京大学社会科学研究所

- この調査は、文部科学省からの研究助成を得て、現代の日本の社会や人びとの考え方についてさまざまな分野から研究するための共同学術調査です。どうかご協力をお願い申し上げます。
- 調査対象者については、地域や性別、年代がかたよらないように、全国の市町村の選挙人名簿または住民基本台帳から何人おき、という具合にまったく無作為に選ばせていただきました。名簿の閲覧においては、お名前などを漏らさないことを書面で誓約し、法律の定めるとおり情報を厳重に管理しています。
- お答えは、けっして漏らしません。ご安心ください。
- どうしても答えたくない質問には「ノーコメント」などとお書きくださって構いません。しかしながら、多角的な研究のために、何とぞ極力ご回答をお願いします。
- この質問用紙は、お預けしてご本人様に記入していただきます。
これとは別に、調査員がご本人様に就労状況などを面接方式でお聞きします。お手数ですが、合わせてご協力をお願いします。

回答について

- ・ご記入は、鉛筆または黒や青のボールペンなどをお願いします。
- ・質問番号順にお答えください。
- ・お答えは、回答番号に○印をつけてください。
- ・() や ☐ には、具体的にご記入ください。
- ・ご記入が終わりましたら、もう一度、回答漏れがないかどうかお確かめ願います。

ご回答いただきました質問用紙は、

中央調査社の

が

 月 日

に、いただきにうかがいます。

それまでにご回答くださいますようお願い申し上げます。



調査員記入欄

支局 番号	地点 番号	対象 番号	A 欄	C 欄	D 欄	調査員	点検者
			1				
			2				

最初に、あなたの日常的な生活についておうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビを見ますか。全く見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV

--	--

時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない

Q4 あなたがよく読む新聞すべてに○をつけてください。

NPASAH	1	朝日新聞	NPDAYS	8	デイリースポーツ	NPJAPAN	15	Japan Times
NPSANKEI	2	産経新聞	NPNIKSP	9	日刊スポーツ	NPGENDAI	16	日刊ゲンダイ
NPNIKKEI	3	日本経済新聞	NPHOUCHI	10	報知新聞	NPFUJI	17	夕刊フジ
NPMAINI	4	毎日新聞	NPHOKKAI	11	北海道新聞	NPAKAHAT	18	赤旗
NPYOMIUR	5	読売新聞	NPTOKYO	12	東京新聞	NPSEIKYO	19	聖教新聞
NPSANSP	6	サンケイスポーツ	NPCHUNI	13	中日新聞	NPETC	20	その他(具体的に_____)
NPSPNIP	7	スポーツニッポン	NPWESTJP	14	西日本新聞	NPNONE	21	よく読む新聞はない
						NPETCX1		「20 その他」の1番目の記述
						NPETCX2		「20 その他」の2番目の記述

Q5 次の項目で、あなたが利用しているものすべてに○をつけてください。

DOCOMPJ	DOCOMP	DOPHS	DOFAX	DONONEX
1	2	3	4	5
パソコン (職場・学校で)	パソコン (自宅で)	携帯電話 (PHSを含む)	ファックス	いずれも 利用していない

Q6 あなたはパソコンや携帯電話(PHSを含む)で、電子メールのやり取りをしていますか。

DOEMAIL

1	2	3	4
パソコンのみ	携帯のみ	両方でしている	していない

Q7 あなたは、パソコンまたは携帯電話で次のことを行なっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

DOINBR	DOINSH	DOINBANK	DOINHP	DOINNONE
1	2	3	4	5
情報検索	インターネット ショッピング	インターネット バンキング	ホームページの 作成	いずれも 行っていない

Q8 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

		ほとんど 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	全く なし
FQ7FFDNR	A 家族と一緒にの夕食 -----→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7FRSEE	B 友人との会食や集まり -----→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CKDNR	C 夕食の用意 -----→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7WASH	D 洗濯 -----→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7SHOP	E 買い物（日用品や食料品の買い物） →	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CLEAN	F 家の掃除 -----→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7GARB	G ゴミ出し -----→	1	2	3	4	5	6	7

Q9 あなたは、以下のことをどのくらい行ないますか。

		よくする	時々する	あまりしない	全くしない /知らない
FQ4DRIVE	A ドライブ -----→	1	2	3	4
FQ4KARA	B カラオケ -----→	1	2	3	4
FQ4MOVIE	C 映画鑑賞（ビデオを含む） -----→	1	2	3	4
FQ4MUSIC	D 音楽鑑賞（CD・ラジオ・コンサートなど） --→	1	2	3	4
FQ4GAME	E テレビゲーム（PCゲーム・携帯用を含む） →	1	2	3	4
FQ4GREEN	F 園芸・庭いじり -----→	1	2	3	4
FQ4SHGIG	G 将棋・囲碁 -----→	1	2	3	4
FQ4LOTTO	H 宝くじ -----→	1	2	3	4
FQ4PACHI	I パチンコ・パチスロ -----→	1	2	3	4

Q10-1 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ（ウォーキング、水泳、野球など）を行なっていますか。

FQSPORT

1	2	3	4	5
週に数回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんどしない

Q10-2 どのようなスポーツをしていますか。

XXSPORT 具体的に（_____）

Q11-1 あなたは、何か趣味の会（コーラス・写真・山歩きなど）に入っていますか。

MEMHOBBY 1 はい

2 いいえ

Q11-2 どのような会に入っていますか。

XXMEMHOB 具体的に（_____）

Q12 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行（仕事以外）をしますか。

FQ5TRIP

1	2	3	4	5
月に数回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくなし

Q13-1 あなたは自動車の運転免許を持っていますか。(二輪車の免許は含みません)

DOCLCNS

1 免許を持っている

2 免許を持っていない

Q13-2 あなたは次のような目的で車を運転することがありますか。

それぞれについてお答えください。

		ほぼ 毎日	週に 3,4日 程度	週に 1,2日 程度	月に 1,2日 程度	年に 数回	その目的では 運転して いない
USCARCMT	A 自分の通勤・通学	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6
USCARTFF	B 家族の送り迎え	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6
USCARSHF	C 日常の買物・用事	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6
USCARWK	D 仕事中の移動・運搬	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6
USCARLSR	E レジャー	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6

Q14 あなたは自家用車に関する次の A～F の意見についてどう思いますか。それぞれについてお答えください。

		そう 思う	どちらかと いえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかと いえば そう思わない	そう 思わない
OPCARDLF	A 車がないと日常生活に支障がある	-----→ 1	 2	 3	 4	 5
OPCARFLD	B 車がないと行動範囲が狭くなる	-----→ 1	 2	 3	 4	 5
OPCARDRV	C 車があるとドライブの楽しみが持てる	-----→ 1	 2	 3	 4	 5
OPCARCST	D 車にかかる費用は高すぎる	-----→ 1	 2	 3	 4	 5
OPCARACC	E 車は事故を起こしやすい乗り物だ	-----→ 1	 2	 3	 4	 5
OPCARECO	F 車による環境汚染が心配だ	-----→ 1	 2	 3	 4	 5

Q15 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。(回答例のように番号に○をつけてください)

満足 ←-----→ 不満

(回答例)		1	2	3	④	5
A	住んでいる地域	1	2	3	4	5
B	余暇の過ごし方	1	2	3	4	5
C	家庭生活	1	2	3	4	5
D	現在の家計の状態	1	2	3	4	5
E	友人関係	1	2	3	4	5
F	健康状態	1	2	3	4	5
G	配偶者との関係	1	2	3	4	5
		6 配偶者はいない				

ここからは、あなたの健康に関することについておうかがいします。

Q16 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ

良い ← 1 2 3 4 5 悪い

Q17-1 現在、あなたには次の症状がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

HAATOPI	HAKAFUN	HAZENSOK	HAFOOD	HANONE
1	2	3	4	5
アトピー性 皮膚炎	花粉症	ぜんそく	食物 アレルギー	いずれもない

Q17-2 あなたが同居しているご家族の中に、現在、次の症状のある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

FAATOPI	FAKAFUN	FAZENSOK	FAFOOD	FANONE	FANOFF
1	2	3	4	5	6
アトピー性 皮膚炎	花粉症	ぜんそく	食物 アレルギー	いずれもない	誰とも同居 していない

Q18-1 あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。

DOSMOKEX

1	2	3
現在 吸っている	以前は吸って いたがやめた	ほとんど／全く 吸ったことはない

Q18-2 禁煙しようと努力したことがありますか。

XQTSMOKE

1 はい 2 いいえ

Q19 あなたは、普段お酒を飲みますか。

DO7DRINK

1	2	3	4	5	6	7
ほとんど 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	まったく なし

Q20 過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと（例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死）を何回経験しましたか。

XTRAUM5Y

0	1	2	3	4
なし	1回	2回	3回	4回以上

Q21 社会が激しく変化する中で、心の健康が重大な問題になっています。もし、あなたが個人的な悩みやストレスを多く抱え、「ノイローゼかもしれない」と不安になったとしたら、誰に相談したいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | | | |
|----------|---|-------------|----------|---|-----------------------|
| WLADFF | 1 | 家族 | WLADPSY | 5 | 臨床心理士・カウンセラーなど心理学の専門家 |
| WLADFRI | 2 | 友人・知人・恋人 | WLADRLGN | 6 | 僧侶・牧師などの宗教家 |
| WLADDDSP | 3 | 精神科・心療内科の医師 | WLADOTHR | 7 | その他（具体的に_____） |
| WLADDD | 4 | その他の医師 | WLADNONE | 8 | 誰にも相談しない |

Q22-1 あなたは、過去5年間に、精神科医やカウンセラーなどが行なうカウンセリング（心理相談）を受けたことがありますか。

XCOUNSLR

1 あ る	2 な い								
↓	↓								
Q22-2 「カウンセリング（心理相談）を受けてみたい」と思うことはありますか。 WLCOUNSL <table border="0" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; width: 25%;">1</td> <td style="text-align: center; width: 25%;">2</td> <td style="text-align: center; width: 25%;">3</td> <td style="text-align: center; width: 25%;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">よくある</td> <td style="text-align: center;">時々ある</td> <td style="text-align: center;">あまりない</td> <td style="text-align: center;">まったくない</td> </tr> </tbody> </table>		1	2	3	4	よくある	時々ある	あまりない	まったくない
1	2	3	4						
よくある	時々ある	あまりない	まったくない						

Q23 あなたと一緒に暮らしているご家族の中で、過去5年間に、カウンセリング（心理相談）を受けたことがある方はいますか。

XCOUNSLF

- | | | |
|-------------|--------------|-----------------|
| 1 い る | 2 い ない | 3 誰とも同居していない |
|-------------|--------------|-----------------|

Q24 あなたは、一般の人に比べて、カウンセリングや心理学についての知識がある方だと思いますか。

KWCOUNSL

- | | | | |
|--------|-------|-------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| ある程度ある | 少しはある | あまりない | まったくない |

Q25 「これからの学校教育は、学力をつけることよりも心を育てることを、特に重視するべきだ」という意見があります。あなたはこの意見についてどう思いますか。

OPEDMND

- | | | | |
|------|------------------|--------------------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| そう思う | どちらかといえば
そう思う | どちらかといえば
そう思わない | そう思わない |

Q26 少年少女が殺人などの凶悪犯罪をおかす場合、次にあげる A～E は、その原因としてどの程度関係していると思いますか。

		ほとんどの事件で 関係している	多くの事件で 関係している	一部の事件で 関係している	ほとんどの事件で 関係していない
OPJVMNTL	A 加害少年少女の心理状態	-----→ 1	2	3	4
OPJVFF	B 加害少年少女の家庭環境	-----→ 1	2	3	4
OPJVSCHL	C 加害少年少女の学校での生活環境	1	2	3	4
OPJVLAW	D 少年法などの現行の法律制度	--→ 1	2	3	4
OPJVECN	E 社会における経済的な格差	---→ 1	2	3	4

Q27-1 あなたは、遺伝子組換え食品という言葉を知っていますか。

KNOWGMO

1 聞いたことがある

2 聞いたことがない → 次ページ Q28-1 へ



Q27-2 遺伝子組換え食品に関する、次のそれぞれの質問にお答えください。

		そう 思う	どちらかと いえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかと いえば そう思わない	そう 思わない	わからない
OPGMSAFE	A 遺伝子組換え食品は、安全だと思いますか	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6
OPGMUSER	B 遺伝子組換え食品は、あなた自身にとって有益だと思いますか	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6
OPGMUSES	C 遺伝子組換え食品は、社会にとって有益だと思いますか	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6
OPGMNTRL	D 遺伝子組換え食品は、自然なものだと思いますか	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6
OPGMEAT	E あなた自身は、遺伝子組換え食品を、食べてもよいと思いますか	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6
OPGMSPRD	F 遺伝子組換え食品が、社会に普及することに賛成ですか	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6
OPGMWHAT	G あなたは遺伝子組換え食品として、どのようなものがあるか、理解していると思いますか	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6
OPGMHOW	H あなたは遺伝子組換え食品が、どのようにしてできるか、理解していると思いますか	-----→ 1	 2	 3	 4	 5	 6

Q27-3 遺伝子組換え食品と聞いて、何か思い浮かべる農作物や食品はありますか。

KWGMCONC

1 あ る

2 特にない → 次ページ Q28-1 へ



Q27-4 どのような農作物や食品を思い浮かべますか、いくつでも記入してください。

NGMCONC 記入数

GMCONC1 大豆

GMCONC2 とうもろこし

GMCONC3 じゃがいも

GMCONC4 米

GMCONC5 麦

GMCONC6 トマト

GMCONC7 豆全般・穀類全般

GMCONC8 野菜全般・その他の青果

GMCONC9 青果以外

ここからは、あなたの暮らし向きや政治に関するお考えについておうかがいします。

Q28-1 あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

OWNHOUSE

- 1 持ち家（親などが持ち主の場合も含む）
- 2 民間の賃貸住宅
- 3 社宅・公務員住宅等の給与住宅
- 4 公社・公団等の公営の賃貸住宅
- 5 その他（_____）

Q28-2 あなたの現在のお住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。

TPHOUSE

- 1 一戸建て
- 2 集合住宅（アパート・マンションなど）

Q29 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

XLIVEYR

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 生まれてからずっと | 5 5年～10年未満 |
| 2 1年未満 | 6 10年～20年未満 |
| 3 1年～3年未満 | 7 20年～30年未満 |
| 4 3年～5年未満 | 8 30年以上 |

Q30 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

WLLIVE

- | | | | |
|---------|-----------|--------------------|--------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| ずっと住みたい | 当分の間は住みたい | できれば他の地域に
引越したい | すぐにも他の地域に
引越したい |

Q31 この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

OP3ECN3A

- 1 良くなった
- 2 悪くなった
- 3 変わらない

Q32 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

OP5FFINX

- | | | | | |
|----------------|---------|------|--------|---------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 平均より
かなり少ない | 平均より少ない | ほぼ平均 | 平均より多い | 平均より
かなり多い |

Q33 あなたが15歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

OPFFIX15

- | | | | | |
|----------------|---------|------|--------|---------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 平均より
かなり少ない | 平均より少ない | ほぼ平均 | 平均より多い | 平均より
かなり多い |

Q34 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

OP5CHNCA

- | | | | | |
|-------|-------|---------------|-------|--------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 充分にある | 少しはある | どちらとも
いえない | あまりない | まったくない |

Q35 現在、年金を受け取っている人達に比べて、あなたが老後に受け取る年金の額は、どうなっていると思いますか。

OP5PENSN

1	2	3	4	5	6	7
かなり良くなっている	少し良くなっている	だいたい同じ	少し悪くなっている	かなり悪くなっている	わからない	現在年金を受けている

Q36 かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入っていると思いますか。

OP5LEVK

1	2	3	4	5
上	中の上	中の中	中の下	下

Q37 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

QFNRINCR

1 賛成	2 反対
-------------	-------------

Q38 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号（**1～5**）を1つ選んでください。

		個人や家族の責任			国や自治体の責任	
		1	2	3	4	5
OP5SRWFY	A 高齢者の生活保障（生活費）	1	2	3	4	5
OP5SRMDY	B 高齢者の医療・介護	1	2	3	4	5
OP5CCED	C 子どもの教育	1	2	3	4	5
OP5CCARE	D 保育・育児	1	2	3	4	5

Q39 政治的な考え方を、保守的から革新的までの5段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

OP5RADCA

保守的				革新的
1	2	3	4	5

Q40 あなたに課せられている所得税は、高いと思いますか。

OP6TAXHI

1	2	3	4	5	6	7
低い	やや低い	適切	やや高い	高い	わからない	課せられていない

Q41 不治の病におかされた患者が、痛みを伴わない安楽死を望んでいるとします。その家族も同意している場合に、医者が安楽死を行なえる法律をつくるべきだと思いますか。

QDDKILLA

1 はい	2 いいえ	3 わからない
-------------	--------------	----------------

Q42 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

Q5GVEQAA

- | | | | | |
|----------|----------------|---------------|----------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 賛 成 | どちらかと
いえば賛成 | どちらとも
いえない | どちらかと
いえば反対 | 反 対 |

Q43-1 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

XX8PLPTY

- | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|---------------|-----------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 自民党 | 民主党 | 公明党 | 共産党 | 社民党 | その他の政党
() | 特に支持する
政党はない | わからない |

Q43-2 ふだん好ましいと思っている政党はありますか。1つだけ選んでください。

XX9PLPFV

- | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|------------|----------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 自民党 | 民主党 | 公明党 | 共産党 | 社民党 | その他の政党 () | 特に好ましく感じる政党はない | わからない |

Q44 あなたの家から1キロ（徒歩15分程度）以内に、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

FEARWALK

- | | |
|----------|----------|
| 1 | 2 |
| は い | いいえ |

Q45 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

XSTOLN1Y

- | | |
|----------|----------|
| 1 | 2 |
| は い | いいえ |

Q46 過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと（例えば、強盗、恐喝やひったくり）がありますか。

XROBBD1Y

- | | |
|----------|----------|
| 1 | 2 |
| は い | いいえ |

Q47 「暮らしを豊かにするためには、ある程度の借金をしてもかまわない」という意見についてどう思いますか。

Q4DEBT

- | | | | |
|----------|------------|------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 賛 成 | どちらかといえば賛成 | どちらかといえば反対 | 反 対 |

Q48 クレジット・カードに対する次のA～Dの意見について、あなたはどのように思いますか。

- | | | | | | | |
|----------|-----------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|--|
| | | | どちらかといえば | どちらかといえば | | |
| | | そう思う | そう思う | そう思わない | そう思わない | |
| OPCDUSFL | A 持っていると便利だ -----→ | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| OPCDOVER | B 使いすぎる恐れがある -----→ | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| OPCDCRM | C 犯罪に利用される恐れがある ---→ | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| OPCDCM | D 宣伝を法律で制限すべきだ -----→ | 1 | 2 | 3 | 4 | |

Q49-1 あなたは、クレジット・カードを何枚持っていますか。使っていないものも含めてお答えください。

NUMCARD

0	1	2	3	4	5	6
持っていない	1 枚	2 枚	3 枚	4 枚	5 枚	6 枚以上

Q49-2 次の支払いに、あなたはクレジット・カードをどのくらい利用していますか。

		よく 利用する	たまに 利用する	あまり 利用しない	まったく 利用しない
USCDDAY	A 日常の買い物	1	2	3	4
USCDHIGH	B 高額な買い物	1	2	3	4
USCDEAT	C 外食の代金	1	2	3	4
USCDCHRG	D 公共料金・通信費	1	2	3	4

Q49-3 クレジット・カードの次の機能を、あなたはどのくらい利用していますか。

		よく 利用する	たまに 利用する	あまり 利用しない	まったく 利用しない
FNCDDONE	A 1 回払いの買い物	1	2	3	4
FNCDDINST	B 分割払いの買い物	1	2	3	4
FNCDDREVO	C 毎月定額を支払うリボ払い	1	2	3	4
FNCDDCASH	D 現金を引き出すキャッシング	1	2	3	4

Q50 このところ、無人契約機などで手軽にお金を借りられる消費者金融が普及しています。消費者金融に対する次の A～D の意見について、あなたはどのように思いますか。

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
OPCSUSFL	A あると便利だ	1	2	3	4
OPCSOVER	B 使いすぎる恐れがある	1	2	3	4
OPCSCRM	C 犯罪に利用される恐れがある	1	2	3	4
OPCSCM	D 宣伝を法律で制限すべきだ	1	2	3	4

Q51-1 あなたは、過去 3 年の間に消費者金融でお金を借りたことがありますか。

NUMCONSF

0	1	2	3	4
まったくない	1 回ある	2～5 回ある	6～9 回ある	10 回以上ある

次ページ Q52 へ

Q51-2 どのような支払いに消費者金融を利用したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

USCSDAY	1 日常生活	USCSSOC	5 友人・知人との交際費
USCSMD	2 医療費	USCSHOB	6 趣味の費用
USCSEDU	3 教育費	USCSCLTH	7 服飾品の費用
USCSBUS	4 事業資金	USCSBANK	8 他の金融機関への支払い
		USCSOTHR	9 その他（具体的に_____）

Q58-1 あなたは過去1年間に、定期的にボランティア活動を行なったことがありますか。

XVLREG

1 ある

2 ない

Q58-2 平均して、1ヶ月にどのくらいの時間を使いましたか。

SZVLREG 月平均 _____ 時間くらい

Q58-3 どのような活動をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- XVLRENV 1 環境保護・清掃に関する活動
 XVLRF 2 介護・福祉に関する活動
 XVLRCUL 3 文化・芸術に関する活動
 XVLRTCH 4 教育・技術指導に関する活動
 XVLRDNT 5 寄付金を集める活動（募金集め、バザーの手伝いなど）
 XVLROTHR 6 その他（具体的に _____）

Q59-1 あなたは過去1年間に、不定期にボランティア活動を行なったことがありますか（突発的な事件や災害への支援を含む）。

XVLIRREG

1 ある

2 ない

Q59-2 過去1年間に、合計何日くらい行ないましたか。

（1日30分でも1日と数える）

SZVLIRRG 年間合計 _____ 日くらい

Q59-3 どのような活動をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- XVLTENV 1 環境保護・清掃に関する活動
 XVLTF 2 介護・福祉に関する活動
 XVLTCUL 3 文化・芸術に関する活動
 XVLTTCH 4 教育・技術指導に関する活動
 XVLTDNT 5 寄付金を集める活動（募金集め、バザーの手伝いなど）
 XVLTOTHR 6 その他（具体的に _____）

Q60 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。A～Fそれぞれについて、お答えください。

- | | | | | | | | | |
|----------|---|-----------------|--------|---|-----|-------|---|-----|
| MEMPLTGP | A | 政治関係の団体や会 | -----→ | 1 | は い | | 2 | いいえ |
| MEMIND | B | 業界団体・同業者団体 | -----→ | 1 | は い | | 2 | いいえ |
| MEMVLNTR | C | ボランティアのグループ | -----→ | 1 | は い | | 2 | いいえ |
| MEMCIVIL | D | 市民運動・消費者運動のグループ | -→ | 1 | は い | | 2 | いいえ |
| MEMRL | E | 宗教の団体や会 | -----→ | 1 | は い | | 2 | いいえ |
| MEMSPORT | F | スポーツ関係のグループやクラブ | -→ | 1 | は い | | 2 | いいえ |

Q61-1 あなたは過去1年間に、以下の寄付をしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- XDNTREG 1 定期的に寄付をした
 XDNTBOX 2 街かどやコンビニなどで募金箱に寄付した
 XDNTSCH 3 学校や地域の募金活動を通して寄付した
 XDNTMASS 4 マスコミなどの呼びかけに応じて寄付した（銀行振込み・インターネット・電話など）
 XDNTOTHR 5 その他（具体的に_____）

XDNTNONE 6 寄付はしていない

Q61-2 過去1年間に、合計いくらぐらい寄付しましたか。

- SZDNT 1 500 円まで 5 ～50,000 円
 2 ～ 1,000 円 6 ～100,000 円
 3 ～ 5,000 円 7 100,000 円以上
 4 ～10,000 円

Q62-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

DORL

- 1 あ る 2 特に信仰していないが、家の宗教はある 3 な い

Q62-2 それは何ですか。

XXRL （具体的に_____）

Q62-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

- DO3PIOUS 1 熱心である
 2 まあまあ熱心である
 3 そんなに熱心ではない

Q63 あなたの高齢期の過ごし方で、次のA～Iの活動は、どの程度重要だと思いますか。

			非常に重要	重要	どちらとも いけない	重要 ではない	まったく 重要ではない
IMOAWORK	A	仕事	-----→ 1	2	3	4	5
IMOACOM	B	町内会・老人会等での地域活動	--→ 1	2	3	4	5
IMOACRCL	C	文化・スポーツサークルへの参加	-→ 1	2	3	4	5
IMOAVLTR	D	ボランティア・社会貢献活動	-----→ 1	2	3	4	5
IMOALSR	E	娯楽・レジャー活動	-----→ 1	2	3	4	5
IMOALRN	F	読書・学習・研究活動	-----→ 1	2	3	4	5
IMOAFF	G	家族や親族と過ごす時間	-----→ 1	2	3	4	5
IMOAFRI	H	友人と過ごす時間	-----→ 1	2	3	4	5
IMOALON	I	自分一人の時間	-----→ 1	2	3	4	5

Q64 あなたの高齢期の生活を充実させるうえで、次のA～Jとの関係は、どの程度重要だと思いますか。

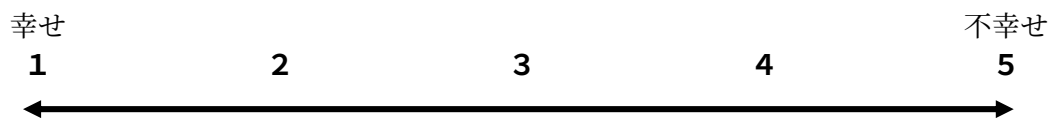
			非常に重要	重要	どちらとも いえない	重要 ではない	まったく 重要ではない
IMORSS	A	配偶者	→ 1	2	3	4	5
IMORCC	B	子ども	→ 1	2	3	4	5
IMORSIB	C	きょうだい	→ 1	2	3	4	5
IMORCCG	D	孫	→ 1	2	3	4	5
IMORPAR	E	親	→ 1	2	3	4	5
IMORFRWK	F	仕事関係の友人・昔の同僚	→ 1	2	3	4	5
IMORFRSC	G	学校時代の友人	→ 1	2	3	4	5
IMORFRCC	H	参加団体・サークルの友人	→ 1	2	3	4	5
IMORCOM	I	近所の人	→ 1	2	3	4	5
IMORPET	J	ペット	→ 1	2	3	4	5

Q65 次にあげるA～Oについて、あなたはどれくらい信頼していますか。

			とても 信頼している	少しは 信頼している	ほとんど 信頼していない	わからない
TR3CORPZ	A	大企業	→ 1	2	3	4
TR3RLGPZ	B	宗教団体	→ 1	2	3	4
TR3SCHLZ	C	学校	→ 1	2	3	4
TR3BCRAZ	D	中央官庁	→ 1	2	3	4
TR3UNNZ	E	労働組合	→ 1	2	3	4
TR3NWSPZ	F	新聞	→ 1	2	3	4
TR3HSPLZ	G	病院	→ 1	2	3	4
TR3TVZ	H	テレビ	→ 1	2	3	4
TR3SPCAZ	I	裁判所	→ 1	2	3	4
TR3ACDAZ	J	学者・研究者	→ 1	2	3	4
TR3CGMNZ	K	国会議員	→ 1	2	3	4
TR3CITYZ	L	市区町村議会議員	→ 1	2	3	4
TR3DEFZ	M	自衛隊	→ 1	2	3	4
TR3COPZ	N	警察	→ 1	2	3	4
TR3FINZ	O	金融機関	→ 1	2	3	4

Q66 あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ



ご協力ありがとうございました。担当の調査員にお渡してください。

WEIGHT



「第5回 生活と意識についての国際比較調査」ご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私ども「大阪商業大学 比較地域研究所」と「東京大学 社会科学研究所」では、文部科学省からの助成を受け、1999年から継続して、日本人の生活と意識の実態を把握するための調査研究を行っております。このたび、その第5回目の調査を実施させていただくことになりました。

この調査の目的は、仕事や家庭生活、余暇活動など、日本人の日常的な暮らし方や考え方の実態を、海外の調査結果と比較できる形で、正確に把握することにあります。調査結果は、日本や海外の大学・研究機関などにおいて、学術研究および教育に活かされています。

今回あなた様を無作為抽出法という統計的手法によって選ばせていただきました。お忙しいところ恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査は「社団法人 中央調査社」に委託しております。中央調査社は、国の世論調査をはじめ、数多くの実績を有する信頼のおける調査機関です。この法人の身分証明書を携帯した調査員が直接お宅までおうかがいして、ご都合のよい時間に合わせてアンケート調査をさせていただきます。

調査でお答えいただいた事柄は、すべて統計的に処理され、あなた様のお名前や回答内容を他に漏らすことは絶対にございませんので、調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

敬具

2005年8月

文部科学省指定

学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

研究代表 谷岡 一郎（大阪商業大学 学長・教授）

仁田 道夫（東京大学社会科学研究所 教授）

この調査は強制力を持つものではございませんので、どうしてもご協力いただけない場合は、調査員にその旨をお話いただくか、お手数ですが下記（フリーダイヤル）へご連絡いただければ幸いです。

ご回答いただいた場合には、薄謝ではございますが図書券 1000 円分をご用意しております。

（勝手ながら、お電話は月～金曜日の 9:00～17:00 にお願いいたします）

【調査の実施について】

社団法人 中央調査社（本社 事務局）〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12

TEL: 0120-48-5351（フリーダイヤル）

E-mail: office@crs.or.jp

【調査の内容について】

大阪商業大学 比較地域研究所 JGSS 事務局（担当：大澤）〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10

TEL: 06-6785-6013 / FAX: 06-6785-6011

E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

東京大学 社会科学研究所（担当：三輪）〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

TEL: 03-5841-4977 / FAX: 03-5841-4905

E-mail: miwa@iss.u-tokyo.ac.jp



「第5回 生活と意識についての国際比較調査」について

◇ 調査の目的は？

この調査は、日常的な生活や考え方をアンケートの形でたずね、日本人の考え方や行動を統計的に研究するためのものです。調査は継続的に行われており、今回で5回目となります。外国の調査結果と比較しながら分析され、さまざまな研究のために役立てられています。

◇ どんな質問？

お仕事、レジャー、家族関係、友人関係、政治についての考え方など、生活全般についてうかがいます。ほとんどの質問は、「はい」「いいえ」などの選択肢で回答いただきます。

◇ どんな調査方法？

調査員が質問用紙をもってお宅にうかがい、まず、いくつかの質問を口頭でたずねます。その後で、調査員が質問用紙をお渡ししますので、ご都合がよいときに回答をご記入ください。後日、調査員が回収にうかがいます。こちらで用意した封筒に入れてお渡しください。

◇ 調査員はいつ来るの？

8月25日から11月1日までの間にうかがいます。

◇ どうして私が選ばれたの？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように、日本全国からまんべんなく4,500人を選ばせていただきました。これらの方々は、全国の自治体の住民リスト（選挙人名簿または住民基本台帳）から何人おきという具合に、まったく無作為に選んでいます（20歳～89歳を対象に、層化2段無作為抽出法で、全国307地点、各地点から15名程度）。

◇ 私のプライバシー保護は？

どんなことでもご本人にとっては大切なプライバシーです。調査を実施する（社）中央調査社は、（財）日本情報処理開発協会の審査を受け、適正なプライバシー保護を行っている機関として認定され、その証となる「プライバシーマーク」の使用を許可されています。調査員は、プライバシー情報の管理を徹底いたしますので、回答を第三者に漏らすことは決してありません。また、誰にアンケート調査をしているかを他人に漏らすこともありません。回答いただいた内容はすべて統計的に処理されるので、調査結果や分析からは回答者個人を特定することはできません。



◇ 調査結果はどこで見ることができるの？

調査の約1年半後（2007年3月）に、結果をまとめた基礎集計と研究論文集が出版されます。また、調査の方法、基礎集計、質問内容などは、ホームページ（<http://jgss.daishodai.ac.jp>）にも掲載されます。2000年度の調査結果については、『日本人の姿 JGSSにみる意識と行動』として有斐閣より解説書が出ています。

◇ 答えたくない質問は？

どの質問も重要で、すべてにお答えいただきたいのですが、回答は決して強要するものではありません。どうしても答えたくない質問は飛ばして次の質問に移って下さい。面接調査の場合、その質問には「答えたくない」とおっしゃってください。

◇ 留守が多いのですが…

調査員が何らかの形（メモを残すなど）で連絡をとりますが、中央調査社までご連絡いただければ幸いです。



（有斐閣刊 2002）

調査にご協力いただけない場合は、お伺いした調査員にその旨をお伝え下さい。

または、中央調査社（TEL: 0120-48-5351 / office@crs.or.jp）までご一報いただければ幸いです。

第5回 生活と意識についての国際比較調査（JGSS-2005）

〔調査要領〕

2005 年 8 月

社団法人 中央調査社

1. 調査関係の書類・物品一覧

最初に、必要なものがすべてそろっていることを確認すること。

調査要領	本紙
対象者名簿	
面接調査票（ページュ）	
回答票	面接調査で使用
補助用紙（緑色）	面接調査で必要があれば使用
留置調査票（青色）	
郵送用依頼状（封書）	調査員が事前に対象者に郵送
持参用依頼状	訪問時に説明のために持参
図書券 1000 円分	謝礼品。調査完了時に対象者に手渡す
ペンセット	謝礼品。適時、対象者に手渡す
調査員記入票	精算のための情報を記入
調査員証明書	
その他	（※何かあれば中央調査社が記入）

2. この調査の特徴

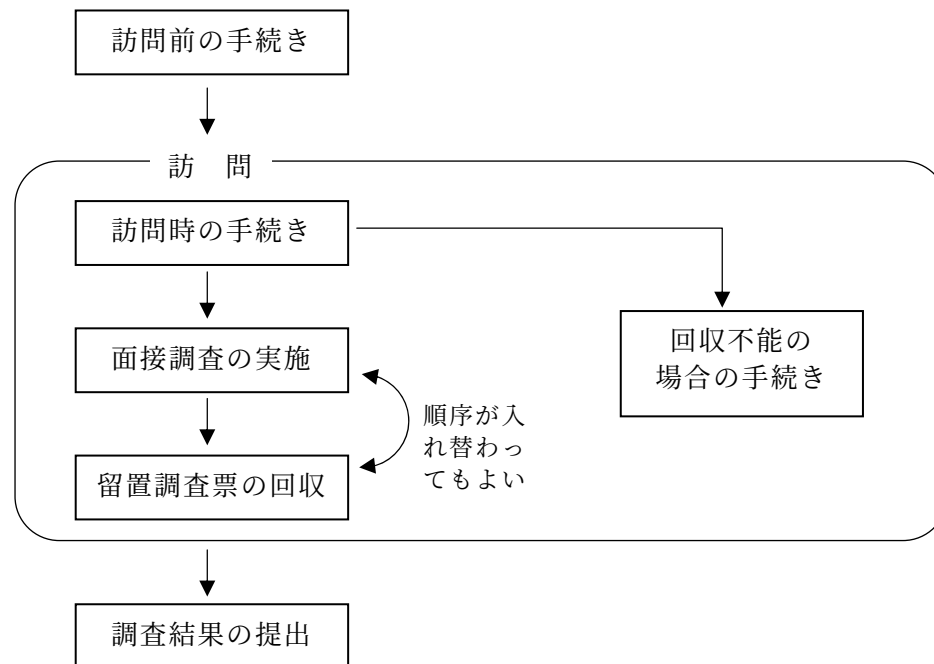
「生活と意識についての国際比較調査」は、正式名称を JGSS (Japanese General Social Surveys、日本版総合的社会調査) とし、過去に 4 回行われている継続調査である。社会科学の諸分野にわたる大学研究者たちが共同で行っている学術調査であり、文部科学省からの助成を受けて実施されている。就業状況や家族関係、生活意識など生活全般に関して網羅的に調査しており、時系列分析や国際比較によって、広く現代日本の社会構造や意識構造を解明することを目的としている。（対象者への説明は 7 ページ参照）

調査の実施にあたって、特に以下の点については、他の調査と異なる場合が多いので、注意が必要である。他にも重要な点があるので、調査要領を隅々まで熟読し、間違いのないよう注意されたい。

- ・ 1 人の対象者が 2 つの調査票（面接調査票と留置調査票）に回答する。両方を完了しなければならない。
- ・ 対象者への調査依頼状は、調査実施前に調査員が郵送する。
- ・ どのような理由でも予備対象者との置き換えは行わない（予備は用意していない）。

3. 調査の流れ

調査員は以下の流れで調査を実施する。



4. 訪問前の手続き

対象者の家を訪問する前に以下のことをすべて済ませておく。

a) 調査要領・調査票の確認

調査要領を隅々まで熟読し、頭に入れておく。また、調査票の内容を確認し、不明な点があれば事前に担当者に問い合わせる。

b) 対象者名簿の確認

対象者名簿に記入漏れや不明な点がないか、あらかじめ確認しておく。特に、年齢が9月1日現在のものになっていることを本紙8ページの「年齢早見表」で確認しておく。確認の上で、対象者名簿の指示に従い、必要な情報を調査票（面接と留置の両方）の表紙に記入しておく。

c) 依頼状の郵送

すべての対象者にあらかじめ依頼状（封書）を郵送する。訪問を予告することで警戒をやわらげる意味があるので、必ず発送すること。発送の時期は、訪問の2週間ほど前がよいとされているが、調査員が状況に応じて判断する。早すぎても忘れられるのでよくない。

5. 訪問時の手続き

対象者の家を訪問する際には、以下の点に注意する。

a) 対象者の家の確認

調査を効率よく進めるために、1日目になるべくすべての家を訪問し、位置を確認する。

b) 訪問日時の記録

訪問をした際には、そのつど面接調査票の表紙に記録をとる。対象者本人と会えた後の訪問については、記録しないでもよい。

(記入例)

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	9月 11日(日)	午前 午後 11時 15分頃	本人 家族のみ 不在
2	9月 11日(日)	午前 午後 2時 00分頃	本人 家族のみ 不在
3	9月 12日(月)	午前 午後 3時 30分頃	本人 家族のみ 不在
4	月 日()	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

←本人と会えた際の訪問まで記録
←その後の記録は不要

c) 訪問の打ち切りが認められる条件

できるかぎり、すべての対象者に会うように努力する。不在が多い場合も、会うことができるまで何度でも訪問する（6ページの「在宅率の情報」を参照）。

少なくとも、次の2つの条件を両方とも満たすまで、訪問を打ち切ってはならない（拒否された場合などは、もちろん訪問を打ち切る）。

- ・その対象者を、4日以上にわたって訪問した
- ・その対象者を、平日と休日（土日祝）の両方、訪問した

「4回以上」ではなく「4日以上」であることに注意する。2回ずつ×2日＝計4回訪問しても、2日でしかないので訪問を打ち切ってはならない（ただし、同じ日に2回以上訪問することを禁止するわけではない。むしろ、時間を変えて何度でも訪問することは望ましい）。

(例 1)

9月10日(土) 午前
9月11日(日) 午前
9月11日(日) 午後
9月13日(火) 午前
9月13日(火) 午後
↓
3日しか訪問していないので継続

(例 2)

9月12日(月) 午後
9月13日(火) 午前
9月14日(水) 午後
9月15日(木) 午前
9月15日(木) 午後
↓
平日だけで休日を訪問していないので継続

(例 3)

9月10日(土) 午前
9月10日(土) 午後
9月11日(日) 午後
9月13日(火) 午後
9月14日(水) 午前
↓
訪問を打ち切ってよい(できるだけ継続)

d) 多くの対象者に協力してもらうために

対象者やその家族に会えた際には、調査の趣旨を理解してもらい、できるかぎり多くの方に協力してもらえるように努力する（ノルマはないが、逆にこれで十分という上限もない）。以下のような点に気をつける。

- ・事前に依頼状を送ったことを告げる（持参用依頼状を見せながら）
- ・調査員証明書を提示する
- ・清潔な服装をこころがける（ただし、訪問販売と誤解されそうな服装は避ける）
- ・ずさんな印象を持たれないよう、言動や態度を丁寧にする
- ・協力してもらえるかどうか、性急に回答を求めない
- ・不信感・不安感を取り除くため、なるべく詳しく説明を続ける

調査の目的、大学が企画者、文部科学省の助成、社団法人が実務、謝礼品がある、全国調査である、過去に4回行われている、他の人では回答できない、対象者が選ばれた理由、プライバシーの保護、必要な時間、すべて答えなくてもよい、等々（依頼状や本紙の7ページなどを参照）

e) 謝礼品について

図書券は、面接・留置調査票の両方が完了してから渡す。ペンセットは、いつ渡してもよく、調査を進めやすいタイミングで手渡す。回収不能になった場合でも、渡したままでかまわない。

f) プライバシーへの配慮

対象者のプライバシー保護には、細心の注意が必要である。特に、対象者名簿が他人の目に触れないように気をつける（電話ボックスでの置き忘れなどがよく発生する）。また、誤って記入済みの調査票を他の対象者に手渡したりしないように注意する。

g) 間接的なコンタクトについて

伝言が正確に伝わらない人（幼児など）に、伝言を頼んではならない。また、家族の誰にも会わずに勝手にポストに調査票を入れて、調査をお願いしてはならない。

6. 面接調査の実施

調査への協力が承諾されたならば、面接調査票と留置調査票の両方に回答をしてもらう。状況に応じてどちらが先でもかまわないが、面接が先の方がスムーズなことが多い。

面接調査にあたっては、以下の点に注意する。

a) 対象者本人に依頼

必ず対象者本人に回答を依頼する。同性・同年代でも、他の人に依頼をしてはならない。

b) 調査員が記入

面接調査票は、調査員が質問文を読み上げ、調査員が回答を記入する。回答者に直接記入することをお願いしてはならない。

c) 質問文をそのまま読み上げる

調査員は、質問文をまず「そのまま」読み上げる。勝手に省略したり、言葉を補ったりしてはならない。ただし、文中の網がけ（ ）の部分は、調査員への注釈なので読み上げない。回答者から不明な点を尋ねられた場合には、注釈を参考にしながら対応する。

d) 回答票の使用

質問文の前に「回答票〇〇」と書かれている場合は、その番号の回答票を相手に示し、その中から回答を選んでもらう。回答は回答票ではなく、調査票に記入する。

e) 補助用紙の使用

補助用紙は、問 25-2、問 26-2、問 28-2 のいずれかで回答欄が足りなくなった場合に使用する。使用した補助用紙は、支局番号・地点番号・対象番号を転記した上で、使用したページの間に挟んでおく。

f) 年齢の記入について

この調査ではすべて「9月1日現在の」年齢を尋ねているが、これは調査期間と誕生日が重なった場合に答えやすくするためであり、厳密に考えなくともよい。また、年齢がわかりにくい場合には、8ページの年齢早見表を参照する。

g) 産業・職業の記述について

いくつかの質問で、「働いている場所の事業」（産業）および「仕事の内容」（職業）の具体的な記入を求めている。産業と職業の記述は、後からコンピュータで分類コードをあてるので、特に記入に注意する。会社名のみでの記入では産業・職業の内容がわからないので不可。以下の点に注意してなるべく詳しく記入すること。

- ・産業は、「ガス管」など製品名のみでなく、「ガス管の製造」、「ガス管の販売」、「ガス管の修理」など事業の内容が、製造なのか、販売なのか、サービスなのかわかるようにする。
- ・職業は、「営業」や「建設」だけでなく、仕事の仕方や取り扱い製品がわかるようにする。例

例えば、「介護」のみでなく「介護福祉士の資格を持ち、特養で寝たきり老人を介護」など、「営業」のみでなく「化粧品を訪問販売する外勤の営業」や「電話で自然食品の注文を取る営業」など、「建設関係の仕事」でなく「コンクリート舗装作業」や「ショベルマシンの運転」など、「住宅設備」でなく「ビル空調の調整」などと記入する。

- ・楷書体で丁寧に書く（面接時に速記しても、後で書き直しておく）。
- ・単語はカタカナではなく漢字で記述する。

（例）セイ産技術→生産技術、 コセキジム→戸籍事務、 ジキ→磁気、 ソージ→掃除 など

- ・誤字・脱字に気をつけ、当て字や略語を使わない。

- ・「の」や「を」などの助詞にカタカナを使わない。

（例）大学ノ教授→大学の教授、 子供服ノ販売→子供服の販売 など

- ・「の」や「を」の代わりに「、」や「・」や空白などを使わない。

（例）「公用車、運転業務」×→「公用車の運転業務」、
「看護婦、市立病院」×→「市立病院の看護婦」 など

h) 面接調査後の記入

面接調査が終わった後には、最終ページの「調査員記入」欄を調査員が記入する。また、表紙の「回収状況」欄に印を付け、面接調査が完了した日付を記入する。

7. 留置調査票の回収

留置調査にあたっては、以下の点に注意する。

a) 対象者本人に依頼

面接調査票と同じく、必ず対象者本人に回答を依頼する。相手に手渡すときに、配偶者など他の家族が回答してはならないことを念押しする。

b) 調査員ではなく回答者自身が記入

留置調査票は、回答者に手渡し、回答者自身に記入をお願いする。ただし、目が不自由な場合などは、調査員が読み上げたり、記入したりしてもかまわない。

c) 回収の日時の約束

回答者に留置調査票を手渡す際には、いつごろまでに回答してもらえそうかを尋ね、回収のために再訪問する日時を約束する。必ず留置調査票の表紙に約束した日時を記入してから手渡す（記入していないと、ずさんな調査という印象をもたれることがある）。また、同じ日時を面接調査票の表紙にもメモし、忘れないようにしておく。当然であるが、約束の日時には必ず訪問する。

d) 回収時のチェック

回答済みの調査票を受け取った際には、その場で、以下のチェックを行う。

- ・「〇〇様、ご本人のお答えですね」
- ・「記入漏れがないか、パラパラと確認してもかまいませんか」

「かまわない」→確認し回答がない項目があれば、記入漏れかノーコメントかを尋ねる。

記入漏れの場合は、その場で記入してもらう。

「見られたくない」→回答者本人に、記入漏れがないかも一度確認してもらう。

e) 留置調査後の記入

面接調査票の表紙の「回収状況」欄に印を付け、日付を記入する。面接調査・留置調査の両方が完了したならば、対象者名簿の「対象番号」を○印で囲む。

8. 調査不能の場合の手続き

どうしても面接・回収できない調査票が出た場合には、以下の手続きをとる。

- ・面接調査票の表紙にある「回収状況」欄に、面接不能／回収不能の印を付ける。
- ・面接調査票の2ページに、調査不能に関する状況を記入する。
- ・対象者名簿の「欠票 No」に、面接調査票の「調査不能の理由」から番号を転記する。
- ・対象者名簿の「対象番号」の上から×印を付ける。

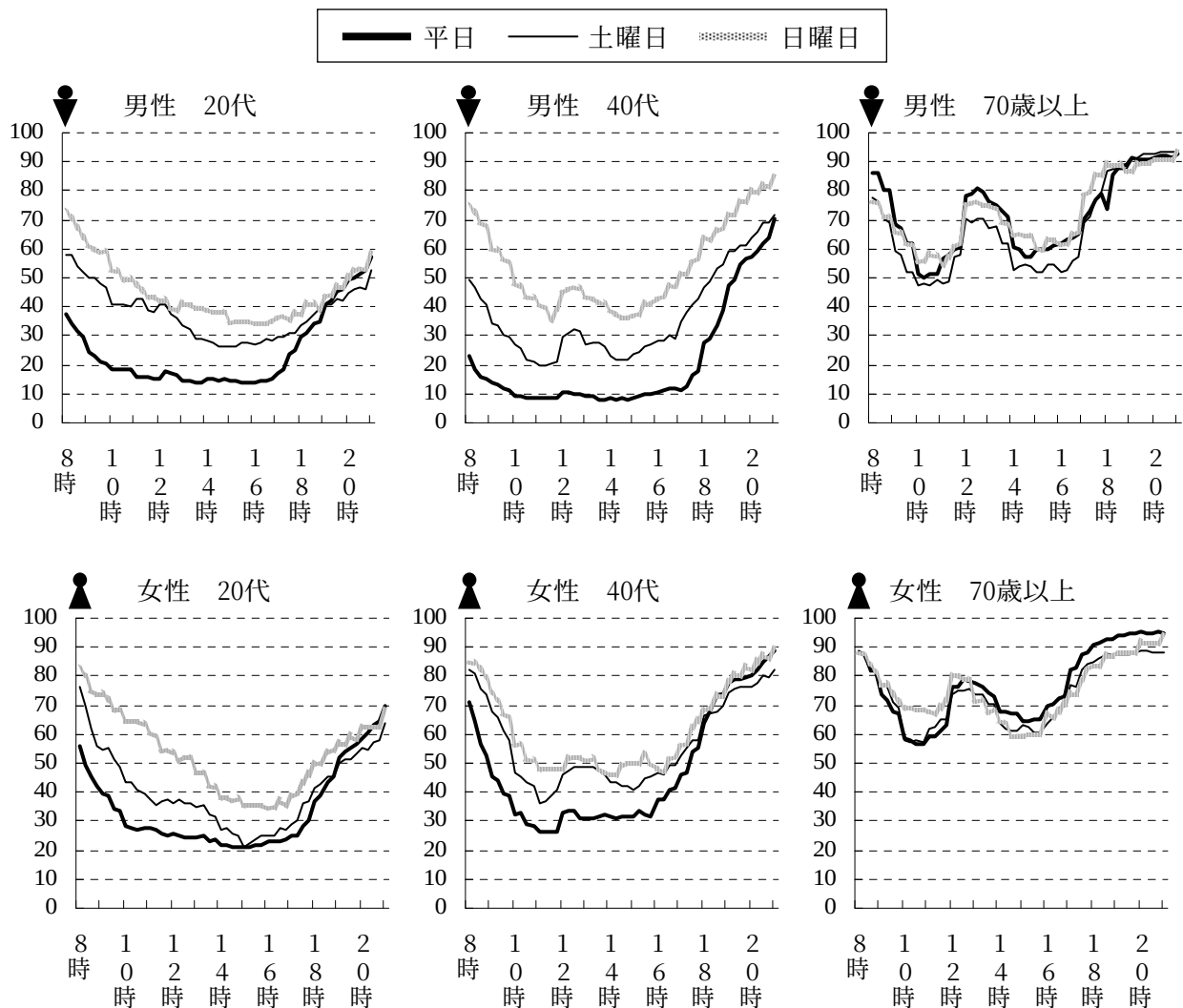
9. 調査結果の提出

全ての対象者の調査が完了したならば、以下の点に注意して調査結果を提出する。

- ・面接調査票 問 21 への回答を、調査票の表紙「婚姻状態 = D 欄」に転記する。
- ・対象者名簿の「対象番号」に○印か×印のいずれかが付いていることを確認する。
- ・1人の調査票を面接・留置の順でセットにした上で、対象番号順にそろえる。
(調査不能であった対象者の調査票も、いっしょに並べて提出する)
- ・他の書類・物品一式といっしょにすべての調査票を提出する。

◇◇◇ 在宅率の情報 ◇◇◇

訪問の参考のために、時間帯による在宅率(%)の情報をのせておく(NHK 生活時間調査 2000 より)。ただし、地域差、個人差が大きいので、目安として参照すること。



◇◇◇ 対象者への説明例 …… この調査に関する質問があった場合の説明例 ◇◇◇

Q.この調査の目的は？

この調査は、世の中や日常生活に対する人びとの考え方や仕事についての実態などをアンケートの形で調査して、人びとの考え方や行動が年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究することを目的としています。

さらに、この調査を続けることにより（同じ人に繰り返して調査をすることはありません）、人びとの意識が時代とともにどう変わっていくのかを時系列的に分析したり、外国で実施した調査と比較研究をする国際的な学術研究です。

Q.依頼状に書いてある「文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト」とは？

大阪商業大学の比較地域研究所と東京大学の社会科学研究所が、文部科学省の助成を受け日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする研究プロジェクトです。1999年から継続しています。

Q.どうして私が選ばれたのか？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国からまんべんなく4,500人の回答者を選ばせていただきました。回答者は、全国の自治体の住民リスト（選挙人名簿または住民基本台帳）から何人おきという具合に、まったく無作為に選んでいます。お名前や住所などを漏らさないことなどを誓約し、許可を得て名簿を閲覧しています。

Q.どんな人が何人くらい選ばれたのか？

全国から307地点を選び、各地点から満20歳～89歳までの方を15名程度ずつ、あわせて4,500人を無作為に選びました。

Q.どのくらい時間がかかるの？

人によってさまざまですが、だいたい面接20分、留め置きに20分程度です。

Q.家族や仕事のことを細かく聞くのはどうして？

現代人の家庭の成り立ちや家族や仕事への思い、仕事の環境などを多角的に研究し、社会の問題点や改善点を探り出すことを目的にしています。私たちの子や孫たちに温かい家庭や暮らしやすい社会をつくる為に学術的に貢献しようとするものです。

Q.プライバシーは守られるのか？

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですから、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理として厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言ってはならないと定められています。

Q.どうしても答えたくない質問は？

どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあった場合、その質問には「答えたくない」（ノーコメント）とおっしゃってください。

Q.調査の結果は発表するのか？

調査実施から約1年半後には調査結果が統計的に発表され、研究参加者が論文や出版物にしたり、学会で発表したり、国内外の研究者とシンポジウムを行なっています。

（特に求められたら）調査に関する情報は、以下のホームページでご覧になれます。

JGSSのホームページ <http://jgss.daishodai.ac.jp>

東京大学社会科学研究所 SSJ データ・アーカイブ <http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/>

◇◇◇ 年齢早見表 ◇◇◇

年齢は、9月1日現在のものとするが、目安であり厳密でなくてよい。この表は、誕生日が1月1日～9月1日の場合の年齢を示している。誕生日が9月2日以降の場合は、年齢を1つ引くこと。

年号	西暦	干支	年齢	年号	西暦	干支	年齢	年号	西暦	干支	年齢
大正 4	1915	卯 うさぎ	90	昭和 20	1945	酉 とり	60	昭和 50	1975	卯 うさぎ	30
5	1916	辰 たつ	89	21	1946	戌 いぬ	59	51	1976	辰 たつ	29
6	1917	巳 へび	88	22	1947	亥 いのしし	58	52	1977	巳 へび	28
7	1918	午 うま	87	23	1948	子 ねずみ	57	53	1978	午 うま	27
8	1919	未 ひつじ	86	24	1949	丑 うし	56	54	1979	未 ひつじ	26
9	1920	申 さる	85	25	1950	寅 とら	55	55	1980	申 さる	25
10	1921	酉 とり	84	26	1951	卯 うさぎ	54	56	1981	酉 とり	24
11	1922	戌 いぬ	83	27	1952	辰 たつ	53	57	1982	戌 いぬ	23
12	1923	亥 いのしし	82	28	1953	巳 へび	52	58	1983	亥 いのしし	22
13	1924	子 ねずみ	81	29	1954	午 うま	51	59	1984	子 ねずみ	21
14	1925	丑 うし	80	30	1955	未 ひつじ	50	60	1985	丑 うし	20
15／元	1926	寅 とら	79	31	1956	申 さる	49	61	1986	寅 とら	19
昭和 2	1927	卯 うさぎ	78	32	1957	酉 とり	48	62	1987	卯 うさぎ	18
3	1928	辰 たつ	77	33	1958	戌 いぬ	47	63	1988	辰 たつ	17
4	1929	巳 へび	76	34	1959	亥 いのしし	46	64／元	1989	巳 へび	16
5	1930	午 うま	75	35	1960	子 ねずみ	45	平成 2	1990	午 うま	15
6	1931	未 ひつじ	74	36	1961	丑 うし	44	3	1991	未 ひつじ	14
7	1932	申 さる	73	37	1962	寅 とら	43	4	1992	申 さる	13
8	1933	酉 とり	72	38	1963	卯 うさぎ	42	5	1993	酉 とり	12
9	1934	戌 いぬ	71	39	1964	辰 たつ	41	6	1994	戌 いぬ	11
10	1935	亥 いのしし	70	40	1965	巳 へび	40	7	1995	亥 いのしし	10
11	1936	子 ねずみ	69	41	1966	午 うま	39	8	1996	子 ねずみ	9
12	1937	丑 うし	68	42	1967	未 ひつじ	38	9	1997	丑 うし	8
13	1938	寅 とら	67	43	1968	申 さる	37	10	1998	寅 とら	7
14	1939	卯 うさぎ	66	44	1969	酉 とり	36	11	1999	卯 うさぎ	6
15	1940	辰 たつ	65	45	1970	戌 いぬ	35	12	2000	辰 たつ	5
16	1941	巳 へび	64	46	1971	亥 いのしし	34	13	2001	巳 へび	4
17	1942	午 うま	63	47	1972	子 ねずみ	33	14	2002	午 うま	3
18	1943	未 ひつじ	62	48	1973	丑 うし	32	15	2003	未 ひつじ	2
19	1944	申 さる	61	49	1974	寅 とら	31	16	2004	申 さる	1

《お願い》

この基礎集計表・コードブックを利用して発表を行なわれた方は、
その掲載誌などを下記の JGSS 事務局宛に 1 部お送り下さい。
本誌の掲載内容やデータの修正については、JGSS ホームページで
掲示いたします。

JGSS 事務局

〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10
大阪商業大学 比較地域研究所

Tel:06-6785-6013 Fax:06-6785-6011

E-mail:jgss@daishodai.ac.jp

<http://jgss.daishodai.ac.jp/>

2007 年 3 月 31 日発行（非売品）

《文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト》

日本版 General Social Surveys

基礎集計表・コードブック

JGSS-2005

編 集 大阪商業大学 比較地域研究所
東 京 大 学 社会科学研究所

発 行 大阪商業大学 比較地域研究所
〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4 丁目 1 番 10 号

印 刷 (株)NPC コーポレーション